

玄門側の幅1.8m、全長3.1mである。天井部が崩落しているので正確な高さや形状はわからないが、側壁、奥壁が緩やかに内傾して立ち上がるような、高さ約1.7m程度の断面アーチ形の玄室であったと推測される。3号横穴では、1号横穴と異なり、床面に埴輪片等は敷かれていなかった。

遺体の埋葬方法 1号横穴では遺体が陶棺に埋葬されていたが、3号横穴では床面上から人骨だけが検出され、陶棺はなかった。人骨の周囲には拳大の石が数個置かれており、これらが棺台である可能性も考えられる。その場合、釘などがみつかっていないため、組み合わせ式の木棺もしくは布などにくるんで板の上などに置いて埋葬していたことも推定される。玄室内の床面には、3箇所(A群～C群)に人骨が集められて置かれていた。A群の人骨は奥壁に近い場所で東西方向に、B群・C群は玄門に近い場所で南北方向に骨が置かれていた。これらの人骨は、本来つながるべき骨がつながっていない状態で置かれていることや数体分の人骨が混在していることから、初めからこの場所に遺体を置いたのではなく、骨化してから改めて置かれたものとみられる¹⁾。B群についてはよくわからないが、A群には2体分、C群には2～3体分の人骨があり、少なくとも5体以上が埋葬されていたことがわかる。人骨は、各群から頸骨、上腕骨、肩甲骨、胸骨、肋骨、大腿骨、尺骨、胫骨、中足骨などがあるが、劣化により残存状況は悪い。骨の長さや歯の磨耗度からみると、被葬者は子供や若年層とみられる。

この他、A～C群と離れて炭道に置かれた人骨もあり、追葬の際に納められたものと考えられる。(池田裕英)

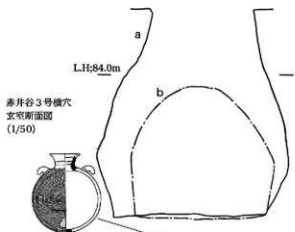
IV 出土遺物

前庭南端部から、須恵器壺1点(1)、玄門付近の炭道から土師器脚付壺1点(2)が出土した。玄室からは、人骨の他にA群北東部で須恵器提瓶1点(4)、B群南端部で須恵器杯蓋1点(3)、鹿角装刀子1点(8)、C群南端部で耳環3点(5～7)が出土した。以下でこれらについて述べる。

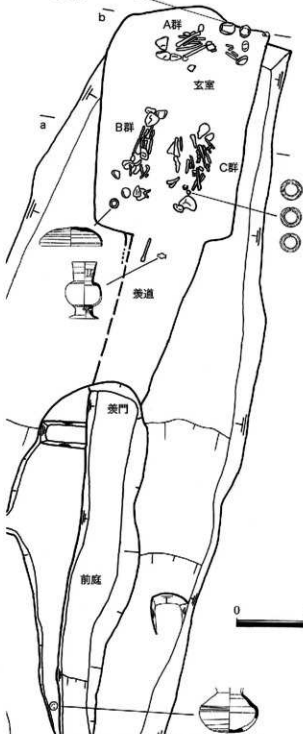


- 1: 第一次閉塞土
- 2a: 第二次閉塞土上層
- 2b: 第二次閉塞土下層
- 3: 地山崩落土
- 4: 天井・梁面崩落土
- 5: 前庭壁面崩落土
- 6: 埴地土

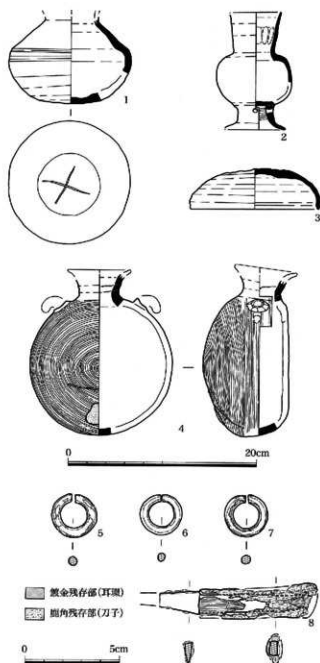
歌姫赤井谷3号横穴 土層断面図 (1/150)



赤井谷3号横穴
玄室断面図
(1/50)



歌姫赤井谷3号横穴 遺構平面図 (1/50)



歌姫赤井谷3号横穴出土品 実測図(土器1~4は1/4, 金属製品は1/2)

土器 1は、須恵器壺の体部である。肩部が大きく張り、丸底の形態である。外面中位には浅い沈線が2条めぐり、底部は回転ヘラケズリを施してやや平らに整え、中央には「×」のヘラ記号がみられる。内面は回転ナデを施す。形態から短頸壺の可能性が高い。残存高9.2cm。2は頸部の長い小型の壺に短い脚部をつけた土器で、脚部には1箇所の穿孔(焼成前)がある。口縁部内外面はヨコナデを施し、内面には成形時のユビオサエが残る。体部内外面はナデを施し、外面の調整は粗い。脚部内外面はヨコナデを施し、内面には何らかの工具でヨコナデを行った痕跡がある。体部と脚部の境には脚部を接合する際の粗いナデの痕跡がみられる。口径5.4cm、器高12.5cm。脚部に穿孔はないがこれに類似する脚付壺は、

石上・豊田古墳群(天理市)のホリノヲ5号墳⁵⁾や女谷・荒坂横穴群(八幡市)の荒坂B支群5号横穴⁶⁾で出土している。3は須恵器杯蓋である。丸みを帯びた形態で、天井部と体部の稜はない。内外面は回転ナデで、天井部外面はヘラ切りののち粗いナデを施し、ヘラケズリは省略している。口縁部内面にはやや深い沈線を巡らせ、端部を丸くおさめている。口径13.5cm、器高4.3cm。4は須恵器提瓶である。口縁部及び把手を欠失するが、意図的に打ち欠いている可能性が考えられる。頸部には粗い回転ナデを施し、粘土紐を巻き上げた痕跡がみられる。体部外面にはカキメ、内面にはナデを施す。また外面には自然釉及びヘラ記号と思われる線刻と、焼成時に別の土器と融着した痕跡が認められる。把手の付け根のやや下に自然釉が付着していない楕円形の痕跡があり、把手の先端が体部付近までであったと思われる。残存高16.9cm。

女室内から出土した須恵器杯蓋は、形態・法量・製作技法から、田辺福年のTK209型式に相当し⁷⁾、他の出土土器とも明確な時期差がみられないことから、これらの土器はおおよそ6世紀末〜7世紀初頭に位置づけられる。

なお、表土から飛鳥〜奈良時代頃の土師器杯の細片1点が出土しており、さらに羨門を閉塞した茶褐色土層からも土師器と須恵器が出土しているが、細片に加えて摩擦が激しく、緻密な時期を特定できない。

金属製品 5〜7は耳環である。5・6は人骨からやや離れた位置で出土し、7は人骨に混じった状態で出土した。これら耳環は、銅芯に鍍金したものである⁸⁾。5は、長径2.4cm、短径2.2cm、厚さ約0.5cm。破損部分が多いが、内側面に極わずかに鍍金が残る。6は、径2.2cm、厚さ約0.4cmで内外の側面にわずかに鍍金が残る。7は、径2.3cm、厚さ約0.5cmで、内外の側面に比較的よく鍍金が残る。8は、人骨B群とともに出土した鹿角装刀子である。基部には木質が残存しており、柄に木質を付けその上に鹿角を装着したとみられる。刀身はほとんどを失い、鬺付近が残るのみである。残存長8.3cm(柄部6.2cm、刀身2.1cm)、基部は幅0.8cm、厚さ0.4cmである。同様の鹿角装刀子は1号横穴からも出土している⁹⁾。

(渡辺和仁)

V 調査所見

発掘調査を行った3号横穴および東に隣接する1号横穴や奈良市北部周辺地域で調査された他の横穴と比較・検討し、得られた所見を以下に記す。

築造年代 3号横穴の女室から出土した土器群は、先述のとおり同時期のものであることから、6世紀末〜7

世紀初頭に位置づけられる。これらの土器と1号横穴の
 玄室から出土した土器には同じ器形の土器がないため比較
 は難しいが、明確な時期差はなく、土器型式からい
 えば同じ時期幅の中に収まっていると判断できる。しかし、
 横穴の主軸が異なっているなどの点からも全く同じ時期
 につくられたとは考えられず、当然のことながら遺棄さ
 れた時期に先後関係はあろう。

前庭南端部で出土した須恵器の壺は、初葬の際から置
 かれていたとは考えがたいので、追葬の際に置かれたも
 のと思われる。遺骸の埋葬に際して、なんらかの祭祀が
 行われたことを示すものであろう。

横穴の規模と埋葬方法 玄室の規模を1号横穴と比べ
 と、高さ、幅員はそれ程の差がないが、全長は3号横
 穴の方が2m以上短い。この差が生じた原因はわからな
 いが、遺体の埋葬方法等の違いによる可能性が考えられ
 る。1号横穴では玄室内に陶棺が据えられていたが、3
 号横穴では陶棺がなく、遺体の埋葬方法に違いがみられ
 るからである。

奈良市北部には歌姫赤井谷横穴群の他にも発掘調査が
 行われている横穴群があり、多くの知見が得られている。
 西大寺赤田町の赤田横穴群¹⁰、山陵町の狐塚横穴群¹¹、
 宝来町の宝来横穴群¹²である。これらの他にも、山陵
 町御陵前、秋篠三和町、敷島町で宅地造成工事などの際
 に陶棺が発見されており、付近に横穴が存在した可能性
 が高い。これらの横穴群の調査成果等から、奈良市北部
 の横穴の特徴のひとつに埋葬施設として玄室内に陶棺を
 据えることが指摘されている¹³。しかし、この3号横穴
 では有機質の棺が用いられたか、あるいは骨のみが埋葬

されていたと考えられ、同じ横穴群内だけでなく、周辺
 の例とも埋葬方法が異なっている。加えて、本来つな
 がっているべき骨が繋がっていないことや、数体分の骨
 が1箇所にまとめられていることから、骨が2次的に動
 かされていることは確実である。この点については、横
 穴内で骨化した後、追葬の際に骨を置き直した場合と、
 どこか別の場所に一度葬られて、遺体が骨化してから改
 めてこの3号横穴に埋葬(改葬)¹⁴している場合とが
 考えられるが、人骨の出土状況からは改葬の可能性が高
 いようである¹⁵。

遺体の改葬 前庭から漢門の土層観察結果から追葬が
 あったことは先述の通りであるが、初葬、追葬ともに別
 の場所からの改葬であったとみられる。ただし、玄室へ
 の埋葬の回数が2度であったのか、それ以上であった
 のかは土層観察だけでは特定することができない。埋葬の
 回数と人骨の出土が4箇所(玄室内3箇所、羨道1箇所)
 でみられた点とを、どのように対応させるかという問題
 に関しては、玄室の人骨群・土器と羨道のそれらとでは
 前者が先に埋葬されたもので、後者を追葬と理解するこ
 とはできよう。しかし、これらが何度の埋葬が行われた
 結果であるのか、玄室内の3箇所の先後関係を含めて明
 らかではない。

ところで、横穴で改葬を確認した例は奈良県内で初め
 てであり、改葬が行われた理由もわからない。改葬を
 火葬への過渡的な埋葬方法と位置づける考えもある¹⁶。
 1号横穴と3号横穴との相違点として、出土人骨から知
 られる被葬者の年齢層が、1号横穴が成年とみられるの
 に対し、3号横穴が子供もしくは若年層と異なる点にこ
 こでは留意しておきたい。

これと類似する埋葬方法をとっている横穴として、奈
 良山丘陵の北約20kmの場所にある京都府八幡市の女谷・
 荒坂横穴群の例があげられる。この横穴群では52基の
 横穴が調査され、人骨が残る横穴が13基あった。その
 内訳は、単数の人骨が出土した横穴5基、複数の人骨
 が出土した横穴8基である。これらの人骨は、出土状況
 からみて「解剖学的な位置を身体全体の各骨に保ってい
 るような人骨は全く検出されていない」ことから「横穴
 内に遺骸を納め置いて、そのまま骨化したママのものは、
 全く認められない」と報告されており¹⁷、人骨が意図的
 に動かされていたのは間違いない。この骨化が横穴内
 で行われたのか、横穴外で行われたのかの特定は困難とさ
 れているものの、細かな骨まで出土しているなどの点か
 ら横穴内で骨化した可能性が高いと考えられている。し
 かし、赤井谷3号横穴に関しては骨の残存状態が非常に
 悪く、どこで骨化されたのかを特定することはできない。



奈良市北部横穴位置図 (1/30,000)

南山城地域との関連性 奈良県内では龍王山横穴群(天理市)で羨門の閉塞に礫を用いた例がみられるが¹⁷⁾、奈良市北部地域の横穴は工事などの際に発見され、部分的に破壊されている例が多いものの、土のみで閉塞している例が多いようである。羨門の閉塞を土のみで行う点も女谷・荒坂横穴群との共通点としてあげることができる。併せて、骨化の過程が異なる可能性はあるが、骨が動かされているという点に限れば、両者には共通性が認められよう。

一方、異なる点としては、陶棺の有無という違いがあげられるが、その理由はわからない。

歌姫赤井谷横穴群と女谷・荒坂横穴群は、奈良山丘陵をはさんで近い位置関係にある。南山城地域と大和北部地域の佐紀一帯の横穴とは共通の特徴がみられることは既に指摘されており¹⁸⁾、女谷・荒坂横穴群に近い狐谷横穴群(八幡市)¹⁹⁾や瀬切横穴群(京田辺市)²⁰⁾でも同じような埋葬方法の事例がみられる。横穴の形態や埋葬方法などの点で奈良市北部地域と南山城地域との関係を考える必要があろう。

小結 以上、3号横穴の調査成果をいくつかの点にまとめて述べた。この歌姫赤井谷の地は、横穴を築造するのに適しているとはいえ脆弱な地質の地盤である。そうした場所に横穴群をつくり、埋葬していることを勘案すると、被葬者像としてはこの土地との結びつきが強かった集団であることが想像される。

調査終了後、3号横穴は土のうを充填して埋め戻した。先述したように、現地には横穴と思われる開口した穴がまだ残っており、未確認の横穴がさらに存在する可能性が高い。今後、地中レーダーなど物理的な探査を行えば、新たな知見が得られるものと思われる。

(池田裕英・渡辺和仁)

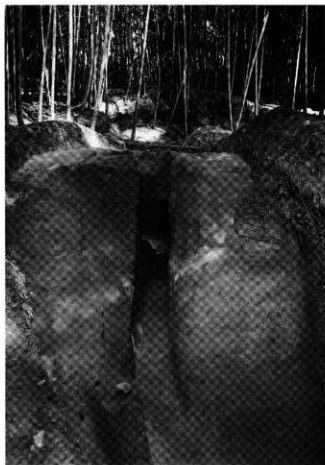
[付記]

発掘調査および遺物整理には阿河奈穂子・新井芳治・伊藤沈・井端邦智・植村明男・大江克己・加藤健吾・兼志拓也・金原裕美子・川嶋佑佐・喜多明夏・小菅未米・佐治健一・神野 悠・鈴木宣雄・田中拓史・田邊忠理香・田原みほり・寺本修人・中井春香・永井香好・中嶋智子・西岡 健・西森啓潤・几下義雄・樋口雄也・藤岡温子・山崎香織・山下祥太・綿谷由紀乃・渡辺和仁・渡辺丈士・渡部由利恵(五十音順)の参加があった。

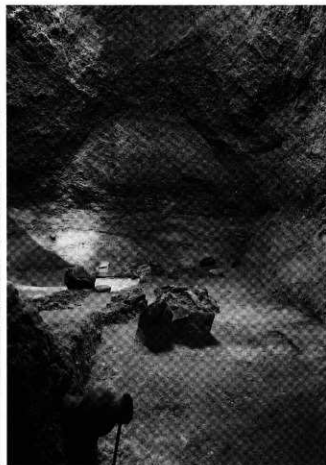
また、発掘調査に際しては、酒井龍一、白石太一郎、西山要一、水野正好(奈良大学)、片山一道(京都大学)、金原正明(奈良教育大学)、和田晴吾(立命館大学)の各氏から御教示をいただいた(所属は調査当時のもの)。

本報告で使用した遺構の写真は牛島茂氏(独立行政法人文化財研究所奈良文化財研究所)の撮影である。

- 奈良県教育委員会「5 奈良市歌姫町 横穴」『奈良県史跡名勝天然記念物調査抄録第12輯』1959 および、奈良市史編集委員会『奈良市史考古編』奈良市 1968
- 森下浩行「土師青瓦甲形陶棺小塚一北大和・南山城を中心に」『奈良市埋蔵文化財調査センター紀要1993』奈良市教育委員会 1994
- 金井厚良「吉見穴横穴群の研究」1975
- 人谷については、京都大学大学院理学研究科・片山一道教授のご教示による。
- 奈良県立橿原考古学研究所「天理市石上・豊田古墳群1」(奈良県文化財調査報告書第20集) 奈良県教育委員会 1975
ネリノヲ5号墳から出土した土師器白倉系は、玄門部から出土しており、他の遺物の出土状況と合わせて葬送儀礼に用いられたものであることが指摘されている。
- (財)京都府埋蔵文化財調査研究センター「女谷・荒坂横穴群」[京都府遺跡調査報告書 第34冊] 2004
5号横穴から出土した土師器脚付土壺は3号横穴と同様に玄門付近から出土している。
- 田辺昭三「陶器古案地群1」平安学調査考古学クラブ 1966
田辺昭三「東宮部大塚」角川書店 1981、小森俊寛「IV 陶器(陶器山・高森寺・榎・光明池地区)」『7世紀の土器(近畿西側編)』古代の土器研究会 1998
- 奈良大学文学部文化財学保存科学研究室で材質分析をした結果、全ての耳環から約93%の銅を抽出した結果による。
- 熊鷹註1) 文脈。1号横穴出土の鹿角片刀子は、基部と刀身部との比率が約1:2である。ほぼ縄文時代と考えられる3号横穴出土の刀子も同比率の長さであったとすれば、基部長6.2cmから刀身部長は約12cm程度となる。
- 奈良市教育委員会「30、赤田横穴群の調査」『奈良市埋蔵文化財調査報告書昭和58年度』1983
- 奈良市教育委員会「2、山腹町狐塚横穴群の調査」『奈良市埋蔵文化財調査報告書昭和59年度』1984
- 奈良県立橿原考古学研究所「奈良市北末横穴群発掘調査報告書」『奈良県遺跡調査報告書1991年度(第1分冊)』1992
- 米川仁一「大和横穴考」『国学院大学考古学資料館紀要第21輯』2005
- 「改葬」の用語については「いったん埋葬した遺体を後日とりだし、あたらしい墓所に埋葬すること」(水野清一・小林行雄編『四庫 考古学辞典』福元社 1959)に従う。
- 人谷の出土状況を見ていただいた片山先生からのご教示による。
- 河上邦彦「終末期古墳における改葬墓」「人谷の終末期古墳」学生社 2005
- 奈良県立橿原考古学研究所「飯干山古墳群」(奈良県史跡名勝天然記念物調査報告書第68冊) 奈良県教育委員会 1993
- 北田勝広「畿内横穴穴の特徵」『古文化誌』22 九州古文化研究会 1990
- (財)京都府埋蔵文化財調査研究センター「1、狐谷横穴群」[京都府遺跡調査報告書第5冊] 1982
- 田辺昭三「奈良市教育委員会「発掘古墳調査報告書」[田辺埋蔵文化財調査報告書第11集] 1989



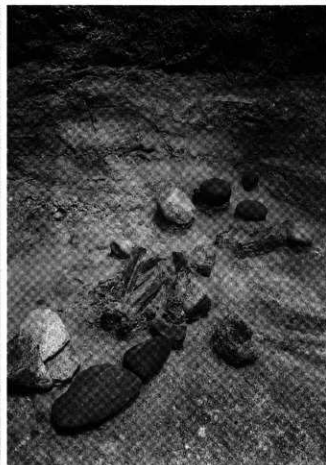
【左上】3号横穴全景（南から）



【右上】玄室内全景（南から）



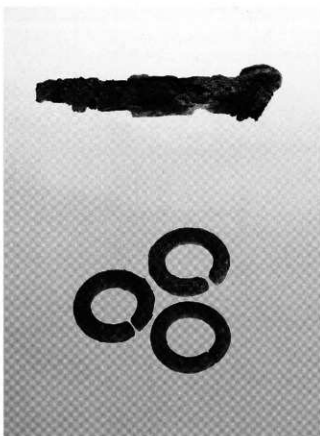
【左下】玄室内全景（北から）



【右下】人骨出土状況（A群）



〔左下〕出土土器



〔右下〕出土金属製品

〔上〕人骨出土状況全景（南から）

24. 古市城谷遺跡・古市城跡の調査 第4・5次

事業名	調査回数	届出者名	調査地	調査期間	調査面積	調査担当者
古市公園整備事業	FJ-4	奈良市長	古市町98-1他	平成16年2月4日～3月8日	330㎡	大塚淳司
	FJ-5			平成17年7月11日～11月10日	1,440㎡	山前智敬

I はじめに

調査地周辺は、室町時代の古市氏の居城跡である古市城跡として知られており、過去3回の調査が行われている。本調査地の約170m北にある東市小学校の運動場と約50m南の台地上で行った市FJ第1・2次調査（昭和55年度）では、15～16世紀の古市城に伴う城郭遺構と14世紀末～16世紀前半の中世墓地を、市FJ第3次調査（平成12年度）では、15～16世紀に埋没する谷地形をそれぞれ検出している。

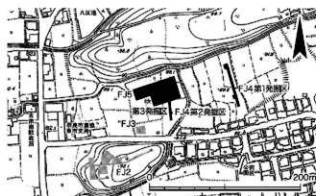
調査地の地形は、東から西へ延びる二つの丘陵に挟まれた緩斜面地で、現状は東から西に向かって下る棚状の水田となっている。この緩斜面地のほぼ中央を藤原川の支流が縦断しているが、この河川が古市城の濠としての機能をもっていた可能性が考えられている。

事業地の範囲は、この緩斜面地約13,400㎡が対象で、平成15年度にFJ第4次調査として遺構の性格や範囲、旧地形を明らかにすることを目的として、河川の東（第1発掘区）と西（第2発掘区）に発掘区をそれぞれ設けて試掘調査を行った。その結果、両発掘区ともに古墳時代後期の掘立柱建物・柱列を、第2発掘区ではさらに土坑を検出した。遺物包含層から16世紀の瓦質土器が数点出土したが、古市城跡に関連する遺構は確認できなかった。

この調査成果を受けて、平成17年度にFJ第5次調査として河川の西側の切土される部分の調査を、東と西の2回にわけて行った（第3発掘区）。なお、古墳時代の集落跡を新たに発見したので字名から古市城谷遺跡と命名し、奈良県教育委員会に埋蔵文化財包蔵地の異動届を提出した。

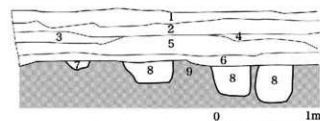
II 基本層序

基本層序を第1発掘区から順にみていくと、第1発掘区は概して水田造成時の削平が著しく、北半では、黒灰色砂質シルト（耕土）、橙灰色砂質シルト（床土）、橙茶灰色砂質シルト、淡茶灰白色砂質シルト、灰白色砂質シルトと続き地表下約0.5mで青灰色粘土（礫混）または青白色シルト質極細砂の地山にいたる。南半では黒灰色砂質シルト（耕土）、橙灰色砂質シルト（床土）、淡茶灰白色砂質シルトと続き、地表下約0.4mで青白色シルト質極細砂（礫多数含）または青白色シルトの地山にいたる。地山上面の標高は北では89.6～89.8m、南では



FJ 第4・5次調査 発掘区位置図 1/5,000

NS ————— -149.675 ————— SW
L.H:88.5m



1. 黒色土（耕土）
2. 黄灰色土（床土）
3. 黄色砂質土
4. 茶灰色粘質土（礫混）
5. 灰黄色粘質土
6. 灰黄色粘質土（遺物包含層）
7. 淡茶灰色粘質土（赤銅器埋土）
8. 高灰褐色粘質土（柱穴埋土）
9. 黄灰色粘質土（塚山）

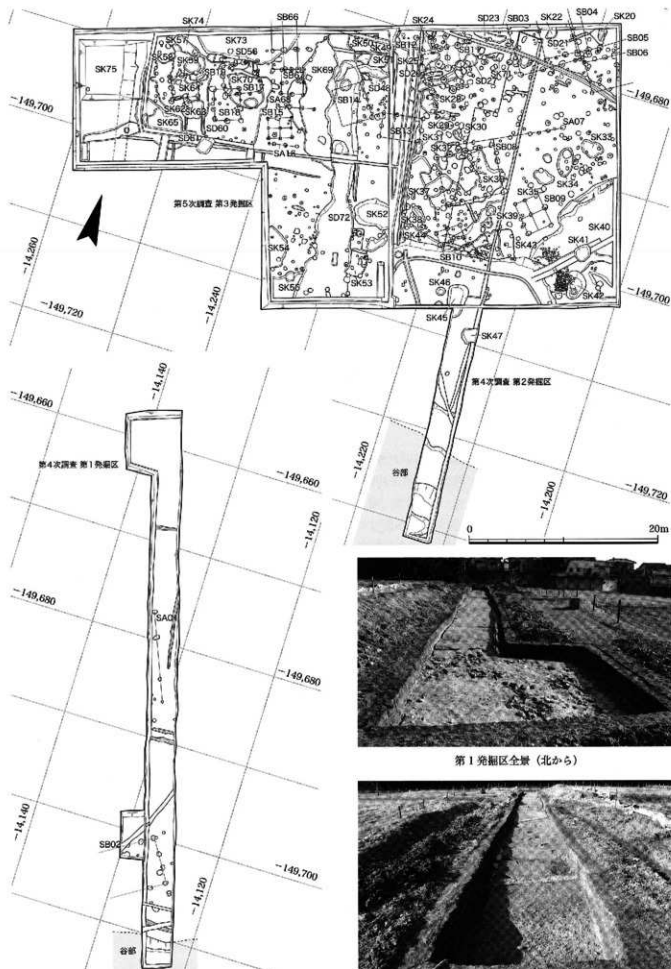
FJ 第5次調査 第3発掘区東端（北端）土層図（1/40）

89.3～89.4mである。

第2発掘区南半では黒灰色砂質シルト（耕土）直下で青灰色礫混シルトまたは灰色砂礫の地山にいたる。地山上面の標高は概ね86.3mである。

第3発掘区北東隅では、黒色土（耕土）、黄灰色土（床土）、黄色砂質土、灰黄色粘質土、灰褐色粘質土（遺物包含層）と続き、地表下約0.6mで黄灰色粘土の地山にいたる。南西隅では、造成土、黒色土（耕土）、濁黄色粘土（床土）、橙灰色粘土、灰褐色粘土（近世遺物包含層）と続き、地表下約1.2mで茶灰色砂礫の地山にいたる。地山上面の標高は北東では概ね87.5m、南東では概ね86.3mである。発掘区の東西のほぼ中央付近に水田の段差があり、西側が0.2～0.5m低い。

いずれの発掘区も北または北東の遺構の残存具合がよく、南や西に向かうほど水田造成による遺構の削平が著しい。遺構が存する面は地山上面で、遺構検出は、いずれも地山上面で行った。



FJ 第4・5次調査 発掘区透視平面図 (1/400)

第1発掘区全景 (北から)

第1発掘区全景 (南から)

III 検出遺構

古墳時代の掘立柱建物16棟（S B02～06・08～15・17～19）、掘立柱列3条（S A01・07・16）、土坑38基（S K20・22・24・25・28～47・49～55・57～59・62～65）、溝8条（S D21・23・26・27・48・56・60・61）、室町時代の掘立柱建物2棟（S B66・67）、掘立柱列1条（S A68）、土坑2基（S K69・70）、江戸時代の土坑3基（S K71・73～75）、溝1条（S D72）がある。各遺構の概要は一覧表にまとめた通りである。

A 古墳時代の遺構

掘立柱建物・柱列 第1発掘区では緩斜面地の南北の中央から谷付近に、第2・3発掘区ではすぐ北の丘陵寄りから緩斜面地の中央付近の、緩斜面地の中でも標高が高い場所に集中している。

掘立柱建物は国土方眼方位の北に対して西に5°～40°振れる。棟方向は、調査区外へ延びるために構造を確認できない6棟を除くと、東西棟が7棟、南北棟3棟、規模は桁行と梁行が、2間×2間（総柱建物含む）、3間×2間、3間×3間、4間×3間の規模が確認できた。各々の棟数は2間×2間から順に、4棟、3棟、1棟、1棟である。桁行・梁行ともに2～3間の建物が多く、この規模の掘立柱建物が集落の主体を占めていたと思われる。

掘立柱列は国土方眼方位の西に対して南に13°～25°振れる。方向は、東西2条、南北1条である。

いくつかの柱穴から遺物が出土しており、その出土土器からみて、5世紀後半～6世紀中頃とみられる。

土坑・溝 第2・3発掘区で検出した。発掘区一帯に広がるが、谷付近には少なく、大きさや深さについては様でない。

いくつかの土坑から遺物が出土しており、その出土土器からみて、5世紀末～6世紀中頃とみられる。

掘立柱建物・柱列、土坑、溝の構築順序は、遺構の重複関係から、以下の通りである。

S B03はS B04・06、S K20より古く、S B05よりも新しい。S D21・S K22はS B04・06・S K20よりも新しいことがわかる。S B05から6世紀前半の、S B03・06・S K20から6世紀中頃の須恵器が出土した。S B03はS B05の建替であると思われる。

S B08はS A07より古く、S K32・36よりも新しいことがわかる。S K32・36・S B08から6世紀中頃の須恵器が出土した。

S K43はS K44よりも古く、S B10よりも新しいことがわかる。S B10・S K43から6世紀中頃の須恵器が出土した。

S B12はS B11よりも古く、S K24よりも新しい。S K25・S D27はS B11よりも新しいことがわかる。S K24・25、S D27から6世紀中頃の須恵器が出土した。

S B13はS K31よりも古いことがわかる。時期がわかる遺物の出土はない。

S B17はS B18より古いことがわかる。S B18から6世紀中頃の須恵器が出土した。

S K57・58はS K64より古く、S B19・S K62より新しい。S K59・63はS D60・61より古く、S K64より新しいことがわかる。S K59・63・64・S D61から6世紀中頃の須恵器が出土した。

S K37はS K36・38より古いことがわかる。いずれも6世紀中頃の須恵器が出土した。

S K41・42はS K40より古いことがわかる。いずれも6世紀中頃の須恵器が出土した。なお、S K40から土師質焼成須恵器、須恵器器台が、S K42から子持器台が出土した。

B 室町時代の遺構

第3発掘区で確認した。発掘区の西半の一部分にある。すぐ北の丘陵寄りの、緩斜面地中でも標高が高い場所に集中している。

掘立柱建物は2棟ともに国土方眼方位の北に対して西に約17°振れる。棟方向は南北棟1棟で、もう1棟は調査区外に延びるため構造は確認できない。

掘立柱列は国土方眼方位の西に対して南に約23°振れる。方向は東西1条である。

遺構の重複関係からS B67・S A68はS B66より古く、S K69より新しいことがわかる。S K69から16世紀前半～中頃の土師器皿、信楽産陶器鉢が出土した。

C 江戸時代の遺構

第3発掘区で新たに確認した。S K71は発掘区の東にあるが、それ以外の遺構は発掘区の西半に集中している。

S D72は南北方向の素掘溝である。第1発掘区と第2・3発掘区の間を現在流れている藤原川の支流が、江戸時代はこの溝が支流の機能を有していた可能性もあろう。S K75に関しては、堆積状況からみて池か沼の可能性が高いと考える。

そのほかに第1・2発掘区の南で時期不明の谷地形の一部を検出した。第2発掘区では、埋土はいずれも水成堆積によって形成され、最下層の灰白色砂礫層から古墳時代後期の土器が出土した。最深部の地山上面の標高は概ね85.5mである。第1発掘区でも青灰色砂質シルト等の水成堆積によって埋まるが、出土遺物は、ない。最深部の地山上面の標高は概ね88.9mである。谷底は東から西に向かって低くなる。（山前智敬）

F J 第4・5次調査 検出遺構一覧表(土坑・溝①)

遺構番号	掘形		主な出土遺物	備考(単位はm)
	平面形	平面規模 m		
S K 20	不整形	東西約1.6× 南北約2.0	須恵器杯身・杯蓋、土師器焼・壺	古墳時代後期前半～中頃(MT15～TK10)
S D 21	東西溝	幅約0.3、 長さ2.2	土師器煮沸具・器種不明	SB05より新しい、古墳時代後期?
S K 22	楕円形	東西約1.0× 南北約1.2	約0.1 須恵器壺、土師器壺	古墳時代後期?
S D 23	東西溝	幅約0.7、 長さ0.9以上	約0.1 土師器壺種不明	古墳時代?
S K 24	不整形	東西1.2以上× 南北2.0以上	約0.3 須恵器杯身・杯蓋・壺・高杯種不明、土師器壺?・壺・焼・器種不明	SK25、SB11-12より新しい、古墳時代中期末～後期中頃(TK47～TK10)
S K 25	不整形	東西2.0以上× 南北2.6以上	約0.1 須恵器杯蓋、土師器器種不明	SB11より新しい、古墳時代後期前半～中頃(MT15～TK10)
S D 26	東西溝	幅約0.4、 長さ2.2	約0.1 須恵器器種不明、土師器煮沸具・壺・器種不明	古墳時代か?
S D 27	東西溝	幅0.6～1.0、 長さ7.0以上	約0.1 須恵器杯身・杯蓋・壺・壺?、土師器焼・煮沸具・壺・器種不明	SB11より新しい、古墳時代後期中頃(TK10)
S K 28	不整形	東西約1.8× 南北約2.2	約0.2 須恵器杯蓋・壺・壺?・器種不明、土師器焼・器種不明	古墳時代後期中頃(TK10)
S K 29	楕円形	東西約1.6× 南北約0.8	約0.2 須恵器杯、土師器焼・器種不明	古墳時代後期?
S K 30	不整形	東西約0.8× 南北約1.0	約0.05 須恵器杯・高杯、土師器壺	古墳時代後期中頃(TK10)
S K 31	楕円形	東西約0.8× 南北約0.4	約0.1 須恵器壺、土師器器種不明	古墳時代後期?、SB13より新しい
S K 32	楕円形	東西約1.7× 南北約2.7	約0.3 須恵器杯蓋、土師器壺	SB08より古い、古墳時代後期中頃(TK10)
S K 33	不整形	東西約2.5× 南北約1.8	約0.1 須恵器杯・高杯・壺・器種不明、土師器高杯・焼・器種不明	古墳時代後期?
S K 34	楕円形	東西約1.6× 南北約3.2	約0.1 須恵器杯・壺・器種不明、土師器壺・器種不明	古墳時代後期?
S K 35	楕円形	東西約0.8× 南北約0.4	約0.1 土師器焼・器種不明	古墳時代後期?
S K 36	不整形	東西6.0以上× 南北1.6～5.8	約0.1 須恵器杯身・杯蓋・高杯・壺・壺?、土師器煮沸具・器種不明	SK37より新しく、SB08より古い、古墳時代後期中頃(TK10)
S K 37	不整形	東西2.6以上× 南北5.0以上	約0.1 須恵器杯身・杯蓋・壺・壺?、土師器杯・高杯・煮沸具・器種不明	SK36より古い、古墳時代中期末～後期中頃(TK47～TK10)
S K 38	楕円形	東西約1.2× 南北約0.8	約0.3 須恵器杯身・壺・高杯・壺・壺?、土師器壺・器種不明	古墳時代後期前半～中頃(MT15～TK10)
S K 39	隅丸方形	東西約0.9× 南北約1.0	約0.3 土師器器種不明	古墳時代?
S K 40	不整形	東西9.6以上× 南北14.2以上	約0.3 須恵器杯身・杯蓋・高杯・壺・壺?・器・瓶・胎、土師器高杯・焼・把手付鉢・瓶・壺・壺?・煮沸具・土師器焼成須恵器、焼種、不明種、サマカイト割片	SK41・42より新しい、古墳時代中期末～後期中頃(TK23～TK10)
S K 41	楕円形	東西約1.7× 南北約12.0	約0.4 須恵器杯身・壺・壺?、土師器焼・煮沸具・器種不明	古墳時代後期中頃(TK10)
S K 42	楕円形	東西約1.8× 南北約3.0	約0.7 須恵器杯身・杯蓋・高杯・壺・壺?・手持高台・壺・器種不明、土師器高杯・焼・煮沸具・器種不明	古墳時代中期末～後期中頃(TK47～TK10)
S K 43	不整形	東西4.0以上× 南北3.2以上	約0.2 須恵器杯身・杯蓋・壺?・器種不明、土師器高杯・壺・焼・把手付鉢	古墳時代中期末～後期中頃(TK47～TK10)、北側の縁辺部に幅0.3～0.4、長さ約1.4、深さ約0.1の方形の溝ち込みあり
S K 44	不整形	東西6.0以上× 南北1.5以上	約0.2 須恵器杯・壺、土師器高杯・器種不明	S K 43より新しい、古墳時代後期?
S K 45	不整形	東西約2.0× 南北約3.5	約0.5 須恵器杯身・壺・器種不明、土師器高杯・壺・器種不明	古墳時代後期前半～中頃(MT15～TK10)
S K 46	楕円形	東西約0.9× 南北約0.8	約0.2 須恵器壺	古墳時代後期?
S K 47	不整形	東西1.4以上× 南北約1.4	約0.3 須恵器杯身・杯蓋・壺	古墳時代後期前半～中頃(MT15～TK10)
S D 48	東西溝	幅約1.2、 長さ8.0以上	約0.4 須恵器杯身・杯蓋・壺?・器種不明、土師器焼・器種不明	古墳時代中期末～後期中頃(TK23～TK10)、平面形は逆L字状に曲がる
S K 49	不整形	東西0.6以上× 南北0.2以上	約0.1 土師器壺・器種不明	古墳時代後期?
S K 50	不整形	東西0.6以上× 南北0.2以上	約0.05 須恵器杯身	古墳時代後期中頃(TK10)
S K 51	不整形	東西1.2× 南北1.0以上	約0.1 土師器壺・器種不明	SD48より古い、古墳時代後期?
S K 52	楕円形	東西3.8以上× 南北4.0	約0.3 土師器器種不明	古墳時代?
S K 53	不整形	東西1.8以上× 南北5.0以上	約0.1 土師器壺・器種不明	古墳時代後期?
S K 54	不整形	東西2.2以上× 南北4.0以上	約0.1 須恵器器種不明、土師器高杯・壺・器種不明	古墳時代後期?
S K 55	隅丸方形	東西南北とも 約1.0	約0.2 須恵器杯身	古墳時代後期中頃(TK10)
S D 56	南北溝	幅0.3～0.5、 長さ1.2以上	約0.1 須恵器、土師器器種不明	SK73-74より古い、古墳時代?
S K 57	楕円形	東西0.5以上× 南北0.4以上	約0.1 須恵器杯身、土師器器種不明	SK59-74より古い、古墳時代後期?
S K 58	隅丸方形	東西南北とも 約0.5	約0.1 土師器器種不明	SK59-74より古い、古墳時代後期?
S K 59	不整形	東西3.1、 南北2.1～3.1	約0.1 須恵器杯身・杯蓋・高杯・壺・壺?・器種不明、土師器高杯・焼・煮沸具・器種不明	SK75-58-64、SB19より新しく、SK74より古い、古墳時代後期前半～中頃(MT15～TK10)

F J 第 4・5 次調査 検出遺構一覧表 (土坑・溝②)

遺構番号	平面形状	掘形		主な出土遺物	備考 (単位はm)
		平均規模 m	深さ m		
S D60	南北溝	幅約0.3、長さ6.6	約0.1	須恵器杯・高杯・甕、土師器器種不明	SK63-64より新しく、SK74より古い、古墳時代?、残存長2.5
S D61	南北溝	幅約0.2、長さ5.5以上	約0.05	須恵器杯身・杯蓋・甕・甗?・土師器高杯・甕・器種不明	SK63-64より新しく、SK74より古い、古墳時代後期前半～中頃 (MT15～TK10)、残存長1.5
S K62	南円形	東西約0.7×南北約0.8	約0.1	土師器器種不明	SK63-64・74より古い、古墳時代後期?
S K63	隅丸方形	東西約2.1×南北約1.9	約0.1	須恵器杯身・杯蓋・甕・甗・器種不明、土師器高杯・甕・杯・煮沸具・器種不明	SK62-64より新しく、SD60-61、SK74より古い、古墳時代後期前半～中頃 (MT15～TK10)
S K64	不整形	東西約5.3×南北2.2～4.2	0.1～0.2	須恵器杯身・杯蓋・甕・甗・器種不明、土師器高杯・甕・杯・煮沸具・器種不明	SK62、SB19より新しく、SK59-63・74、SD60-61より古い、古墳時代後期前半～中頃 (MT15～TK10)
S K65	不整形	東西約5.2×南北2.2以上	約0.3	須恵器甕・甗?・器種不明、土師器高杯・甕・器種不明	SK74・75より古い、古墳時代後期?
S K69	不整形	東西2.8以上×南北12.0	0.1～0.3	須恵器杯身・甕・甗?・土師器甕・杯・甗、瓦質土器・陶器附屬 (供養)	SB67、SA68、SD72より古い、室町時代 (16C 前半～中頃)
S K70	不整形	東西2.1～3.4×南北2.1	0.1～0.25	須恵器甕・甗?・土師器皿、甗	室町時代 (16C)
S K71	隅丸方形	東西約0.7×南北約0.9	約0.2	肥前系磁器	江戸時代後期
S D72	南北溝	幅2.0～5.2、長さ29.0以上	約0.3	須恵器杯身・杯蓋・甕・甗・土師器高杯・甕・杯・煮沸具・甗・甕、瓦質土器、肥前系陶磁器 (唐津)、西磁、風子磁、丸平瓦	SD48、SK53-69、SB14より新しい、江戸時代後期
S K73		東西9.0以上×南北4.2以上	約0.3	須恵器杯身・杯蓋・高杯・甕?・器種不明、土師器高杯・煮沸具・甗・甕・器種不明、瓦質土器、青磁・北磁系磁器、軒瓦 (巴文?)、瓦水遣	SD56、SB17-66より新しい、江戸時代後期
S K74	不整形	東西13.0以上×南北11.6以上	約0.2	須恵器杯身・杯蓋・高杯・甕・甗・土師器高杯・甕・杯・煮沸具・甗・甕、瓦質土器、瓦器、陶器附屬 (甕) (美濃系)、肥前系磁器	SB17-18、SK57～59-63～65、SD61-62より新しく、SK75より古い、江戸時代後期
S K75	不整形	東西20.0以上×南北15.0以上	0.4～1.3	須恵器杯身・杯蓋・高杯・甕・甗・土師器皿・甗・甕・不明、瓦質土器、肥前系磁器・丸平瓦、軒瓦 (巴文?)、鉄 (鏡文不明)、不明磁、松かさ、鉄釘、チャート判片	SK65-74より新しい、江戸時代後期、埋蔵状態から地か沼であると思われる、東側に比べて西側が深い

※煮沸具は甕か甗か偏か不明なもの

F J 第 4・5 次調査 検出遺構一覧表 (土坑・溝②)

遺構番号	検方向	掘形	柱間寸法 m		備考 (深さはm)	年代	
			掘行	築行			
SA01	南北	3	9.6	2.7-4.5-2.4	北で西に約20°、柱穴深さ約0.2、土師器器種不明	古墳時代後期?	
SB02	東西	3×2以上	5.4	1.8等間	北で西に約30°、柱穴深さ0.4～0.5、須恵器杯蓋、土師器器種不明	古墳時代中期後半 (TK23～TK47)	
SB03		3×3以上	6.5	2.4-2.0-2.1	北で西に約32°、柱穴深さ0.2～0.6、須恵器杯身・甕、土師器甕	古墳時代後期前半～中頃 (MT15～TK10)	
SB04		2×1以上	4.8	2.2-2.6	北で西に約30°、柱穴深さ0.2～0.4、須恵器高杯・土師器甕	古墳時代後期?	
SB05		1以上×1以上	1.8	1.8-?	北で西に約32°、SD21より古い、柱穴深さ0.2～0.6、須恵器杯蓋・甕、土師器甕	古墳時代中期末～後期前半 (TK47～MT15)	
SB06		2×1以上	2.4	1.2等間	北で西に約30°、柱穴深さ0.2～0.3、須恵器杯、土師器甕	古墳時代後期以降 (MT15)	
SA07	東西	6	11.4	1.8-1.8-2.0-2.1-2.0-1.7	西で西に約25°、SB08より新しい、柱穴深さ約0.2、須恵器・土師器器種不明	古墳時代後期?	
SB08	東西	4×3	6.2	1.5-1.7-1.5-1.7	北で西に約30°、SK32-36より新しい、柱穴深さ0.2～0.4、須恵器杯・甕・甗、土師器甕	古墳時代後期前半～中頃 (MT15～TK10)	
SB09	南北	2×2	3.5	1.6-1.9	北で西に約40°、惣柱遺物、柱穴深さ0.1～0.3、須恵器杯身・甕、土師器甕・高杯	古墳時代後期以降 (MT15以降)	
SB10		2×1以上	2.7	1.2-1.5	北で西に約31°、SK44より古い、柱穴深さ0.2～0.6、須恵器杯蓋、土師器器種不明	古墳時代後期前半～中頃 (MT15～TK10)	
SB11	東西	2×2	4.1	2.1-2.0	北で西に約32°、SK24-25、SD27より古い、柱穴深さ0.2～0.4m、土師器器種不明	古墳時代後期?	
SB12	南北	3×2	3.5	1.1-2.1-1.1	北で西に約23°、SK24-25より古い、柱穴深さ0.2～0.4、須恵器杯蓋、土師器器種不明	古墳時代後期?	
SB13	東西	3×2	4.2	1.4-1.3-1.5	1.3等間	北で西に約8°、柱穴深さ0.1～0.4、遺物なし	古墳時代後期?
SB14		3×1以上	3.8	1.3-1.3-1.2	1.5-?	北で西に約32°、SD72より古い、柱穴深さ0.1～0.4、須恵器杯身・甕、土師器器種不明、石鏡	古墳時代後期?
SB15	東西	2×2	2.4	1.2等間	北で西に約20°、惣柱遺物、柱穴深さ0.1～0.2、須恵器杯身・甕・甗、土師器甕・器種不明	古墳時代後期中頃 (TK10)	
SA16	東西	2	2.4	1.2等間	西で南に約13°、柱穴深さ0.1～0.3、須恵器・土師器器種不明	古墳時代後期?	
SB17	東西	3×3	3.8	1.3-1.2-1.3	1.0-1.1-1.1	北で西に約23°、SK70-73・74より古い、柱穴深さ0.1～0.3、須恵器杯蓋、土師器器種不明	古墳時代後期?
SB18	南北	3×2	3.3	1.0-1.0-1.3	1.4等間	北で西に約20°、SK70-74より古い、柱穴深さ0.2～0.3、須恵器杯蓋・甕・甗、土師器甕・甗?	古墳時代後期前半～中頃 (MT15～TK10)
SB19	東西	2×2	2.8	1.4等間	1.0-1.4	北で西に約23°、SK59-64・74より古い、柱穴深さ0.1～0.3、須恵器・土師器器種不明、土師器甕・甗・甕	古墳時代後期?
SB66		2×1以上	2.7	1.2-1.5	2.1-?	北で西に約17°、SK73より古く、SB67より新しい惣柱遺物?、柱穴深さ0.2～0.4、土師器器種不明	室町時代
SB67	南北	2×2	2.6	1.3等間	0.9-1.2	北で西に約17°、SB66より古く、SK69より新しい惣柱遺物?、柱穴深さ0.2～0.3、須恵器杯蓋・甕、土師器器種不明、石鏡	室町時代
SA68	東西	3	3.8	1.2-1.2-1.4	北で西に約23°、SK69より新しい、柱穴深さ0.1～0.2、土師器器種不明	室町時代	



第3発掘区全景（空中写真・上が北）



第3発掘区西半全景（北東から）



第3発掘区東半全景（北西から）



第2発掘区全景（北東から）



第2発掘区全景（南東から）

IV 出土遺物

第4次調査から遺物整理箱5箱分、第5次調査から遺物整理箱20箱分の遺物が出土した。遺物には、古墳時代の土師器・須恵器・埴輪、奈良時代の須恵器、室町時代の土師器・瓦質土器・国産陶器（信楽）・丸瓦・平瓦・銭貨（皇宋元寶）、江戸時代の土師器・陶磁器（国産・輸入）・丸瓦・平瓦・軒丸瓦、木製品と時期不明の石鏡、鉄滓がある。

これらの大半を占めるのが、遺構埋土や遺物包含層から出土した古墳時代の土器である。ここでは、SK40・42・43から出土した土器を中心に報告する。なお、須恵器の型式は田辺昭三の編年に準拠する。

A SK40出土土器（1～76）

5世紀後半～6世紀中頃の須恵器・土師器がある。埋土の層序（第1層～第4層）と土器型式の新旧は関連しないため、以下一括して報告する。なお、図示した土器が出土した層位は下記の通りである。

第1層：暗灰色粘質土

2・14・18・21・22・24・29・31・32・41・43・49・50・55・57・59・62・69・70

第2層：濁灰色砂質土

12・13・20・23・26・37・44・51・53・60・66・72・76

第3層：黒灰色粘土

1・3・5・10・11・17・27・33・34・38・39・45・56・58・63・65・71・73・75

第4層：灰色砂礫

6・8・30・64

その他：層をまたいで出土・層位不明

上記以外の番号

右に示す器種構成表は、SK40出土土器の破片を器種別に分類し、その数量を集計したものである。同一個体も含むため、純粋な個体数を表しているとはいえないが、器種別の大まかな出土量を把握することはできよう。

a 須恵器（1～52）

杯蓋・杯身・高杯・壺・壺・瓶・甕・器台がある。

杯蓋（1～16） 1・2は天井部が浅くて体部が長く、天井部と体部の境の稜は鋭い。口縁部は一段低い段をなす。1は口径13.1cm、残存高4.5cm。2は口径12.3cm。3は天井部が深くて口縁部が僅かに外反し、天井部と体部の境の稜はやや鋭い。口縁部は1・2と同様だが、調整は粗い。口径14.2cm。4は天井部がやや深くて体部が短く、天井部と体部の境の稜は鈍い。口径12.4cm、残存高4.6cm。1～4はTK23・同47型式に相当する。

5～16の調整は基本的に粗く、回転ヘラケズリの範

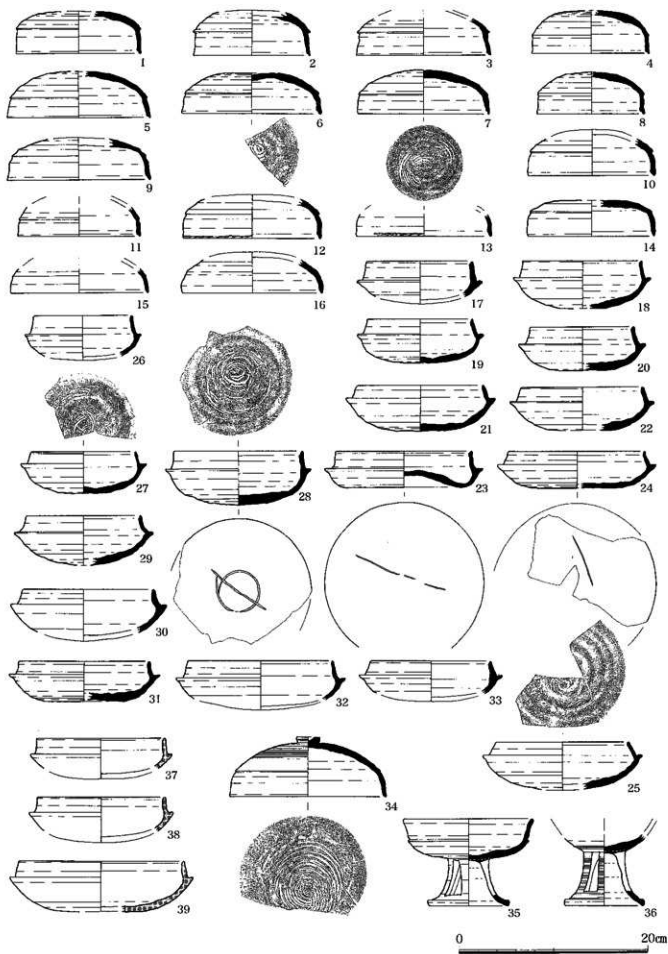
S K 40 出土土器器種構成表

種類	器種・器形	出土点数	出土比率	
杯	杯蓋	197	16.4%	
	杯身	187	15.5%	
	不明	246	20.4%	
小計		630	52.4%	
高杯	有蓋	8	0.7%	
	無蓋	6	0.5%	
	不明	46	3.8%	
小計		60	5%	
須恵器	壺	16	1.3%	
	壺・壺	2	0.2%	
	不明	289	24%	
小計		307	25.5%	
	甕	21	1.7%	
	瓶内	22	1.8%	
	瓶	8	0.7%	
	不明	155	12.9%	
小計		1203	100% (16.4%)	
土師器	甕	386	6.3%	
	把手付鉢	2	0%	
	小計		388	6.3%
	灰濁具	高杯	137	2.2%
		壺	60	1%
		甕	53	0.9%
		瓶	0	0%
		把手	31	0.5%
	不明		1865	30.5%
	小計		2009	32.8%
	蓋?	6	0.1%	
	不明	3581	58.5%	
小計		6121	100% (83.5%)	
上層瓦焼成須恵器		4	(0.1%)	
瓦質土器（室町時代）		2	(0.1%)	
合計		7330	(100%)	

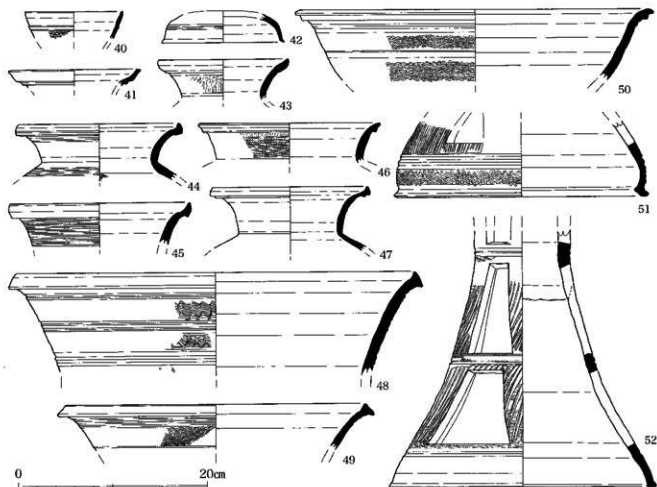
囲は狭い。5～9は大井部がやや深くて体部が短い。口縁部は一段低い段をなすものとなないものがある。天井部と体部の境にある稜は鈍く、5・6はやや顕著に突出し、7～9は突出が小さい。6・7の内面には複数回押圧した同心円スタンプを有す。5は口径15.2cm、残存高4.9cm。6は口径14.6cm、残存高4.3cm。7は口径13.9cm、器高4.7cm。8は口径11.4cm、残存高4.4cm。9は口径15.1cm。10～13は内側へ湾曲する体部をもつと、稜は鈍くて口縁部は一段低い浅い段をなすものとなないものがある。12・13の口縁部外面には工具でナデた痕跡がある。10は口径13.3cm。11は口径12.9cm。12は口径14.5cm。13は口径14.2cm。14・15は、天井部が浅くて扁平で、直線的な短い体部をもつ。稜は鈍い。14は口径13.4cm、残存高3.8cm。15は口径14.6cm。16は体部が短く、天井部と体部の境の稜は不明瞭である。口縁部は丸く、一段低い段をなす。口径14.7cm。5～16はMT15・TK10型式に相当する。

この他、口縁部外面にキザミ目状の調整を有す破片が、2点出土している。

杯身（17～33） 17は立ち上がり部が長く底部はやや浅い。受部は膨らみ、口縁部は一段低い段をなす。口径11.2cm。18～20は立ち上がり部が内傾してやや長く、底部は深い。口縁部は一段低い段をなす。調整



FJ第5次調査 SK40出土土器 (その1・1/4)



F J 第5次調査 SK 40 出土器 (その2・1/4)

はやや粗い。18は口径12.6cm、残存高5.0cm。19は口径11.1cm、残存高4.6cm。20は口径10.9cm、残存高4.6cm。17～20はTK23・同47型式に相当する。

21～25は立ち上がり部が短く扁平な底部をもつ。口縁端部は一段低い段をなすものと丸いものがある。調整は粗く、回転ヘラケズリの範囲は狭い。23は底部が大きく歪む。23・24の外面上には「一」のヘラ記号、25の内面には複数回押圧した同心円スタンプを有す。21は口径13.3cm、残存高4.9cm。22は口径12.8cm、残存高4.6cm。23は口径14.4cm、残存高3.8cm。24は口径14.4cm、残存高3.9cm。25は口径14.1cm。21～25はMT15・TK10型式に相当する。

26は立ち上がり部が長く、底部は丸みをもつ。調整は丁寧で口縁端部は丸い。口径10.4cm。27・28は立ち上がり部がやや短く、底部は丸みをもつ。27の口縁端部は丸く、立ち上がり部外面に1条の浅い沈線がめぐる。内面には、複数回押圧した同心円スタンプを有す。口径11.0cm、残存高4.4cm。28の口縁端部は一段低い段をなす。調整は粗く、回転ヘラケズリの範囲は狭い。内面には複数回押圧した同心円スタンプ、外面上には「○」「一」のヘラ記号を有す。口径13.6cm、残存高5.7cm。26～28はTK23・同47型式に相当する。

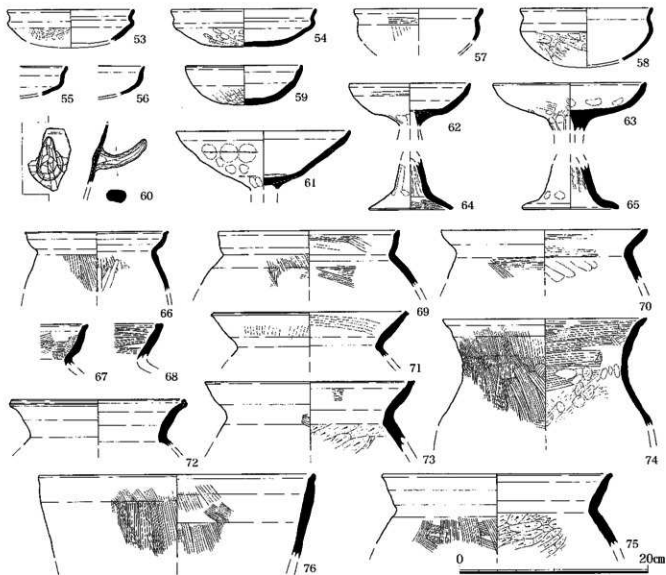
29～31は内傾する短い立ち上がり部をもつもので、29・30は底部が深い。口縁端部は丸く、29は一段低い顕著な段をなす。調整は粗く、回転ヘラケズリの範囲は狭い。29は口径12.1cm、残存高5.2cm。30は口径13.7cm。31は口径13.8cm、残存高4.2cm。32・33も同様な形態だが、口縁端部に内傾面をもつ。33の受部付近の器厚は厚い。32は口径15.4cm、33は口径12.7cm。29～33はMT15・TK10型式に相当する。

これら杯身は、立ち上がり部から受部の形状で、立ち上がり部と受部の境に窪みをもつもの(17～25)と、窪みがなく立ち上がり部から受部へなだらかに屈曲するもの(26～33)に分けることができる。

高杯(34～36) 34は有蓋高杯の蓋。天井部に扁平なつまみがあり、口縁端部はやや外反して丸く、天井部と体部の境の稜は鈍い。外面上にはカキメを施し、内面には複数回押圧した同心円スタンプを有す。口径16.6cm、器高6.3cm。TK10型式に相当する。

35は無蓋高杯。口縁端部は丸くて、杯部の稜は鈍い。脚部は三方に透かしがあり、杯部との間に薄く粘土を充填して、接合する。口径13.6cm、脚部径8.4cm、器高9.2cm。TK47型式に相当する。

36は脚部。脚部と杯部外面上にはカキメ、内面には回



FJ第5次調査 SK40出土土器 (その3・1/4)

転ナデを施す。三方に透かしがあり、接合方法は35と同様である。脚部径8.3cm。MT15型式に相当する。

甕 (40・41) 口縁部。40の口縁端部は丸く、外面に櫛描波状文を施す。小型甕の口縁部の可能性もある。口径10.2cm。41は屈曲してのびるもので、口縁端部に水平な面もつ。口径13.3cm。

甕 (42・43) 42は短頸甕の蓋。天井部が浅く扁平で、口縁端部は大きく外反する。天井部と体部の境には、2条の浅い沈線をもつ。口径13.0cm。43は小型か中型甕の口縁部。外反してのび、口縁端部は丸い。外面にナデ消された波状痕跡がある。口径13.8cm。

甕 (44～49) 44～47は中型甕の口縁部。44・45は外反する口縁部で、端部は丸い。外面は、カキメまたは回転ナデを施す。44は口径17.0cm。45は口径19.1cm。46・47は口縁端部の下に鈍い突線をもつ。46の口縁端部は、外反して丸く、外面にカキメおよび回転ナデを施す。口径19.1cm。47は外傾面をもち端部は上方にむける。口径16.4cm。44～49はMT15・TK10型式に相当する。

48・49は大型甕の口縁部。なだらかに外反し、口縁端部は上下にのびる。突線は鈍く、外面の櫛描波状文も粗い。49の突線は48よりも鈍く、器面に自然軸が付着する。48は口径40.2cm。49は口径32.0cm。48・49はTK47・MT15型式に相当する。

器台 (50～52) 50は鉢部。口縁部は大きく外反して、口縁端部は丸い。突線は鈍く、外面に細かな櫛描波状文を施す。口径37.2cm。TK23型式に相当する。

51・52は脚部。51は台形の透かしをもち、端部は丸く顕著に屈曲し、突線は鈍い。裾外面に粗い櫛描波状文、透かし周辺の外面にタテ方向の粗いヘラ描沈線文を施す。脚部径27.0cm。52は外反しながらのび、裾でやや内側へ湾曲する。端部は水平な面をもち、丸く内外に肥厚する。台形または長方形の透かしを二段以上もち、鈍い突線がめぐる。外面はカキメのち粗い波状のヘラ描沈線文を施し、内面には粘土紐の痕跡がある。脚部径27.9cm。51・52はTK10型式に相当する。

b 土師質焼成須恵器 (37～39)

杯身 焼成が還元焰ではなく酸化焰で、胎土は橙色を呈す。立ち上がり部は直線的で、口縁部は内傾し丸い。調整は内外面に回転ナデを施し、39には外面に回転ヘラケズリが残る。37は口径13.6cm、38は口径13.4cm、39は口径17.4cm、残存高5.3cm。形態・製作技法ともにMT15・TK10型式の須恵器杯身と同じである。

c 上飯器 (53～76)

碗・把手付鉢・高杯・甕・壺?・甌・把手がある。

碗 (53～59) 53～55は底部が浅く、口縁部は顯著に屈曲して外反し、口縁部は丸い。口縁部にヨコナデ、内面にナデを施す。53の外面には粗いナデを施し、54には成形時のユビオサエが残る。53は口径13.4cm、54は口径15.4cm、残存高4.0cm、55は屈曲が弱く、56は口縁部が外反し、口縁部はやや尖る。

57・58は底部が深くて丸く、口縁部が外反し口縁部は丸い。口縁部にヨコナデ、内面にナデを施す。57の外面には何かの工具でナデた痕跡があり、58には粗いヘラケズリを施す。57は口径13.4cm、58は口径13.9cm、59は口縁部が内側へ湾曲し、口縁部は丸くて一段低い段をなす。口縁部はヨコナデ、他はナデを施し、外面に成形時のユビオサエが残る。口径12.2cm、残存高4.2cm。

把手付鉢 (60) 体部と把手部分の破片である。体部の器厚は薄く、内外面に粗いナデを施す。把手は細い角状で、体部との接合面には「I」形の突起をもつ。突起の大きさに合わせて体部の器壁を穿ち、把手を挿入し、内外面に薄く粘土を充填して接合する。

高杯 (61～65) 61～63は杯部。61は底部が深くて、口縁部は直線的にのびる。口縁部は丸く、やや内側へむける。口縁部にヨコナデ、他は粗いナデを施し、ユビオサエや粘土組の痕跡がある。脚部は、杯部と別作して接合する(接合法)。口径18.4cm、残存高6.1cm。

62・63は底部が浅くて、口縁部はやや内側へ湾曲する。口縁部は丸く、63は一段低い段をなす。口縁部にはヨコナデ、他は粗いナデを施す。63にはユビオサエが残る、62には底部中央に粘土を充填した痕跡があり、脚部を成形した後、杯部を成形する(充填法)。62は口径12.8cm、残存高4.5cm、63は口径16.0cm、残存高5.1cm。

64・65は脚部。裾は外反し、内面には粘土のシボリ目がある。端部はヨコナデ、他は粗いナデとユビオサエを施す。64の柱部外面には工具でナデた面があり、裾内面にヨコ方向のハケメを施す。64は脚部径8.6cm、残存高5.6cm、65は脚部径10.1cm、残存高4.9cm。

甕 (66～75) 66は小型甕。口縁部は大きく内湾し、口縁部は外反する。口縁部に内傾面と浅い沈線をもつ。体部外面に斜め方向のハケメ、内面にハケメのちナ

デを施す。口径15.7cm。

67は内湾する口縁部で、口縁部は外反して内傾面をもつ。内面にヨコ方向のハケメがあり、板状工具で成形した後ヨコナデを施す。68は斜め方向にのびる口縁部で、口縁部は水平な面をもち、内外へ肥厚する。内面にヨコ方向のハケメが残る。

69～75は中型～大型甕。69の口縁部はやや内湾し、口縁部は内傾面をもつ。口縁部にヨコナデを施すが、内面に成形時のヨコ・斜め方向のハケメが残る。体部外面にタテ・斜め方向のハケメ、内面にヨコ・斜め方向のハケメを施す。口径19.2cm。70は外反する口縁部で、口縁部はやや丸い。口縁部はヨコナデを施し、69と同様に内面にはヨコ方向のハケメが残る。体部外面にヨコ・斜め方向のハケメ、内面にナデを施す。口径21.8cm。71は直線的に外反する口縁部で、口縁部に外傾面と浅い沈線をもつ。口縁部にヨコナデを施し、内外面に成形時のタテ・ヨコ方向のハケメが残る。口径20.3cm。72は、大きく外反する口縁部で、口縁部は丸くて上方へ屈曲する。形状が須恵器甕の口縁部に類似する。口径18.4cm。73は口縁部でやや内湾し、角張った水平な面をもつ。口縁部にヨコナデを施し、内面にヨコ方向のハケメが弱く残る。体部内面には粗い右立ちのヘラズリを施し、頸部外面に板状工具の痕跡がある。体部外面に煤が付着する。口径22.2cm。74は頸部の屈曲が弱く、口縁部はなだらかに外反し、口縁部はやや尖る。使用痕跡はなく、胎土・調整ともに粗い。口縁部に粗いヨコナデを施し、口縁部から頸部の内外面には、タテ・ヨコ方向の粗いハケメが残る。肩部以下の外面にはタテ・斜め方向のハケメ、内面にはユビオサエのち工具使用ナデを施す。口径21.6cm。75は直線的にのびる口縁部で、口縁部は外反して丸い。体部内面に粗いヘラケズリ、外面にヨコ・斜め方向のハケメを施す。体部外面には煤が付着する。口径24.2cm。

甌 (76) 口縁部。口縁部は外反し、内側に一段低い段をなす。口縁部にヨコナデ、それ以下は内外面ともにタテ・斜め方向のハケメを施す。口径29.2cm。

この他、甕・甌・鍋の破片が多く出土しているが、器種が特定できない。破片の内面にヘラケズリを施すものや複数の調整を施すものが多い。

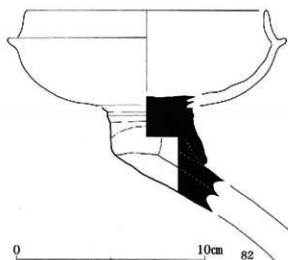
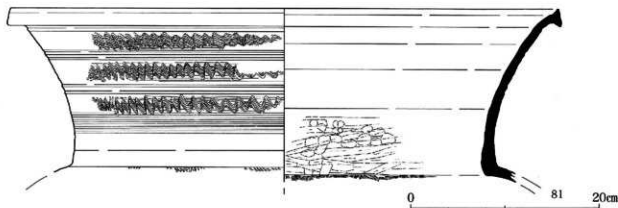
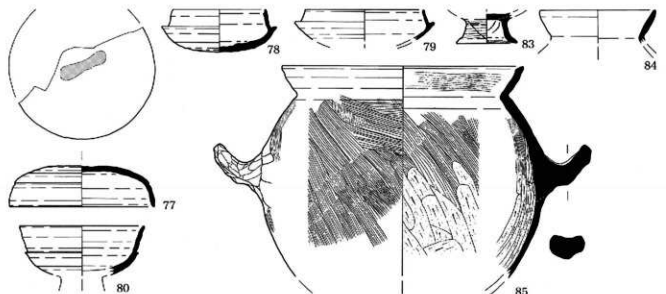
その他、室町時代の瓦質土器が2点あるが、後世の攪乱坑付近から出土しており、混入品と考えられる。

B SK42出土土器 (77～85、写真)

5世紀末～6世紀中頃の須恵器・土師器がある。

a 須恵器 (77～82、写真)

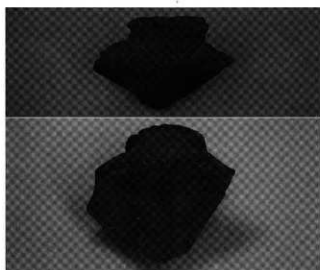
杯蓋・杯身・甕・壺・甌・手持器台がある。



F J 第5次調査 SK 42 出土土器 (1/4・82は1/2)

杯蓋 (77) 天井部が浅く、天井部と体部の境の稜は鈍い。口縁端部はやや外反して丸い。外面には朱が付着する。口径15.3cm、器高4.3cm。TK10型式に相当する。

杯身 (78・79) 78は底部がやや深く、立ち上がり部は内傾する。口縁端部は丸く、一段低い顕著な段をなす。口径9.8cm、残存高4.5cm。79は立ち上がり部が短く、口縁部や受部の端部は丸い。口径12.5cm。78・79はMT15・TK10型式に相当する。



SK 42 出土土器持器台写真

高杯 (80) 無蓋高杯の杯部。口縁部が長く、口縁端部は丸く、突縁はやや鋭い。外面に回転ヘラケズリを施す。口径13.1cm。TK47・MT15型式に相当する。

甕 (81) 大型甕。外反する口縁端部には、上下にのびる外傾面をもつ。外面には鈍い突縁があり、カキメのち櫛描波状文を施す。頸部付近にはユビオサエと粗いナデを施す。肩部外面に平行タタキ、内面に当て具痕跡(青海波文)がある。口径58.1cm。TK47型式に相当する。

子持器台 (82、写真) 杯が付く基底部の破片で、写真上は基底部の正面、写真下は基底部全体の外面である。基底部外面には、太い凸帯がある。杯が付く台部の外面に回転ナデがみられ、低脚高杯の脚部のような中空の台部の可能性がある。凸帯・台部は粘土を粗くナデつけて接合する。凸帯下の器面には回転ナデが残り、一部に自然釉が付着する。残存高6.0cm、幅6.5cm。福岡県前原市(旧糸島郡前原町大字東)出土の子持器台と類似する。

b 土師器 (83~85)

椀・高杯・甕・甔・鍋がある。

高杯 (83) 脚部。柱部外面には何かの工具でナデた痕跡があり、内外面には斜め方向にのびる粘土紐の痕跡がある。脚部径6.3cm。

甕・甔 (84) 小型の甕か甔の口縁部。口縁端部は丸い。口径12.2cm。

鍋 (85) 球形の体部に棒状の把手が付く。口縁部はやや内湾し、口縁端部に内傾面をもつ。口縁部は、板状工具を用いて成形したのちヨコナデを施す。体部外面にはタテ・斜め方向のハケメ、内面は斜め方向のハケメを施した後、左上がりのヘラケズリを施す。把手は、体部内外面にハケメ調整した後挿入し、粘土を内外面に充填して接合する。口径25.6cm。

C S K 43出土土器 (86~97)

5世紀末~6世紀中頃の須恵器・土師器がある。S K 43は、S K 40と同様に埋土の層序(上層・下層)と土器型式の新旧は関連しない。なお、図示した土器が出土した層位は下記の通りである。

上層: 89~94・96~97 下層: 87・88

層をまたいで出土・層位不明: 上記以外の番号

右の表は、S K 43出土土器器種構成表である。数量の集計方法は、S K 40出土土器器種構成表と同様である。

a 須恵器 (86~93)

杯蓋・杯身・甕・甔・甕がある。

杯蓋 (86~91) 86・87は天井部と体部の境の稜は顕著で、膨らみのある口縁端部は一段低い段をなす。外面の回転ヘラケズリの範囲は広い。86は口径13.1cm、器高4.3cm。87は口径13.8cm、残存高5.3cm。88・89は天井部と体部の境の稜は鈍く、口縁端部はやや外反する。88は口径12.9cm。89は口径14.8cm。90は天井部が浅くて体部が長く、天井部と体部の境の稜は鈍い。口縁端部は丸く、一段低い段をなす。口径11.0cm、残存高4.9cm。86~90はT K 47・MT 15型式に相当する。

91は天井部と体部の境の稜は不明瞭で、口縁端部は外反する。回転ヘラケズリの範囲は狭い。短頸壺の蓋の可能性もある。口径12.6cm。T K 10型式に相当する。

S K 43 出土土器器種構成表

種類	器種・器形	出土点数	出土比率	
須恵器	杯	杯蓋	37 21.1%	
		杯身	16 9.1%	
		不明	35 20%	
	小計	88	50.2%	
	高杯	有蓋	0	0%
		無蓋	0	
		不明	0	
	小計	0	0%	
	土師器	甕・甔	57	32.6%
		甔	2	1.1%
甕		0	0%	
甔		0	0%	
不明		27	15.4%	
杯(奈良時代)		1	0.6%	
小計	175	100% (10.5%)		
土師器	前	前	120	8.1%
		把手付鉢	1	0.1%
	小計	121	8.1%	
	煮沸具	高杯	20	1.3%
		甕	8	0.5%
		甔	1	0.1%
		鍋	0	0%
		把手	3	0.2%
	不明	229	15.4%	
	小計	241	16.2%	
甕?	甕?	4	0.3%	
	不明	1103	74.1%	
小計	1489	100% (89.5%)		
合計	1664	100%		

杯身 (92・93) 立ち上がり部はやや短く、口縁端部は一段低い段をなす。受部には重ね焼きの痕跡がある。93の外面にはヘラ記号を有す。92は口径11.1cm。93は口径12.4cm。92・93はT K 47型式に相当する。

その他、奈良時代頃の杯片1点があるが、後世の攪乱坑付近から出土しており、混入品と考えられる。

b 土師器 (94~97)

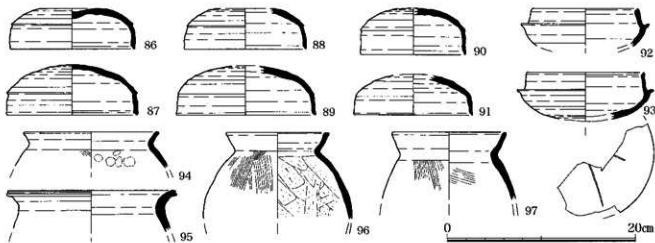
椀・把手付鉢・高杯・甕・甔・甕・把手がある。

甕 (94~97) 94・95は短い口縁部をもつ。94の口縁部は外反し、口縁端部は丸い。体部外面にハケメ、内面にユビオサエを施す。口径14.0cm。95の口縁部は大きく外反し、口縁端部の外傾面には深い沈線がある。調整は摩耗のため不明。口径17.7cm。96の口縁部は内湾し、口縁端部は水平面をもつ。体部外面はタテ・斜め方向のハケメ、内面はヘラケズリを施す。口径は10.8cm。97の口縁部は内湾し、口縁端部は丸い。体部内外面ともタテ・斜め方向のハケメを施す。口径12.0cm。

D その他遺構出土土器 (98~124)

98~124は、S B 02・06・S D 27・S K 38・41・59・63・64・73・74・谷部・柱穴から出土した土器で、図示したものはその一部である。以下、出土遺構別に報告する。

S B 02出土土器 (99) 須恵器杯蓋。体部がやや長く天井部と体部の境の稜は鋭い。調整は丁寧で、口縁端部は一段低い段をなす。口径12.7cm、器高4.5cm。T K



F J 第4・5次調査 SK 43 出土土器 (1/4)

23・同47型式に相当する。

SB06出土土器 (108) 須恵器杯身。口縁端部は内傾面をもち、受部端部はやや鋭い。口径13.0cm、残存高4.7cm。MT15・TK10型式に相当する。

SD27出土土器 (114) 須恵器杯身。立ち上がり部は短く、口縁端部は丸い。内面に同心円スタンプを有す。口径13.8cm、残存高5.0cm。TK10型式に相当する。

SK38出土土器 (111・112・123) 111・112は須恵器杯身。立ち上がり部が短く扁平で、調整は粗い。111の口縁端部は内傾面をもち、内面に複数回押圧した同心円スタンプを有す。口径12.6cm、器高4.8cm。112の口縁端部は丸い。口径12.9cm、残存高4.1cm。111・112はMT15・TK10型式に相当する。123は土師器甕。平底で体部は歪む。頸部は強く屈曲し、口縁部は外反する。口縁端部は外傾面に浅い沈線がある。体部内外面には木口と思われる痕跡があり、細い板状工具の粗いナデを施す。体部外面に粘土紐の痕跡がある。口径16.9cm、残存高19.1cm。

SK41出土土器 (121) 土師器甕。口縁部は内湾し、口縁端部は外反して丸い。体部外面にタテ・斜め方向のハケメ、内面に粗いヘラケズリ施す。口径19.8cm。

SK59出土土器 (115～117) 115は須恵器甕。口縁端部は上下にのびる外傾面をもつ。外面に粗い櫛描波状文を施す。口径29.8cm。MT15・TK10型式に相当する。116は土師器椀。底部がやや深く、口縁部は外反して口縁端部は丸い。体部内外面にナデを施し、成形時のユビオサエが顕著に残る。口径14.0cm、器高4.2cm。117は土師器高杯の杯部。口縁部で内側に湾曲し、口縁端部は丸い。調整は不明瞭だが、ナデを施す。口径16.4cm。

SK63出土土器 (104・105・110) 104・105は須恵器杯蓋。104は体部が短く、天井部と体部の境の稜は不明瞭である。口縁端部は一段低い段をなし、調整は粗い。内面に複数回押圧した同心円スタンプを有す。口

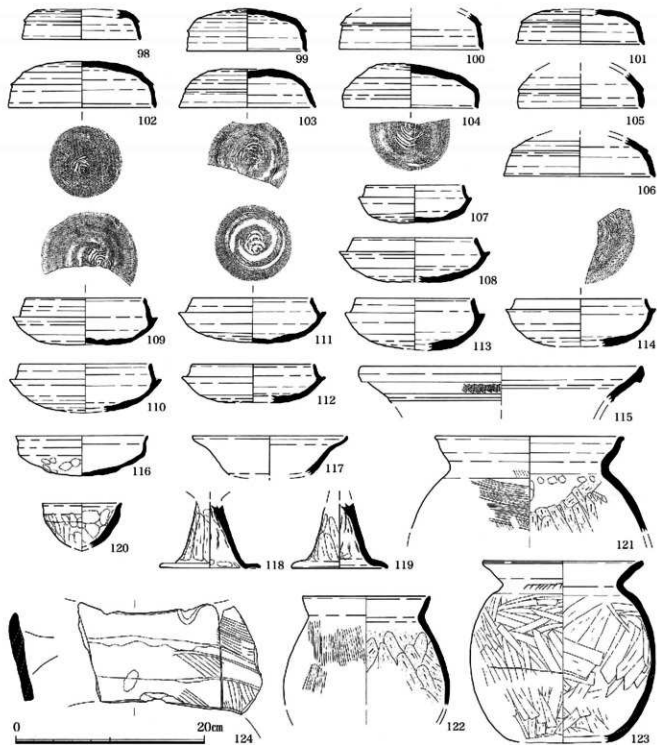
径14.1cm、器高4.7cm。105は体部が短く、稜が鈍くて口縁端部は内傾面をもつ。口径13.0cm。110は須恵器杯身。立ち上がり部と受部の境の稜は深く、口縁端部は内傾面をもつ。回転ヘラケズリの範囲は狭い。口径13.9cm。104・105・110はMT15・TK10型式に相当する。

SK64出土土器 (102・103・109・122) 102・103は須恵器杯蓋。102は体部がやや長く、稜は鈍い。内面に複数回押圧した同心円スタンプを有す。口径15.5cm、器高4.9cm。103は体部が短くて稜は鈍い。口縁端部は一段低い段をなす。調整は粗く、内面に複数回押圧した同心円スタンプを有す。口径14.4cm、器高4.1cm。109は須恵器杯身。立ち上がり部がやや長く、口縁端部は一段低い段をなす。調整は粗く、内面に同心円スタンプを有す。口径12.6cm、器高4.6cm。102・103・109はMT15・TK10型式に相当する。122は土師器甕。口縁部は直線的にのび、口縁端部に内傾面をもつ。体部内面に左上がりのヘラケズリ、外面にタテ・斜め方向のハケメを施す。口径13.4cm。

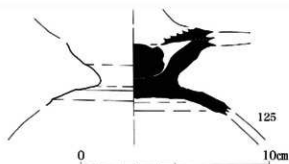
SK73出土土器 (113) 須恵器杯身。立ち上がり部はやや短く、底部が深く丸い。口縁端部は一段低い段をなす。調整は粗く、回転ヘラケズリの範囲は狭い。口径12.4cm、残存高5.4cm。TK47型式に相当する。

SK74出土土器 (118・119) 118・119は土師器高杯の脚部。柄は大きく屈曲し、端部は丸い。端部はヨコナデ、柱部内面に粗いナデとユビオサエを施し、粘土のシボリ目が残る。外面には、工具で平らにナデた面がある。118の脚部径10.8cm、119は脚部径10.1cm。

谷部出土土器 (98・120・124) 98は須恵器杯蓋。天井部が浅く扁平で、体部はやや短い。天井部と体部の境の稜は鋭く、口縁端部は丸い。口径12.4cm。TK23型式に相当する。120は土師器の手づくね土器。内外面に顕著なユビオサエと粘土紐の痕跡がある。124は移動式カマド。掛口から焚口の破片で、底部分を失う。掛口



F J 第4・5次調査 その他遺構出土土器 (1/4)



F J 第5次調査 遺物包含層出土裝飾付須恵器 (1/2)



遺物包含層出土裝飾付須恵器写真

奈良県内子持器台出土一覧表

出土地	所在地	出土遺構	点数	詳細	時期	文献
1 古市板谷遺跡	奈良市古市町	築路/土坑 (SK42)	1	杯渾の 基底部	6世紀 前半~中	本報告
2 奈良坂?	奈良市奈良坂	不詳	1?	不詳	6世紀 前半?	柴垣勇夫「東海地域における古代中世農業生産史の研究」真跡社 2003
3 岩屋大塚古墳	大連市岩屋・ 石上	前方後円墳 (横穴式 石室) / 羨道付室	20	遺	6世紀後半	奈良県教育委員会「アミダヒラ・ササツ古墳群および岩屋大塚古 墳の調査」『奈良県文化財調査報告書』第9集 1966
4 東大寺山6号墳	大連市櫻木町	円墳 (横穴式石室) / 不詳	1?	不詳	6世紀 後半?	柴垣勇夫「東海地域における古代中世農業生産史の研究」真跡社 2003、山田良二「東大寺山古墳群の調査」『青陵』15号 1970
5 浅古 (古墳)	桜井市浅古	円墳 (横穴式石室) / 玄室内土庫	1	七瀬杯	6世紀中頃	奈良県教育委員会「桜井市浅古所の古墳」『奈良県古墳発掘調査 集録Ⅱ』1973
6 新沢千塚179号墳	橿原市川西町	円墳 (木棺直葬) / 横丘上表土	1	八瀬杯	6世紀後半	奈良県教育委員会「新沢千塚古墳群」1981
7 島土塚古墳	牛久保郡平群町 西宮	前方後円墳 (横穴式 石室) / 竈座	3	七瀬杯	6世紀後半	奈良県教育委員会「島土塚古墳」1972
8 勢野茶臼山古墳	生駒郡三郷町	前方後円墳 (横穴式 石室) / 玄室内	1	八瀬杯?	6世紀中頃	奈良県教育委員会「勢野茶臼山古墳」『奈良県史跡名勝天然記念物 調査報告』第23冊 1966
9 山口千塚古墳群	葛城市山口	不詳	1	六瀬杯?	6世紀 後半?	部木正夫「五條市大塚山古墳調査報告について一黒下に珍しい装 飾付付内付須恵器の出土」『五條古代文化』第24号 1982
10 笛吹20号墳	葛城市笛吹	不詳	1?	不詳	6世紀 後半?	柴垣勇夫「東海地域における古代中世農業生産史の研究」真跡社 2003
11 山口 (古墳)	葛城市山口	不詳	1	八瀬杯	6世紀後半	京都大学文学部「京都大学文学部博物館考古学資料目録」第2部 日本歴史時代 1968
12 寺口	葛城市寺口	不詳	1?	不詳	6世紀 後半?	柴垣勇夫「東海地域における古代中世農業生産史の研究」真跡社 2003
13 於古塚	北葛城郡廣瀬 町大塚	円墳 (木棺直葬) / 棺外土坑	1	四瀬杯?	6世紀中頃	奈良県教育委員会「広瀬町大塚古墳調査報告書」『馬見丘陵におけ る古墳の調査』1974
14 大宮1号墳	古野郡大宮町 大宮	円墳 (横穴式石室) / 玄室内	2	杯・鉢部	7世紀前半	奈良県立橿原考古学研究所「大宮古墳群」1987

※柴垣勇夫「東海地域における古代中世農業生産史の研究」真跡社 2003 を改定・項目を追加して作成

端部はやや外反して丸く、焚口端部は面をとる。体部外面にはタテ・斜め方向の粗いハケメを施した後、庇を接合する。内面にはナデ・ユビオサエを施し、部分的にヘラケズリをおこなう。

柱穴出土土器 (100・101・106・107) 100・101・106は須恵器杯蓋。100は体部が長く、天井部と体部の境の稜は鋭い。口縁端部は一段低い段をなす。口径15.2cm。T K23型式に相当する。101・106は天井部が浅く扁平で、天井部と体部の境の稜は鈍い。101の口縁端部は外反し、一段低い段をなす。口径13.6cm、残存高3.6cm。106は口径16.0cm。107は須恵器杯身。立ち上がり部が短く、口縁端部や受部端部は丸い。口径10.2cm・器高4.0cm。101・106・107はMT15・TK10型式に相当する。

E 遺物包含層出土土器 (125、写真)

裝飾付須恵器 形象物が乗る基底部の破片で、写真左は破片上面、写真右は側面である。形象物は膨らみもち、棒状にのびた部分がある。回転ナデで筒状に作ったものを袋状に折り曲げて成形し、中空の内部に粘土塊を充填して上部を支える。外面には粗いナデ・回転ナデを施す。形象物以外の体部外面には回転ヘラケズリ、内面には粗いナデ・回転ナデを施す。一部に自然釉が付着する。烏などの尾がある動物の付いた裝飾付蓋の蓋の可能性が考えられる。残存高4.6cm、幅タテ5.2cm・ヨコ8.0cm。

F 古市板谷遺跡における土器様相

本遺跡からは、TK23〜同10型式の須恵器と、それに共存する土師器が出土した。中でもMT15・TK10型式が多い。奈良盆地北部の当該期資料は少なく、土器様相を知る上で貴重な資料である。とりわけ、SK40・43出土土器は5世紀後半〜6世紀中頃のまとまった資料である。同出土土器器種構成表からわかるように、須恵器よりも土師器の出土量が多い。須恵器は杯・甕・壺、土師器は煮沸具・椀・高杯が多いことから、これらがこの時期の主体の器種であることが窺える。

須恵器では、同心リスタンプを有するもの82点、ギザミ目状の調整を有するもの7点、ヘラ記号を有するもの15点ある。器台は、SK40以外にSK D72・SK K74・75から破片で計5点出土した。また、器種不明で焼成不良の須恵器細片がSK D27・SK K40から各1点出土している。

土師質焼成須恵器は、図示した以外にもSB19から外面に回転ヘラケズリを施した杯体部片1点と、柱穴から杯身の受部の細片1点が出土している。

土師器では、煮沸具が大量に出土しているが、この中には煤が付着していない個体も含む。さらに土師器窯の製作技法では、内面ヘラケズリの方が相当量ある。同時期の河内地域の壺はヘラケズリのものがなくなり、ハケメや板ナデ・ナデを施すものとなる。本遺跡で出土した内面ヘラケズリの壺が、古墳時代前〜中期の布留式焼の内面ヘラケズリからつながるものかは今後検討を要するが、この地域ではヘラケズリ技法を伝統的に残すと考

えられる。

(渡辺和仁)

V 調査所見

① 緩斜面地一帯に5世紀後半～6世紀中頃の集落遺跡が広がっていることを確認した。出土した須恵器や土師器の型式から、6世紀前半～中頃を前後する時期にその中心があると思われる。奈良盆地北部における、この時期の集落跡は調査例が極めて少なく、貴重な成果を得ることができたといえる。また、F J第2次調査から、6世紀中頃の須恵器杯身が出土しているので遺跡の範囲はさらに広がったと思われる。

② 古墳時代の集落は掘立柱建物・柱列のみで構成されていた。建物の振れや位置関係および各遺構との重複関係から、以下の、4期に分けられる。

1期 S B03・05・10・13・17・19、S K24・37・41・42・51・57・58・62、S D48

2期 S B04・06・12・14・15・18、S A16・S K20・28・30・31・32・36・38・40・43・45・47・50・55・64

3期 S B02・08・11、S A07、S K22・44・59・63、S D21

4期 S K25、S D27・60・61

上記以外の遺構の時期は重複関係がないので不明である。遺構で時期がわかるものからは、6世紀中頃の須恵器(T K10型式)が出土している。遺構の下層はわかるが各時期の詳細な年代については不明である。この集落は短期間のうちに頻りに造作が行われる。

③ 今回検出した集落と時期的にはほぼ同時期の集落を、市MK第3次調査で検出している。この調査では土師質焼成須恵器、焼成不良の須恵器、窯跡や古墳の副葬品以外にはあまり出土例がない須恵器器台が出土していることから、須恵器製作工人の集落の可能性が示唆されている。本調査からもそれらの土器が出土しており、南紀寺遺跡と共通する部分が多い。また、窯壁が付着したものでや焼け釜みのある須恵器は出土していないが調査地周辺に窯跡が存在することも考えられないことはない。

④ 子持器台と器種不明の装飾付須恵器が出土した。子持器台は別表のように、今回を含めて奈良県内で14例確認されている。多くが横穴式石室から出土し、一般的な集落から出土したのは、今回が初めてである。装飾付須恵器は、主として首長墓やそれに準じる古墳から出土する。また、集落では窯跡の近隣にある須恵器工人の集落で出土しており、本遺跡の事例は異質である。さらに、集落からあまり出土しない須恵器器台や朱が付着した須恵器杯身も出土している。出土土器に供養形態が多く、上述したような特殊な遺物も出土しており、土坑は祭祀

に関連するものとみておきたい。

⑤ 須恵器杯身(MT15・TK10型式)と同形態・製作技法で作られた土師質焼成須恵器が出土した。焼成が還元焰ではなく酸化焰であるというだけで、土器製作の技術系譜は完全に須恵器である。土師器工人が、須恵器を模倣して作った関東地方の須恵器模倣土師器⁵⁾とは全く別物であり、土器の製作者は須恵器工人である。

奈良県内では前述した南紀寺遺跡の他、奈良市の東紀寺遺跡、御所市の南郷角田遺跡・極楽寺ヒビキ遺跡から出土している。また大阪府内では、堺市の石原町遺跡で須恵器窯付近の土坑から大量に出土している。これらが、須恵器窯で焼成不良で酸化焰に要するものが、意図的に赤く焼かれたものかは今後検討を要するが、器種が杯と高杯に限定されており、今回の事例を含めて何らかの祭祀に用いる為に焼かれた可能性が考えられよう。

⑥ 古墳時代後期中頃に集落が廃絶してから、鎌倉時代頃までこの土地を利用した痕跡は確認できなかった。

⑦ 古墳時代に比べると少ないながらも、16世紀前半～中頃の掘立柱建物・柱列、土坑を検出した。室町時代の古市城跡に関連する壕などの遺構は確認できず、検出した遺構はいずれも防衛的な性格が窺えないので古市城跡との関連性は低いと考える。

ただ、F J第2次調査で検出した城山地区の中世墓地の終焉が16世紀前半であり、この墓地が廃絶して、古市城の山城が築城される時期に、丘陵だけでなくこの緩斜面地の一部も利用されていたことがわかる。

⑧ 当初、調査対象地のほとんどを占めると予想していた谷地形は、当地の南辺に位置することが判明し、当地の大部分が発掘区のすぐ北の台地から続く、南向きの緩斜面であることがわかった。市F J第3次調査で検出した15～16世紀の谷堆積は確認できなかったが、地形的にみて第1・2発掘区で検出したものと同じ谷埋土であると考えられる。今回出土した土器から、この谷は古墳時代後期前半を前後する時期から15～16世紀にかけて埋没したものと考えられる。(山前智歌・渡辺和仁)

1) 田辺昭一「陶器古墳群1」平安学園考古学クラブ1966、田辺昭一「須恵器大成」角川書店1981
2) 註1) 田辺1981に同じ。
3) 奈良市教育委員会「南紀寺遺跡の調査 第3次」奈良市埋蔵文化財調査報告書 平成4年度、1993
4) 岸本達哉「藤原朝須恵器と首長墓」『考古学研究』第22巻1号 1975、藤原大次「東海地域における古代中世集落生産史の研究」真跡社 2003
5) 坂川一「土器型式変化の要因―群馬県における出発期の須恵器模倣土師器の検証―」『研究紀要8』(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団1991
6) 坪之内徹「東紀寺遺跡出土土師器焼成の(須恵器)高杯」『格式系土器研究IV』格式系土器研究会 1993、奈良県立埋蔵文化財研究所「南紀寺遺跡群1」(奈良県史跡名勝天然記念物調査報告書第09号)1996、奈良県立埋蔵文化財研究所「極楽寺ヒビキ遺跡」(奈良県文化財調査報告書第122集)2007、堺市教育委員会「石原町遺跡発掘調査報告」『堺市文化財調査報告書 第40集』1989

25. 平成14～17年度実施試掘調査一覧

(1) 平成14年度試掘調査・確認調査一覧表

調査 次数	遺跡名	調査地	調査日	調査面積	届出者/事業内容	届出受理番号
2002 -1	西人寺田境内 調査結果	西大寺小坊跡349-3番地 水田下0.5～0.6m (標高75.1m) で奈良時代の遺構面を確認した。計測建物の基礎は遺構面まで達しないことがわかった。	H14.5.7	18㎡	個人/分譲住宅新築	HI13.3301
2002 -2	左京五条一坊十二坪 調査結果	柿木町511 水田下0.3～0.6m (標高56.5m) で奈良時代の遺構面を確認した。地盤改良工事が遺構面まで及ばないように変更した。	H14.5.17	18㎡	個人/共同住宅新築	HI14.3001・ 3002
2002 -3	左京三条二坊一坪 調査結果	八条五丁目H435-1他 盛土面下約3m (標高54.4m) で奈良時代の遺構面を確認した。基礎工事が遺構面まで及ばないように変更した。	H14.5.28	56㎡	有限会社清和興業/旅館新築	HI14.3028
2002 -4	左京五条四坊十一・ 十二坪 調査結果	大安寺六丁目754-1の一部 盛土面下0.8～0.9m で奈良時代の遺構面と遺物包含層を確認した。基礎1階が遺構面に影響を及ぼすことから、同年度に本調査 (H14第481次) を実施した。	H14.6.21	30㎡	個人/マンション改築	HI14.3030
2002 -5	ウツナベ古墳 調査結果	法華寺町1857-3 計測建物の基礎は盛土内に収まらなかった。	H14.7.10	24㎡	株式会社共進/ホテル建替え	HI14.3053
2002 -6	左京五条一坊十四坪 調査結果	水田下0.3m (標高57.6m) 柏木町532-1他 水田下0.4m (標高57.6m) で奈良時代の遺構面及び柱穴・土坑等を確認した。基礎工事が遺構面まで及ばないように変更した。	H14.7.17	14㎡	株式会社東洋/スポーツクラブ新築	HI14.3022
2002 -7	右京二条三坊九・十・ 十一坪 調査結果	西人寺芝町一丁目2091-1の一部 盛土面下1.3m (標高71.7m) で奈良時代の遺構面を確認した。地盤改良工事が遺構面まで及ばないように変更した。	H14.8.8	8㎡	個人/共同住宅新築	HI14.3058
2002 -8	左京三条一坊三・六坪 調査結果	三条大路三丁目485-1 水田面下0.3m (標高82.5m) で奈良時代の遺構面を確認した。基礎工事が遺構面まで及ばないように変更した。	HI14.9.2	17㎡	個人/マンション新築	HI14.3126
2002 -9	左京五条一坊八・九坪 調査結果	空の窓一丁目608-1 水田面下0.3～0.6m (標高58.9m) で奈良時代の遺構面及び柱穴を確認した。基礎工事が遺構面まで及ばないように変更した。	HI14.9.10	26㎡	個人/マンション新築	HI14.3056
2002 -10	右京二条三坊十三坪。 同一条四坊四坪、西三 坊人跡 調査結果	菅原町255番地他 水田面下0.2m (標高78.7m) で奈良時代の遺構面を確認した。	H14.9.12	24㎡	本山工務店/宅地造成	HI14.3032
2002 -11	今市城跡 調査結果	今市町348他 盛土面下1.1m (標高63.2m) で地山を確認した。	H14.11.19	34㎡	個人/宅地造成、分譲住宅新築	HI14.3009
2002 -12	右京六条四坊三・六坪 調査結果	六条二丁目1160他 計測建物の基礎は、盛土内に収まることがわかった。	H14.12.5	25㎡	個人/デパートビル新築	HI14.3176
2002 -13	左京二条七坊八・九坪 調査結果	東包町49-1他 計測建物の基礎掘削機にある盛土面下0.9m (標高80.7m) で江戸時代 (18世紀) の遺構面を確認した。	HI15.1.22	12㎡	株式会社ビッグテラ/スーパーマーケット新築	HI14.3237
2002 -14	南紀寺遺跡 調査結果	高畑町43-3 計測建物の基礎は遺構面まで達しないことがわかった。	HI15.1.30	9㎡	個人/共同住宅新築	HI14.3236
2002 -15	左京五条二坊七・八坪 調査結果	大安寺町548の一部他 盛土面下1～1.3m (標高57.3m) で奈良時代の遺構面を確認した。	HI15.3.4	28㎡	園林工務店/宅地造成	HI14.3267
2002 -16	左京二条一坊十二・ 十三坪 調査結果	三条大路一丁目561-2他 盛土面下1～1.1m (標高60.0～60.3m) で奈良時代の遺構面及び一・二条大路北側溝・柱穴を確認した。	HI15.3.20・ 24	44㎡	クリエイト関西株式会社/宅地造成	HI14.3217

(2) 平成15年度試掘調査・確認調査一覧表

調査 次数	遺跡名	調査地	調査日	調査面積	届出者/事業内容	届出受理番号
2003 -1	右京七条一坊十四坪 調査結果	七条町95-1他 盛土面下1～1.5m で奈良時代の遺構面を確認した。既存建物の基礎撤去工事に際し遺構面の破壊が避けられないため、同年度に本調査 (H15第491次) を実施した。	H15.4.9	56㎡	医療法人康仁会/病院建設	HI14.3285
2003 -2	左京三条四坊三・六坪 調査結果	大宮町一丁目1146-5他 盛土面下1.1m (標高63.9m) で奈良時代の遺構面を確認した。基礎は遺構面まで達しないことがわかった。	HI15.4.17	6㎡	株式会社住工興業/立体駐車場新築	HI14.3288
2003 -3	左京二条四坊四坪 調査結果	芝辻町2目2-1 盛土面下2.3m (標高64.3m) で奈良時代の遺構面と京町時代以降の埋戻川を確認した。	H15.5.20	34㎡	土木住宅/富洋開発建設/共同住宅新築	HI14.3215
2003 -4	左京三条三坊七坪 調査結果	大宮町六丁目316-6他 計測建物の基礎掘削機となる盛土面下1.8m (標高62.7m) で旧河川を確認した。	H15.6.9	20㎡	株式会社共興興業/店舗新築	HI15.3017
2003 -5	左京六条三坊一坪 調査結果	大安寺西三丁目224-1の一部 盛土面下3.5m (標高55.6m) で室町時代 (15世紀) 以降の旧河川を確認した。	H15.6.11	64㎡	株式会社日本中央住居/宅地造成	HI15.3004
2003 -6	白鳥寺遺跡 調査結果	白鳥寺000番一 盛土面下1.1～1.8m (標高116.2～117.0m) で奈良時代の遺構面と遺物包含層を確認した。	H15.6.23	11㎡	医療法人新仁会/グループホーム建設	HI15.3014
2003 -7	右京五条二坊一坪 調査結果	五条町292-4 盛土面下0.9m (標高60.9m) で奈良時代の遺構面を確認した。基礎工事が遺構面まで及ばないように変更した。	H15.6.26	5㎡	個人/保育園建設	HI15.3040

2003 -8	右京一条北辺坊・西隆寺 寺内	西大寺京町一丁目	H15.6.26	147㎡	近鉄不動産株式会社/集合住宅建設	H15.3018
	調査結果	竈土面下0.5mで奈良時代の遺構面を確認した。基礎工事が遺構面に影響を及ぼすことから、同年度に(財)元興寺文化財研究所が本調査を実施した。				
2003 -9	左京三条五坊東御輪 地	市京統一丁目128番地他	H15.7.28～ 8.15	950㎡	奈良交通株式会社/物産販売用店舗新築	H13.4003
	調査結果	遺跡有無確認調査に伴う試掘調査。竈土面下0.8～1.1m(標高67.3～69.0m)で地山上面を確認した。奈良時代の遺構はみられず、時期の下る耕作層・土坑を抽出した。				
2003 -10	右京一条二坊二坪	二条町二丁目69-5	H15.8.29	4㎡	医療法人北田クリニック/グループホーム・共同住宅新築	II14.3372
	調査結果	盛土面下0.8m(標高69.9m)で奈良時代の遺構面及び溝・土坑を確認した。				
2003 -11	左京三条一坊四・五坪	三条大路三丁目489-1他	H15.8.29	12㎡	アイ・エス企画/宅地造成	H15.3038
	調査結果	水田面下0.3m(標高61.5m)で奈良時代の遺構面及び穴を確認した。				
2003 -12	右京二条一坊五・六坪	一条大路四丁目1342	H15.9.3	25㎡	株式会社エイデン/店舗新築	H14.3317
	調査結果	盛土面下1.5m(標高63.8m)で奈良時代の遺構面を確認した。基礎は遺構面まで達しないことがわかった。				
2003 -13	右京三条一坊五・六坪	三条大路四丁目100-6他	H15.9.3-4	9㎡	株式会社さんさゆう/店舗新築	H15.3029
	調査結果	竈土面下1.3m(標高63.6m)で奈良時代の遺構面を確認した。基礎は遺構面まで達しないことがわかった。				
2003 -14	右京二条一坊五・六坪	三条大路四丁目100-6	H15.9.3-4	9㎡	株式会社フレンドリー/店舗新築	H15.3030
	調査結果	盛土面下1.4m(標高63.4m)で奈良時代の遺構面を確認した。基礎は遺構面まで達しないことがわかった。				
2003 -15	左京五条五坊十二・十三坪	西木辻町151-1	II15.9.8	9㎡	株式会社日本中央住販/宅地造成	II15.3111
	調査結果	盛土面下0.9m(標高69.3m)で奈良時代の遺構面を確認した。				
2003 -16	左京六条二坊六坪	八条五丁目344の一部他	H15.10.23	25㎡	有限会社ウエムラ/宅地造成	H15.3104
	調査結果	盛土面下3.8m(標高55.3m)で奈良時代の遺構面を確認した。				
2003 -17	右京二条一坊上三坪	菅原町257番地2他	H15.10.28	9㎡	木山工務店/宅地造成	H15.3063
	調査結果	畑地面下0.5m(標高78.6m)で地山上面を確認した。				
2003 -18	左京五条七坊十一坪	川之上突北町9-10-1	H15.11.18	9㎡	大和ハウス工業株式会社/ダイサービスセンター建設	H15.3145
	調査結果	盛土面下3.0m(標高87.9～88.6m)で奈良時代の遺構面を確認した。基礎工事が遺構面まで及ばないように変更した。				
2003 -19	左京三条八坊五坪・奈良 良町遺跡	大宮町一丁目14-1	H15.11.26	9㎡	個人/店舗改装	H15.3092
	調査結果	竈土面下0.8～1.3mは既存建物の撤去工事に伴い掘乱されている。その下で旧井戸を確認した。				
2003 -20	遺物散布地(泉造跡地 図1-5A-41)	秋篠町1668、1670他	H15.11.27	20㎡	株式会社セントラルテック/宅地造成	H15.3177
	調査結果	盛土面下1.5m(標高78.5m)で地山上面を確認した。				
2003 -21	左京四条西坊五坪	三条大路町212-2	H15.12.9	75㎡	株式会社フクダ不動産/マンション新築	H15.3170
	調査結果	竈土面下2.4mで奈良時代の遺構面を確認した。基礎工事が遺構面に影響を及ぼすことから、同年度に本調査(HI第510次)を実施した。				
2003 -22	南紀寺遺跡	南紀寺町三丁目143-1の部	H15.12.16	25㎡	個人/共同住宅新築	H15.3211
	調査結果	水田面下0.3～0.5m(標高97.1～97.3m)で奈良時代以前の遺物包含層を確認した。基礎1事が包含層まで及ばないように変更した。				
2003 -23	左京五条二坊八坪	大安寺町553-5他	H15.12.24	20㎡	株式会社ファーストホーム/宅地造成	H15.3216
	調査結果	盛土面下0.5～0.7m(標高57.8m)で奈良時代の遺構面を確認した。				
2003 -24	左京三条五坊六・七坪	大宮町一丁目41-8他	H16.1.20	28㎡	奈良県民共済生活協同組合/事務所新築	II15.3320
	調査結果	盛土面下0.8m(標高66.6m)で旧河川を確認した。				
2003 -25	右京八条四坊一・八坪	七条西町一丁目11057の一部他	H16.3.29～ 4.1	180㎡	株式会社バース/宅地造成	H15.3304
	調査結果	丘陵の表土面下0.4～1.4mで奈良時代の遺構面及び穴を確認した。造成工事が遺構面に影響を及ぼすことから、翌年度に本調査(HI第514次)を実施した。				

(3) 平成16年度試掘調査・確認調査一覧表

調査 次数	遺跡名	調査地	調査日	調査面積	掘出者/事業内容	掘出受理番号
2004 -1	左京四条西坊八坪	二条御川94-2	II16.4.8	9㎡	株式会社エフ・エス・ケイ/店舗新築	H15.3299
	調査結果	盛土面下1.2m(標高62.3m)で奈良時代の遺構面を確認した。基礎は遺構面まで達しないことがわかった。				
2004 -2	左京九条三坊六・七坪	西九条町二丁目14-10	H16.4.16	8㎡	個人/事務所付店舗新築	H15.3320
	調査結果	盛土面下1.5m(標高55.2m)で奈良時代の遺構面を確認した。基礎は遺構面まで達しないことがわかった。				
2004 -3	左京四条六坊二坪・奈良 良町遺跡	二条町583-1	II16.5.7	8㎡	小井株式会社/倉庫新築	H15.3331
	調査結果	盛土面下1.0～1.1m(標高69.9～70.1m)で奈良時代の遺構面を確認した。基礎1事が遺構面まで及ばないように変更した。				
2004 -4	南紀寺遺跡	紀寺町556-1他	H16.5.7～ 22	105㎡	社会福祉法人サンライフ/特別養護老人ホーム新築	H15.3336
	調査結果	盛土面下1.4～1.7mで古墳・奈良時代の遺構面及び鎌倉時代(13世紀)の旧河川、土坑を確認した。基礎工事が遺構面に影響を及ぼすことから、同年度に本調査(HI第7次)を実施した。				
2004 -5	左京四条二坊九坪	西条大路一丁目737番地	H16.6.7	17㎡	有限会社グッドスペース/店舗・事務所新築	II16.3039
	調査結果	盛土面下2.7m(標高58.6m)で奈良時代の遺構面を確認した。基礎は遺構面まで達しないことがわかった。				

2004-6	右京四条二坊十二坪 調査結果	旭下町226-1の一部他 盛土下面0.7m(標高71.5~71.6m)で奈良時代の遺構面を確認した。基礎は遺構面まで達しないことがわかった。	H16.6.22	10m	個人/店舗・診療所・共同住宅新築	H16.3026
2004-7	左京西条四坊五坪 調査結果	大政通町21番1 盛土下面2.18mで地山上面を確認した。遺構面は既設建物に伴う工事等で破壊されていた。	H16.8.20	32m	平山観光株式会社/共同住宅新築	H16.3062
2004-8	左京西条三坊十五坪 調査結果	三条添町203-4他 盛土下面1.3mで奈良時代の遺構面を確認した。基礎工事が遺構面に影響を及ぼすことから、同年頃に本調査(HJ第522次)を実施した。	H16.9.16	20m	個人/共同住宅新築	H16.3144
2004-9	左京八条四坊二坪 調査結果	東九条町866-1 水田面0.1m(標高59.0m)で奈良時代の柱穴を確認した。基礎1率が遺構面まで及ばないように変更した。	H16.11.17	21m	医療法人健和会・株式会社ウエグ:グループホーム新築	H16.3227
2004-10	左京三条五坊十六坪 調査結果	芝辻町858番1他 盛土下面0.2m(標高78.8m)で地山上面及び鎌倉時代垣(13~14世紀)の溝・土坑を確認した。基礎工事が地山上面まで及ばないように変更した。	H17.1.12	16m	個人/共同住宅新築	H16.3222
2004-11	左京三条五坊十六坪・余瓦町遺跡 調査結果	芝辻町29番地 盛土下面0.2m(標高73.6m)で地山上面を確認した。	H17.1.14	20m	個人/共同住宅新築	H16.3164
2004-12	左京三条三坊四坪・二条大路 調査結果	法華寺町241-1他 盛土下面1.3m(標高63.9m)で時期不明の1河川を確認した。	H17.2.2	70m	個人/マンション新築	H16.3169
2004-13	西大寺旧境内(薬師堂) 調査結果	西大寺小坊7-26 盛土下面0.1mで西大寺薬師堂の基壇上面を確認した。平成18年度に奈良文化財研究所が本調査(調査409次)を実施した。	H17.3.3-4	3m	奈良市教育委員会教育長/指定文化財収蔵庫施設	-
2004-14	左京三条五坊十一坪 調査結果	油取町丁目8他 盛土下面1.8mで旧飯池(出口池)の埋積層を確認した。	H17.3.24	22m	タイヨーハウス株式会社/マンション新築	H16.3140
2004-15	水間町内遺物散布地 調査結果	水間町1182他 水間遺跡の北に隣接する各敷地内で奈良時代の遺物包も含め随所的に認められた(旧原東横根II参照)。	H16.0.21~11.5	760m	奈良県知事/県営は陽巻事業(旧原東地区)	H13.3153

(4) 平成17年度試掘調査・確認調査一覧表

調査 次数	遺跡名	調査地	調査日	調査面積	掘削者/事業内容	調査受理番号
2005-1	右京北辺四坊三坪 調査結果	西大寺堂ヶ丘町737-1他 盛土下面0.9~1.1mで奈良時代の遺構面と溝・土坑とみられる遺構を確認した。基礎工事が遺構面に影響を及ぼすことから、同年頃に本調査(HJ第532次)を実施した。	H17.4.21~25	93m	株式会社興村組/マンション新築	H16.3372
2005-2	南院寺遺跡 調査結果	内寺町7-2 盛土下面1.2m(標高112.6m)で奈良時代以降とみられる期地層上面及び柱穴を確認した。基礎1率が遺構面まで及ばないように変更した。	H17.4.28	9m	個人/共同住宅新築	H16.3396
2005-3	東四坊大路 調査結果	大宮町丁目133-1 盛土下面0.6m(標高65.9m)で奈良時代の遺構面を確認した。基礎は遺構面まで達しないことがわかった。	H17.5.17	13m	個人/共同住宅新築	H16.3335
2005-4	二条大路 調査結果	菅原町663-1 盛土下面1.1m(標高80.8m)で地山上面及び時期不明の1河川の一部を確認した。	H17.5.19	13m	株式会社日本中央住居/宅地造成	H16.3412
2005-5	(古墳伏魔塚) 調査結果	中山町1179-1他 古墳状の隆起は丘陵冠上の散状状で、古墳ではないことを確認した。	H17.5.20~5.27	219m	森廣建設株式会社/宅地造成	H17.3058
2005-6	左京四条四坊八坪 調査結果	三条添町90-6他 盛土下面1.5m(標高63.0~63.1m)で奈良時代の遺構面を確認した。基礎は遺構面まで達しないことがわかった。	H17.5.24	6m	個人/事務所新築	H17.3003
2005-7	左京六条二坊四坪・東二坊大路 調査結果	八条三丁目648-2他 水田面0.3~0.4m(標高55.8m)で時期不明の1河川の遺構面を確認した。	H17.5.26	44m	社会福祉法人パルツ事業会/保育園新築	H16.3428
2005-8	柚ノ川町遺物散布地 調査結果	柳ノ川町114他 盛土下面0.4mで時期不明の1河川を確認した。	H17.5.30~7.12	557m	奈良県知事/県営は陽巻事業(旧原東地区)	H13.3153
2005-9	左京六条三坊十六坪 調査結果	大安寺三丁目97-1他 水田面0.5m(標高58.3m)で奈良時代の遺構面及び柱穴・土坑を確認した。基礎は遺構面まで達しないことがわかった。	H17.7.14	21m	個人/共同住宅新築	H17.3056
2005-10	左京五条一坊十四坪 調査結果	柏木町528-1他 水田面0.2m(標高57.4m)で奈良時代の遺構面を確認した。R.Vピットの加層工事が遺構面まで及ばないように変更した。	H17.7.27	28m	株式会社アルペン/店舗新築	H17.3061
2005-11	左京三条五坊六坪 調査結果	大宮町一丁目32-1他 盛土下面0.4mで時期不明の1河川を確認した。	H17.9.27	40m	個人/マンション新築	H17.3086
2005-12	西山大蔵裏 調査結果	秋鹿町593他 盛土下面0.3m(標高99.0~99.6m)で地山上面を確認した。地山上面は切土により大きく改変を受けている。	H17.11.15	14m	個人/賃貸住宅新築	H17.3202
2005-13	左京六条一坊十四坪 調査結果	柏木町413他 盛土下面1.7~1.4m(標高54.8~54.9m)で奈良時代の遺構面を確認した。基礎工事が遺構面まで及ばないように変更した。	H17.12.10	76.3m	株式会社ケイキャット/店舗新築	H17.3242
2005-14	左京五条二坊一坪 調査結果	菅原町156-6 水田面0.8m(標高57.4m)で奈良時代の遺構面を確認した。基礎工事が遺構面に影響を及ぼすことから、平成18年度に本調査(HJ第548次)を実施した。	H17.12.20	20m	個人/賃貸住宅新築	H17.3265

2005 -15	右京六条四坊十四坪、 六条山京遺跡	六条西三丁目H14804の一部他	H18.1.10~ 13	232㎡個人/宅地造成		H13.3116
	調査結果	奈良時代の遺構面及び柱穴・火葬窟等を確認した。造成工事が遺構面に影響を及ぼすことから、同年度に本調査(旧第543号)を実施した。				
2005 -16	南紀寺遺跡	南紀寺町三丁目H14310の一部	H18.2.8	40㎡個人/共同住宅新築		H17.3332
	調査結果	埴土面下1.0~1.1m(標高98.0~98.1m)で古墳時代の遺構面及び柱穴・溝・土坑を確認した。基礎工事が遺構面まで及ばないように変更した。				
2005 -17	遺物散布地(泉遺跡跡地 岡15A-20)	野瀬町689-1の一部他	H18.3.7~8	100㎡共同住宅株式会社/宅地造成		H17.3297
	調査結果	水田面下0.1~0.4m(標高88.6~88.7m)で地上上面及び時期不明の溝・土小坑・旧河道を確認し、工事による直接的な影響がないことを確認した。				

26. 平成14~17年度実施工事立会一覧

(1) 平成14年度文化財保護法第57条2・3の埋蔵文化財届出書・通知に伴う工事立会

番号	届出受理番号	遺跡名	届出地	届出者	事業内容	現況	立会結果	
							日付	工事内容・所見
1	H13.3264	二条大路、奈良町遺跡	春日町地内	奈良市長	観光案内道標の設置	道路	14.4.3	GL-0.45mまで掘削、盛土内
2	H13.3265	二条大路、奈良町遺跡	通町町内	奈良市長	観光案内道標の設置	道路	14.4.3	GL-0.45mまで掘削、盛土内
3	H13.3266	左京三条七坊、三坪坪 堀小跡、奈良町遺跡	北屋敷四町内	奈良市長	観光案内道標の設置	道路	14.4.3	GL-0.5mまで掘削、盛土内
4	H13.3267	一条南大路、奈良町遺跡	西白木町地内	奈良市長	観光案内道標の設置	道路	14.4.3	GL-0.4mまで掘削、盛土内
5	H13.3268	左京一条七坊六坪	川上町内	奈良市長	観光案内道標の設置	道路	14.4.3	GL-0.5mまで掘削、盛土内
6	H13.3269	左京二条七坊十五坪、奈良町遺跡	今小路町内	奈良市長	観光案内道標の設置	道路	14.4.3	GL-0.5mまで掘削、盛土内
7	H13.3310	左京二条五坊十四坪、奈良町遺跡	北市町60-3、60-5	個人	個人住宅新築	駐車場	14.4.4	GL-0.7mまで掘削、盛土内
8	H13.3298	東二坊大路	法華寺町地内	奈良市長	観光案内道標設置	道路	14.4.4	GL-1mまで掘削、盛土内
9	H13.3278	左京八条三坊六坪・東市跡推定地	吉町580-1	個人	共同住宅新築	水田	14.4.8、 10-11、 5.29	GL-0.8mまで掘削、盛土内
10	H13.3299	東五坊大路	法蓮町986-35他	個人	個人住宅新築	宅地	14.4.8	GL-0.8mまで掘削、盛土内
11	H13.3294	右京六条一坊一坪	六条一丁目 504-1、505	徳興水測量	駐車場造成	水田	14.4.9、 10.10	GL-0.3mまで掘削、盛土内、 GL+0.5mまで盛土
12	H13.3248	田村跡推定地	四条大路一丁目 1000番63号	個人	個人住宅新築	宅地	14.4.9	GL-0.5mまで掘削、盛土内
13	H13.3291	右京三条大路	宝来二丁目796	個人	賃貸住宅新築	雑種地	14.4.10	GL-0.7mまで掘削、盛土内
14	H13.3306	左京八条内坊二坪・東三坊四路	東九条町899	個人	個人住宅新築	宅地	14.4.11 14.5.20	GL-0.6mまで掘削、水田床土内 GL-0.35mまで掘削、盛土内
15	H13.3290	右京五条三坊七坪	五条二丁目631番13他	個人	個人住宅新築	宅地	14.4.12	GL-0.4mまで掘削、盛土内
16	H13.3273	右京二条三坊四坪	西大寺南町(近 西大寺駅南土 地区旧徳興事業 内29地区17番 地)	個人	個人住宅新築	宅地	14.4.15	GL+0.8mまで埴土、埴土上面 -0.2~0.6mまで掘削、盛土内
17	H13.3276	元興寺旧境内	西新屋町26-1	個人	個人住宅新築	宅地	14.4.18	GL-0.4mまで掘削、盛土範囲内
18	H13.3268	左京二条五坊八坪・二条大路	芝辻町11-76	奈良市長	道路施設改修	宅地	14.4.22	GL-1.5mまで掘削、盛土内
19	H13.3287	西園寺旧境内	西大寺東町44-1	個人	店舗・事務所新築	宅地	14.4.22	GL-0.7mまで掘削、耕作土内
20	H13.3316	秋篠寺旧境内	秋篠町851番2	個人	個人住宅新築	宅地	14.4.22、 24	GL-0.4mまで掘削、盛土内
21	H13.3277	右京五条一坊二坪	五条町一丁目 509-2番	(宗)西方面	宗教施設新築	宅地	14.4.23	GL-0.4mまで掘削、盛土内
22	H13.3292	右京四条一坊一坪	尾山町甲82-2、 83-3	個人	個人住宅新築	宅地	14.4.23	GL-0.5mまで掘削、盛土内
23	H14.3017	右京三条四坊十坪	菅原町942-1他	(株)スター ダスト	店舗増改修	宅地	14.4.24	GL-0.6m掘削、盛土内
24	H13.3313	右京四条一坊一坪・朱雀大路	四條大路四丁目 77-1	個人	個人住宅新築	駐車場	14.4.24	GL-0.6~0.5mまで掘削、盛土内
25	H13.3312	右京五条三坊四坪	五条二丁目 629-5	個人	宅地造成	草生地	14.4.25	GL-0.2mまで掘削、旧埴土内
26	H14.3023	六条大路	六条三丁目 1170-47	個人	個人住宅新築	宅地	14.4.26	GL-1.6mまで掘削、地山確認
27	H13.3318	左京二条四坊五坪・二条大路	芝辻町三丁目 119番地	個人	駐車場造成	水田	14.4.30 -5.29	GL-0.5mまで掘削、盛土内
28	H13.3307	左京五条六坊十坪	西不辻町280-2 他	個人	個人住宅新築	宅地	14.5.7	GL-0.2~0.3mまで掘削、盛土内
29	H13.3303	左京二条五坊六坪	法華寺町200-3	個人	共同住宅新築	宅地	14.5.7	GL-0.3mまで掘削、盛土内
30	H14.3021	左京二条七坊六坪	後藤町6番地	個人	個人住宅新築	宅地	14.5.7	GL-0.35mまで掘削、旧埴土内
31	H13.3251	左京四条五坊四坪	三条本町256-3番地	日本通運(株)	店舗・事務所新築	宅地	14.5.7	GL-0.6mまで掘削、盛土内

32	H14.3013	左京五条五坊十六坪	大森町7-1番地 六条西三丁目 1485番、1485 番5の 2	(株)阪神地 合開発	分譲住宅新築	宅地	14.5.7	GL-0.7mまで掘削、盛土内
33	H13.3286	西四坊大路	上御門町20 古市町2350、 2351	個人	個人住宅新築	宅地	14.5.8	GL-0.3mまで掘削、地山確認
34	H08.3137	左京四条五坊十四坪	西条大路五丁目 22番1、E号地 昔原町149-2、 153、154	個人	個人住宅新築	宅地	14.5.10・ 13	GL-0.4mまで掘削、盛土内
35	H14.3003	古市城跡	西条大路五丁目 22番1、E号地 昔原町149-2、 153、154	個人	個人住宅新築	宅地	14.5.10・ 13	GL-0.4mまで掘削、盛土内
36	H14.3012	右京三条坊八坪	高畑町79番地6	個人	個人住宅新築	宅地	14.5.10	GL-0.3mまで掘削、盛土内
37	H13.3315	南紀寺遺跡	川上町578番7	個人	個人住宅新築	宅地	14.5.13	1.5m先行
38	H13.3324	南紀寺遺跡	高畑町79番地6	個人	個人住宅新築	宅地	14.5.10	GL-1.7m掘削、地山確認
39	H13.3321	左京 一条七坊五坪	西大寺町144-1、 144-2	個人	個人住宅新築	宅地	14.5.16	GL-0.4mまで掘削、盛土内
40	H13.3288	新薬師寺旧境内	西大寺町144-1、 144-2	個人	個人住宅新築	宅地	14.5.16	GL-0.4mまで掘削、盛土内
41	H14.3037	右京二条二坊十四坪	西大寺町144-1、 144-2	個人	個人住宅新築	宅地	14.5.16	GL-0.6mまで掘削、盛土内
42	H14.3004	左京四条五坊五坪・四条 大路	杉ヶ町30番地	奈良トヨタ(株)	仮設設	宅地	14.5.17	GL-0.2mまで掘削、1.5m下で 地山確認
43	H14.3025	南紀寺遺跡	白倉寺町744-1、 744-2	千成建設(株)	宅地・資材置場造成	水田	14.5.17・ 20	GL-0.2mまで掘削、盛土内
44	H14.3006	右京六条四坊二・七坪・ 坪地小路	六条西二丁目 442番4	個人	個人住宅新築	宅地	14.5.17	GL-0.5mまで掘削、盛土内
45	H13.3283	西大寺旧境内	西大寺北一丁目	個人	個人住宅新築	宅地	14.5.23	工事先行
46	H13.3274	左京二条七坊一六坪・奈良 町遺跡	新御木町25番地 の1	個人	事務所改築	宅地	14.5.27	GL-1.5mまで掘削、地山確認
47	H14.3039	左京五条二坊十坪	三条宮前町37-1、 37-4、37-5	個人	個人住宅新築	宅地	14.5.27	GL-2mまで掘削、盛土内
48	H13.3193	左京四条四坊十六坪	三条宮前町37-1、 37-4、37-5	個人	マンション新築	宅地	14.5.27	GL-2mまで掘削、地山確認
49	H13.3317	右京 一条北辺四坊一坪	西九条町一丁目 710-4	個人	共同住宅改築	宅地	14.5.28・ 30	GL-2.7mまで掘削、地山確認
50	H14.3024	左京九条二坊一坪	西九条町一丁目 5-9	個人	店舗改築	宅地	14.5.28、 7.8	GL-1.35mまで掘削、新作土内
51	H14.3005	左京九条三坊七坪	西九条町一丁目 1-15	個人	共同住宅新築	宅地	14.6.3	GL-0.5mまで掘削、盛土内
52	H14.3010	右京四条一坊十坪	西条大路五丁目 22-1の 部	個人	個人住宅新築	宅地	14.6.3	GL-0.6mまで掘削、盛土内
53	H14.3033	大幡生町ツリ川遺物散布 地	大幡生町内	奈良市長	上下水道敷設	道路	14.6.3	GL-1.4mまで掘削、地山確認
54	H14.3034	右京一条北辺三坊一坪	西大寺町一丁目 123-15	個人	個人住宅新築	宅地	14.6.6	GL-0.2mまで掘削、盛土内
55	H14.3038	左京四条三坊八坪	三条宮前町150-1、 150-4	奈良中央三 輪自動車取 扱(株)	店舗・事務所改築	宅地	14.6.6	GL-1.2～1.5mまで掘削、旧佐 段川の中世の氾濫地構造物確認
56	H13.3320	左京一条三坊十一坪	法華寺町1337-1	個人	個人住宅新築	宅地	14.6.6	GL-0.6mまで掘削、盛土内
57	H14.3014	右京二条二坊十九坪	西大寺町2390-8	個人	個人住宅新築	宅地	14.6.12	GL-0.35～0.4mまで掘削、盛 土内
58	H13.3293	左京四条四坊十三坪	三条宮前町 236-1	個人	マンション新築	宅地	14.6.14	GL-2.5mまで掘削、地山確認
59	H14.3026	一条大路	芝辻四丁目 10-24	個人	共同住宅新築	駐車場	14.6.20・ 24	GL-2.5mまで掘削、地山確認
60	H13.3308	左京二条二坊十三坪・二 条大路	法華寺町内	奈良市長	上下水道	道路	14.6.21	GL-2.5～3mまで掘削、盛土内
61	H14.3052	左京五条三坊十五坪	西之原町1-3	個人	住宅建設	宅地	14.6.27	GL-1.4mまで掘削、地山確認
62	H14.3075	左京西条二坊十坪・旧村 集積地	西条大路一丁目 7-23	個人	住宅建設	宅地	14.7.2	GL-0.5mまで掘削、盛土内
63	H14.3060	マエ塚古墳跡地	山崎町371-14、 371-15	個人	宅地造成	宅地	14.7.2	GL-1.5mまで掘削、地山確認
64	H14.3049	左京六条二坊四坪・奈良 町遺跡	今辻子町9-1、 9-5	個人	個人住宅新築	宅地	14.7.2	GL-0.4mまで掘削、盛土内
65	H14.3073	左京二条四坊五・六坪・ 奈良町遺跡	北平田西町14-6、 14-7	個人	個人住宅新築	宅地	14.7.8	GL-0.7mまで掘削、盛土内
66	H14.3061	左京八条一坊十四・十五 坪	吉町303-5	個人	個人住宅新築	宅地	14.7.9	GL-0.5mまで掘削、盛土内
67	H14.3077	左京五条一坊六坪	柏木町60-3	個人	共同住宅新築	宅地	14.7.10	工事先行
68	H14.3047	元興寺旧境内・奈良町遺 跡	納院町9番地	個人	個人住宅新築	宅地	14.7.11	GL-0.3mまで掘削、盛土内
69	H14.3059	左京三条四坊十四坪	大寺町二丁目 127-58	個人	個人住宅新築	宅地	14.7.11	工事先行
70	H14.3043	左京二条北第六坊四坪	法蓮町1283-1	個人	長屋住宅新築	宅地	14.7.15	GL-0.3mまで掘削、地山確認
71	H14.3074	左京 一条北辺六坊六坪・ 普光(広興)寺跡	法蓮町1306-4	個人	個人住宅新築	宅地	14.7.15	GL-0.3mまで掘削、盛土内

72	H14.3093	右京八条三坊十五坪	平松二丁目 264-116番	(株)福岡屋 住宅流通	分譲住宅新築	宅地	14.7.17	GL-2.5mまで掘削、地山確認
73	H14.3065	右京北辺四坊一坪	西大寺北四丁目 446番3	個人	共同住宅新築	宅地	14.7.18	GL-0.3mまで掘削、盛土内
74	H13.3300	右京四条四坊十五坪	宝来五丁目266 番1の 部	個人	個人住宅新築	水田	14.7.22	工事先行
75	H14.3008	赤田廣六番群	西大寺赤田町一 丁目989-17の 部	個人	個人住宅新築	宅地	14.7.23・ 24・29、 9.13	GL-3mまで掘削、盛土内
76	H14.3115	左京七条 坊一・六坪	船木町343-1、 344-1	個人	資材置場造成	水田	14.7.23	掘削なし
77	H14.3084	右京五条三坊十三・十四 坪	五条 丁目 826-7	ヤブウチ建 設(株)	分譲住宅新築	宅地	14.7.25	GL-0.6mまで掘削、地山確認
78	H14.3068	左京四条二坊十一坪・東 二坊坊間地・田村留地 地	四条入路 丁目 462-103	個人	個人住宅新築	宅地	14.7.29	GL-0.3mまで掘削、盛土内
79	H14.3089	右京八条四坊十六坪	七条西町 丁目 609-72	個人	個人住宅新築	宅地	14.7.29	GL-0.5～0.75mまで掘削、地 山確認
80	H14.3092	右京四条 坊十六坪	四条入路五丁目5 番11	個人	個人住宅新築	宅地	14.7.30	GL-0.4mまで掘削、盛土内
81	H14.3099	左京八条四坊十三坪	京九条町700-11	個人	個人住宅新築	宅地	14.7.31	GL-0.2mまで掘削、盛土内
82	H14.3108	右京二条四坊三・四坪	青柳町363-3	興和不動産	宅地造成	宅地	14.8.1・7	GL-2.0mまで掘削、地山確認
83	H14.3129	右京八条三坊六坪	六条一丁目 719-6	個人	半築併・倉庫建築	宅地	14.8.2	GL-0.2mまで掘削、盛土内
84	H14.3078	マエ塚市塚間地	山崎町371-15	個人	雑物置場掘削	宅地	14.8.5 14.8.7	GL-2.2mまで掘削、地山確認 GL-0.3mまで掘削、盛土内
85	H14.3079	マエ塚市塚間地	山崎町371-14	個人	雑物置場掘削	宅地	14.8.6 14.8.8	GL-3.2mまで掘削、地山確認 GL-0.3mまで掘削、地山確認
86	H14.3117	右京八条三坊十五坪	平松二丁目 264-117地	(株)福岡屋 住宅流通	分譲住宅新築	宅地	14.8.6	GL-2.4～2.5mまで掘削、地山 確認
87	H14.3094	左京七条二坊十三坪	八条一丁目840	個人	個人住宅新築	宅地	14.8.6 14.8.20	杭の打設、土留・遺物などは確 認できず GL-0.3mまで掘削、盛土内
88	H14.3086	左京四条五坊七・十坪	三条町606-46、 606-74	個人	駐車場造成	宅地	14.8.8	GL-0.3mまで掘削、盛土内
89	H14.3097	右京三条三坊三坪	宝来町50-1	個人	個人住宅新築	宅地	14.8.9	工事先行
90	H14.3107	右京三条四坊二・三坪	六条二丁目 442-5	分譲住宅新築	分譲住宅新築	宅地	14.8.12	工事先行、GL-0.5mまで掘削、 盛土内
91	H14.3029	右京三条三坊三坪	宝来町51-1	個人	賃貸住宅新築	宅地	14.8.13	GL-0.4～0.5mまで掘削、盛土 内
92	H14.3080	左京八条三坊二・三坪	西九条町一丁目 4-3	個人	共同住宅新築	宅地	14.8.16・ 19	工事先行
93	H14.3138	右京三条三坊七坪	西大寺南地区60 街区八四地	個人	個人住宅新築	宅地	14.8.19	工事先行
94	H14.3098	右京二条四坊十五坪・西 四坊大路、北田城跡	若菜台一丁目 30-14	個人	個人住宅新築	宅地	14.8.22 14.12.5	GL-0.3mまで掘削、盛土内 GL-0.4mまで掘削、地山確認
95	H13.3237	南紀寺道路	高瀬町59-1地	個人	賃貸住宅新築	宅地	14.8.26	GL-0.1mまで掘削、盛土内
96	H14.3101	左京五条七坊一・三坪	花園町7番、瓦葺 町22番3	個人	個人住宅新築	宅地	14.8.27	工事先行
97	H14.3102	右京三条三坊一坪	青柳町117番地	個人	マンション新築	宅地	14.9.2・9	GL-2.2mまで掘削、盛土内
98	H14.3058	右京二条三坊九・十六坪	西大寺芝町一丁 目209-1の 一部	個人	共同住宅新築	宅地	14.9.4・5	GL-1.0mまで掘削、盛土内
99	H14.3135	右京六条一坊七坪	六条町162-3	個人	個人住宅新築	水田	14.9.4 14.9.11	GL-0.7～0.9mまで掘削、地山 確認 GL-0.3mまで掘削、盛土内
100	H14.3145	西三坊大路	平松二丁目 264-115、地	(株)福岡屋 住宅流通	分譲住宅新築	宅地	14.9.9	GL-2.5mまで掘削、地山確認
101	H14.3105	左京四条六坊六坪・佐伯 留地	西木辻町200-52	個人	個人住宅新築	宅地	14.9.9～ 11	GL-1.0mまで掘削、盛土内
102	H14.3121	左京八条大路隣接地	北斎町57-7	個人	個人住宅新築	宅地	14.9.12	GL-0.5mまで掘削、地山確認
103	H14.3062	右京八条三坊一坪	七条一丁目 509-9番地	個人	共同住宅新築	宅地	14.9.13	GL-0.4mまで掘削、旧舗土内
104	H14.3144	東二坊入路(三条)	八条町七丁目 2-12	個人	個人住宅・事務所・倉 庫新築	宅地	14.9.18	GL-2.0mまで掘削、盛土内
105	H14.3124	左京六条 坊一・四坪・ 七条二坊一坪	八条町五丁目(市 道)	(有)廣興興 産	下水道敷設	道路	14.9.19	GL-1.8mまで掘削、地山確認
106	H14.3127	左京六条 坊一・四坪・ 七条二坊 一坪	八条町五丁目(市 道)	奈良市長	下水道敷設	道路	14.9.19・ 20	GL-1.8mまで掘削、地山確認
107	H14.3112	左京三条五坊九・十坪・ 奈良町道路	芝辻町34-9地	奈良市長	道路	道路	14.9.19 14.10.9	GL-0.7mまで掘削、盛土内 GL-1.2mまで掘削、盛土内
108	H14.3131	左京五条三坊十一・十二 坪	窓の森二丁目 14-8の 部	個人	個人住宅新築	宅地	14.9.25	GL-0.5mまで掘削、盛土内
109	H14.3149	右京二条三坊七坪	青野町27番地	個人	個人住宅新築	宅地	14.9.25・ 10.22	GL-0.3～1.0mまで掘削、地山 確認

110	H1 2.3070	東京六条四坊十六坪	大女寺六丁目 784-2の一部	(株)モリタ 仲建	分譲住宅新築	宅地	14.9.24・ 25	GL-0.3mまで掘削、盛土内
111	H14.3.133	左京一条五坊八坪	法蓮町298-1	個人	個人住宅新築	宅地	14.9.25	GL-0.3mまで掘削、地山確認
112	H14.3.128	左京五条四坊十三坪	大女寺六丁目 823-1	(有)宝住建	分譲住宅新築	宅地	14.9.26	GL-0.3mまで掘削、盛土内
113	H14.3.122	右京三条二坊六坪	尼辻北町3303番 の3の一部	個人	個人住宅新築	宅地	14.9.30	GL-0.3mまで掘削、盛土内
114	H14.3.134	朱雀大路	西の京19-2	個人	個人住宅新築	水田	14.9.27・ 30	GL-0.9mまで掘削、0.3mで中 世以降の粘土層掘削確認
115	H14.3.090	左京四条五坊三坪	三条木町	J R奈良通 立事務所	鉄道高架事業	鉄道敷	14.9.30 14.10.10 14.12.2 14.12.3	GL-0.8～1.0mまで掘削、盛土 内 GL-0.5mまで掘削、盛土内 GL-0.6mまで掘削、盛土内 GL-1.0mまで掘削、盛土内
116	H14.3.142	左京四条六坊四・五坪・ 奈良町遺跡	御魚屋町9番14	個人	個人住宅新築	宅地	14.10.1	掘削なし
117	H14.3.110	右京一条北邊一坊五～八 坪	西大寺新町二丁目 94-2	個人	個人住宅新築	宅地	14.10.2	GL-0.15mまで掘削、盛土内
118	H14.3.270	左京四条六坊十四坪・奈 良町遺跡	下御門町三丁目1 番地	個人	店舗付住宅新築	宅地	14.10.7	GL-1.6mまで掘削、地山確認
119	H14.3.096	左京一条五坊一坪	大宮町一丁目 69-21	個人	店舗新築	宅地	14.10.7	GL-1.1mまで掘削、地山確認
120	H14.3.156	左京四条一坊十六坪	三条浜川119-1	(株)???? ????	店舗新築	宅地	14.10.9	GL-1.1mまで掘削、盛土内
121	H14.3.057	右京一条三坊九・十六坪	西大寺芝町一丁目 2091-1の一部	個人	共同住宅新築	宅地	14.10.10	GL-0.5mまで掘削、盛土内
122	H14.3.132	白蓮寺遺跡	高畑町1-1	(有)わかば 住宅	資材置場造成	水田	14.10.11	掘削なし
123	H14.3.067	右京一条三坊一・二坪	西大寺木町208 番8、9	個人	個人住宅新築	宅地	14.10.11	GL-0.6mまで掘削、地山確認
124	H14.3.071	左京三条五坊十坪	芝辻町42-12の 一部	個人	個人住宅新築	宅地	14.10.15	GL-2.0mまで掘削、盛土内
125	H14.3.126	左京三条一坊三～六坪	三条大路三丁目 485-1	個人	マンション新築	水田	14.10.16 ～18・22	掘削前でGL-0.5～0.6mまで 掘削、奈良時代の遺構山を確認
126	H14.3.040	右京五条二坊三坪	五条町294番5	個人	個人住宅新築	宅地	14.10.18・ 28	GL-0.6～0.8mまで掘削、地山 確認
127	H14.3.137	古市城跡	古市町2352-47	個人	個人住宅新築	宅地	14.10.18	GL-0.3mまで掘削、盛土内
128	H14.3.143	右京三条三坊二・七坪	音響町37、46- 91の一部	個人	共同住宅新築	宅地	14.10.22	GL-0.5mまで掘削、盛土内
129	H14.3.184	右京二条三坊二坪・音響 町遺跡	音響町61街区 1-1～3	個人	長屋住宅新築	宅地	14.10.25	CL-0.4mまで掘削、盛土内
130	H14.3.118	奈良町遺跡	高畑町1331-8	個人	個人住宅新築	宅地	14.10.28	GL-0.35mまで掘削、盛土内
131	H14.3.119	般若寺旧地内	般若寺町199番7	個人	個人住宅新築	宅地	14.10.30	GL-0.8mまで掘削、地山確認
132	H14.3.178	左京八条二坊二坪・音響 町	音響町470-1	個人	個人住宅新築	畑地	14.10.30	GL-0.5mまで掘削、地山確認
133	H14.3.148	左京三条五坊六・七坪	三条木町2-1他	(財)自転車 駐車場整備 財	自転車駐車場新築	宅地	14.11.1・ 6	GL-1.5mまで掘削、盛土内
134	H14.3.163	左京五条二坊六坪	西条大路南 363-13	個人	個人住宅新築	宅地	14.11.8	GL-0.5mまで掘削、盛土内
135	H14.3.217	左京三条一坊四坪	三条大路一丁目 580番1、583番 1	奈良移動体 通信(株)	店舗・事務所新築	宅地	14.11.11	GL-0.8mまで掘削、盛土内
136	H14.3.159	一条南大路・東一坊大路 向隣寺境内	法華寺町へ法蓮 町	奈良市長	下水道敷設	道路・ 宅地	14.11.11・ 12.19 14.12.25	GL-0.7mまで掘削、盛土内 GL-2.0mまで掘削、地山確認
137	H14.3.186	左京三条四坊十六坪	芝辻二丁目 152-1	個人	共同住宅新築	水田	14.11.13	工事先行
138	H14.3.157	左京五条三坊六坪	大女寺七丁目 877-1	個人	共同住宅新築	水田	14.11.14	GL-0.2mまで掘削、盛土内
139	H14.3.139	古市城跡	古市町2316	個人	個人住宅新築	水田	14.11.14	GL-0.1mまで掘削、地山確認
140	H14.3.163	右京七条四坊六坪	七条西町一丁目 627-313	個人	個人住宅新築	宅地	14.11.15	GL-0.8mまで掘削、盛土内
141	H14.3.181	左京四条六坊十三坪	論議町3番-1、4 番	個人	個人住宅新築	宅地	14.11.20	GL-0.35mまで掘削、地山確認
142	H14.3.194	左京五条二坊八坪	大女寺町567-5	個人	事務所付住宅新築	宅地	14.11.20・ 22	GL-2.0mまで掘削、地山確認
143	H14.3.182	朱雀大路・左京四条一坊 一坪	西条大路三丁目 955、958	増田食品	店舗新築	水田	14.11.25 14.12.12	GL-0.3mまで掘削、地山確認 GL-0.5mまで掘削、遺構確認
144	H14.3.195	右京二条四坊十一・十二 坪	音響町370番地	奈良市長	パンビーホーム	学校敷 地	14.11.25	GL-0.7mまで掘削、地山確認

145	H14.3.172	右京三条三坊八坪	菅原町112-1、124の一部	個人	賃貸住宅新築	宅地		
146	H14.3.173	右京三条三坊八坪	菅原町112-1、125の一部	個人	賃貸住宅新築	宅地	14.11.26	GL-0.9mまで掘削、盛土内
147	H14.3.120	森田横六間掘地	西大寺赤川町一丁目556-19地	医療法人平和会	病院増築	宅地	14.11.28	GL-1.0mまで掘削、地山確認
148	H14.3.197	左京二条三坊八・九坪	法華寺町	奈良市長	河川改修	国有水路	14.11.28	GL-0.7mまで掘削、盛土内
149	H14.3.064	左京四条五坊一坪	三条本町325-1他	個人	マンション新築	宅地	14.11.28 14.12.18	GL-2.0mまで掘削、地山確認 GL-4.0mまで掘削、地山確認
150	H14.3.177	右京二条三坊四坪	香加町182-6	個人	個人住宅新築	宅地	14.12.2 14.12.2	GL-1.3mまで掘削、旧耕作土内 GL-1.0mまで掘削、盛土内
151	H14.3.147	左京三条三坊二坪	西大寺南土地地区典葬地内61街区1-1掘地	個人	個人住宅新築	宅地	14.12.3	GL-1.4mまで掘削、地山確認
152	H14.3.072	左京四条六坊九坪	角掘町13-1番地	個人	歯科診療所新築	宅地	14.12.2	工事先行、土質調査でさす
153	H14.3.179	東一坊坊間掘	柏木町260-2、-6	個人	駐車場造成	水田	14.12.6	GL+1.2mまで掘上、掘削なし
154	H14.3.022	左京五条一坊十四坪	柏木町532-1	(株)東洋	びーかつ新築	水田	14.12.9-10	GL-0.7mまで掘削、地山確認
155	H14.3.168	左京二条六坊十・十五坪	法蓮町1169-2-3他	個人	個人住宅新築	宅地	14.12.9	GL-4.0mまで掘削、土層調査でさす
156	H14.3.203	古市城跡	古市町1846-69	個人	個人住宅新築	宅地	14.12.9	GL-0.2mまで掘削、盛土内
157	H14.3.202	左京九条二坊七坪	西九条町三丁目3-1	個人	共同住宅新築	宅地	14.12.11	GL-0.2mまで掘削、盛土内
158	H14.3.158	松林苑跡	佐紀町地内	奈良市長	下水道敷設	道路	14.12.11、17	GL-2.0mまで掘削、地山確認
159	H14.3.166	左京二条三坊十四坪	法華寺町135-1前地	奈良市長	防球ネット設置	学校用地	14.12.12	GL-3.0mまで掘削、地山確認
160	H14.3.169	左京二条北郭六坊一・三坪	法蓮町1263-6	個人	個人住宅新築	宅地	14.12.13	GL-0.2mまで掘削、盛土内
161	H14.3.207	古市城跡	古市町2112-9	個人	共同住宅新築	宅地	14.12.17	GL-1.2～1.5mまで掘削、地山確認
162	H14.3.204	上ノ口遺跡・古泉御役地(東遺跡地内1-8B・83)	田中町600	個人	駐車場造成	竹林	14.12.17	地山確認
163	H14.3.205	上ノ口遺跡・古泉御役地(東遺跡地内1-8B・83)	田中町601	個人	駐車場造成	竹林	14.12.17	地山確認
164	H14.3.212	左京四条四坊十一坪	三条本町28-4	(有)バインコ	店舗新築	宅地	14.12.18	GL-0.7mまで掘削、盛土内
165	H14.3.221	右京一条三坊一坊八坪	秋篠月町209-28	個人	個人住宅新築	宅地	14.12.20	GL-0.7mまで掘削、盛土内
166	H14.3.226	左京三条三坊十三坪・東三坊大路	大宮三丁目199番地	(株)大倉商店	駐車場造成	水田	14.12.20	GL-0.3mまで掘削、耕土内
167	H14.3.042	左京五条四坊十二坪	大安寺六丁目838-1	個人	共同住宅新築	水田	14.12.20	工事先行
168	H14.3.200	左京八条四坊十二坪	東九条町645-3	個人	個人住宅新築	水田	14.12.20	工事先行
169	H14.3.189	左京五条一坊二・三坪・朱雀大路	五条町11番1	KDDI	携帯電話用無線基地局設置	水田	15.1.6	GL-1.6mまで掘削、地山確認
170	H14.3.070	東四坊大路	大安寺六丁目784-2の一部	モリタ住建	分譲住宅新築	宅地	15.1.7	GL-0.9mまで掘削、盛土内
171	H14.3.228	右京三条三坊十四坪	宝来二丁目859-5、859-6	個人	共同住宅新築	水田	15.1.6・9	GL-0.8mまで掘削、地山確認
172	H14.3.208	左京六条二坊十四坪	八条四丁目639-1	個人	店舗・事務所新築	水田	15.1.9	掘削なし
173	H14.3.211	左京四条四坊一坪	三条添川町109-5	個人	動物病院併用・住宅新築	宅地	15.1.10	GL-1.55mまで掘削、地山確認
174	H14.3.031	右京六条四坊五・十二坪	六条三丁目1092-7、1093-4	個人	共同住宅新築	宅地	15.1.14	GL-0.1mまで掘削、地山確認
175	H13.3.202	左京二条一坊二・七坪	二条人路町一丁目	奈良市長	下水道敷設	道路	15.1.14～18	GL-2.0mまで掘削、盛土内
176	H14.3.235	西一坊大路	五条町三丁目826-6	個人	個人住宅新築	宅地	15.1.16・21	GL-1.4mまで掘削、地山確認
177	H14.3.056	左京四条四坊八・九坪	念の窪一丁目608-1	個人	マンション新築	水田	15.1.20・24	GL-0.9mまで掘削、水田土内
178	H14.3.225	右京二条三坊八・七坪	西大寺駅前土地地区掘削区域内19街区1-1、1-2掘地	個人	共同住宅新築	宅地	15.1.21	GL-0.4mまで掘削、盛土内
179	H14.3.240	左京二条五坊五坪・奈良町遺跡	法蓮町47-3	個人	共同住宅新築	宅地	15.1.24	GL-0.1mまで掘削、盛土内
180	H14.3.238	元興寺町掘内・奈良町遺跡	今御門町7、6-2、8-4	個人	個人住宅新築	宅地	15.1.25	GL-0.3mまで掘削、盛土内
181	H14.3.223	左京四条四坊十六坪・東四坊大路	二条宮前町35-10他	松家商事	事務所新築	宅地	15.1.29・30	GL-2.2mまで掘削、地山確認

182	H14.3230	南紀寺遺跡	白鬮寺町748番17	個人	個人住宅新築	宅地	15.1.30	GL-0.4mまで掘削、盛土内
183	H14.3236	南紀寺遺跡	高畑町43-3	個人	共同住宅新築	宅地	15.2.3	GL-0.1mまで掘削、盛土内
184	H14.3220	古市城跡	古市町1846-48	個人	個人住宅新築	宅地	15.2.3	GL-0.4mまで掘削、地山確認
185	H14.3164	二条大路	菅原町391-31、391-5	個人	個人住宅新築	宅地	15.2.5	工法により、土層確認できず
186	H14.3239	五条大路	紀寺町664-1、664-2	個人	共同住宅新築	宅地	15.2.6	GL-0.3mまで掘削、盛土内
187	H14.3209	左京三条一坊十六坪	一条通南一丁目211～同二丁目1-47	大阪ガス	ガス管敷設	道路	15.2.12・14・17 15.2.19	GL-0.8mまで掘削、耕作土内 GL-1.0mまで掘削、0.9m下で仮築層?
188	H14.3249	西四坊大路	七条西一丁目627番283	個人	個人住宅新築	宅地	15.2.12	GL-0.3mまで掘削、地山確認
189	H14.3216	左京二条四坊十六坪	芝辻町三丁目7-2番1地	個人	個人住宅新築	宅地	15.2.12	GL-1.2mまで掘削、0.7m下で地山、奈良時代の遺構面確認
190	H14.3262	左京九条一坊七・八・十坪	左京九条五丁目2番	共栄社化学(株)	倉庫増築	宅地	15.2.14	GL-1.5mまで掘削、盛土内
191	H14.3022	左京八条一坊十四坪	船木町532-1地	船東洋	スポーツクラブ新築	水田	15.2.14	GL-0.2～0.4mまで掘削、蹴野で奈良時代の遺構面直上、他は水田床土内
192	H14.3229	左京八条一坊十五坪	船木町44-3	奈良市長	道路拡幅	畑地	15.2.18	GL-0.6mまで掘削、地山確認
193	H14.3245	左京二条四坊十六坪	芝辻町二丁目	個人	個人住宅新築	宅地	15.2.19	GL-0.2mまで掘削、盛土内
194	H14.3244	左京三条五坊十六坪・奈良町遺跡	興定町8-6	個人	個人住宅新築	宅地	15.2.21	GL-0.3mまで掘削、盛土内
195	H14.3180	右京七条一坊十六坪	右京の京町126、139-1	個人	工場新築	水田	15.2.24	GL-0.6mまで掘削、地山面まで掘していない
196	H14.3265	右京六条四坊二・三坪	六条二丁目989-4番地	個人	個人住宅新築	宅地	15.2.25	GL-0.7mまで掘削、盛土内
197	H14.3282	左京二条五坊九・十坪	法蓮町986番119	個人	個人住宅新築	宅地	15.2.26、3.7	GL-0.3mまで掘削、盛土内
198	H14.3278	右京五条二坊五坪	五条二丁目621番3、621番5	(株)サン・リアルエステート	分譲住宅新築	宅地	15.2.28	工事先行
199	H14.3279	右京五条三坊九坪	八条二丁目621番4、621番6	(株)サン・リアルエステート	分譲住宅新築	宅地		
200	H14.3213	南紀寺遺跡	白鬮寺町745-1、3番地	聖(仮)文化財協会	個人住宅新築	宅地	15.3.3	GL-0.4mまで掘削、盛土内
201	H14.3116	六条山道跡	六条西三丁目1481-25	個人	個人住宅新築	宅地	15.3.10	GL-0.8mまで掘削、盛土内
202	H14.3231	池田遺跡	池田町61-6番地	個人	駐車場・資材置場造成	水田	15.3.10	GL-0.2mまで掘削、耕作土内
203	H14.3258	西陵寺旧境内	西大寺東町1丁目H46-1	伊藤忠都市開発(株)	モデルルーム新築	宅地	15.3.11	GL-0.3mまで掘削、盛土内
204	H14.3174	左京四条四坊十五坪・東四坊大路	三条京前町14街区9号	個人	マンション新築	宅地	15.3.10-11	GL-1.8mまで掘削、地山面まで掘していない
205	H14.3289	左京三条一坊三坪	三条大路三丁目470-1、471-1、471-4	新日本石油(株)	給油所新築	宅地	15.3.11	GL-1.3mまで掘削、盛土内
206	H14.3085	左京八条大路・東一坊四坪	吉町158-3、158-8	個人	自動車修理工場	宅地	15.3.13	GL-0.7mまで掘削、盛土内
207	H14.3263	右京二条二坊十二坪	西大寺園見町二丁目296-26	個人	個人住宅新築	宅地	15.3.14	工事先行+土留観察できず
208	H14.3301	興福寺旧境内・奈良町遺跡	紀寺町964-1	個人	個人住宅新築	宅地	15.3.14	GL-0.2mまで掘削、盛土内
209	H14.3250	左京四条五坊八坪	三条本町	JR西日本	仮駅舎建設	鉄道敷	15.3.17 15.3.24	GL-1.3mまで掘削、盛土内 GL-0.8mまで掘削、耕作土内
210	H14.3242	左京二条三坊三・六坪・二条築路遺構小路	法華寺町203-1	個人	店舗新築	宅地	15.3.17	GL-1.3mまで掘削、盛土内
211	H14.3284	右京一条北辺四坊八坪	西大寺赤田町一丁目818-5	個人	個人住宅新築	宅地	15.3.19	GL-0.4mまで掘削、盛土内
212	H14.3290	左京八条一坊八坪	吉町277-5	奈良市長	725及び門扉新築	宅地	15.3.19	GL-0.6mまで掘削、耕作土内
213	H14.3274	左京五条一坊三坪	大安寺町536-1	マスト商事(株)	店舗・事務所新築	宅地	15.3.24・27	GL-0.3mまで掘削、地山確認
214	H14.3305	右京五条四坊三坪	平松園1丁目434-1の一部	(株)豊岡屋住宅流通	分譲住宅新築	宅地	15.3.27	GL-1.4mまで掘削、地山確認
215	H14.3257	右京三条二坊十六坪	西大寺園見町二丁目358-8	個人	個人住宅改修	宅地	15.3.28	GL-0.3mまで掘削、盛土内

(2) 平成14年度文化財保護法80条の現状変更等許可申請書に伴う工事立会

番号	申請受理番号	遺跡名	申請地	申請者	事業内容	現況	立会結果	
							日付	内容・所見
1	H13.1047	史跡大安寺旧境内	大安寺町71238-1	芝池水利組合	井戸改修	掘り池	14.4.1	GL-0.9mまで掘削、盛土内

2	H13.1054	名勝奈良公園	登大塚町	奈良市長	観光案内所跡の設置	道路	14.4.3	GL-0.5mまで掘削、盛土内
3	H14.1005	史跡平城京朱雀大路跡	三条大路四丁目1番1号	積水化学工業(株)	上水道復旧工事	宅地	14.5.3	GL-0.6mまで掘削、地山確認
4	H14.1012	史跡東大寺御境内	手貝町54番1	奈良市長	塀の建て替え	宅地	14.10.22	GL-0.3～0.4mまで掘削、盛土内
5	H14.1014	名勝奈良公園	春日野町50-1番地の先	奈良市長	バス停・休憩所設置	バス停	14.11.14	GL-0.9mまで掘削、地山確認
6	H14.1026	史跡大佛寺御境内	大安寺二丁目1317	古崎弘美	住宅の増築	宅地	14.12.2	GL-0.15mまで掘削、盛土内
7	H14.1046	史跡大佛寺御境内	大安寺二丁目1317	古崎弘美	ガレージの新築	宅地	14.12.10	GL-0.2～0.3mまで掘削、灰褐色土内
8	H14.1039	史跡大佛寺御境内	大安寺四丁目1-4	大西勇	建物解体	宅地	14.12.10	15.3.18・19
9	H14.1048	史跡大佛寺御境内	大安寺町外1294-1	武野一郎	欄干改修工事	溜め池	15.3.18・19	GL-1.2mまで掘削、地山確認

(3) 平成15年度文化財保護法第57条2・3の埋蔵文化財届出書・通知に伴う工事立会

番号	届出受理番号	遺跡名	届出地	届出者	事業内容	現況	立会結果	
							日付	工事内容・所見
1	H14.3219	元興寺田境内、奈良町遺跡	東寺林町内	奈良市長	宅録共同掘削	道路	15.4.1・6.19	GL-2.0mまで掘削、盛土内
2	II14.3312	奈良町遺跡	高瀬町634-3	ミヤト興産	分譲住宅の新築	宅地	15.4.2	GL-0.2mまで掘削、盛土内
3	H14.3309	左京三条一坊一五坪	福智町1番6他	(有)つる山	店舗付住宅の新築	宅地	15.4.2	GL-0.3mまで掘削、盛土内
4	II14.3315	右京五条四坊一坪	平松四丁目434-1の一部	個人	分譲住宅の新築	宅地	15.4.3	GL-1.5mまで掘削、地山確認
5	H14.3130	新薬師寺御境内	西の京町330	豊空寺	住宅改築	宅地	15.4.7	GL-0.2mまで掘削、盛土内
6	II14.3275	右京三条四坊四坪	宝来三丁目759、760	個人	駐車場造成	水田	15.4.9	GL-1.7mまで掘削、地山確認
7	H14.3260	左京三条四坊十四坪	大宮町二丁目135-14	個人	店舗新築	宅地	15.4.10	GL-0.75mまで掘削、遺物包含層確認
8	H14.3299	左京三条五坊五坪	大宮町一丁目26-3	(株)セレンディ	倉庫・駐車場の新築	宅地	15.4.10	GL-0.85mまで掘削、盛土内
9	H14.3313	左京八条一坊十四坪	舍町303番20他	個人住宅新築	宅地	15.4.18	GL-0.4mまで掘削、耕作土内	
10	H14.3311	奈良町遺跡	高瀬町716番13	(株)豊水興産	宅地造成	宅地	15.4.21	GL-0.7mまで掘削、盛土内
11	II14.3019	左京三条二坊四・五坪	一条大路一丁目584-29	個人	個人住宅新築	宅地	15.4.24	GL-0.1mまで掘削、盛土内
12	H14.3316	東三坊大路	大宮町197番4	個人	個人住宅新築	宅地	15.4.25	GL-0.1mまで掘削、盛土内
13	II14.3273	新薬師寺御境内	高瀬町372-3	個人	個人住宅新築	宅地	15.5.5	GL-0.25mまで掘削、盛土内
14	H13.3297	奈良町遺跡	東包永町1-1、今小路34-1	個人	個人住宅新築	宅地	15.5.7	GL-0.3mまで掘削、近隣包含層確認
15	II15.3009	西三坊大路・西大寺旧境内	西大寺新田町522番地1	個人	個人住宅新築	宅地	15.5.12・16	GL-1.2mまで掘削、地山確認
16	II14.3283	左京四條一坊十坪	四條大路二丁目850-1	オーエスハウジング(株)	棟梁工事	水田	15.5.13・22	GL-0.2～0.4mまで掘削、耕作土内
17	H14.3320	古市城跡	古市町2185-10	プレステ(株)	分譲住宅新築	宅地	15.5.16	GL-0.1mまで掘削、地山確認
18	H15.3033	朱雀入路	朱雀入路二丁目31-2	個人	個人住宅新築	宅地	15.5.20	GL-0.4mまで掘削、盛土内
19	II14.3318	白雀寺遺跡	高瀬町4-1	(株)シテイホーム	分譲住宅新築	宅地	15.5.20	GL-0.3mまで掘削、盛土内
20	H15.3025	古市城跡	古市町2225番1の一部	個人	個人住宅新築	宅地	15.5.28	GL-0.1～0.3mまで掘削、盛土内
21	H14.3022	右京五条三坊八坪	五条一丁目425-12他	個人	個人住宅新築	宅地	15.5.28	工事先行
22	H15.3020	左京四家内坊四・十二坪・四家大路	大宮町224-9	個人	個人住宅新築	宅地	15.5.2	GL-1.0mまで掘削、盛土内
23	H15.3048	右京五条四坊二・七坪	平松四丁目432-5	(株)福興原住宅流通	個人住宅新築	宅地	15.5.9	GL-1.8mまで掘削、同0.6mまで地山確認
24	H15.3041	右京五条三坊七・十坪	平松二丁目250番21	個人	個人住宅新築	宅地	15.6.10	GL-0.7mまで掘削、同0.3mまで地山確認
25	H14.3300	左京五条八坊十四坪	瓦堂町6-1	個人	医院新築	宅地	15.6.11	GL-1.0mまで掘削、地山確認
26	II10.3175	平野瓦窯跡	川上町字片原山897-2他	奈良市長	市道建設	山林	15.6.12	GL-0.2mまで掘削、地山確認

27	H15.3045	右京三条三坊七坪	西大寺南上地区 園芸埋地内60坪 区4画地	個人	老人福祉施設新築	宅地	15.6.18、 7.7	GL-1.5mまで掘削、盛土内
28	H14.3233	左京一条四坊十五・十六坪	法蓮町836	奈良高校	校舎増築	学校	15.6.19	GL-1.8mまで掘削、盛土内
29	H14.3047	九条大路・通物敷布地(築 造跡地区1-8B-169)	北之庄町723-11	藤部タクシ ー(株)	事務所・倉庫新築	宅地	15.6.20	GL-1.2mまで掘削、盛土内
30	H15.3015	東二条大路	四条大路一丁目 478番地	個人	個人住宅新築	荒廃地	15.6.23	GL-0.7～0.8mまで掘削、河川 堆積物確認
31	H14.3319	左京四条六坊八坪	本字守町11-1、 12-1	個人	店舗付個人住宅新築	宅地	15.6.24	GL-1.0mまで掘削、盛土内
32	H14.3303	左京一条一坊十二・十三坪	三条大路二丁目 562-1他	日本洋取(株)	店舗新築	宅地	15.6.26	GL-0.7～0.8mまで掘削、盛土 内
33	H15.3034	左京四条三坊十五・十六坪	三条筋川町 125-1	個人	店舗新築	宅地	15.6.30、 9.11	GL-1.1mまで掘削、床土内
34	H15.3049	右京一条二坊五・六坪	二条町二丁目54 番35	個人	個人住宅新築	宅地	15.6.30	GL-2.5mまで掘削、地山確認
35	H15.3062	右京二条一坊七坪	一条大路南四丁 目1100番地12	株式会社工 業(株)	浄化槽増設	宅地	15.7.2	GL-2.3mまで掘削、地山確認
36	H15.3060	左京三条三坊五・十二 坪・坪地小路	大青町四丁目 269-4	個人	店舗新築	宅地	15.7.4・7	GL-0.3～0.4mまで掘削、盛土 内
37	H15.3036	三条大路・左京三条五坊 四・五坪・坪地小路	大宮町一丁目 26-3	(株)パシ ー	店舗新築	宅地	15.7.7・8	GL-0.1mまで掘削、盛土内
38	H15.3084	右京五条四坊二坪・三 七坪・坪地小路	平松園丁日 432-3	(株)福岡屋 住宅流通	個人住宅新築	宅地	15.7.9	GL-0.9mまで掘削、地山確認
39	H14.3321	左京四条四坊十三坪	三条小路244他	個人	共同住宅新築	宅地	15.7.14	GL-1.7mまで掘削、盛土内
40	H15.3064	右京八条四坊十五・十六 坪	七条西町一丁目 609-67	個人	個人住宅新築	宅地	15.7.16	GL-0.9mまで掘削、地山確認
41	H15.3079	右京三条三坊七坪・西三 坊坊間路・菅原東道跡	菅原東町461番 地	個人	個人住宅新築	宅地	15.7.16	GL-0.5mまで掘削、盛土内
42	H15.3021	八条大路	西九条町560番2 地	個人	個人住宅新築	宅地	15.7.18	GL-0.5mまで掘削、盛土内
43	H15.3053	右京一条三坊四坪	菅原町174-6他	個人	個人住宅新築	宅地	15.7.18	GL-0.3mまで掘削、盛土内
44	H15.3058	右京八条三坊九坪	七条一丁目539	個人	個人住宅新築	宅地	15.7.18	GL-2.0mまで掘削、地山確認で きず
45	H15.3042	右京一条一坊十坪・菅原 寺田境内	菅原町479番地1 他	個人	個人住宅新築	宅地	15.7.22	GL-0.8mまで掘削、0.7～0.8 m下で地山確認
46	H15.3083	左京一条三坊十二坪	法蓮寺町135	個人	個人住宅新築	宅地	15.7.23	GL-0.2mまで掘削、盛土内
47	H15.3081	西二坊人跡	六条一丁目 507-1の二部	個人	店舗新築	宅地	15.7.24	GL-0.9mまで掘削、盛土内
48	H15.3059	一条桑間路	西大寺野神町二 丁目578	個人	個人住宅新築	宅地	15.7.25	GL-0.8mまで掘削、地山確認
49	H15.3069	右京四条二坊六坪・六 十一坪坪地小路	尾辻南町15番2 地	個人	個人住宅新築	宅地	15.7.28	GL-1.0mまで掘削、地山確認
50	H15.3082	左京一条一坊十五坪	大宮六丁目2-20	(株)テナ ンッシュ	店舗・事務所新築	宅地	15.7.28	GL-1.2mまで掘削、旧耕作土内
51	H15.3104	白蓮寺遺跡	白蓮寺町900番 1	(英)新(社) グループホーム新築	グループホーム新築	宅地	15.7.28	押壁部でGL-1.7～1.8mまで掘削、旧埋路を確認、埋土から 奈良時代の土器が出土
52	H15.3068	東八坊大路・奈良町遺跡	興芝町8-5番地	個人	個人住宅新築	宅地	15.8.1	GL-0.3mまで掘削、盛土内
53	H15.3109	左京二条五坊一坪	芝辻町一丁目	個人	個人住宅新築	宅地	15.8.7・ 21	土質確認できず
54	H15.3037	中山横穴開削地	中山町1495番の 1部	個人	個人住宅新築	畑地	15.8.8	GL-0.3mまで掘削、地山確認
55	H15.3044	左京四条二坊五条	四条大路一丁目 1000番103	個人	個人住宅新築	宅地	15.8.11	GL-0.1mまで掘削、盛土内
56	H15.3115	左京九条三坊二坪	西九条町二丁目 6-1	個人	個人住宅新築	宅地	15.8.18	GL-0.9mまで掘削、盛土内
57	H14.3237	左京二条七坊八・九坪	東包永町49-1他	(株)ビッ グナラ	店舗新築	青空駐 車場造 成	15.8.20	GL-0.5mまで掘削、盛土内
58	H15.3080	左京六条一坊一坪	約木町493番8 他	個人	個人住宅新築	宅地	15.9.2	GL-0.3mまで掘削、盛土内
59	H15.3096	奈良町遺跡	高畑町1381-1 一部、1381-15	個人	個人住宅新築	宅地	15.9.4	GL-0.1mまで掘削、地山確認
60	H15.3056	左京二条七坊七部	川上町587-1、 587-2	個人	共同住宅新築	宅地	15.9.4	GL-1.0mまで掘削、盛土内

61	H15.3114	一条南大路・右京二条二坊十六坪	西人寺福見町一丁目2137-85等地	個人	立体駐車場新築	空中駐車場造成	15.9.8	GL-0.5mまで掘削、盛土内
62	H14.3310	奈良町遺跡	高槻町1198-1の一部	個人	個人住宅新築	宅地	15.9.9	GL-0.4mまで掘削、鎌倉～江戸時代の遺物(石塔等)
63	H15.3116	元興寺旧境内	調布G-8、6-9	個人	個人住宅新築	宅地	15.9.10、12	GL-0.3～0.4mまで掘削
64	H14.3295	右京五条六坊十坪	西小辻町274番地	個人	分譲住宅新築	宅地	15.9.10	GL-0.1mまで掘削、盛土内
65	H15.3137	左京四条三坊十五・十六坪	三条堀町125-1	(株)ローン	広告塔設置	宅地	15.9.10	GL-1.2mまで掘削、耕作土内
66	H15.3103	左京八条二坊十一坪	大安寺二丁目68-9	個人	個人住宅新築	宅地	15.9.11	GL-0.8mまで掘削、盛土内
67	H15.3119	左京三条五坊四・五坪	大宮町一丁目26-3の一部	丸紅(株)	モデルルーム新築	駐車場	15.9.11	GL-0.3mまで掘削、盛土内
68	H15.3078	八条大路	西九条町二丁目1-1	個人	郵便局新築	宅地	15.9.12	GL-0.1mまで掘削、盛土内
69	H15.3050	左京五条六坊五坪・坪狭小路・奈良町遺跡	南条福町18-5	個人	個人住宅新築	宅地	15.9.12	GL-0.2mまで掘削
70	H15.3087	左京九条四坪十五・十六坪	東九条町232-4	個人	個人住宅新築	宅地	15.9.16	GL-0.25mまで掘削、盛土内
71	H15.3132	元興寺旧境内・奈良町遺跡	公納町4、5-1、5-2等地	個人	個人住宅新築	宅地	15.9.16	GL-0.6mまで掘削、盛土内
72	H15.3110	左京三条五坊一坪	芝山町一丁目119-46	個人	個人住宅新築	宅地	15.9.16	GL-0.25mまで掘削、盛土内
73	H15.3133	左京九条一坊十五坪・九条二坊二坪・東一坊大路	西九条町三丁目	人知ハウス工業(株)	店舗新築	駐車場	15.9.22	GL-0.8mまで掘削、盛土内
74	H15.3125	興福寺旧境内・奈良町遺跡	東向北町23番地	東向北町商店街	事務所新築	宅地	15.9.26	GL-0.65mまで掘削、中近世の創包層確認
75	H15.3094	ヒヤダ古表	先妃町1214	奈良市長	市道舗装工事	道路	15.9.26	GL-0.2mまで掘削、盛土内
76	H15.3130	左京二条六坊五坪・坪狭小路・奈良町遺跡	西新町20-14	個人	個人住宅新築	宅地	15.9.30	GL-0.5mまで掘削、盛土内
77	H15.3129	左京九条四坊十六坪	東九条町250番地97	個人	個人住宅新築	宅地	15.10.3	GL-1.2mまで掘削、盛土内
78	H15.3143	元興寺旧境内	調布5-5、5-4	個人	個人住宅新築	宅地	15.10.6	GL-0.8mまで掘削、盛土内
79	H15.3127	四条大路	大新町224-12	個人	個人住宅新築	宅地	15.10.6	GL-1.2mまで掘削、盛土内
80	H15.3040	右京五条二坊三坪	五条町292-4	個人	保育器新築	宅地	15.10.6	GL-0.6mまで掘削、耕作土内
81	H15.3136	春日橋跡	二名町四丁目1193-03	個人	個人住宅新築	宅地	15.10.6	工事先行
82	H15.3076	左京四条二坊六坪	西条大路一丁目462-97	個人	個人住宅新築	宅地	15.10.7	GL-0.2mまで掘削、盛土内
83	H15.3051	左京二条五坊十六坪	法蓮町987番1	個人	個人住宅新築	宅地	15.10.8	GL-0.2～0.25mまで掘削、耕作土内
84	H15.3131	左京五条四坊十四坪	大安寺六丁目775-2の一部	個人	個人住宅新築	宅地	15.10.8	GL-0.85mまで掘削、地山確認
85	H15.3151	右京四条二坊十六坪	尼辻町212-4、212-8、216-3	個人	店舗付個人住宅新築	宅地	15.10.8	GL-0.3mまで掘削、盛土内
86	H15.3009	白毫寺遺跡	高槻町6-4番地	(株)シディホーム	分譲住宅新築	宅地	15.10.10	GL-0.5mまで掘削、盛土内
87	H15.3108	右京五条三坊十坪	平松二丁目264-89	個人	個人住宅新築	宅地	15.10.10	GL-0.2～0.4mまで掘削、盛土内
91	H15.3158	八条大路	西九条町二丁目	個人	個人住宅新築	宅地	15.10.17	掘削なし、土層確認でず
92	H15.3171	白毫寺遺跡	高槻町4-5	(株)シディホーム	個人住宅新築	宅地	15.10.21	GL-0.2～0.3mまで掘削、盛土内
93	H15.3148	左京五条二坊十一坪	西条大路南387-7	個人	個人住宅新築	宅地	15.10.22	GL-0.3～0.8mまで掘削、盛土内
94	H15.3164	左京五条七坊一坪	井土町25番6	個人	個人住宅新築	宅地	15.10.23	GL-0.15mまで掘削、盛土内
95	H15.3163	右京四条二坊八・九坪	尼辻町184-1、185-1、183-1、421-2、182-1	個人	駐車場造成	宅地	15.10.24	GL-0.95mまで掘削、遺物包含層確認
96	H15.3174	元興寺旧境内	調布5-3	個人	個人住宅新築	宅地	15.10.24	工事先行
97	H15.3141	左京三条四坊十三坪	大宮町二丁目82-65	個人	個人住宅新築	宅地	15.10.28	GL-1.3mまで掘削、盛土内
98	H15.3150	左京二条六坊七坪	法蓮町1088-1	個人	店舗付マンション新築	宅地	15.10.28	GL-1.2mまで掘削、盛土内

99	H15.3165	右京三条一坊一坪	菅原町118、119-1、121、123の一部	個人	共同住宅新築	宅地	15.10.31	GL-0.2mまで掘削、盛土内
100	H15.3169	左京四条一坊十坪	四条大路7丁目22-10	個人	個人住宅新築	宅地	15.11.5	GL-0.2～0.3mまで掘削、盛土内
101	H15.3181	左京二条四坊九坪	法蓮町411-1	(有)ネットスペース	倉庫・駐車場新築	宅地	15.11.7	GL-0.9mまで掘削、盛土内
102	H15.3152	東市勝遊歩地	東九条町、香町	奈良市水道局	水道新設	道路	15.11.7	GL-1.7mまで掘削、盛土内
103	H15.3144	左京五条二坊十二坪	四条大路南町387番22	四条大路南町自治会	自治会集会所新築	宅地	15.11.7	GL-0.45mまで掘削、盛土内
104	H15.3172	右京二条三坊一坪	西大寺南地区12街区1、1-2掘削地	個人	病院新築	宅地	15.11.7	GL-0.9mまで掘削、盛土内
105	H15.3173	右京八条四坊一坪	七条西町一丁目604番2、587番19	個人	個人住宅新築	宅地	15.11.10	GL-1.7mまで掘削、地山確認
106	H15.3107	右京七条二坊二坪	六条100-1の一部	(有)坪林おけクラブ	店舗新築	水田	15.11.10	GL-0.7mまで掘削、地山確認
107	H15.3191	左京五条三坊六坪	東の庄二丁目210-112	個人	個人住宅新築	宅地	15.11.12	GL-1.0mまで掘削、盛土内
108	H15.3124	左京一条二坊十・十五坪・東二坊大路	法華寺町971-4他	大阪ガス㈱	ガス管敷設	道路	15.11.19・26・27	GL-0.8～1.2mまで掘削、地山確認
							15.11.28	GL-1.0mまで掘削、新耕作土内
109	H15.3156	西院寺田境内	山大寺水町196-5、196-1の一部	社会福祉法人奈良「命の電話」協会	事務所新築	宅地	15.11.19	GL-0.7mまで掘削、地山確認
							15.11.28	GL-1.1～2.0mまで掘削、地山確認
110	H15.3176	奈良町遊歩	高畑町681-5	個人	個人住宅新築	宅地	15.11.19	GL-0.2～0.3mまで掘削、盛土内
111	H15.3168	左京二条五坊一・二坪・坪堀小路	法蓮町307-2	個人	共同住宅新築	宅地	15.11.21	GL-0.5mまで掘削
112	H15.3155	左京四条二坊十坪・田村藤遊歩地	四条大路一丁目745-9	個人	共同住宅新築	宅地	15.11.26	GL-0.22mまで掘削、盛土内
113	H16.3185	元興寺田境内・奈良町遊歩	龍門5番6、5番7	個人	個人住宅新築	宅地	15.11.28	GL-0.25mまで掘削、盛土内
114	H15.3187	一条条間路、右京一条四坊七坪	西大寺野神町二丁目1755	個人	個人住宅新築	畑地	15.12.3	GL-0.5mまで掘削、盛土内
115	H15.3182	一条条間路、左京一条三坊六坪	法華寺町	奈良市長	道路舗装工事	道路	15.12.8	GL-0.1mまで掘削、盛土内
116	H15.3138	左京三条一坊十二坪	三条大路二丁目554-1他	エナジー(株)	倉庫新築	宅地	15.12.9	工事先行
117	H15.3179	右京二条三坊一坪・菅原東遊歩	菅原町の一部	個人	共同住宅新築	宅地	15.12.10	GL-0.2mまで掘削、盛土内
118	H15.3147	左京一条五坊十坪	芝辻町11-32他	個人	個人住宅新築	宅地	15.12.11	GL-0.3mまで掘削、盛土内
119	H15.3205	左京八条四坊一坪	大安寺四丁目1034-10他	個人	個人住宅新築	宅地	15.12.11	GL-0.1mまで掘削、盛土内
120	H15.3199	西大寺田境内	西大寺北一丁目254番9の一部	個人	個人住宅新築	宅地	15.12.12	GL-0.3mまで掘削、盛土内
121	H15.3095	西一坊間路・右京三条一坊七坪	三条大路四丁目246他	大阪ガス㈱	ガス管敷設工事	道路	15.12.16	GL-0.8～1.2mまで掘削、地山確認
122	H15.3154	右京二条二坊九坪	尾辻北町320-8	個人	個人住宅新築	宅地	15.12.8・16	GL-0.6mまで掘削、同0.3mまで地山確認
123	H15.3195	奈良町遊歩	中辻町54番1、2	個人	個人住宅新築	宅地	15.12.18	GL-0.7mまで掘削、盛土内
124	H15.3202	左京二条三坊九坪	法華寺町	奈良市長	河川改修工事	水路	15.12.24	GL-0.7mまで掘削、盛土内
125	H15.3097	虚空藏町遺物散布地	虚空蔵町147-7	奈良市長	公園	宅地	16.1.8	GL-0.6mまで掘削、地山確認
126	H15.3180	白毫寺遊歩地	白毫寺町396の1番地他	奈良市長	道路拡幅工事	山林	16.1.13	GL-1.8mまで掘削、地山確認
127	H15.3207	西一坊大路	二条町二丁目3-18	大阪ガス㈱	ガス管理区	道路	16.1.14	GL-0.8mまで掘削、地山確認
128	H15.3249	西人寺田境内	西大寺野神町一丁目575番10の一部	個人	個人住宅新築	宅地	16.1.14	GL-0.2mまで掘削、地山確認

129	H15.3248	二条桑田路・左京二条七坊十四坪・奈良町遺跡	川久保町23-2	個人	賃貸住宅新築	宅地	16.1.15	GL-0.15mまで掘削、盛土内
130	H15.3200	朱雀大路	六条町1番19、21、23	個人	個人住宅新築	宅地	16.1.19	GL-0.5mまで掘削、盛土内
131	H15.3140	奈良町遺跡	高槻町1464番地の一部	(宗)天理教	個人住宅兼分譲会新築	宅地	16.1.26	GL-0.55mまで掘削、地山確認
132	H15.3213	一条南人路・右京一条四坊十二坪・西大寺旧境内	若菜台二丁目1968-10	個人	個人住宅新築	宅地	16.1.26	柱状改良部分でGL3.0m掘削、現地表付近は盛土であることを確認
133	H15.3214	左京二条三坊九坪	法華寺町25の一部	個人	共同住宅新築	宅地	16.1.26	GL-0.3mまで掘削、盛土内
134	H15.3250	元興寺旧境内・奈良町遺跡	徳之町11-1、今御門町12-2の一部	個人	個人住宅新築	宅地	16.1.27	GL-0.3mまで掘削、盛土内
135	H15.3253	右京二条三坊一坪	菅原町184-1、195-1	個人	グループホーム新築	宅地	16.1.28	GL-1.0mまで掘削、盛土内
136	H15.3251	左京五条三坊六坪	徳の庄二丁目210番109	個人	個人住宅新築	宅地	16.1.29	GL-0.3mまで掘削、盛土内
137	H15.3257	元興寺旧境内・奈良町遺跡	公納堂町4	個人	個人住宅新築	宅地	16.2.16	GL-0.8mまで掘削、公納堂内
138	H15.3237	東二坊大路・左京三条二坊十三坪	二条大路南一丁目～大宮町七丁目地内	奈良市長	街路改良工事	宅地・ 道路	16.2.4 16.3.11	工事先行 GL-1.4mまで掘削、盛土内
139	H15.3206	三条大路	北米三丁目733番2、733番3	個人	個人住宅新築	宅地	16.2.25	GL-0.2mまで掘削、地山確認
140	H15.3224	左京四条五坊三坪	二条本町317-2番地	個人	個人住宅付店舗新築	宅地	16.2.9、 23	GL-1.6～1.8mまで掘削、同1.2～1.7m下で地山確認
141	H15.3274	右京六条四坊六・十一坪・坪境小路	六条一丁目1051-5他	個人	共同住宅新築	宅地	16.2.9	GL-0.3mまで掘削、盛土内
142	H15.3244	左京九条三坊七坪	西九条町二丁目4番3	個人	デイサービスセンター新築	宅地	16.2.10	GL-0.85mまで掘削、新土内
143	H15.3270	東二坊坊間路・左京八条二坊十一坪	八条五丁目328-1他	(株)ジャンボ中村	店舗新築	宅地	16.2.10 16.2.13	GL-1.5mまで掘削、盛土内 GL-0.3～0.4mまで掘削、盛土内
144	H15.3052	西一坊人路	七条町102-1、103-4	個人	店舗新築	宅地	16.2.13	GL-0.3mまで掘削、盛土内
145	H15.3235	左京三条六坊八・九坪・奈良町遺跡	内侍堀町	奈良市水道局	水道管改良工事	道路	16.2.17	GL-0.6mまで掘削、盛土内
146	H15.3252	左京三条三坊四・五坪	大宮町西丁目334-4	個人	個人住宅新築	青守駐 車場	16.2.19	GL-0.5mまで掘削、盛土内
147	H15.3276	左京二条三坊十一坪・二条水間路	法華寺町646	個人	共同住宅新築	宅地	16.2.19	GL-1.0mまで掘削、灰色粘土層確認
148	H15.3268	南紀寺遺跡	南紀寺町三丁目315-16	個人	個人住宅新築	宅地	16.2.20	GL-0.6mまで掘削、盛土内
149	H15.3231	朱雀大路	西条人路二丁目215-1	個人	個人住宅新築	宅地	16.2.20	GL-0.2mまで掘削、盛土内
150	H15.3278	右京二条二坊十四坪・菅原東遺跡	西大寺町見取二丁目296-60	個人	個人住宅新築	宅地	16.2.21	土壌確認できず
151	H15.3290	左京四条六坊十三・十六坪・奈良町遺跡	角隈新町25-3	個人	個人住宅新築	宅地	16.2.23	GL-1.0～1.6mまで掘削、0.8～1.4m下で地山確認
152	H15.3197	朱雀大路	六条町7-3	個人	個人住宅新築	宅地	16.3.1	GL-0.7mまで掘削、盛土内
153	H15.3228	左京五条三坊十一坪	徳の庄二丁目9-10番地	個人	個人住宅新築	宅地	16.3.1	GL-0.3mまで掘削、盛土内
154	H15.3190	左京四条一坊一坪	西条大路三丁目968-1、974-1	個人	デイサービスセンター新築	宅地	16.3.1	GL-0.2mまで掘削、盛土内
155	H15.3265	左京五条七坊三・六坪・坪境小路・奈良町遺跡	井上町7番地	個人	個人住宅新築	宅地	16.3.16	GL-0.3mまで掘削、盛土内
156	H15.3241	左京五条七坊三坪・奈良町遺跡	井上町25-9、25-10	個人	個人住宅新築	宅地	16.3.9	GL-0.5mまで掘削、盛土内
157	H15.3284	右京五条四坊十坪	平松五丁目560-55	個人	個人住宅新築	宅地	16.3.9	GL-0.5mまで掘削、盛土内
158	H15.3292	左京二条七坊七・八坪・坪境小路・奈良町遺跡	西御前町43番4	個人	個人住宅新築	宅地	16.3.11	GL-0.15mまで掘削、盛土内
159	H15.3112	左京二条六坊六・十一坪	林小路1-3、1-9番地	個人	個人住宅付医院増築	宅地	16.3.12	GL-1.8mまで掘削、0.7m下で地山確認

160	H15.3302	八条大路	京九条町403-3の一部	(株)アイーナ	分譲住宅新築	宅地	16.3.12	GL-1.95mまで掘削、0.7m下で地山確認
161	H15.3296	左京五条二坊一坪	志の露町一丁目595-3、-4	個人	個人住宅新築	宅地	16.3.12	GL-0.4mまで掘削、盛土内
162	H15.3291	左京二条七坊北部	川上町578-5	個人	個人住宅新築	宅地	16.3.16	GL-0.5mまで掘削、盛土内
163	H15.3282	葛木寺旧境内	西木辻町147-1、145-1の一部	個人	病院新築	宅地	16.3.17	GL-0.3mまで掘削、盛土内
164	H15.3279	左京六条三坊九坪	大空寺三丁目124-1	個人	長屋住宅新築	宅地	16.3.19	GL-1.0mまで掘削、遺構面確認
165	H15.3271	左京七条一坊六坪	船木町354-5	個人	個人住宅新築	宅地	16.3.24	GL-0.3mまで掘削、盛土内
166	H15.3247	左京二条五坊北部	法蓮町737番1	個人	個人住宅新築	宅地	16.3.29	GL-1.0mまで掘削、0.9m下で奈良時代の遺物包含区確認
167	H15.3225	右京五条坊西十一坪	五条三丁目942-4	個人	個人住宅新築	宅地	16.3.30	GL-0.4mまで掘削、盛土内
168	H15.3316	広大寺地遺跡	池田町146-1	個人	個人住宅新築	宅地	16.3.31	GL-0.4mまで掘削、0.25m下で地山確認
169	H15.3334	左京三条一坊五坪	三条大路三丁目地内	(株)山上屋	駐車場造成	宅地	16.3.31	GL-0.7mまで掘削、遺構面確認

(4) 平成15年度文化財保護法80条の別状変更等許可申請書に伴う工事立会

番号	申請受理番号	遺跡名	申請地	申請者	事業内容	現況	立会結果	
							日付	工事内容・所見
							1	H14.1040
2	H15.1009	史跡大安寺旧境内	大安寺町ヒラキ1294-7	芝池水利組合	フェンス及び門扉の設置	新め池	15.5.29	GL-0.3m掘削、盛土内
3	H15.1060	史跡大安寺旧境内	大安寺町1299-1	(宗)大安寺	塀の設置	宅地	15.12.22	GL-0.3m掘削、盛土内
4	H15.1027	史跡大安寺旧境内	京九条町1393番5	奈良市長	下水道管造工事	道路	16.2.13、14・26	GL-1.3m掘削、盛土内 GL-1.3m掘削、地山確認

(5) 平成16年度文化財保護法第57条2・3の埋蔵文化財届出書・通知に伴う工事立会

番号	届出受理番号	遺跡名	届出地	届出者	事業内容	現況	立会結果	
							日付	工事内容・所見
							1	H15.3305
2	H15.3297	左京六条三坊十一坪	大空寺町二丁目66番1、67番4	個人	車庫新築	駐車場	16.4.2	GL-0.3mまで掘削、盛土内
3	H15.3313	左京二条四坊八坪	芝辻二丁目231-18	個人	個人住宅新築	宅地	16.4.2	GL-0.3mまで掘削、盛土内
4	H15.3240	左京五条六坊十坪・坪境小路・奈良町遺跡	西木辻町299-1、他	個人	個人住宅新築	宅地	16.4.2	GL-1.3mまで掘削、0.6～0.7m下で地山確認
5	H15.3220	興福寺旧境内・奈良町遺跡	舟形町39-1、39-4	個人	個人住宅新築	宅地	16.4.2	GL-1.7mまで掘削、0.7m下で地山確認
6	H15.3149	左京五条七坊三坪	花園町2番地	個人	個人住宅新築	宅地	16.4.5	GL-0.5mまで掘削、地山確認
7	H15.3225	左京八条二坊六坪	吾町451-1番地	NTTドコモ	携帯電話基地局建築	水田	16.4.6 16.4.12	GL-1.5mまで掘削、0.8mまで盛土、以下観察できず GL-1.3mまで掘削、地山確認
9	H15.3332	右京二条一坊十二坪	三条大路四丁目481-1	美吉野ハウジング(株)	分譲住宅新築	宅地	16.4.8	GL-1.5mまで掘削、0.8m下で地山確認
10	H15.3318	左京二条二坊一坪	法華寺町371-9	個人	個人住宅新築	宅地	16.4.8	GL-0.3mまで掘削、盛土内
11	H15.3310	左京二条六坊十・十五坪	法蓮町1169-10他	個人	個人住宅新築	宅地	16.4.9	GL-0.05mまで掘削、盛土内
12	H15.3306	左京六条四坊十六坪	大空寺五丁目962-3	個人	共同住宅新築	宅地	16.4.9	工事先行
13	H15.3245	左京一条内坊五坪	法蓮町567-9	個人	個人住宅新築	宅地	16.4.12	工事先行
14	H15.3303	左京二条四坊八坪	芝辻町二丁目248-1の一部	個人	個人住宅新築	宅地	16.4.12	工事先行
15	H15.3283	右京四条一坊十五坪	四条大路五丁目138-6他	個人	個人住宅新築	宅地	16.4.12	GL-0.5mまで掘削、盛土内
16	H15.3315	左京四条二坊六坪	三条大路四丁目17番地	個人	個人住宅新築	宅地	16.4.13	GL-0.3mまで掘削、盛土内
17	H15.3281	左京四条二坊六坪	四条大路一丁目459-17	個人	個人住宅新築	宅地	16.4.19	GL-0.5～0.95mまで掘削、盛土内
18	H15.3322	左京二条五坊六坪	法蓮町43番2	個人	共同住宅新築	宅地	16.4.22	GL-0.2mまで掘削、盛土内
19	H15.3262	左京六条三坊十三坪	大安寺二丁目39番1他	(株)新日本ハウス	宅地造成分譲住宅新築	水田	16.4.23、5.24-31、6.9・10.18	GL-0.2～0.3mまで掘削、盛土内
20	H15.3226	左京一条三坊十一坪	法華寺町1346-1、1346-5	個人	個人住宅新築	宅地	16.4.23	GL-0.4mまで掘削、盛土内

21	H16.3008	左京四条三坊六坪	三桧町176-3 六条一丁目881 番5	個人	個人住宅新築	宅地	16.4.28	GL-0.3mまで掘削、盛土内
22	H15.3167	右京六条三坊十坪		個人	個人住宅新築	宅地	16.4.28	GL-0.4mまで掘削
23	H15.3329	左京二条三坊三・六坪	法華寺町202-3	個人	共同住宅新築	駐車場	16.4.28	GL-1.0mまで掘削、地山に至らず
24	H16.3035	左京二条三坊二坪・東二坊大路	法華寺町306-4他	個人		畑地		
25	H16.3036	左京二条三坊二坪・東二坊大路	法華寺町306-5他	個人	ガス・下水道工事	畑地	16.5.7	GL-0.7mまで掘削、盛土内
26	H15.3298	元興寺町境内・奈良町通跡	西新岸町39	個人	個人住宅新築	宅地	16.5.11	GL-0.15mまで掘削、盛土内
27	H15.3337	左京二条六坊北郷	法蓮町1273-3	個人	個人住宅新築	宅地	16.5.14	GL-0.2mまで掘削、盛土内
28	H16.3011	左京二条二坊十五坪	法華寺町307-2	個人	駐車場造成	水田	16.5.18	盛土のみ
29	H15.3333	西大寺田境内	若菜台三丁目1876-3	個人	個人住宅新築	宅地	16.5.17	GL-0.15mまで掘削、盛土内
30	H16.3024	左京三条六坊一坪	阪新屋町12-2	個人	個人住宅新築	宅地	16.5.19	GL-1.3mまで掘削、地山確認
31	H15.3311	西大寺田境内	若菜台三丁目1876-5	個人	個人住宅新築	宅地	16.5.24	GL-0.3mまで掘削、盛土内
32	H15.3040	左京四条五坊十五坪	一条町579-2	個人	個人住宅新築	宅地	16.5.25	GL-0.3mまで掘削、盛土内
33	H16.3002	左京三条三坊四坪	大宮町七丁目372他	個人	個人住宅新築	宅地	16.5.27	GL-0.7mまで掘削、盛土内
34	H16.3028	左京二条七坊五坪	北平川西町18-2の一部	個人	個人住宅新築	宅地	16.6.1	GL-0.4mまで掘削、盛土内
35	H16.3009	右京七条四坊十二坪	七条西町一丁目627	個人	個人住宅新築	宅地	16.6.1	GL-1.3mまで掘削、地山確認
36	H16.3042	左京九条四坊一坪	東九条町304-1の一部	(株) シティホーム	分譲住宅新築	宅地	16.6.2	GL-1.5mまで掘削、河川の可能性
37	H16.3043	左京九条四坊一坪	東九条町304-1の一部	(株) シティホーム	分譲住宅新築	宅地	16.6.2	GL-1.5mまで掘削、河川の可能性
38	H15.3314	西大寺田境内	西大寺野神町二丁目1813-3	個人	個人住宅新築	宅地	16.6.2	GL-1.0mまで掘削、盛土内
39	H16.3032	左京五条七坊三坪	弁上町25番8、1	個人	個人住宅新築	宅地	16.6.3	GL-1.2mまで掘削、17～18世紀の出土遺物確認
40	H16.3033	左京五条八坊十坪	大森町25-3	個人	共同住宅新築	宅地	16.6.7	GL-0.3mまで掘削、盛土内
41	H16.3004	奈良町通跡	高瀬町1368番2	個人	個人住宅新築	宅地	16.6.7	GL-0.3mまで掘削、盛土内
42	H16.3015	左京七条四坊十三坪	東九条町1106-2、1106-3	個人	共同住宅新築	水田	16.6.8 16.6.11	GL-3.2mまで掘削、地山確認 GL-0.4mまで掘削、盛土内
43	H16.3037	奈良町通跡	紀寺町592-6、592-4	個人	個人住宅新築	宅地	16.6.9	GL-0.9mまで掘削、盛土内
44	H15.3338	養藤寺田境内	西ノ京町	奈良市水道事業管理官 共栄社化学館	水道工事	道路	16.6.9	GL-1.0mまで掘削、盛土内
45	H15.3300	左京九条一坊七坪	西九条町五丁目2		食堂新築	宅地	16.6.11	GL-1.4mまで掘削、盛土内
46	H15.3325	左京二条三坊八坪	法華寺町345番地	個人	共同住宅新築	水田	16.6.14 16.6.18	GL-0.25mまで掘削、盛土内 GL-0.3mまで掘削、地山確認
47	H16.3023	古市城跡	古市町1846-31	個人	個人住宅新築	宅地	16.6.10 16.6.14	GL-2.8mまで掘削、地山確認 GL-0.7mまで掘削、地山確認
48	H15.3324	左京四条五坊七坪	一条本町319他	個人	店舗等・老人ホーム新築	宅地	16.6.15	GL-2.2mまで掘削、地山確認
49	H16.3047	奈良町通跡	西木辻町12番地	個人	個人住宅新築	宅地	16.6.17	GL-0.5mまで掘削、盛土内
50	H16.3012	左京一条八坊一坪	法蓮町902-4	個人	個人住宅新築	宅地	16.6.23	GL-0.3mまで掘削、地山確認
51	H15.3204	古市城跡	熊野町383番地	個人	個人住宅新築	宅地	16.6.24	GL-0.4mまで掘削、盛土内
52	H16.3010	西大寺寺地	若菜台三丁目1876番6	個人	個人住宅新築	宅地	16.6.28	GL-0.4mまで掘削、地山確認
53	H16.3064	右京五条四坊五坪	五条町三丁目901-1	個人	分譲住宅新築	宅地	16.6.28	GL-0.4mまで掘削、地山確認
54	H16.3077	古市町通跡敷布地	古市町938の一部	個人	個人住宅新築	水田	16.6.29、 9.15	GL-1.4mまで掘削、地山確認
55	H15.3254	右京五条一坊三坪	五条町51番1	(株) NIT	鉄塔新築	水田	16.6.28	GL-0.9mまで掘削、地山確認
56	H16.3057	右京七条四坊十坪	七条西町一丁目61-4	個人	個人住宅新築	宅地	16.6.30	GL-0.8mまで掘削、地山確認
57	H16.3013	左京九条二坊十坪	西九条町二丁目13-1番地	KDDI 側	携帯電話基地局構築	宅地	16.6.30	GL-1.8mまで掘削、地山確認
58	H15.3301	左京二条五坊十五坪	法蓮町1047番1	個人	共同住宅新築	宅地	16.7.2	GL-0.9mまで掘削、盛土内
59	H16.3070	左京九条四坊一坪	東九条町364-1番地の一部	(株) シティホーム	分譲住宅新築	宅地	16.7.2	GL-1.9mまで掘削、地山確認
60	H16.3059	左京三条六坊一坪・奈良町通跡	今辻子町15番地	個人	個人住宅新築	宅地	16.7.5	GL-0.7mまで掘削、地山確認
61	H15.3335	左京六条一坊十坪	新木町490-1	個人	個人住宅新築	宅地	16.7.6	GL-1.0mまで掘削、盛土内
62	H16.3025	左京二条三坊二坪	法華寺町305-7	個人	個人住宅新築	宅地	16.7.6、 15	GL-0.1～0.2mまで掘削、盛土内
63	H16.3076	左京六条一坊十坪	新木町490-22	個人	個人住宅新築	宅地	16.7.7	GL-2.5mまで掘削、地山確認

64	H16.3067	右京五条四坊八坪	平松 丁目 449-26、27	個人	個人住宅新築	宅地	16.7.7	GL-0.15mまで掘削、地山確認
65	H16.3061	左京九条三坊二坪	高九条町 丁目 6-12	個人	共同住宅新築	宅地	16.7.7- 22	GL-0.3～0.6mまで掘削、盛土内
66	H16.3029	左京三条三坊九坪	芝辻町四丁目11番9他	(株)住	分譲住宅建設	宅地		
67	H16.3030	左京三条三坊九坪	芝辻町四丁目11番9他	(株)住	分譲住宅建設	宅地	16.7.12	GL-0.4mまで掘削、盛土内
68	H16.3031	左京三条三坊九坪	芝辻町四丁目11番9他	(株)住	分譲住宅建設	宅地		
69	H16.3041	左京五条一坊十一坪	西条入道南町 385-74	個人	個人住宅新築	宅地	16.7.20	GL-0.2mまで掘削、盛土内
70	H16.3095	四条大路	尾辻町E442-6	個人	共同住宅新築	緑地	16.7.22	GL-0.35mまで掘削、盛土内
71	H16.3068	左京五条三坊十六坪	窓の庵 丁目 630番27	個人	個人住宅新築	宅地	16.7.23	GL-2.0mまで掘削、盛土内
72	H16.3103	東市舞臺地	東九条町440-3	個人	賃貸住宅新築	宅地	16.7.23- 24・8.20	GL-0.4m掘削、盛土内
73	H16.3109	東市舞臺地	東九条町440-3	個人	賃貸住宅新築	宅地		
74	H16.3117	左京九条二坊十六坪	西九条町275-2	個人	個人住宅新築	宅地	16.7.26	GL-0.3mまで掘削、盛土内
75	H16.3081	奈良町遺跡	高畑町1207-1	英和不動産住宅	上下水道の会所の新設	宅地	16.7.28	GL-1.5mまで掘削、地山確認?
76	H16.3099	朱雀大路	三条大路三丁目 452-3	個人	個人住宅新築	宅地	16.7.30	GL-0.5mまで掘削、盛土内
77	H15.3218	左京四条八坊八坪・奈良町遺跡	本丁守町18番地	大神神社	社務所新築	神社	16.8.2	GL-0.3mまで掘削、盛土内
78	H16.3104	左京二条七坊七坪	北中町西町18-2の一部	個人	個人住宅新築	宅地	16.8.2	GL-0.2mまで掘削、盛土内
79	H16.3087	右京北辺坊四坪	西大寺堂ヶ丘 738-1	(株)西田住宅	宅地造成	宅地	16.8.3・4	GL-1.0mまで掘削、地山確認
80	H16.3130	左京二条六坊十五坪	法蓮町1169-2	個人	個人住宅新築	宅地	16.8.4	GL-0.2mまで掘削、盛土内
81	H16.3089	左京五条四坊十二坪	大安寺六丁目 839-2他	個人	共同住宅新築	畑地	16.8.4～7	GL-0.6mで遺構面(地山上面)、井戸・土坑、その他撤出
82	H16.3118	古市城跡	古市町2112番5	個人	個人住宅新築	宅地	16.8.6	GL-0.5mまで掘削、盛土内
83	H15.3275	左京二条五坊北落	法蓮町888番2	個人	個人住宅新築	宅地	16.8.6	GL-0.3mまで掘削、盛土内
84	H16.3054	左京七条七坊六坪・奈良町遺跡	井十町13番地の1、4	奈良市長	仮設消防庁舎新築	宅地	16.8.5・9	GL-1.2mまで掘削、地山確認
85	H16.3079	左京六条二坊十四坪	八条町四丁目 643	(医)済生会奈良病院	病院新築	駐車場	16.8.9	GL-1.1mまで掘削、盛土内
86	H16.3090	興隆寺境内果樹園地	大宝山奥坊16番6	個人	個人住宅新築	宅地	16.8.9	GL-0.15mまで掘削、盛土内
87	H16.3085	左京二条三坊七坪	大宮町六丁目3番 20号	個人	倉庫新築	宅地	16.8.9	GL-0.3mまで掘削、盛土内
88	H16.3101	左京四条一坊十四坪	西条大路 丁目 35の1部	個人	共同住宅新築	水川	16.8.6	工事先行
89	H16.3102	左京四条一坊十四坪	西条大路 丁目 35の1部	個人	共同住宅新築	水川	16.8.11	GL-0.3mまで掘削、盛土内
90	H16.3114	六条入路	六条 丁目 1170-43の 一部	御神名	分譲住宅新築	宅地	16.8.16	GL-0.5mまで掘削、盛土内
91	H16.3115	六条入路	六条 丁目 1170-43の 一部	御神名	分譲住宅新築	宅地	16.8.16	工事先行
92	H16.3126	左京六条三坊十二坪	大安寺四丁目45番 46番合併1	個人	貸付岡垣造成	水田	16.8.18	GL-0.2mまで掘削、盛土内
93	H16.3093	六条大路	西ノ京町内	奈良市長	道路整備	道路	16.8.18・ 25	GL-1.0mまで掘削、盛土内
94	H16.3074	左京九条二坊四坪	西九条町四丁目 2-5	(有)大志製作所	事務所新築	宅地	16.8.18・ 19	GL-1.1mまで掘削、GL-0.5mで地山確認
95	H16.3116	右京一条三坊一坪	西大寺本町 206-3、206-10、 206-6の 一部	個人	倉庫増築	宅地	16.8.19	GL-0.6mまで掘削、地山確認
96	H16.3051	左京一条三坊四坪	法華寺町1238-1	個人	共同住宅新築	水田	16.8.20・ 24	工事先行・GL-0.7mまで掘削、地山上面と小柱穴確認
97	H15.3261	左京五条三坊十四坪	窓の庵東町164番 1、164番5	(株)新日本	宅地造成・分譲住宅新築	水田	16.8.23	工事先行・GL-0.2mまで掘削、盛土内
98	H16.3038	右京五条一坊九坪	五条町131-3、 131-4の各一部	個人	倉庫新築	水田	16.8.23	GL-0.55mまで掘削、盛土内
99	H16.3111	右京三条三坊二坪	菅原町58、88、 89番地	個人	共同住宅新築	宅地	16.8.23	GL-0.4mまで掘削、盛土内
100	H16.3080	右京三条一坊四坪・朱雀大路	三条大路四丁目 1-1	環境化学工業(株)	工場増築	宅地	16.8.25、 10.7	GL-1.0mまで掘削、盛土内
101	H16.3075	右京三条二坊一坪	三条大路南五丁目 109番2他	個人	農業用倉庫新築	水田・ 畑地	16.8.25	GL-0.4mまで掘削、地山確認
102	H16.3058	左京五条一坊九坪・田村遺跡	四条大路南町4-8	個人	個人住宅新築	宅地	16.8.27・ 30	上層確認できず
103	H16.3034	右京四条二坊九坪	尾辻中町10-27	個人	店舗新築	宅地	16.8.30	GL-1.0mまで掘削、0.4m下で地山確認

104	H16.3096	左京三条一坊十五坪	三条大橋南二丁目135-3	個人	店舗新築	宅地	16.8.30	GL-0.5mまで掘削、盛土内
105	H16.3128	左京九条一坊十五坪	西九条町二丁目10番8	個人	個人住宅新築	宅地	16.9.1	GL-2.3mまで掘削、1.3mトド地山と遺構面確認
106	H16.3123	左京六条西坊十四坪	大安寺一丁目177-8	個人	個人住宅新築	宅地	16.9.1	GL-1.3mまで掘削、地山と奈良時代の遺構面確認
107	H16.3152	左京六条西坊十五坪	大安寺五丁目986-5、986-15	(株)ホクケン	分譲住宅新築	宅地	16.9.1	GL-0.4mまで掘削、盛土内
108	H16.3151	左京六条西坊十五坪	大安寺五丁目986-1他	(株)ホクケン	分譲住宅新築	宅地	16.9.2	GL-0.6mまで掘削、旧耕土内
109	H16.3167	左京三条一坊六坪	大宮町四丁目302-4	大阪ガス(株)	ガス管敷設	道路	16.9.2	GL-0.7mまで掘削、旧耕土内
110	H16.3138	右京四条三坊八坪	宝来町二丁目124-11	個人	個人住宅新築	宅地	16.9.3	GL-1.0mまで掘削、盛土内
111	H16.3091	左京一条五坊三坪	法蓮町912-1	個人	個人住宅新築	宅地	16.9.3	GL-0.2mまで掘削、盛土内
112	H16.3121	右京二条四坊九坪	若菜台三丁目1984-1	個人	共同住宅新築	宅地	16.9.6・11.19	GL-0.15～2.2mまで掘削、地山確認
113	H16.3143	左京三条坊十一、十二坪・奈良町遺跡	大宮町一丁目24番地他	大阪ガス(株)	ガス管敷設	道路	16.9.2・8	GL-1.1mまで掘削、盛土内
114	H16.3155	右京二条三坊三坪	舞阪町278-1	三和住宅(株)	分譲住宅新築	宅地	16.9.9	GL-0.5mまで掘削、盛土内
115	H16.3132	左京八条三坊十五坪	東九条町715番7	個人	個人住宅新築	宅地	16.9.10	GL-0.25mまで掘削、盛土内
116	H16.3319	右京六条一坊九坪	六条町242-2	個人	個人住宅新築	宅地	16.9.10	上層確認できず
117	H16.3157	右京一条一坊十坪	菅原町260-4	個人	個人住宅新築	宅地	16.9.10	GL-0.15mまで掘削、遺物包含層確認
118	H16.3160	新築部守田境内・奈良町遺跡	高畑町1366-1	大阪ガス(株)	ガス管敷設	道路	16.9.13	GL-0.7mまで掘削、盛土内
119	H16.3145	右京二条四坊五坪	菅原町609番11	個人	個人住宅新築	宅地	16.9.13	GL-0.3mまで掘削、盛土内
120	H16.3113	左京九条三坊十四坪	西九条町49-1	岩本建設	資材場造成	水田	16.9.13	GL-0.3～0.5mまで掘削、盛土内
121	H16.3165	右京西条三坊十三、十四坪 堀小路、十四坪	平松一丁目864-5	さくらホーム(株)	資材場造成	宅地	16.9.13・14	GL-2.3mまで掘削、地山確認
122	H16.3083	右京六条西坊九坪	五条町三丁目957番5	個人	個人住宅新築	宅地	16.9.15	GL-0.2～0.6mまで掘削、盛土内
123	H16.3105	左京三条八坊十四坪・奈良町遺跡	今辻子町24-1番地	個人	事務所新築	宅地	16.9.17、10.5	GL-2.9mまで掘削、地山確認
124	H16.3153	朱雀大路・右京七条一坊二坪	六条町1-3、17、18	個人	個人住宅新築	宅地	16.9.17	GL-0.36mまで掘削、盛土内
125	H16.3129	東七坊大路・奈良町遺跡	紀寺町983-2、5、7	個人	個人住宅新築	宅地	16.9.21	工事先行
126	H16.3131	藤原寺田境内	西ノ京町内	奈良市長	道路修繕2.5m	道路	16.9.21	新築なし
127	H16.3166	左京九条六坊十坪・奈良町遺跡	西木辻町301-1	個人	個人住宅新築	宅地	16.9.21	GL-0.2mまで掘削、盛土内
128	H16.3199	左京五条一坊六坪	柏木町77-3	個人	個人住宅新築	宅地	16.9.21	GL-0.3mまで掘削、盛土内
129	H16.3179	左京二条三坊八坪	法華寺町343-1	個人	個人住宅新築	宅地	16.9.22	GL-1.0mまで掘削、奈良時代の土器片・瓦などを検出
130	H16.3154	一条東側路	法華寺町1340	個人	個人住宅新築	宅地	16.9.24	GL-0.2mまで掘削、盛土内
131	H16.3122	四条大路	五条町一丁目54-11他	個人	個人住宅新築	宅地	16.9.24	GL-0.3～0.4mまで掘削、盛土内
132	H16.3172	古市城跡	藤原園町19番地	KDDI(株)	移動体用通信設備	荒草地	16.9.27・28	GL-3.0mまで掘削、地山確認
133	H16.3078	左京三条五坊九坪・奈良町遺跡	芝辻町11番15号	個人	個人住宅新築	宅地	16.9.30	GL-0.4mまで掘削、盛土内
134	H16.3192	右京四条三坊九、十坪	宝来町二丁目118-1	個人	個人住宅新築	宅地	16.9.30	GL-0.25mまで掘削、盛土内
135	H16.3175	左京九条一坊十六坪	西九条町三丁目11-12	(有)船瀬和久工務店	分譲住宅新築	宅地	16.9.30	GL-1.0mまで掘削、耕作土内
136	H16.3182	左京九条一坊十二坪	西九条町五丁目3番2他	関西キース工業(株)	既小築新築	宅地	16.10.1	GL-0.3mまで掘削、盛土内
137	H16.3050	左京二条五坊十五坪	法蓮町1040-2	個人	個人住宅新築	宅地	16.10.1	GL-1.1mまで掘削、盛土内
138	H16.3060	右京六条三坊十坪	六条町一丁目826-1他	(株)浅川組	分譲住宅新築	宅地	16.10.4	GL-2.0mまで掘削、地山確認
139	H16.3148	左京六条西坊十四坪	大安寺一丁目15-1	大阪ガス(株)	ガス管敷設	道路	16.10.6	GL-0.6mまで掘削、盛土内
140	H16.3217	右京五条一坊四坪	五条町二丁目621-1・621-2の各一部	(株)サンリアルエステート	分譲住宅新築	宅地	16.10.7	GL-0.6mまで掘削、地山確認
141	H16.3218	右京五条三坊四坪	五条町二丁目621-1・621-2の各一部	(株)サンリアルエステート	分譲住宅新築	宅地	16.10.7	GL-0.45mまで掘削、盛土内
142	H16.3206	左京六条西坊十五坪	大安寺五丁目986-1	個人	個人住宅新築	宅地	16.10.8	GL-0.6mまで掘削、盛土内

143	H16.3208	左京六条四坊十五坪	大安寺五丁目 986-7	個人	個人住宅新築	宅地	16.10.8	GL-0.5mまで掘削、盛土内
144	H16.3168	元興寺町堀内・奈良町通跡	元興寺町17-1	個人	個人住宅新築	宅地	16.10.12	GL-0.3mまで掘削、盛土内
145	H16.3211	左京六条四坊十五坪	大安寺五丁目 986-9	個人	個人住宅新築	宅地	16.10.12	GL-0.6mまで掘削、盛土内
146	H16.3212	左京六条四坊十五坪	大安寺五丁目 986-6	個人	個人住宅新築	宅地	16.10.12	GL-0.4mまで掘削、盛土内
147	H16.3203	左京六条二坊四坪	八条五丁目425番1の一部	個人	共同住宅新築	宅地	16.10.18	GL-0.4mまで掘削、盛土内
148	H16.3219	左京九条四坊一坪	東九条町346-4	(株) シティホーム	分譲住宅新築	宅地	16.10.19	GL-0.35mまで掘削、地山確認
149	H16.3194	東二坊大路	芝辻町～大宮町 七丁目32内	奈良市長	街路改良工事	道路・宅地	16.10.19	GL-0.4mまで掘削、盛土内
150	H16.3184	左京九条四坊一坪	東九条町322-5、321-6	個人	宅地造成	畑地	16.10.25	GL-0.6mまで掘削、地山確認
151	H16.3173	左京四条二坊十四坪・田村通跡	西条大路一丁目 462-45	個人	個人住宅新築	宅地	16.10.25	GL-0.25mまで掘削、盛土内
152	H16.3063	右京八条三坊十六坪	七条一丁目570番3、572	個人	個人住宅新築	宅地	16.10.26	GL-0.6mまで掘削、盛土内
153	H16.3158	右京五条二坊四坪	五条町313	個人	個人住宅新築	宅地	16.10.27	GL-0.3mまで掘削、盛土内
154	H16.3204	左京八条三坊十坪	大安寺三丁目 78-1の 部	個人	宅地造成賃貸住宅新築	水田	16.10.27、 11.24	GI-0.3mまで掘削、盛土内
155	H16.3176	薬師部布地 (泉源部地団1-5A-5)	山崎町640-1	個人	個人住宅新築	宅地	16.10.28	GL-1.0mまで掘削、地山確認
156	H16.3205	右京三条四坊三坪・西三坊入路	実業三丁目870番8	個人	個人住宅新築	宅地	16.10.29	GI-0.3mまで掘削、盛土内
157	H16.3196	左京四条五坊六坪	三条本町270-11	個人	個人住宅新築	宅地	16.11.2	GL-0.3mまで掘削、盛土内
158	H16.3258	古市城跡	古市町2139-21	個人	個人住宅新築	宅地	16.11.4、 5、12.10	GL-2.2mまで掘削、盛土内
159	H16.3221	左京九条一坊十坪	西九条町五丁目2番地	共栄社化学(株)	倉庫新築	宅地	16.11.4	GL-1.2mまで掘削、盛土内
160	H16.3162	左京四条一坊三坪	西条大路三丁目 3-25、27	人取ガス(株)	ガス管敷設	道路	16.11.8	GL-0.67mまで掘削、盛土内
161	H16.3188	左京一条三坊五・十二坪	法華寺町 1309-4、1327-5	人取ガス(株)	ガス管敷設	宅地	16.11.10	GL-0.68mまで掘削、盛土内
162	H16.3133	左京四条五坊七坪	J R奈良駅周辺 土地区画整理地 区2画街区2両地	(有) サンワーク	店舗新築	宅地	16.11.10・ 11	GL-0.8mまで掘削、盛土内
163	H16.3225	西大寺旧堀内	西大寺芝町二丁目 2546-3	簡出産業	共同住宅新築	宅地	16.11.12	GL-0.8mまで掘削、地山確認
164	H16.3236	左京六条四坊十五坪	大安寺五丁目 986-16	(株) シティホーム	分譲住宅新築	宅地	16.11.12・ 15	GL-1.5mまで掘削、盛土内
165	H16.3230	東四坊大路	東九条町223-8	個人	共同住宅新築	宅地	16.11.15、 12.6	GL-0.4～0.7mまで掘削、盛土内
166	H16.3185	左京四条六坊十四坪・奈良町通跡	光明院町4番地	丸山建設産業	水産所新築	宅地	16.11.16・ 19	GL-1.1mまで掘削
167	H16.3171	古市城跡	古市町1846-78	大阪ガス(株)	ガス管敷設	道路	16.11.16	GL-0.8mまで掘削、地山確認
168	H16.3240	右京二条三坊四坪	菅原町174-1、187-7	個人	水産所新築	宅地	16.11.16	GL-0.7mまで掘削、盛土内
169	H16.3292	左京八条四坊二坪	東九条887-1番地 の一部	個人	店舗付住宅建設	宅地	16.11.19	工事先行、GL-0.8mまで掘削、地山確認
170	H16.3243	奈良町通跡	西京町1207-5地	個人	個人住宅改築	宅地	16.11.19	GL-0.3mまで掘削、地山確認
171	H16.3234	右京五条四坊一・四坪	平松町四丁目3番 1号	奈良市長	学校施設改築	中学校	16.11.22	GI-0.8mまで掘削
172	H16.3161	左京一条六坊七坪・奈良町通跡	高天町65-2	個人	個人住宅改築	宅地	16.11.24	GL-0.2mまで掘削、盛土内
173	H16.3232	東二坊坊間路	四条大路南町 23-7	個人	個人住宅改築	宅地	16.11.25	GL-0.25mまで掘削、盛土内
174	H16.3255	右京北辺坊三坊六坪	西大寺北町一丁目 3181-5	個人	共同住宅新築	宅地	16.11.25	GL-0.9mまで掘削、0.5m下で地山確認
175	H16.3177	西大寺旧堀内	西大寺北町 285-8	個人	個人住宅新築	宅地	16.11.26	GL-0.9mまで掘削、盛土内
176	H16.3231	左京六条一坊十坪	橋本町490-21	(株) ウズダ	分譲住宅新築	宅地	16.11.26	工事先行
177	H16.3283	右京北辺坊一条四坊五坪	西大寺ウヅダ丘 734-5	個人	個人住宅新築	宅地	16.12.1	GI-0.3mまで掘削、盛土内
178	H16.3254	古市城跡	古市町2112-22	個人	個人住宅新築	宅地	16.12.1・ 2	GI-0.3～1.7mまで掘削、地山確認
179	H16.3244	右京六条三坊二坪	六条一丁目554	個人	個人住宅新築	宅地	16.12.1	GL-0.4mまで掘削、地山確認
180	H16.3249	左京九条四坊 坪	東九条町364-3	(株) シティホーム	個人住宅新築	宅地	16.12.2	GL-1.5mまで掘削、古い時代の埋蔵物
181	H16.3053	左京四条一坊十六坪	西条大路町二丁目 815-1	まるとう工業(株)	店舗新築	宅地	16.12.2	GL-0.3mまで掘削、盛土内

182	H16.3233	左京二条四坊五坪	芝辻町2丁目115-1	個人	個人住宅新築	宅地	16.12.3	GL-0.1～0.2mまで掘削、盛土内
183	H16.3262	左京四条五坊十二坪	杉ヶ町13番4	個人	個人住宅新築	宅地	16.12.7	GL-0.25mまで掘削、盛土内
184	H16.3274	白叢寺道跡	百谷寺町899-1	(株) 新仁会	駐車場・資材置場造成	水田	16.12.7	GL-0.1mまで掘削、盛土内
185	H16.3259	左京四条二坊十一坪	西条大路一丁目462-100	個人	個人住宅新築	宅地	16.12.7	GL-0.4mまで掘削、盛土内
186	H16.3202	左京二条三坊二坪・七・八坪坪場小路	法華寺町307-10～338	大阪ガス(株)	ガス管敷設	道路	16.12.8	GL-1.0mまで掘削、盛土内
187	H16.3245	左京五条四坊四坪	大佛寺七丁目2-13	個人	個人住宅新築	宅地	16.12.8	GL-0.45mまで掘削、盛土内
188	H16.3269	奈良町道跡	高畑町726-4	個人	駐車場・資材置場造成	宅地	16.12.10	GL-2.2mまで掘削、近世の土留部取付確認
189	H16.3272	右京北辺坊二坊二坪	山崎町6-4	個人	個人住宅新築	宅地	16.12.10	GL-0.3mまで掘削、地山確認
190	H16.3291	左京三条三坊九坪	芝辻町四丁目11-23、24	居住	分譲住宅新築	宅地	16.12.13	GL-1.35mまで掘削、盛土内
191	H16.3265	右京五条三坊四坪	五条二丁目H578番の一部	個人	個人住宅新築	宅地	16.12.13	GL-0.3mまで掘削、盛土内
192	H16.3302	右京三条二坊二坪	青原町51-1他	個人	個人住宅新築	宅地	16.12.13	GL-1.2mまで掘削、盛土内
193	H16.3299	左京六条二坊十一坪	八条八丁目418番7	個人	個人住宅新築	雑種地	16.12.13	GL-0.3mまで掘削、盛土内
194	H16.3270	奈良町道跡	高畑町726-3	(株) 潜水	駐車場・資材置場造成	宅地	16.12.15	GL-2.0mまで掘削、当小池のような土の中で近世の遺物を検出
195	H16.3264	右京二条二坊十一坪	西大寺町見町二丁目299-10	個人	個人住宅新築	宅地	16.12.15	GL-0.65以上まで掘削、盛土内
196	H16.3297	元興寺境内	東寺林町17番1他	個人	個人住宅新築	宅地	16.12.20	GL-0.2mまで掘削、盛土内
197	H16.3288	左京九条三坊七坪	西九条町二丁目5-6、5-8	大阪ガス(株)	ガス管敷設	道路	16.12.20	GL-0.7mまで掘削、盛土内
198	H16.3220	左京六条四坊一坪	大光寺町四丁目1033-1の 一部他	大光建設(株)	宅地造成	宅地	16.12.21	工事先行
199	H16.3256	西一坊坊間路	西条大路四丁目41-1の 一部	個人	共同住宅新築	宅地	16.12.22	GL-0.3mまで掘削、盛土内
200	H16.3242	右京六条四坊三坪	六条二丁目854-1の 一部	個人	病院新築	水田	17.1.5	GL-2.7mまで掘削
201	H16.3263	左京四条四坊四坪	大森町204-15	個人	個人住宅新築	宅地	17.1.7	GL-0.3mまで掘削、盛土内
202	H16.3261	元興寺境内	御所5-15	個人	個人住宅新築	宅地	17.1.11	GL-0.3mまで掘削、盛土内
203	H16.3260	左京四条三坊一坪	三条川西町1-1、2-3	大阪ガス(株)	ガス管敷設	道路	17.1.11、2.1～3	GL-0.7～1.5mまで掘削、盛土内
204	H16.3312	左京六条三坊十六坪・四坊一坪(西二坊入路)	六条一丁目931番2の一部	個人	個人住宅新築	宅地	17.1.11	工事なし
205	H16.3308	奈良町道跡	高畑町726-4の一部	個人	個人住宅新築	宅地	17.1.13	GL-0.6mまで掘削、盛土内
206	H16.3266	平清水南成跡	平清水町603番地	KDDI(株)	携帯電話基地局新築	山林	17.1.13	GL-1.0mまで掘削、地山確認
207	H16.3317	左京八条東西坊大路	東九条町746-1、3	個人	共同住宅新築・駐車場造成	宅地	17.1.14	GL-0.2mまで掘削、盛土内
208	H16.3213	露木寺跡	西木辻町147-1他	個人	住宅兼病院新築	宅地	17.1.17-18・10	GL-1.0mまで掘削、地山確認
209	H16.3228	右京六条四坊三坪	六条二丁目1160他	(有)京西ハッピーサービス	老人デイケア施設の増築	宅地	17.1.18	GL-0.3mまで掘削、盛土内
210	H16.3313	左京二条三坊七坪	大宮町六丁目3-21	個人	医院建設	駐車場	17.1.19	GL-1.2mまで掘削、時期不明の土留器検出
211	H16.3207	左京六条四坊十五坪	大佛寺五丁目986-13	個人	個人住宅新築	宅地	17.1.19	GL-0.5mまで掘削、盛土内
212	H16.3311	右京二条三坊一坪	西大寺町南町2386-3	(株) コマイ	共同住宅新築	宅地	17.1.19、2.2	GL-2.7mまで掘削、地山確認
213	H16.3320	右京二条三坊十五坪	青野町105-1の一部	個人	賃貸住宅新築	宅地	17.1.20	GL-0.6mまで掘削、盛土内
214	H16.3310	左京四条一坊十三坪	冠辻町二丁目434-1	タマホーム(株)	住宅展示場新築	宅地	17.1.21-31	GL-0.8～1.0mまで掘削、盛土内
215	H16.3267	左京二条三坊九坪	法華寺町25-3	個人	集合住宅	宅地	17.1.21	GL-0.6mまで掘削、土留器検出
216	H16.3316	左京三条一坊十一坪	三条大路二丁目555-1他	個人	駐車場造成	水田	17.1.24	盛土のみ
217	H16.3198	左京二条一坊十一坪	三条大路二丁目561-1	個人	駐車場造成	水田	17.1.24	盛土のみ
218	H16.3197	左京二条一坊十一坪	三条大路二丁目559-1	個人	駐車場造成	水田	17.1.24	盛土のみ
219	H16.3268	元興寺境内	御所5-10、5-13	個人	個人住宅新築	宅地	17.1.24	GL-0.4mまで掘削、盛土内
220	H16.3306	左京二条三坊四・五坪	大宮町四丁目334-1の一部	続光貞自動車(株)	店舗新築	宅地	17.1.25	GL-1.3mまで掘削、旧跡七内
221	H16.3321	右京六条二坊四坪	六条町319他	個人	個人住宅新築	宅地	17.1.25	GL-0.2mまで掘削、盛土内

222	III6.3300	左京四条四坊十六坪・東四坊大路	JR奈良駅周辺土地区画整理事業施行地内14街区2の一部	(株)東東住宅	共同住宅等44-2新築	宅地	17.1.26	GL-0.4mまで掘削、盛土内
223	HI6.3318	左京四条一坊十六坪	四条大路・丁目819-1	個人	個人住宅増設	宅地	17.1.27	GL-0.65mまで掘削、盛土内
224	HI6.3315	左京四条二坊十坪	四条大路南町1-20-24	個人	個人住宅新築	宅地	17.1.28	GL-0.36mまで掘削、盛土内
225	HI6.3354	左京四条一坊十三坪	旭辻町乙434-1	タマホーム(株)	複設設置	宅地	17.1.31	GL-0.8mまで掘削、盛土内
226	HI6.3278	左京二条六坊六坪・一条西大路	法蓮町1106-3	個人	共同住宅新築	宅地	17.1.31	GL-0.94mまで掘削、盛土内
227	HI6.3296	右京三条三坊三坪	五条町二丁目584-1	個人	個人住宅新築	宅地	17.2.1	GL-0.5mまで掘削、地山確認
228	III6.3307	左京七条四坊三坪	東九条町1136-25	個人	個人住宅新築	宅地	17.2.2	GL-0.3mまで掘削、盛土内
229	III6.3305	左京八条七坊十二坪	紀守町668番地1	個人	個人住宅新築	宅地	17.2.3	GL-0.7mまで掘削、盛土内
230	III6.3298	左京一条七坊八坪	今在家町54-1他	個人	個人住宅新築	宅地	17.2.2	GL-0.72mまで掘削、盛土内
231	HI6.3330	左京六条二坊四坪	八条五丁目418-11、432-7	個人	個人住宅新築	宅地	17.2.7	GL-0.5mまで掘削、盛土内
232	HI5.3023	左京三条一坊九坪	二条大路南一丁目46-4	(株)チルドゾーランド	事務所新築	宅地	17.2.7	GL-1.05mまで掘削、盛土内
233	HI6.3271	右京二条西一坊大路	二条町三丁目90-58	個人	個人住宅改築	宅地	17.2.7	GL-0.3mまで掘削、盛土内
234	III6.3235	東市野池宅地	東九条町493-1	個人	共同住宅新築	宅地	17.2.9・10 17.3.10	GL-0.5～0.6mまで掘削、地山確認 GL-0.4mまで掘削、盛土内
235	HI6.3328	左京四門南坊十二坪	三条大路町5-15、5-16	大阪ガス(株)	ガス管敷設	道路	17.2.10	GL-1.6mまで掘削、地山確認
236	HI6.3191	左京三条四坊十坪	三条大路町5-212-2	大阪ガス(株)	ガス管敷設	道路	17.2.14、3.8	GL-0.7～1.0mまで掘削、地山確認
237	HI6.3163	左京八条三坊六坪	寺町588-1	個人	共同住宅新築	水口	17.2.17	GL-0.1mまで掘削、盛土内
238	III6.3339	右京四条西一坊大路	四条大路五丁目142-7	個人	併建付共同住宅新築	宅地	17.2.18	GL-0.15mまで掘削、盛土内
239	III6.3343	左京二条六坊三坪	西新在家町9-1、9-2	個人	個人住宅新築	宅地	17.2.18・21 17.2.24	GL-0.8mまで掘削、盛土内 GL-0.9mまで掘削、地山確認 GL-0.7mまで掘削、掘削面と考えられる地盤土確認
240	HI6.3327	右京二条一坊七・九坪・西一場側路	二条大路南四丁目	大阪ガス(株)	ガス管敷設	道路	17.3.3・8・16	GL-0.75mまで掘削、地山確認
241	HI6.3326	右京二条四坊十四坪	花田町一丁目	大阪ガス(株)	ガス管敷設	道路	17.2.21	GL-0.7mまで掘削、盛土内
242	HI6.3350	西大寺町境内	西大寺野神町1749-3	個人	個人住宅新築	宅地	17.2.22	GL-0.6mまで掘削、盛土内
243	HI6.3334	左京二条四坊十六坪	法蓮町339-1、339-6	個人	個人住宅新築	宅地	17.2.24	GL-0.2mまで掘削、盛土内
244	HI6.3349	左京三条六坊十坪	中筋町29-1、29-3各一部	個人	個人住宅新築	宅地	17.2.24	GL-0.2mまで掘削、盛土内
245	III6.3363	薬師寺町境内	西ノ町228番地	(宗)薬師寺	仮設倉庫	寺院	17.2.24	GL-0.3～0.4mまで掘削、盛土内
246	III6.3340	右京二条二坊三坪	二条町二丁目59-7	個人	個人住宅新築	宅地	17.2.25	GL-0.2mまで掘削、盛土内
247	III6.3293	右京一条四坊十五坪	四条大路五丁目138-3	個人	個人住宅新築	宅地	17.2.28	GL-0.2mまで掘削、盛土内
248	HI6.3314	右京三条一坊十四坪	三条大路南四丁目478番	(有)H I A T A K I	分譲住宅新築	宅地	17.3.1	GL-0.2mまで掘削、盛土内
249	HI6.3358	市市帆旗	吉布町234番1の一部	個人	個人住宅新築	宅地	17.3.1	GL-4.0mまで掘削、地山確認
250	HI6.3346	左京一条七坊四坪・奈良町通路	川上町564番16	個人	個人住宅新築	宅地	17.3.1	GL-0.2mまで掘削、盛土内
251	HI6.3368	左京一条七坊三坪・奈良町通路	西白承町15番地	個人	個人住宅新築	宅地	17.3.1 17.3.14	掘削なし GL-0.2～0.4mまで掘削、盛土内
252	III6.3295	左京四条六坊二坪・奈良町通路	梅井町32-1、33-1、39-1	個人	住宅付診療所新築	宅地	17.3.2	GL-0.6mまで掘削、盛土内
253	III6.3289	左京九条一坊十六坪	西九条町三丁目11-12	大阪ガス(株)	ガス管敷設	道路	17.3.3	GL-0.6mまで掘削、盛土内
254	HI6.3325	左京一坊六条大路	大交寺二丁目10～11-10	大阪ガス(株)	ガス管敷設	道路	17.3.4・10	GL-0.7mまで掘削、盛土内

255	H16.3356	左京四条一坊十一坪	三条松町625-15	個人	個人住宅新築	宅地	17.3.4	GL-0.45mまで掘削、盛土内
256	H16.3273	左京三条五坊七坪・二・七坪埋境小路	芝辻町一丁目	個人	共同住宅新築	宅地	17.3.7・23	GL-0.7mまで掘削
257	H16.3344	左京四条一坊六坪	西条大路一丁目459-6	個人	個人住宅新築	宅地	17.3.7	GL-0.7mまで掘削、盛土内
258	H16.3284	右京二条二坊一坪	二条大路南五丁目381	個人	個人住宅新築	宅地	17.3.7	GL-1.5mまで掘削、地山確認
259	H16.3355	左京五条一坊十一坪	柏木町610番4	個人	個人住宅新築	宅地	17.3.8	GL-0.2～0.3mまで掘削、盛土内
260	H16.3222	左京三条五坊十六坪	芝辻町858-1・3	個人	共同住宅新築	宅地	17.3.8・9	掘削なし
261	H16.3378	西条大路	尼辻町442-8	個人	個人住宅新築	宅地	17.3.9	GL-0.37mまで掘削、盛土内
262	H16.3071	クワナベ古岡	法華寺町地内	奈良市長	下水管埋設	道路	17.3.10 17.3.19	GL-0.6mまで掘削、地山確認 GL-3.3mまで掘削、地山確認
263	H16.3319	左京六条一坊十二坪	柏木町406番-1地	(有)ワケムラ	店舗・事務所新築	宅地	17.3.16	GL-0.8mまで掘削、盛土内
264	H16.3333	左京九条一坊一坪	西九条五丁目2番地	株式会社化学(株)	倉庫新築	宅地	17.3.18	GL-0.85mまで掘削、盛土内
265	H16.3357	山村城跡	山町667番	個人	農業用倉庫新築	水田	17.3.30	GL-0.6mまで掘削、地山確認
266	H16.3385	左京六条四坊一坪	大光寺町四丁目1033-10	大光建設(株)	分譲住宅新築	宅地	17.3.31	GL-1.0mまで掘削、盛土内

(6) 平成16年度文化財保護法80条の現状変更等許可申請書に伴う工事立会

番号	申請受理番号	遺跡名	申請地	申請者	事業内容	現況	立会結果	
							日付	工事内容・所見
1	H15.1070	史跡大安寺旧地内	東九条町1360	新池水利組合	U字溝の修復	水田	16.4.12	GL-0.5mまで掘削、盛土内
2	H10.1032	史跡大安寺旧地内	東九条町1288番地01	個人	農業用倉庫改築	水田	16.8.30	GL-0.15mまで掘削、耕作土内
3	H16.1016	史跡元興寺権堂坊境内	中説町11番地	(株)元興寺	既設ツリハチ雨落除去	東門	16.9.6～8・15	掘削なし
4	H16.1017	史跡大安寺旧地内	大安寺町1310-1	個人	仕屋除去及び整地	宅地	16.9.17	掘削なし
5	H16.1088	史跡大安寺旧地内	大安寺一丁目	芝池水利組合	7m及び10m埋設	貯水池	16.11.17	GL-0.6mまで掘削、盛土内
6	H16.1041	特別史跡平城宮跡	二条町、佐紀町	大阪ガス社	ガス工事	道路	17.1.18・19	GL-0.7～0.8mまで掘削、盛土内
							17.1.21・24	GL-0.9～1mまで掘削、旧耕土内
							17.2.3～2.7	GL-0.8mまで掘削、盛土内
							17.2.15	GL-1.3mまで掘削、真砂土内
						17.2.18	GL-1.1mまで掘削、0.6m下で地山確認	
7	H16.1057	史跡東大寺旧地内	藤町町97番地	奈良市長	塀の改修	学校	17.2.23・28	GL-0.1mまで掘削、地山確認

(7) 平成17年度文化財保護法第57条2・3の埋蔵文化財届出書・通知に伴う工事立会

番号	届出受理番号	遺跡名	届出地	届出者	事業内容	現況	立会結果	
							日付	工事内容・所見
1	H16.3303	左京五条六坊七坪	西木辻町320-5、-6	奈良県司法書士会	事務所新築	宅地	17.4.4・6 7・8	GL-1.2～1.5mまで掘削、0.8m下で地山確認
2	H16.3345	左京七条四坊一坪	東九条町1155-3	個人	個人住宅新築	宅地	17.4.5	GL-0.5mまで掘削、盛土内
3	H16.3381	左京一条二坊九坪	法華寺町1313、1312-3	個人	個人住宅新築	宅地	17.4.11	GL-0.4mまで掘削、盛土内
4	H16.3364	菅原寺旧地内	菅原町506番14	個人	個人住宅新築	宅地	17.4.11	GL-0.5mまで掘削、盛土内
5	H16.3332	右京三条一坊一坪	三条大路五丁目4-31	個人	共同住宅	宅地	17.4.12	GL-0.5mまで掘削、その後0.2m掘削、盛土内
6	H16.3380	左京四条三坊六坪	一条松町166-1番地	個人	古寺跡車場造成	水田	17.4.13	GL-0.65mで地山確認
7	H16.3386	西大寺旧地内	若菜台三丁目1876-7	個人	個人住宅新築	宅地	17.4.13	GL-0.4mまで0.1mは盛土内、以下は地山
8	H16.3391	左京九条三坊十四坪	東九条町45	(有)ワケムラ	資材置き場造成	畑地	17.4.18	掘削なし
9	H16.3398	左京二条五坊十四坪	北市町68番1、4、5、6	個人	個人住宅新築	宅地	17.4.19	GL-0.1mまで掘削、盛土内
10	H16.3294	右京七条一坊十六坪	西の京町130-1、137-1、130	個人	飲食店新築	水田	17.4.21	GL-0.7～0.8mまで掘削、地山から0.1m下で柱穴・土坑・溝・瓦・土器片確認
11	H16.3163	左京八条三坊六坪・東市跡推定地	吉町588-1	個人	共同住宅新築	水田	17.4.21・22	GL-2.3mまで掘削、地山確認

12	H16.3331	右京七坊一坊四坪	七条町一丁目 476番3	個人	個人住宅新築	宅地	17.4.26	制限なし
13	H16.3359	左京七条四坊十三坪	東九条1102番地 3	個人	個人住宅新築	宅地	17.4.26	GL-0.2mまで掘削、盛土内
14	H17.3030	西大寺旧境内	若菜台一丁目 1876-8番地	個人	個人住宅新築	宅地	17.4.27	GL-0.3mまで掘削、地山確認
15	H16.3373	元興寺旧境内	船町5番地14、 16	個人	個人住宅新築	宅地	17.4.1・ 28	GL-0.7mまで掘削、盛土内
16	H16.3210	左京六条四坊十五坪	大安寺五丁目 986-8	個人	個人住宅新築	宅地	17.5.2	工事先行
17	H17.3430	左京六条四坊一坪	大安寺四丁目 1033-9	大光建設	分譲住宅新築	宅地	17.5.11	GL-0.2mまで掘削、盛土内
18	H16.3341	左京五条五坊十六坪	大森町16-5	個人	個人住宅新築	宅地	17.5.13	GL-1.2mまで掘削、0.9m下で 地山確認
19	H16.3425	左京一条二坊三坪	法華寺町1252-3	(株)総工務 店	分譲住宅新築	宅地	17.5.18	GL-0.4mまで掘削、盛土内
20	H17.3006	南紀寺遺跡	南紀寺二丁目 276-15	個人	共同住宅	宅地	17.5.18	GL-0.3mまで掘削、盛土内
21	H16.3042	左京六条二坊四坪	八条五丁目 437-5	大阪ガス	ガス管敷設	道路	17.5.19	GL 0.8mまで掘削、遺構面まで 達していない
22	H17.3053	右京一条二坊一十六坪	西大寺町見町一 丁目2137-74	新屋不動産 (株)	マンション新築	宅地	17.5.16・ 20	GL-2.3mまで掘削、地山確認
23	H17.3043	左京六条一坊四坪・六条 七条一坪・六条大路	八条五丁目 437-5	大阪ガス	ガス管敷設	道路	17.5.23	GL-1.9mまで掘削、地山確認
24	H17.3010	右京三条三坊十三・十四 坪	平松一丁目 864-8、-9の一部、 -10の一部	個人	共同住宅新築	宅地	17.5.23	GL-0.5mまで掘削、地山確認
25	H16.3408	左京三条四坊十四坪	大宮町二丁目 127-11	社会法人京 島建設士会	店舗・事務所新築	宅地	17.5.23	GL-1mまで掘削、遺構面まで達 していない
26	H16.3426	右京三条八坊六坪	大宮町一丁目29 番1	個人	個人住宅新築	宅地	17.5.25	GL-0.2mまで掘削、盛土内
27	H17.3015	右京四条一坊二・七 ～九坪	四条大路四丁目 1-33～56-13	大阪ガス	ガス管敷設	道路	17.4.19・ 21 17.4.22 17.4.25 17.5.10 17.5.12 17.5.16 17.5.20 17.5.25	GL-0.7mまで掘削、包含層内 GL-0.7mまで掘削、0.6m下で 耕作土確認 GL-0.7mまで掘削、0.3m下で 地山確認 GL-0.9mまで掘削、床土内 GL-0.75mまで掘削、GL-0.3m まで地山確認 GL-0.85mまで掘削、目撃土内 GL-0.6mまで掘削、盛土内 GL-0.9mまで掘削、遺構面には 達していない
28	H17.3021	右京六条三坊七坪	六条一丁目H627 番の1、3の各一 部	個人	個人住宅新築	宅地	17.5.30	GL-0.2mまで掘削、盛土内
29	H16.3429	西大寺旧境内	西大寺野神町二 丁目1797-4他	個人	個人住宅新築	宅地	17.5.30	GL-0.3mまで掘削、盛土内
30	H16.3433	左京四条四坊十二坪	三条大路5-13	大阪ガス	ガス管敷設	道路	17.5.27、 5.31	GL-0.7mまで掘削、盛土内
31	H17.3022	右京六条四坊十四坪	六条西一丁目 1537番398	個人	個人住宅新築	宅地	17.5.31	GL-0.9mまで掘削、地山確認
32	H17.3023	西大寺旧境内	西大寺野神町二 丁目1799番1の 一部、1799番9 の一部、1803番 8	個人	個人住宅新築	宅地	17.6.1	工事先行
33	H17.3005	左京四条三坊十五坪	三条浜川町6-8	大阪ガス	ガス管敷設	道路	17.6.6	GL-1.2mまで掘削、遺構面まで 達していない
34	H17.3029	左京四条五坊十四坪	杉ヶ町53-2の一 部	個人	個人住宅新築	宅地	17.6.6	GL-0.3mまで掘削、盛土内
35	H17.3028	西大寺旧境内	西大寺野神町 1786-1他	個人	共同住宅新築	駐車場	17.5.30、 6.6	GL-1.3mまで掘削、地山確認
36	H16.3367	左京一条七坊八坪・奈良 町遺跡	手貝町25-2	個人	個人住宅新築	宅地	17.6.7	GL-0.7mまで掘削、盛土内

37	H17.3032	右京六条三坊十三坪	六条一丁目 862-1	個人	共同住宅新築	宅地	17.6.7	GI-0.2～0.3mまで掘削、盛土内
38	H17.3048	右京三条四坊十四坪	宝来四丁目 653-6	個人	個人住宅新築	宅地	17.6.7	GL-0.38mまで掘削、盛土内
39	H17.3427	右京五条三坊八坪	五条一丁目481 番14	個人	個人住宅新築	宅地	17.6.9	GL-0.75mまで掘削、旧耕土内
40	H16.3337	左京六条一坊一坪	高天町48-5	(株) 聖和	店舗・事務所新築	宅地	17.6.10	GI-1.7mまで掘削、地山確認
41	H17.3068	右京四条一坊十・十四坪	西条大路五丁目 4-26	人股ガス船	ガス管敷設	道路	17.6.10	GL-0.9mまで掘削、旧耕土内
42	H16.3397	左京八条四坊十坪	西九条町817番1	個人	個人住宅新築	宅地	17.6.10	GL-0.3mまで掘削、盛土内
43	H17.3050	右京一条二坊九坪・西院寺日境内	西大寺町一丁目 39-9	個人	個人住宅新築	宅地	17.6.14	GL-0.9mまで掘削、包含層確認
44	H17.3034	三条大路	宝来二丁目 106-1	個人	個人住宅新築	宅地	17.6.13・ 15	GL-0.5mまで掘削、盛土内
45	H17.3054	右京北辺坊一坊一坪	山腰町60番地	個人	個人住宅新築	宅地	17.6.15	GI-0.3mまで掘削、GL-0.3m で地山確認
46	H17.3038	京京二条二坊一・一坪	法華寺町地内	奈良市長	公共下水道導通工事	道路	17.6.15・ 16	GL-4mまで掘削、GL-2.3mで 地山、遺物包含層確認
47	H17.3257	左京三条二坊六坪	三条大路一丁目 633-1	岡電不動産 (株)	駐車場造成	宅地	17.6.17・ 6.20	GL-0.25mまで掘削、耕土内、 一部遺物南確認
48	H17.3013	右京三条二坊十六坪・菅原東遺跡	西大寺町見取二 丁目358番8	個人	個人住宅新築	宅地	17.6.17	杭打ち工事のみ、土層不明
49	H17.3051	左京九条四坊十五坪	東九条町225	個人	個人住宅新築	宅地	17.6.20	GI-0.7mまで掘削、盛土、旧耕 土内
50	H17.3049	西院寺日境内	西大寺本町 216-1	個人	個人住宅新築	宅地	17.6.20	GL-0.37mまで掘削、盛土内
51	H17.3057	左京六条一坊十三坪・東一坊大路	八条五丁目 437-43	個人	共同住宅新築	宅地	17.6.21	GL-0.2mまで掘削、盛土内
52	H17.3074	右京二条三坊十三坪	青原町260番7	個人	個人住宅新築	宅地	17.6.22	GL-0.1mまで掘削、盛土内
53	H17.3009	右京六条三坊二・七坪	六条町一丁目 603-4、-4	(有) 宝伴建	分譲住宅新築	雑種地	17.6.23	GI-0.2mまで掘削、盛土内
54	H17.3011	右京四条一坊十・十四坪・坪狭小路	平橋一丁目 864-5、-6、 864-1、-11の一部	個人	共同住宅新築	宅地	17.6.23	GI-0.35mまで掘削、地山確認
55	H17.3045	元興寺日境内	西寺林町28-2	個人	個人住宅新築	宅地	17.6.23	GL-0.2mまで掘削、遺物・遺跡 の確認できます
56	H17.3014	左京四条一坊十坪	西条大路町一丁目 462番109	個人	個人住宅新築	宅地	17.6.27	GI-0.5mまで掘削、盛土内
57	H17.3387	右京二条一坊十三坪	尼辻町甲78番地	個人	個人住宅新築	雑種地	17.5.12、 6.27	GI-0.6～0.7mまで掘削、地山 奈良時代の土器を含む遺物包含 層確認
58	H17.3052	左京五条五坊九坪	大森町43番1	個人	共同住宅新築	宅地	17.6.27	GI-0.05mまで掘削、盛土内
59	H17.3062	左京二条七坊五坪・奈良町遺跡	北平川西町16番	個人	個人住宅新築	宅地	17.6.28	GI-0.2～0.4mまで掘削、盛土 内
60	H17.3119	左京四条一坊五坪	百新町78-1	(株) あかし 全	下水道	道路	17.6.30	GI-1.8mまで掘削、1.6mトド で地山確認
61	H17.3036	左京五条一坊七坪	大安寺町543-2	岡林J商店	宅地造成	水田	17.7.5	GI-0.6mまで掘削、地山確認
62	H17.3082	五条大路	五条二丁目 909-2、914-4、 915-4	個人	個人住宅新築	宅地	17.7.7	GI-2mまで掘削、地山確認
63	H17.3024	東一坊坊間路	柏木町地内	岡西地方(株)	送電線埋設	道路	17.5.30、 7.8	GI-3mまで掘削、2.6～2.7m 下で地山確認
64	H16.3378	右京五条二坊三坪	五条町2921、 -4、293-1、 295-1、-2	社会福祉法 人育家会	保育所新築	雑種地	17.7.8	GI-0.9mまで掘削、旧耕土内
65	H17.3072	南紀寺遺跡	高畑町60-1、 66-5の各一部	個人	寄売農村集場	水田	17.7.8	GI-0.7mまで掘削、地山確認
66	H17.3108	左京二条四坊十四坪・十五坪	油壺町659-2	人股ガス船	ガス管敷設	道路	17.7.8	GI-0.9mまで掘削
67	H17.3098	左京四条一坊一坊坊間路	南新町78-1	佛あかしや	倉庫増築	宅地	17.7.12	GI-0.7mまで掘削、盛土内
68	H16.3383	元興寺日境内	芝草換取10番地	まると工業(株)	個人住宅新築	宅地	17.7.12	GI-0.2mまで掘削、盛土内
69	H17.3083	左京二条六坊二坪	法蓮町1000番地	学校法人奈良 育英学園	クラブハウス改築	宅地	17.7.13	GI-0.5mまで掘削、盛土内

70	H16.3407	右京二条三坊三坪・菅原東通跡	近鉄西人寺新田地区土地臨界河内地区内28街区11-2	個人	共同住宅新築	宅地	17.7.13	工事先行、盛土内
71	H17.3081	左京二条三坊三坪	法華寺町212	個人	個人住宅新築	宅地	17.7.14	GL-0.3mまで掘削、盛土内 GI-1.65mまで掘削、1.5m下で地山確認、土質の可塑性あり
72	H17.3047	左京二条六坊七坪・奈良町通跡	高木市町47-2	個人	個人住宅新築	宅地	17.7.19	
73	H17.3090	左京三条五坊十五坪・奈良町通跡	芝辻町1-1、1-28	個人	個人住宅新築	宅地	17.7.19	GL-0.3mまで掘削、盛土内
74	H17.3106	右京六条四坊二坪	六条町二丁目990番1、991番4、6、992番5	個人	個人住宅新築	宅地	17.7.20	GI-0.45mまで掘削、地山確認
75	H17.3089	東市郡雑地	東九条町440-4	個人	共同住宅新築	宅地	17.7.21	GL-0.7mまで掘削、盛土内
76	H17.3113	右京二条二坊十三坪	傾南町337番5、6	個人	個人住宅新築	宅地	17.7.25	GL-0.3mまで掘削、盛土内
77	H17.3097	右京二条三坊十二坪	菅原町247-1、-2の各一部	個人	個人住宅新築	宅地	17.7.29	GL-0.3mまで掘削、盛土内
78	H17.3111	右京六条西三坊人跡	六条二丁目852-5、-6		分譲住宅新築 オーエスハウジング(株)	宅地	17.8.2	GI-0.2mまで掘削、盛土内
79	H17.3157	左京四条一坊十五坪	四条大路二丁目862番3	個人	個人住宅新築	宅地	17.8.2	GL-0.4mまで掘削、盛土内
80	H17.3058	(古墳状隆起：遺跡に該当せず)	中山町1179-1他20筆		高層建設(株)	宅地造成	17.6.10・22、8.2	GI-8mまで掘削、地山確認
81	H17.3115	西四坊大路	六条二丁目1366-7	個人	個人住宅新築	宅地	17.8.3	GL-0.2mまで掘削、盛土内
82	H17.3071	南紀寺通跡	高瀬町60-1、66-5の各一部	個人	共同住宅新築	水田	17.7.8、8.3	GL-1～1.7mまで掘削、盛土内
83	H17.3110	右京六条四坊二坪	六条二丁目991	個人	個人住宅新築	宅地	17.8.5	GL-0.4mまで掘削、盛土内
84	H17.3076	右京二条一坊十坪	三条大路四丁目471、472-1、483-1の各一部	個人	店舗・事務所新築	宅地	17.8.9	GL-2.2mまで掘削、0.9m下で地山確認
85	H17.3070	南紀寺通跡	高瀬町60-1、61-1の一部	個人	共同住宅新築	水田	17.7.1・25、8.10	GL-0.2mまで掘削、盛土内
86	H17.3086	左京四条一坊十四坪	四条大路二丁目35-1の一部	個人	共同住宅新築	宅地	17.8.11	GL-0.1mまで掘削、盛土内
87	H17.3087	左京四条一坊十四坪	四条大路二丁目35-1の一部	個人	共同住宅新築	宅地	17.8.11	GL-0.1mまで掘削、盛土内
88	H17.3158	右京四条一坊十・十一・十四・十五坪	四条大路五丁目3-4-7～2-20-1	大阪ガス株	ガス管敷設	道路	17.8.11・18・19・23・26、9.27・29・30	GL-0.7～1.2mまで掘削、地山確認・遺構の可能性あり
89	H17.3133	七条大路	七条西町一丁目627番318	個人	個人住宅新築	宅地	17.8.12	GL-1.0mまで掘削、0.05m下で地山確認
90	H17.3137	右京北辺坊二坊三坪	西大寺北町一丁目26番82	個人	個人住宅新築	宅地	17.8.18	GL-0.3mまで掘削、盛土内
91	H17.3160	右京八条西坊十六坪	七条西町一丁目609-3	個人	個人住宅新築	宅地	17.8.18	GL-0.3mまで掘削、盛土内
92	H17.3056	左京六条三坊十六坪	大安寺二丁目97番の1の一部他	個人	共同住宅新築	宅地	17.8.9・18	GL-0.6～0.7mまで掘削、盛土内
93	H17.3131	南紀寺通跡	南紀寺町265-1-4	個人	個人住宅新築	宅地	17.8.19	GL-0.35mまで掘削、盛土内
94	H17.3154	西二坊大路	六条二丁目991-7、999-4	個人	個人住宅新築	宅地	17.8.24	GL-0.3mまで掘削、盛土内
95	H17.3128	左京二条一坊十五坪	法華寺町48-2の部	個人	賃貸住宅新築	宅地	17.8.25	GI-0.05mまで掘削、盛土内
96	H17.3167	右京二条三坊十坪	菅原町259-1	個人	賃貸住宅新築	畑地	17.8.29	GI-0.5mまで掘削、地山確認
97	H17.3164	元興寺旧境内・奈良町通跡	東寺林町12	個人	分譲住宅	宅地	17.8.29	GL-0.5mまで掘削、盛土内
98	H17.3078	森本樋之辻遺跡	徳之庄町8-1番地の一他 六条町1093番6、1095番3の各一部	個人	店舗新築	畑地	17.8.30	GL-2.0mまで掘削、旧耕土確認
99	H17.3175	右京六条四坊五坪		個人	個人住宅新築	宅地	17.8.31	GL-0.2mまで掘削、盛土内

100	H17.3147	西人寺田境内	西大寺小坊町 300-1、3、6	個人	個人住宅新築	宅地	17.9.1	GL-0.3mまで掘削、盛土内
101	H17.3146	左京八条四坊十二坪	京九条町687番1、 692番17	個人	賃貸住宅新築	宅地	17.9.2	GL-1.2mまで掘削、盛土内
102	H17.3183	一条東側路	法蓮町688-6、 -8	個人	個人住宅新築	宅地	17.9.5	GL-1.0mまで掘削、盛土内
103	H17.3165	右京四条四坊二坪	平松・J丁目801、 802-2、-1の一部	個人	個人住宅新築	宅地	17.9.7	GL-0.2mまで掘削、盛土内
104	H17.3141	右京七条四坊十二坪	七条西町一丁目 627-83	個人	個人住宅新築	宅地	17.9.7	GL-0.2mまで掘削、地山確認
105	H17.3173	一条大路	尼ヶ江北町 227-1	近鉄電気コ ンプレックス	倉庫増築	宅地	17.9.8	GL-0.4mまで掘削、盛土内
106	H17.3143	左京四条二坊六坪	四条大路・J丁目 462-6	個人	個人住宅新築	宅地	17.9.9	GL-0.2～0.3mまで掘削、盛土内
107	H17.3182	右京三条四坊八坪	曹原町650-1の 一部	個人	個人住宅新築	宅地	17.9.9	GL-0.3mまで掘削、盛土内
108	H17.3168	右京五条四坊十一、十二 坪・坪場小路	五条三丁目942 番13、-18	個人	個人住宅新築	宅地	17.9.12	GL-0.3mまで掘削、盛土内
109	H17.3019	一条北大路	西大寺町188 番3、-4の各 部	個人	宅地造成	雑種地	17.9.13	GL-0.5～1.2mまで掘削、0.6 m下で地山確認
110	H16.3376	長谷遷跡	佐保山西町63-1	シン不動産 販売	マンション新築	宅地	17.8.29、 9.1・13	GL-2～4mまで掘削、GL-0.2 mで盛土、以下地山・粘土の掘 削
111	H17.3085	左京六条三坊十六坪	大安寺三丁目 11-2	大坂ガス機	ガス管敷設	道路	17.9.13	GL-0.8まで掘削、耕作土・地 山・土坑を確保
112	H17.3189	左京八条大路・九条四坊 九、十、十一坪・坪場小路	京九条町251番1 2、4の各一部	個人	賃貸住宅新築	宅地	17.9.26	GL-0.2まで掘削、盛土内
113	H17.3201	左京五条四坊七坪・奈良 町遷跡	西大寺町298-16	関シテイホ ーム	分譲住宅新築	宅地	17.9.26	GL-0.15mまで掘削、盛土内
114	H17.3170	西陣寺町境内・西二坊大 路	西大寺町1-1 ～1-35	大坂ガス機	ガス管敷設	道路	17.9.12・ 30	GL-0.5～0.7mまで掘削、掘削 土内
115	H17.3148	右京八条三坊八坪	七条東一丁目 526番5	個人	個人住宅新築	宅地	17.9.29、 10.3	GL-0.22mまで掘削、盛土内
116	H17.3178	右京二条二坊五坪・青原 東遷跡	曹原町216番15	個人	個人住宅新築	宅地	17.9.30	GL-0.3mまで掘削、盛土内
117	H17.3196	佐配石塚古墳隣接地	山崎町地内	関西電力(株)	電柱設	雑種地	17.10.3	GL-3.1mまで掘削、地山確認
118	H17.3226	左京七条三坊十三坪	京九条町1155- 7	個人	個人住宅新築	宅地	17.10.4	GL-0.2mまで掘削、盛土内
119	H17.3159	左京一条三坊六坪	法華寺町1252-5、 1253-2	徳和工務店	分譲住宅新築	宅地	17.10.6	GL-0.3mまで掘削、盛土内、一 部地山確認
120	H16.3215	左京四条三坊八坪	三条栄町152番3、 4	個人	個人住宅新築	宅地	17.10.7	GL-0.3mまで掘削、盛土内
121	H17.3129	朱雀大路	四条大路三丁目 963番1	個人	賃貸住宅新築	畑地	17.10.12	GL-0.7～0.8mまで掘削、 GL-0.3mまで遺構面確認、弥生 時代後半の甕片出土
122	H17.3184	右京七条三坊二坪	七条・J丁目 363-7	個人	個人住宅新築	宅地	17.10.12、 13	工事先行
123	H17.3238	右京二条四坊四坪	曹原町376番5、 376番7	個人	個人住宅新築	宅地	17.10.17	GL-0.3m～0.4mまで掘削、盛 土内
124	H17.3204	右京二条四坊十二坪	曹原町609-1	個人	事務所付個人住宅新築	宅地	17.10.17	GL-1.8mまで掘削、地山確認、 奈良時代の遺構面の可能性あり
125	H17.3149	左京一条七坊三坪・奈良 町遷跡	歩門町9-8	個人	個人住宅新築	宅地	17.10.19	GL-0.4～0.5mまで掘削、盛土 内
126	H17.3061	左京五条一坊十四坪	柏木町528-1他	阪アルペン	店舗新築	水門	17.10.19	GL-0.6～1.4mまで掘削、0.5 m下で地山確認、土穴・溝・流 路を検出
127	H17.3253	奈良町遷跡	高畑町1207-4、 1207-7	個人	個人住宅新築	宅地	17.10.19	GL-0.8mまで掘削、地山、中世 の遺構確認
128	H17.3225	奈良町遷跡	高畑町1366-2	個人	個人住宅新築	宅地	17.10.20	GL-0.4mまで掘削、盛土内、一 部地山確認
129	H17.3235	西二坊大路	西大寺町一丁目 177-5	個人	個人住宅新築	宅地	17.10.24	GL-0.3mまで掘削、盛土内
130	H17.3214	右京二条一坊四坪	尼ヶ江北町326-13	個人	個人住宅新築	宅地	17.10.24	GL-0.4mまで掘削、遺構面の可 能性あり

131	H17.3219	吉市鎮跡、吉市庵寺	吉市町2350、2351	個人	共同住宅新築	山林	17.10.25	GL-0.4mまで削削、GL-0.3mで地山確認
132	H17.3236	左京四条三坊十三坪・田村築地	四條大路・丁H1000番95	個人	個人住宅新築	宅地	17.10.25	GL-0.4mまで掘削、盛土内
133	H17.3243	左京七条四坊十六坪・六条大路	東九条1446-1	個人	賃貸住宅新築	宅地	17.10.25	GL-0.3mまで掘削、盛土内
134	H17.3181	右京北辺坊四坊六坪	西大守堂ヶ丘1536-1、1537-1	個人	賃貸住宅新築	宅地	17.10.13-26	GL-0.4～2.0mまで掘削、地山確認
135	H17.3230	右京四条三坊十四坪	平松町一丁目842-6	個人	個人住宅新築	宅地	17.10.27	GL-1.0mまで掘削、0.3m下で地山・土壌を1基確認
136	H17.3177	左京三条五坊十五坪・奈良町通跡	池原町430番1	個人	個人住宅新築	宅地	17.11.2	GL-0.9mまで掘削、盛土内
137	H17.3203	右京六条三坊十一・十二坪・坪境小路	六条一丁目753番5	個人	個人住宅新築	宅地	17.11.4	GL-0.1mまで掘削、盛土内
138	H17.3227	左京二条五坊八坪	法蓮町302番1の一部	個人	賃貸住宅新築	宅地	17.11.4	GL-0.3～0.4mまで掘削、盛土内
139	H17.3212	右京七条三坊二坪	七条一丁目366番2	個人	個人住宅新築	宅地	17.11.4	GL-0.4mまで掘削、盛土内
140	H17.3001	左京六条三坊十五坪	大佛寺三丁目91-9、91-10	個人	個人住宅新築	宅地	17.11.4	工事先行
141	H17.3274	右京五条四坊四坪	五条一丁目860-11、-12、838-19	協栄ホーム	分譲住宅新築	雑種地	17.11.7	GL-0.6mまで掘削、盛土内
142	H17.3233	左京二条五坊六坪	法蓮町62番14	個人	個人住宅新築	宅地	17.11.7	GL-0.5mまで掘削、旧耕土内
143	H17.3286	左京三条三坊十四坪	大宮町四丁目223番地の1	奈良市長	トイレ改築	学校	17.11.9	GL-0.8mまで掘削、盛土内
144	H17.3211	右京三条四坊十一坪	宝成四丁目910番16	個人	個人住宅新築	宅地	17.11.9-11	GL-1.25mまで掘削、盛土・旧耕土内
145	H17.3224	左京九条二坊八坪	西九条町三丁目2-1	個人	賃貸住宅新築	宅地	17.11.11	GL-0.2～0.3mまで掘削、盛土内
146	H17.3283	右京三条四坊十五坪・西四坊大路	宮前白西丁目29-17他 九条三丁目860-13、-14、838-18	個人 共栄ホーム	個人住宅新築 分譲住宅新築	宅地	17.11.11	GL-0.3mまで掘削、地山確認 GL-0.1mまで掘削、盛土内
147	H17.3280	左京五条四坊四坪	860-13、-14、838-18	共栄ホーム	分譲住宅新築	宅地	17.11.11	GL-0.1mまで掘削、盛土内
148	H17.3121	右京五条四坊九坪	平松四丁目493-45	個人	個人住宅新築	宅地	17.11.14	GL-0.3mまで掘削、0.1m下で地山確認
149	H17.3249	西人寺日境内	西人寺芝町一丁目2511-1、22516-3	個人	個人住宅増築	宅地	17.11.14	GL-0.9mまで掘削、0.4～0.8mで地山確認
150	H17.3192	左京二条三坊二坪・東二坊大路	法華寺町395	大阪ガス㈱	ガス管敷設	道路	17.11.15	GL-0.7mまで掘削、盛土内
151	H17.3208	左京六条六坊十一坪・作伯院跡・奈良町通跡	西木江町233番1	個人	個人住宅新築	宅地	17.11.17	GL-0.2mまで掘削、盛土内
152	H17.3250	右京八条四坊八坪	七条西町一丁目1055-14	個人	個人住宅新築	宅地	17.11.18	GL-0.3～1.3mまで掘削、盛土内
153	H17.3209	左京六条四坊十七坪	大佛寺五丁目986-12	(株)ホクシ	個人住宅新築	宅地	17.11.18	GL-0.3～0.4mまで掘削、盛土内
154	H17.3395	白鷺寺遺跡	白鷺寺町607番1	御N T T F コマ関西	携帯電話用無線基地局	畑地	17.11.18	GL-0.5mまで掘削、新土・地山確認
155	H17.3271	左京三条五坊十六坪・奈良町通跡	池原町382番17	個人	個人住宅新築	宅地	17.11.21	GL-0.2mまで掘削、盛土内
156	H17.3255	右京六条三坊十一坪	六条一丁目730-4、-1、504-3	個人	個人住宅新築	山林	17.11.21	GL-0.3～0.5mまで掘削、盛土内
157	H17.3228	右京四条三坊十一・十二坪 左京四条六坊十四坪・奈良町通跡	平松一丁目713番	個人	個人住宅新築	宅地	17.11.24	GL-0.1mまで掘削、盛土内
158	H17.3069	左京四条六坊十四坪・奈良町通跡	光明町3番地1	個人	工場付き住宅新築	宅地	17.11.28	GL-1.0mまで掘削、盛土内
159	H17.3261	奈良町通跡	紀寺町841-57の一部	個人	個人住宅新築	宅地	17.11.28	GL-0.3mまで掘削、盛土内
160	H17.3123	左京三条一坊十一坪	三条大路2丁目531番1	(株)TCLA	店舗新築	宅地	17.12.1	GL-0.2mまで掘削、盛土内
161	H17.3267	右京五条三坊二坪	五条一丁目527-1の一部	個人	個人住宅新築	宅地	17.12.2	GL-1.35mまで掘削、地山確認
162	H17.3245	右京二条四坊十二坪	菅原町634-1	大阪ガス㈱	ガス管敷設	道路	17.12.2	GL-1.7mまで掘削、GL-1.2mで地山確認

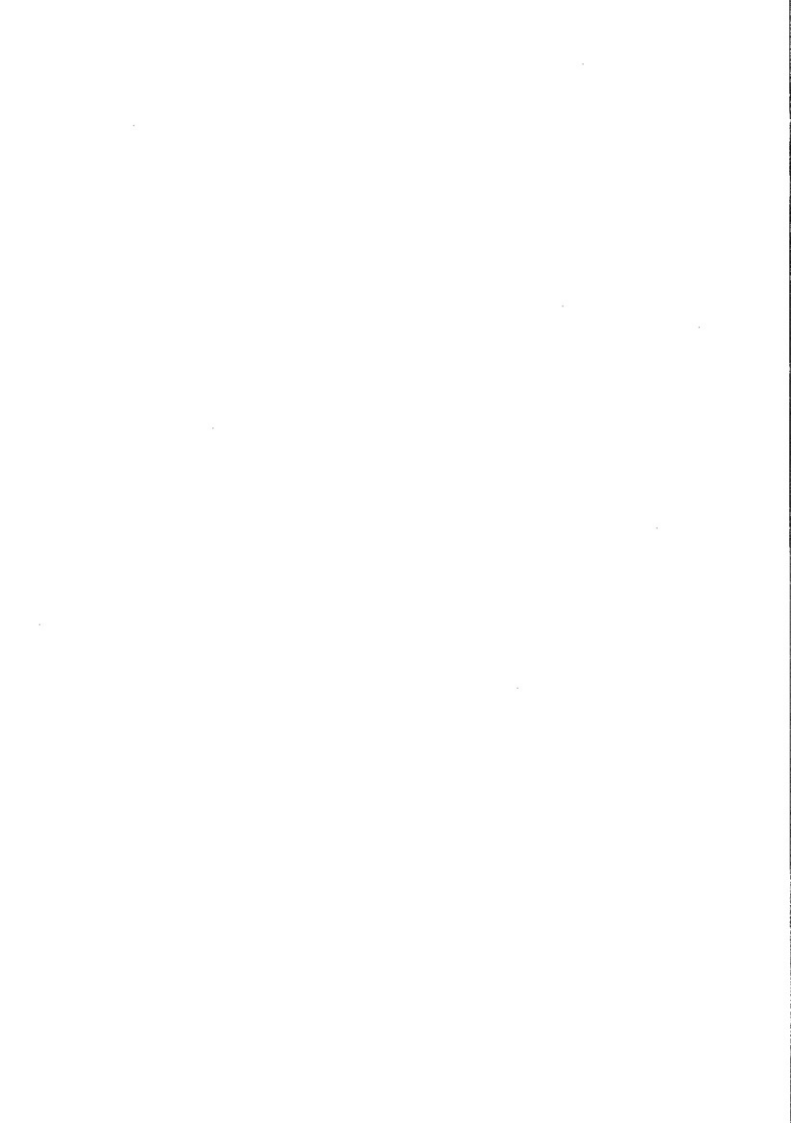
163	H17.3272	左京二条三坊十坪・二条 朱間路	法華寺町64-6	個人	賃貸住宅新築	宅地	17.12.5	GL-0.4mまで掘削、盛土内
164	H17.3248	右京二条三坊東園北小路	西大寺芝町一 丁H12104-1、 2106-1、-2	個人	賃貸住宅新築	宅地	17.12.5	遺構に影響を及ぼすため、掘削 なし
165	H17.3294	左京五条二坊二坪	大森町63番1の 一部	個人	車庫新築	宅地	17.12.5	GL-0.7mまで掘削、盛土内
166	H17.3282	右京二条二坊四坪	三条大落五丁目 178-3、-7	個人	賃貸住宅新築	宅地	17.12.6	GL-0.2mまで掘削、盛土内
167	H17.3285	右京北辺坊四坊三坪	西人寺堂ヶ丘 738-4	個人	個人住宅新築	宅地	17.12.6	GL-0.2mまで掘削、盛土内
168	H17.3266	左京四条五坊十三坪	杉ヶ町8番地の2、 11番地2、10	協エヌ・テ ィ・ティ・ ドコモ関西	携帯電波用無線基地局 設備再設置	集合住 宅	17.12.7	GL-0.9mまで掘削、0.6m下で 地山確認
169	H17.3293	右京六条三坊十四坪	六条二丁目 852-7、-8	オーエスハ ウジング(株)	分譲住宅新築	宅地	17.12.12	GL-0.6mまで掘削、盛土内
170	H17.3209	左京六条三坊十坪	大安寺三丁目78 番地-1	個人	共同住宅新築	宅地	17.12.12	GL-0.4mまで掘削、盛土内
171	H17.3287	二条大路	旭江北側2270	清田軌道工 業部	事務所新築	宅地	17.12.15	GL-0.4～0.9mまで掘削、盛土 内
172	H17.3216	右京四条二坊十四坪	旭江西町1029番 1	まると工業 部	船舶機修船	倉庫	17.12.15	GL-0.7mまで掘削
173	H17.3237	左京四條六坊二坪・奈良 町通跡	興子守町14-1他	個人	賃貸住宅新築	宅地	17.12.16	GL-1.2mまで掘削、0.8m下で 地山確認
174	H17.3327	左京三条二坊防閑路	三条大路・J目 650の一部	個人	個人住宅新築	宅地	17.12.16	GL-0.1mまで掘削、盛土内
175	H17.3316	右京三条一坊十一坪	三条大路514番3 (株)ホンダ ネットナラ	個人	展示場新築、駐車場近 成	宅地	17.12.20	工事先行
176	H17.3139	新薬師寺田境内	高畑町614-2、 614-5、614-6	個人	個人住宅新築	宅地	17.12.20・ 21	GL-1.1mまで掘削、地山・井戸 3基確認
177	H17.3231	左京二条六坊九坪八・九 坪・坪境小路	法蓮町1092-1	個人	物販店舗新築	水田	17.12.21	GL-1.1mまで掘削、0.9m下で 地山確認
178	H17.3322	右京七条三坊二坪	七条二丁目 386-4	(株)堀岡屋 住宅流通	分譲住宅新築	宅地	17.12.26	GL-0.3mまで掘削、盛土内
179	H17.3310	右京二条四坊十六坪	若菜台四丁目 323-26、-101	個人	個人住宅新築	宅地	17.12.26	GL-0.35mまで掘削、盛土内
180	H17.3295	一条条間路	法蓮町688-3、 -4	個人	分譲住宅新築	宅地	18.1.11	GL-1.5mまで掘削、0.3m下で 地山確認
181	H17.3302	左京六坊五条大路・奈良 町通跡	北京通り58番6、 7	個人	個人住宅新築	宅地	18.1.16	GL-0.15mまで掘削、盛土内
182	H17.3298	右京六条四坊四坪・七条 四坊一坪・六条大路	七条二丁目	奈良市長	歩道の新設	道路	18.1.16	GL-1.5mまで掘削、遺構なし
183	H17.3323	右京北辺坊四坊七坪	西人寺堂ヶ丘 796-12	個人	個人住宅新築	宅地	18.1.19	GL-0.2mまで掘削、盛土内、一 部地山確認
184	H17.3277	左京二条三坊二坪	法華寺町315-2、 -3、-4	個人	個人住宅新築	駐車場	18.1.19	GL-0.4mまで掘削、盛土内
185	H17.3344	右京六条三坊一坪	六条一丁目752 -15の一部(1号 地)	ファースト 住建(株)	分譲住宅新築	宅地	18.1.23	GL-0.4mまで掘削、旧盛土内
186	H17.3345	右京六条三坊十一坪	六条一丁目752 -15の一部(2号 地)	ファースト 住建(株)	分譲住宅新築	宅地	18.1.23	GL-0.4mまで掘削、旧盛土内
187	H17.3346	右京六条三坊十一坪	六条一丁目752 -15の一部(3号 地)	ファースト 住建(株)	分譲住宅新築	宅地	18.1.23	GL-0.4mまで掘削、旧盛土内
188	H17.3347	右京六条三坊十一坪	六条一丁目752 -15の一部(4号 地)	ファースト 住建(株)	分譲住宅新築	宅地	18.1.23	GL-0.3mまで掘削、盛土内
189	H17.3348	右京六条三坊十一坪	六条一丁目752 -15の一部(5号 地)	ファースト 住建(株)	分譲住宅新築	宅地	18.1.23	GL-0.4mまで掘削、盛土内
190	H17.3349	右京六条三坊一坪	六条一丁目752 -15の一部(6号 地)	ファースト 住建(株)	分譲住宅新築	宅地	18.1.23	GL-0.6mまで掘削、旧盛土内
191	H17.3246	東区寺道跡	東区寺町一丁目 703-4	(株)愛ライ フ	介護付有料老人ホーム	宅地	18.1.23	GL-2.7mまで掘削、GL-1.4m 下で遺物包含層確認
192	H17.3321	森木森之庄通跡	礎之辻町73番1	個人	個人住宅新築	宅地	18.1.24	GL-0.4mまで掘削、盛土内

193	H17.3325	左京三条一坊十四坪	三条大路 2-637-1	(株)NTT ドコモ	電柱設置アース工事	宅地	18.1.25	GL-1.2mまで掘削、GL-0.8m で地山確認
194	H17.3318	右京北辺坊四坪	西大寺赤田町一 丁目693番地	個人	事務所新築	宅地	18.1.30	GL-0.3mまで掘削、盛土内
195	H17.3342	奈良町通跡	高畑町1465番2 の一部分	天徳教	自己用住宅新築	宅地	18.1.30	GL-0.2mまで掘削、盛土内
196	H17.3338	左京三条六坊四坪・奈良 町通跡	北本市80番5、6、 7	個人	個人住宅新築	宅地	18.2.1	GL-0.2mまで掘削、盛土内
197	H17.3311	右京八条一坊十六坪・西 一坊大路、七条大路	七条町164-1	個人	店舗新築	水川	18.2.1	GL-1.0mまで掘削、地山確認
198	H17.3358	左京三条五坊十二坪・東 五坊坊間跡	西大路一丁目 27-1	(株)日産7 ツナギビジネス	事務所新築、ボールサ イン設備	宅地	18.2.8	GL-1.5mまで掘削、遺物なし
199	H17.3324	吉市城跡	吉市町2225番1 の一部分	個人	個人住宅新築	宅地	18.2.10	GL-0.2～0.3mまで掘削、一部 地山確認
200	H17.3307	奈良町通跡	高畑町651番、 652番の一部分	個人	個人住宅新築	宅地	18.2.10	GL-0.3mまで掘削、盛土内
201	H17.3332	南紀寺通跡	南紀寺町三丁目 143-1の一部分	個人	共用住宅新築	水川	18.2.10	GL-0.8～0.9mまで掘削、旧舗 土上面
202	H17.3329	左京八条六坊四坪・草木 寺跡	西木辻町138-10	個人	個人住宅新築	宅地	18.2.14	GL-0.3mまで掘削、盛土内
203	H17.3357	左京九条一坊十五坪・東 一坊大路	西九条二丁目 10-6	宮野保	倉庫増築	宅地	18.2.16	GL-0.6mまで掘削、盛土内
204	H17.3367	左京九条一坊十五坪	西九条町三丁目 14	宮野保	店舗増築	宅地	18.2.16	GL-1.2mまで掘削、盛土内
205	H17.3372	奈良町通跡	高畑町856番地	個人	個人住宅新築	宅地	18.2.20	GL-1.2mまで掘削、盛土内
206	H14.3050	興福寺旧境内・奈良町通 跡	小西町37-3	(株)奈良大 丸	店舗増築	宅地	18.2.22	GL-1.2mまで掘削、0.8mド で地山確認
207	H17.3384	南紀寺通跡	南紀寺町三丁目 142-1地(14部)	(株)7おひら く	分譲住宅新築	宅地	18.2.23、 3.3・31	GL-0.2mまで掘削、盛土内
208	H18.3390	南紀寺通跡	南紀寺町三丁目 62-4、66-1、-2 -3	個人	住居付診療所	駐車場	18.2.23	GL-0.3mまで掘削、盛土内
209	H17.3371	南紀寺通跡・白寺通跡	白寺町760-3 ～6-3	大説ガス機(株)	ガス管敷設	道路	18.2.24 18.3.3	GL-0.8mまで掘削、地山確認 GL-1.0mまで掘削、旧舗土内
210	H17.3392	奈良町通跡	紀寺町838-1の 一部分	ファースト 住居(株)	分譲住宅新築	宅地	18.2.28	GL-0.4mまで掘削、盛土内
211	H17.3303	右京三条坊四坪	三条三丁目746 番3、8	個人	個人住宅新築	宅地	18.2.28	GL-0.2mまで掘削、盛土内
212	H18.3380	西大寺旧境内	西大寺野町二 丁目1779-1	個人	個人住宅新築	宅地	18.3.2	GL-0.4mまで掘削、盛土内
213	H17.3359	左京三条二坊五坪・三条 大路	三条大路一丁目 7-3	一渡自動車 工業(株)	自動車販売店舗新築	宅地	18.3.3・ 17	GL-1.0～1.8mまで掘削、盛土 内、以下は旧流路の可能性あり
214	H17.3398	西一坊大路	五条町424番3 ～425番1、五条 二丁目436番3 ～435番4	奈良市市民	道路改良工事	道路	18.3.3	GL-0.2mまで掘削、盛土内
215	H17.3393	右京八条三坊八坪	七条一丁目 518-25	豊徳工業機	分譲住宅新築	宅地	18.3.8	GL-0.6mまで掘削、地山確認で きず
216	H17.3340	右京三条坊四坪	三条一丁目9-14	大阪ガス機	ガス管敷設	道路	18.3.13	GL-0.7mまで掘削、0.2m下 で地山確認
217	H17.3389	右京五条二坊六坪	五条一丁目 601-22	個人	個人住宅新築	宅地	18.3.13	GL-0.2mまで掘削、盛土内
218	H18.3393	右京八条二坊八坪	七条一丁目 518-25	豊徳工業機	分譲住宅新築	宅地	18.3.8	GL-0.6mまで掘削、地山に平 らさず
219	H17.3382	左京二条五坊二坪	法蓮町326番5、 8、9、11	個人	個人住宅新築	宅地	18.3.13	GL-0.2mまで掘削、盛土内
220	H17.3418	左京三条二坊七坪	二条大路南一丁 目104番1	個人	解説板設置工事	宅地	18.3.13	GL-0.4mまで掘削、盛土内
221	H17.3437	右京五条坊四坪	五条三丁目 860-7、-8、 838-21	福栄ホーム	分譲住宅新築	宅地	18.3.14	GL-0.4mまで掘削、盛土内
222	H17.3400	左京六条坊四坪	大安寺町一丁目 1033-7番地(1号 大光建設機 地)	個人	分譲住宅新築	宅地	18.3.14	GL-1.0mまで掘削、奈良時代の 遺物を含む包含層確認
223	H17.3401	左京六条坊四坪	大安寺町一丁目 1033-8番地(2号 大光建設機 地)	個人	分譲住宅新築	宅地	18.3.14	GL-0.44mまで掘削、盛土内

224	H17.3421	左京三条二坊十坪	三条大路南一丁目1番1	奈良市長	進入路拡張	駐車場	18.3.15	GL-1.0mまで掘削、盛土内
225	III7.3343	左京二条五坊十五・十六坪	法蓮町986番44、45	個人	個人住宅新築	宅地	18.3.15	GL-0.3mまで掘削、盛土内
226	H17.3027	左京一条五坊北庫	法蓮町701-3	個人	個人住宅新築	宅地	18.3.17	GL-0.3mまで掘削、盛土内
227	H17.3359	左京一条五坊五坪・三条大路	三条大路一丁目7-3	三友自動車工業(株)	店舗建設	宅地	18.3.17	GL-1.8mまで掘削、旧地路を確保
228	H17.3364	左京二条五坊十条	法蓮町273-4	個人	個人住宅新築	宅地	18.3.20	GL-0.25mまで掘削、盛土内
229	III7.3403	五条大路	五条一丁目890-1、891-1の一部	個人	共同住宅新築	宅地	18.3.20	GL-0.3mまで掘削、盛土内
230	H17.3374	左京一条五坊一坪	法蓮町829-4	個人	個人住宅新築	宅地	18.3.20	GL-0.9mまで掘削、0.4m下で包含層、0.6m下で地山確認
231	H17.3385	左京四条三坊十一坪	三条大路11-23-7-3	大阪ガス	ガス管敷設	道路	18.3.22	工事先行
232	III7.3297	遺物敷布地(泉涌跡地画1-5A-20)	河原町689-1の一部、他10筆	三和住宅	宅地造成	山林	18.3.20・22	伏根部分、古代の瓦葺地山確認
233	H17.3381	南紀寺遺跡	南紀寺町西丁目103	大阪ガス	ガス管敷設	道路	18.3.23	GL-0.3mまで掘削、盛土内
234	H17.3258	左京四条三坊十坪	三条大路185-33～185-10	大阪ガス	ガス管敷設	道路	18.3.24	GL-0.7mまで掘削、盛土内
235	H17.3402	左京二条五坊四坪	芝辻町三丁目65-4	個人	個人住宅新築	宅地	18.3.24	GL-0.9mまで掘削、耕作土確認
236	III7.3387	右京六条三坊九坪	六条一丁目118-4	大阪ガス	ガス管敷設	道路	18.3.24	GL-0.8mまで掘削、0.4m下で地山確認
237	H17.3386	左京九条三坊十一坪・九条東回廊	東九条町24-11	大阪ガス	ガス管敷設	道路	18.3.27	GL-1.9mまで掘削、0.4m下で出土遺物確認
238	H17.3330	左京四条三坊十坪	四条大路南一丁目1000-75	個人	医療付個人住宅新築	宅地	18.3.27	GL-1.4mまで掘削、盛土内
239	H17.3363	南紀寺遺跡	高畑町42-1	個人	個人住宅新築	宅地	18.3.30	GL-0.7mまで掘削、盛土内
240	H17.3399	二条大路・奈良町遺跡	内神屋町46番1、47番1	個人	個人住宅新築	宅地	18.3.31	GL-0.8mまで掘削、0.6mで地山、室町以降の出土遺物確認
241	III7.3383	左京三条・奈良町遺跡	西木辻町246番2、3、247番2	個人	個人住宅新築	宅地	18.3.31	GL-0.85mまで掘削、盛土内

(8) 平成17年度文化財保護法80条の現状変更等許可申請書に伴う工事立会

番号	申請受理番号	道路名	申請地	申請者	事業内容	状況	立会結果	
							日付	工事内容・所見
1	H16.1037	史跡藤原寺境内	西ノ京町416番地	奈良市長	道路新設	堀内池	17.4.18・19・26	GL-2.2mまで掘削
2	H16.1041	特別史跡平城宮跡	三条町、作配町	大阪ガス	ガス工事	道路	17.4.13・15・18	GL-0.7～0.8mまで掘削、盛土内
							17.4.21	土層確認できず
							17.4.22	GL-0.5mまで掘削、盛土内
3	H16.1074	史跡大安寺境内	大安寺町1238-1	志津水利組合	ゴミ撤去	池	17.5.20、6.8	ゴミ撤去、現状回復のみ
							17.5.9	GL-1mまで掘削、地山確認
4	III7.1017	史跡東大寺境内	錦司町地内	奈良市水道事業管理者	水道管の改修	宅地	17.10.4	最深部でGL-0.9mまで掘削、盛土内
5	H17.1063	史跡大安寺境内	大安寺町1133番	個人	住宅の除去	宅地	18.3.3	遺構に影響を及ぼすため、掘削なし



第 2 章 自然科学分析報告

第2章 自然科学分析報告 例言

奈良市教育委員会では、発掘調査に関わって、調査成果をより総合性の高い確実なものとするために、遺跡や遺物の肉眼観察では把握できない事象について自然科学分析を活用している。

これまでに行ってきた主な自然科学分析は、下記の通りである。

1. 環境指標性が高く、生活資源となっている植物を主体とした生物遺体の同定。
2. 年代の手がかりとなる遺物が見られない地層や遺構の年代を比定するために行う、有機物を試料として年代値を得る放射性炭素年代測定や年代の指標性が高い広域火山灰の同定。
3. 遺物の付着物や土壌中に含まれる有機物や化学物質、あるいは土器の胎土に含まれる鉱物を同定する理化学分析。

平成17年度は、下記の分析を実施した。

- ① 平城京第537次調査 土坑S K02埋土の花粉分析
- ② 平城京第540次調査 河川堆積土の放射性炭素年代測定 (AMS)
- ③ 史跡大安寺旧境内第100・102・105次調査 大安寺西塔跡出土金属製品の鉛同位対比分析
- ④ 別所下ノ前遺跡第4次調査 炉・土坑採取炭化物の放射性炭素年代測定 (AMS)
- ⑤ 別所下ノ前遺跡第2・4次調査 出土石器の石材同定
- ⑥ 別所辻堂遺跡第3次調査 炭窯採取炭化物の放射性炭素年代測定 (AMS)
出土石器の石材同定
- ⑦ 柚ノ川イモタ遺跡第2・3次調査 出土石器の石材同定
- ⑧ 柚ノ川試掘調査 炭窯採取炭化物の放射性炭素年代測定 (AMS)

このうち本書には、①～③の分析と、平成16年度に実施したHJ第517次調査における河川堆積土の放射性炭素年代測定 (AMS)、大安寺西塔跡の調査 (DA第105次調査) における出土瓦磚類のTL年代測定と焼土層出土建築部材の樹種同定とをあわせて報告する。なお、④～⑧の分析については『景観整備事業山口原東地区における埋蔵文化財発掘調査概要報告書Ⅱ』で報告済みである。

1. 平城京跡(右京三条四坊九坪・二条大路)の調査 第517次 採取試料の放射性炭素年代測定

本分析は、平城京跡(右京三条四坊九坪・二条大路)の調査 第517次(『奈良市埋蔵文化財調査概要報告書平成16年度』2006 にて報告)において採取した試料の分析報告である。

1. 試料と方法

試料名	遺構・資料名	種類	前処理・調整	測定法
No.1	サンプルA	炭化物	酸-フッリ-酸洗浄	AMS
No.2	サンプルB	炭化物	酸-フッリ-酸洗浄	AMS
No.3	サンプルC	炭化物	酸-フッリ-酸洗浄	AMS

※1) AMSは加速器質量分析法: Accelerator Mass Spectrometry

2. 測定結果

試料名	測定No. (Bcta-)	^{14}C 年代 (年BP)	$\delta^{13}\text{C}$ (‰)	補正 ^{14}C 年代 (年BP)	暦年代(西暦)
No.1	199966	2060±40	-28.3	2010±40	交点: cal BC 10 1σ: cal BC 50 ~ AD 40 2σ: cal BC 100 ~ AD 70
No.2	199967	2040±40	-26.9	2010±40	交点: cal BC 10 1σ: cal BC 50 ~ AD 40 2σ: cal BC 100 ~ AD 70
No.3	199968	1890±40	-27.1	1860±40	交点: cal AD 130 1σ: cal AD 100 ~ 220 2σ: cal AD 70 ~ 240

1) ^{14}C 年代測定値

試料の $^{14}\text{C}/^{12}\text{C}$ 比から、単純に現在(AD1950年)から何年前かを計算した値。 ^{14}C の半減期は、国際的慣例によりLibbyの5568年を用いた。

2) $\delta^{13}\text{C}$ 測定値

試料の測定 $^{14}\text{C}/^{12}\text{C}$ 比を補正するための炭素安定同位体比($^{13}\text{C}/^{12}\text{C}$)。この値は標準物質(PDB)の同位体比からの千分偏差(‰)を表す。

3) 補正 ^{14}C 年代値

$\delta^{13}\text{C}$ 測定値から試料の炭素の同位体分別を知り、 $^{14}\text{C}/^{12}\text{C}$ の測定値に補正値を加えた上で算出した年代。

4) 暦年代

過去の宇宙線強度の変動による大気中 ^{14}C 濃度の変動を校正す

ることにより算出した年代(西暦)。calはcalibrationした年代値であることを示す。校正には、年代既知の樹木年輪の ^{14}C の詳細な測定値、およびサンゴのU-Th年代と ^{14}C 年代の比較により作成された校正曲線を使用した。最新のデータベースでは約19,000年BPまでの換算が可能となっている。ただし、10,000年BP以前のデータはまだ不完全であり、今後も改善される可能性がある。

暦年代の交点とは、補正 ^{14}C 年代値と暦年代校正曲線との交点の暦年代値を意味する。1σ(68%確率)と2σ(95%確率)は、補正 ^{14}C 年代値の偏差の幅を校正曲線に投影した暦年代の幅を示す。したがって、複数の交点が表記される場合や、複数の1σ・2σ値が表記される場合もある。

(株式会社 古環境研究所)

2. 平城京跡(右京二条四坊十二坪)の調査 第540次 採取試料の放射性炭素年代測定

1. はじめに

この調査は、平城京第540次調査【本文49ページ】地において確認された炭化物を含む黄灰色細砂層の年代を検討する目的で、放射性炭素年代測定を行った。測定にあたっては、米国の Beta Analytic Inc. の協力を得た。

2. 試料

測定試料は、調査区南壁において炭混じりの黄灰色細砂層で出土した炭化物1点である。

3. 方法

試料に二次的に混入した有機物を取り除くために、まず蒸留水中で細かく粉砕し、超音波洗浄および煮沸洗浄を行った。次に、塩酸(HCl)により炭酸塩を除去し、さらに水酸化ナトリウム(NaOH)により二次的に混入した有機物を除去し、塩酸(HCl)で洗浄して、最後にアルカリによって中和した(酸-アルカリ-酸処理)。

以上の前処理をした試料は、定温乾燥機内において80°Cで乾燥した。乾燥後、試料中の炭素を燃焼して二

酸化炭素に変え、これを真空ライン内で液体窒素、ドライアイス・メタノール、n-ペンタンを用いて精製し、高純度の二酸化炭素を回収した。こうして得られた二酸化炭素を鉄触媒による水素還元法でグラファイト粉末とし、アルミニウム製のターゲットホルダーに入れてプレス機で圧入しグラファイトターゲットを作製した。これらのターゲットをタンデロン加速器質量分析計のイオン源にセットして測定を行った。

測定試料と方法を表1にまとめた。

4. 結果

年代測定結果を表2に示す。

5. 所見

得られた年代値を同位体分別効果により補正し、さらに暦年代校正を行った結果、2410±40年BP(2σの暦年代でBC 760~640, BC 560~390年)の年代値が得られた。

表1 試料と方法

試料名	採取地等	種類	前処理・調整	測定法
No.1	第5層	炭化物	酸-7ββ-酸洗浄	AMS

※ AMS (Accelerator Mass Spectrometry) は加速器質量分析法: Accelerator Mass Spectrometry

表2 測定結果

試料名	測定No. (Beta-)	¹⁴ C年代 (年BP)	δ ¹³ C (‰)	補正 ¹⁴ C年代 (年BP)	暦年代(西暦)
No.1	213964	2420±40	-25.7	2410±40	交点: cal BC 420 1σ: cal BC 520~400 2σ: cal BC 760~640, BC 560~390

1) ¹⁴C年代測定値

試料の¹⁴C/¹³C比から、単純に現在(AD1950年)から何年前かを計算した値。¹⁴Cの半減期は、国際的慣例によりLibbyの5568年を用いた。

2) δ¹³C測定値

試料の測定¹⁴C/¹³C比を補正するための炭素安定同位体比(¹³C/¹²C)。この値は標準物質(PDB)の同位体比からの1分偏差(‰)で表す。

3) 補正¹⁴C年代値

δ¹³C測定値から試料の炭素の同位体分別を知り、¹⁴C/¹³Cの測定値に補正値を加えた上で算出した年代。

4) 暦年代

過去の宇宙線強度の変動による大気中¹⁴C濃度の変動を校正す

ることにより算出した年代(西暦)。calはcalibrationした年代値であることを示す。校正には、年代既知の樹木年輪の¹⁴Cの詳細な測定値、およびサンゴのU-Th年代と¹⁴C年代の比較により作成された校正曲線を使用した。最新のデータベースでは約19,000年BPまでの換算が可能となっている。ただし、10,000年BP以前のデータはまだ不完全であり、今後も改善される可能性がある。

暦年代の交点とは、補正¹⁴C年代値と暦年代校正曲線との交点の暦年代値を意味する。1σ(68%確率)と2σ(95%確率)は、補正¹⁴C年代値の偏差の幅を校正曲線に投影した暦年代の幅を示す。したがって、複数の交点が表記される場合や、複数の1σ・2σ値が表記される場合もある。

(株式会社 占環境研究所)

3. 平城京跡（左京五条六坊二坪）の調査 第537次 における花粉分析

1. はじめに

花粉分析は、一般に低温地の堆積物を対象とした比較的広域な植生・環境の復原に応用されており、遺跡調査においては遺構内の堆積物などを対象とした局地的な植生の推定も試みられている。花粉などの植物遺体は、水成堆積物では保存状況が良好であるが、乾燥的な環境下の堆積物では分解されて残存していない場合もある。

2. 試料

分析試料は、平城京第537次調査【本文44ページ】の古墳時代後期の土坑SK02の4層の上（暗灰色有機物混粘土）、中（暗灰色有機物混粘土）、下（暗灰色有機物混粘土）より採取された3点である。試料採取箇所を分析結果の模式図に示す。

3. 方法

花粉の分離抽出は、中村（1973）の方法をもとに、以下の手順で行う。

- 1) 0.5%リン酸三ナトリウム（12水）溶液を加え15分間沸煎
 - 2) 水洗処理の後、0.5mmの篩で礫などの大きな粒子を取り除き、沈澱法で砂粒を除去
 - 3) 25%フッ化水素酸溶液を加えて30分放置
 - 4) 水洗処理の後、水酢酸によって脱水し、アセトリンス処理（無水酢酸9：濃硫酸1のエルドマン氏液を加え1分間沸煎）
 - 5) 再び水酢酸を加えて水洗処理
 - 6) 沈澱に石炭酸フクシンを加えて染色し、グリセリンゼリーで封入してプレパラート作成
 - 7) 検鏡・計数
- 検鏡は、生物顕微鏡によって300～1000倍で行う。

花粉の同定は、島倉（1973）および中村（1980）をアトラスとして、所有の現生標本との対比で行う。結果は同定レベルによって、科、亜科、属、亜属、節および種の階級で分類し、複数の分類群にまたがるものはハイフン（-）で結んで示す。イネ属については、中村（1974, 1977）を参考にして、現生標本の表面模様・大きさ・孔・表層断面の特徴と対比して同定しているが、個体変化や類似種もあることからイネ属型とする。

4. 結果

(1) 分類群

出現した分類群は、樹木花粉23、樹木花粉と草本花粉を含むもの5、草本花粉20、シダ植物胞子2形態の計50である。これらの学名と和名および粒数を表1に示し、花粉数が200個以上計数できた試料は、周辺の植生を復元するために花粉総数を基数とする花粉ダイアグラムを図1に示す。主要な分類群は写真に示す。また、寄生虫卵についても観察したが検出されなかった。

以下に出現した分類群を記す。

〔樹木花粉〕

マキ属、モミ属、ツガ属、マツ属複雑管束亜属、スギ、コウヤマキ、イチイ科-イヌガヤ科-ヒノキ科、ヤナギ属、サワグルミ、ハンノキ属、カバノキ属、クマシデ属-アサダ、クリ、シイ属、ブナ属、コナラ属コナラ亜属、コナラ属アカガシ亜属、ニレ属-ケヤキ、エノキ属-ムクノキ、モチノキ属、カエデ属、ブドウ属、スイカズラ属

〔樹木花粉と草本花粉を含むもの〕

クワ科-イラクサ科、バラ科、マメ科、ウコギ科、ニワトコ属-ガマズミ属

〔草本花粉〕

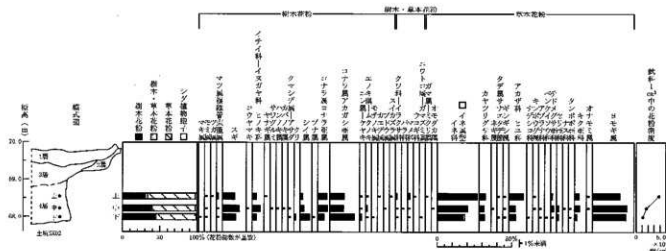


図1 平城京第537次調査の土坑SK02（4層）における花粉ダイアグラム

表1 平城京第537次調査における花粉分析結果

分類	植物名	本調査の出現数		
		上	中	下
<i>Adiantum pedatum</i>	オビキク			1
<i>Polypodium</i>	ツツミ			1
<i>Aster</i>	モミ属	1	3	1
<i>Trapa</i>	ツガ	1		
<i>Ficus v. Agave ligularis</i>	マツタネ科雑草等	4	1	3
<i>Cyperus japonicus</i>	シロネ	28	48	30
<i>Scirpus ovalis</i>	シロネ	1		
<i>Taraxacum Cochlearium-Cornucopiae</i>	イネ科-イネ科+イネ科+イネ科	2	32	28
<i>Silyb</i>	ナデシコ	1		
<i>Panicum hybridum</i>	オモダカ		1	
<i>Alopecurus</i>	パンケイソウ科		1	
<i>Brachiopodium</i>	パンケイソウ		1	
<i>Cyperus Chlorus japonicus</i>	シロネ			1
<i>Cyperus tenuis</i>	シロネ			4
<i>Cyperus</i>	シロネ	6	11	22
<i>Poa</i>	フナ			3
<i>Cyperus setigerus Ligularis</i>	シロネ	76	97	18
<i>Cyperus setigerus Cochlearium</i>	シロネ	22	24	16
<i>Eleocharis acicularis</i>	シロネ	1	2	8
<i>Cyperus tenuis japonicus</i>	シロネ	1	5	2
<i>Eleocharis acicularis</i>	シロネ			2
<i>Aster</i>	モミ	2		
<i>Trapa</i>	ツガ			1
<i>Lythrum</i>	ムシロ	1		
<i>Adiantum - Nephrolepis pedatum</i>	オビキク			
<i>Mosses-Ericaceae</i>	ツツミ	4	2	3
<i>Ranunculus</i>	ハク			
<i>Ligularia</i>	ツツミ	4	5	2
<i>Asplenium</i>	ツツミ	1		
<i>Senecio - Filipendula</i>	シロネ			1
<i>Hebecladus pedata</i>	ツツミ			
<i>Zizia-Aquilegia</i>	ツツミ			
<i>Zigzag</i>	ツツミ			
<i>Gonolobus</i>	ツツミ	90	83	59
<i>Chrys. type</i>	ツツミ			4
<i>Cyperus</i>	シロネ	14	14	28
<i>Aster</i>	ツツミ			1
<i>Polygonum arif. Persicaria</i>	ツツミ	1		2
<i>Rumex</i>	ツツミ	3		1
<i>Chenopodium-Amaranthaceae</i>	ツツミ	19	18	16
<i>Caryophyllaceae</i>	ツツミ			1
<i>Amaranthus</i>	ツツミ			1
<i>Oxalide</i>	ツツミ			1
<i>Crossidaceae</i>	ツツミ			1
<i>Rhizophytaceae</i>	ツツミ	4		2
<i>Urticaceae</i>	ツツミ	6		5
<i>Solanaceae</i>	ツツミ			1
<i>Lamiaceae</i>	ツツミ	10	14	9
<i>Umbelliferae</i>	ツツミ			1
<i>Scitellaria</i>	ツツミ			1
<i>Senecio</i>	ツツミ	52	50	22
<i>Fern spore</i>	ツツミ			
<i>Mosses type spore</i>	ツツミ	4	6	
<i>Trilete type spore</i>	ツツミ	2	6	
<i>Adiantum pedatum</i>	オビキク	107	114	107
<i>Adiantum - Nephrolepis pedatum</i>	オビキク	11	3	3
<i>Nephrolepis pedatum</i>	オビキク	220	252	180
<i>Trapa</i>	ツツミ	108	129	147
<i>Pollen frequency of taxa</i>	ツツミ	2.8	1.7	1.1
<i>Adiantum pedatum</i>	オビキク	2.0	2.0	2.0
<i>Poa</i>	フナ	6	10	6
<i>Helianthus</i>	ツツミ	0.1	0.2	0.1
<i>Dryopteris</i>	ツツミ	0.1	0.2	0.1
<i>Charax. Rugosus</i>	ツツミ	0.1	0.1	0.1

ガマ属-ミクリ属、オモダカ属、イネ科、イネ属型、カヤツリグサ科、ネギ属、タデ属サナエタデ節、ギンギン属、アカザ科-ヒユ科、ナデシコ科、キンボウグ属、アブラナ科、パンケイソウ科、チドメガサ亜科、セリ亜科、ナス科、タンポポ虫科、キク亜科、オナモミ属、ヨモギ属

〔シダ植物胞子〕

単条溝胞子、三条溝胞子

(2) 花粉群集の特徴

土坑SK02の4層(試料上、中、下)における花粉構成と花粉組成は、層位によって大きく変化しない。樹木花粉より草本花粉の占める割合が高く、上位に向かい

草本花粉の割合がやや高くなる。草本花粉では、ヨモギ属、イネ科を主に、アカザ科-ヒユ科、カヤツリグサ科、キク亜科などが出現する。樹木花粉では、コナラ属アカガシ亜属、スギ、シイ属、コナラ属コナラ亜属、イチイ科-イヌガヤ科-ヒノキ科などが出現する。特にコナラ属アカガシ亜属とシイ属の樹木花粉は上位に向かって減少し、イネ科とアカザ科-ヒユ科の草本は増加する。

5. 花粉分析から推定される植生と環境

土坑SK02周辺は、人里植物ないし耕地雑草の性格をもつイネ科、ヨモギ属を主に、アカザ科-ヒユ科、キク亜科などの草本が生育しており、日当たりの良い比較乾燥した人為性の高い環境が分布していた。上部ではそれが拡大する。またイネ科にはイネ属型が伴われ、水田雑草のオモダカ属や、水生植物、抽水植物のカヤツリグサ科、ガマ属-ミクリ属なども出現することから、水田の分布が示唆される。なお、これら草本が土坑内でも生育していたことも考えられる。周辺には地域的な森林として、コナラ属アカガシ亜属やシイ属などの照葉樹林を主に、スギやコナラ属コナラ亜属などが分布していたと推定される。

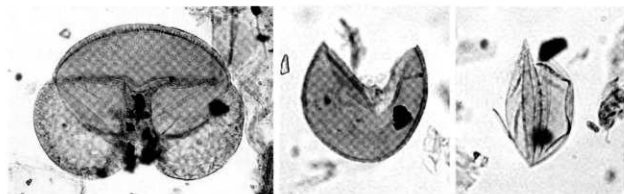
6. まとめ

平城京第537次調査において検出された古墳時代後期の土坑SK02(4層)において花粉分析を行った。その結果、イネ科、ヨモギ属を主に人里植物ないし耕地雑草の性格をもつ草本が生育し、やや乾燥した日当たりの良い人為性の高い環境の分布が示唆された。近隣の森林は、コナラ属アカガシ亜属やシイ属などの照葉樹林を主に、スギやコナラ属コナラ亜属などが分布していたと推定された。

(参考文献)

- 金原正明(1993) 花粉分析法による古墳塚復原。新編古代の日本第10巻 古代資料研究の方法。角川書店。p.248-262。
 島倉三郎(1973) 日本植物の花粉形態。大阪市立自然科学博物館収蔵目録第5集。60p。
 中村純(1973) 花粉分析。古今書院。p.82-110。
 中村純(1974) イネ科花粉について、とくにイネ(*Oryza sativa*)を中心として。第四紀研究。13,p.187-193。
 中村純(1977) 稲作とイネ花粉。考古学と自然科学。第10号。p.21-30。
 中村純(1980) 日本産花粉の標本。大阪自然史博物館収蔵目録第13集。91p。

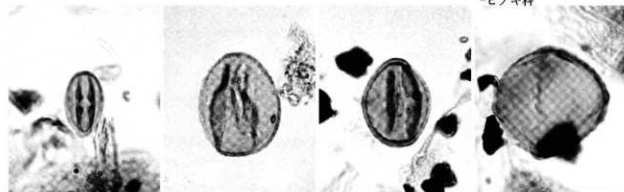
(株式会社 古環境研究所)



1 モミ属

2 スギ

3 イチイ科-イヌガヤ科
-ヒノキ科

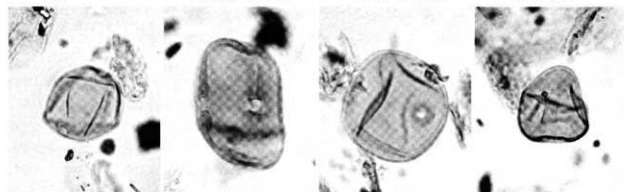


4 シイ属

5 コナラ属コナラ亜属

6 コナラ属コナラ亜属

7 ニレ属-クヤキ

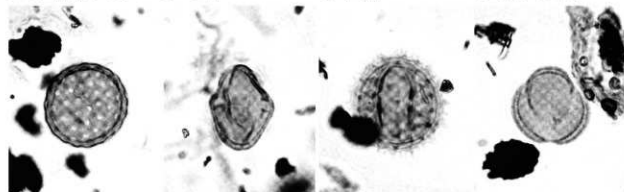


8 クロ科-イラクサ科

9 マメ科

10 イネ科

11 カヤンリグサ科



12 アカザ科-ヒユ科

13 チドメグサ亜科

14 キク亜科

15 ヨモギ属

1 — 10 μ m
2-15 — 10 μ m

図2 平城京第537次調査の花粉

4. 史跡大安寺旧境内・西塔地区の調査第105次 関連試料のTL年代測定

1. はじめに

史跡大安寺旧境内西塔地区の調査第105次（『奈良市埋蔵文化財調査概要報告書平成16年度』にて報告）より出土した瓦、およびそれに関する堆積層の年代を測定した。瓦と堆積層はそれぞれ焼けた状態と焼けていない状態のものがあがり、これらの年代を明確に区別するためには、通常ルミネッセンス年代測定法に求められる測定結果の正確度をできる限り高める必要がある。そのため、今回は通常の測定よりも関連する瓦と堆積層の数を増やして測定して統計的な精度を高め、総合的に年代を確定することを目指した。

2. 試料

ルミネッセンス年代測定法は、鉱物に蓄積した放射線量（蓄積線量）を測定し、その鉱物が一年間に吸収する放射線量（年間線量）で除することによって年代を見積もる測定法である。ルミネッセンスは一度発光するとゼロの状態になる（以下、ゼロイング）。過去のゼロイングには、熱によるものと、光によるものがある。普通、熱によってゼロイングを受けたものは、熱ルミネッセンス法（以下、TL法）と光で励起させる光ルミネッセンス年代測定法（以下、OSL法）が用いられ、光によってゼロイングされたものはOSL法が用いられる。

今回の蓄積線量測定用試料は、火災の痕跡のある堆積層（以下、被火災層）と、そこから出土し、火災を受けて赤色になり、火災を受けたと推定される瓦（以下、被火災瓦）6点、同層から出土し、赤色化していない瓦（以下、対照試料瓦）5点、さらに被火災層より下層の整地された層（以下、整地層）と、整地層から出土した瓦（以下、整地層瓦）4点を測定試料とした。これらの試料から、今回の年代測定対象を以下のように設定した。

- ① 西塔が火災にあった年代
- ② 被火災層から出土した変色していない瓦（対照試料瓦）が焼成された年代
- ③ 整地層から出土した瓦（整地層瓦）が焼成された年代
- ④ 整地層が整地された年代

3. 試料処理

試料処理はTL法については石英粗粒子法、OSL法については多鉱物微粒子法の測定試料として処理を行った。

3-1. 蓄積線量測定用試料

試料処理は光によるルミネッセンスの減衰を防ぐため、瓦、土壌ともに暗赤色灯の暗室内で行った。以下にそれぞれの処理工程を順に追っていく。

3-1-1. 瓦の試料処理

瓦試料については以下の手順で、すべて石英粗粒子法の試料処理を行った。

- ① 被火災瓦は、ダイヤモンドカッターによって半裁し、断面を確認して、内部まで赤色化しているものを選択し、6点のうち3点を試料とした。対照試料瓦および整地層瓦に関しては、提供を受けた試料の大きさの順に3点を選択し、その他は予備とした。
- ② 瓦の表面部は露光されているため、ルミネッセンス強度が減衰しているため、この部分を除去しなければ年代測定結果は見かけ上若くなる可能性がある。また、この部分を除去することによって、周囲の自然放射線からのβ線の寄与をなくすることができる。これら二点の理由から、瓦の表面部およそ2mmを超硬ブレイドによって除去した。
- ③ 試料内部の石英粒子を破壊しないよう、アルミ板を介し万力によって徐々に瓦を粉砕し、標準ふるいで50～500μmの鉱物を選択した。
- ④ 有機物を除去するために過酸化水素水20%溶液で16時間程度の処理をした。
- ⑤ 炭酸塩鉱物を除去するために塩酸20%溶液で2時間処理した。
- ⑥ 乾燥後、標準ふるいによって50～250μmの鉱物を選択し、電磁分離器によって磁性鉱物を除去した。
- ⑦ フッ化水素酸20%溶液で2時間処理し、長石等を融解し試料を石英のみにした。また、このフッ化水素酸によって石英の表面部を溶く溶かし（以下、エッチング）石英に対するα線の寄与をなくした。
- ⑧ 酢酸20%溶液で2時間処理し、石英の表面部の平滑化を行った。
- ⑨ 標準ふるいによって石英を50～75μmの粒度にそろえ、石英粗粒子試料とした。

3-1-2. 土壌の試料処理

被火災層については石英粗粒子法と微粒子法を、整地層は微粒子法に準じて試料処理を行った。以下に手順を示す。

- ① 土壌を水を張ったバケツの中に入れ、攪拌して木の毛根などを取り除いた。
- ② 標準ふるいによって、水中で500μm以上の鉱物を取り除き、混濁液を攪拌した。
- ③ 混濁液を10分間静置したのち、沈殿物と混濁液を分離した。
- ④ 沈殿物は粗粒子試料として、瓦の試料処理の④以下

と同様の処理を行った。混濁液はおよそ2週間静置して微粒の鉱物を沈殿させ、微粒子試料とした。

- ⑤ 微粒了用試料は、有機物を除去するために過酸化水素水20%溶液で約16時間処理した。
- ⑥ ⑤の試料にアセトンを加え、超音波洗浄機内に15分間置いた。
- ⑦ 試料を試験管に適量取り、同量のアセトンを入れ攪拌し2分間静置し、1~8 μ mの鉱物を選択した。
- ⑧ 炭酸塩鉱物を除去するために塩酸20%溶液で2時間処理し、乾燥させて微粒了試料とした。

3-2. 年間線量測定用試料

ルミネッセンス現象に寄与する自然放射線は α 線、 β 線、 γ 線及び宇宙線である。年間線量はそれらを合計したものであるが、粗粒了法の場合、前述の通り α 線は無視でき、 β 線に関しては、周囲からの影響をほとんど無視できるので、試料自身からの β 線と周囲からの γ 線と宇宙線の年間線量を評価すればよい。FG法に関しては、 α 線を考慮しなければならない。この際、ルミネッセンスに α 線が寄与する効率は全体の10%程度である。

年間線量の測定法には直接測定と間接測定がある。今回は β 線、 γ 線及び宇宙線を直接測定で、 α 線を間接測定で算出した。以下にそれぞれの測定手順を示す。

3-2-1. 直接測定

(1) β 線

- ① 蓄積線量測定用試料と同一の試料(瓦の場合は3-1-1②で除去した表面部、土壌の場合は別に取り分けた試料を用いた)をタングステン製乳鉢で粉末状にした。
- ② 粉末試料を高さ5mmのアルミリングにつめ、油圧式プレス機によって圧縮成形しコイン状にしたものを2枚作成した。プレス試料からの α 線の寄与をなくすため、厚さ3.5mg/cm²のポリエチレン製の袋に入れた。プレス試料2枚の間に、加熱処理(アニール)した熱ルミネッセンス線量計素子(以下、TLD素子)粉末を均一に広げてはさみこんだ。
- ③ 上記試料を低バックグラウンドの鉛ブロック内に、20日間放置し、試料からの β 線を吸収させた。
- ④ 取り出したTLD素子のルミネッセンス強度を測定した。
- ⑤ 較正照射を行った試料で得られたルミネッセンス強度と上記強度との比較により、年間 β 線量を見積もった。

(2) γ 線と宇宙線

- ① 銅パイプ(長さ50cm、肉厚1mm)内にアニールしたTLD素子カプセルを5個つめた。

- ② 銅パイプを、試料を採取した地層におよそ40日間埋設し、周囲の γ 線及び宇宙線を吸収させた。

- ③ 銅パイプを実験室に持ち帰り、内部のTLD素子カプセルを取り出して、ルミネッセンス強度を測定した。
- ④ β 線直接測定と同様に、較正照射を行った試料で得られたルミネッセンス強度と比較し、年間 γ 線量を見積もった。

3-2-2. 間接測定

- ① 持ち帰った試料の重量を測定し、恒温槽にて乾燥した。
- ② 乾燥した試料の重量を測定し、採取時と比較して試料の採取時の含水率を見積もった。
- ③ 乾燥試料を30g抽出してプラスチックケースに封入し、ポリエチレン製の袋に入れた。
- ④ γ 線スペクトロメーターで試料からの γ 線強度を測定し、産業技術総合研究所地質調査総合センターの岩石標準試料(JB-2、JB-3、JA-3、JG-1a、JR-1)で作成した検量線を用いて、U、Th、Kの含有量を算出した。
- ⑤ UとThの含有量から α 線年間線量を見積もり、ルミネッセンス効率を10%と仮定して、 α 線年間線量を求めた。

4. 蓄積線量測定条件

表1、2に測定条件をまとめた。表2の「IRSL」は赤外光励起によるOSLを指す。

5. 測定結果

測定例として、図1、2に对照試料瓦のTL測定結果を、図3、4に被災火層のIRSL測定結果を示す。

図1は对照試料瓦の等価線量測定データ(TLグローカーブ)である。図中Nはナチュラル試料であり、ナチュラル試料に人工的に付加線量を照射した試料がN+2Gy、N+4Gy、N+6Gy、N+8Gyである。図中に示した320~340℃の領域を積算してTL強度とした。図2は横軸に照射線量をとリ、縦軸にTL強度をとった生長曲線(上部の直線)である。生長曲線を外挿し、横軸との交点が等価線量(図中のED:2.30 \pm 0.12Gy)である。低線量領域の生長が直線的であれば、等価線量は蓄積線量(図中のPD)に等しいが、一般的には低線量領域ではTL強度の生長が鈍い。その場合、PD=EDとすると蓄積線量が過小評価される。その補正(スーパーリニアリティ補正)を行うために、人為的に加熱によってゼロイングした同一試料を測定してTL強度の生長を再現する。図中SPR:1.93 \pm 0.30Gyはその補正値で、蓄積線量PD(図中4.23 \pm 0.32Gy)はEDとSPRの合計である。

図3は被災火層の等価線量測定データ(IRSL減衰曲線)である。TLが温度上昇に対する発光強度を示すの

表1 TL測定条件

	装置	昇温速度	検出波長	フィルター
条件1	DAYBREAK 社製1150 TL/OSL	10℃/sec	350~470nm	Corning7-59+BG39
条件2	DAYBREAK 社製1150, TL/OSL	10℃/sec	380~580nm	Corning4-96+HA15

表2 IRSL測定条件

装置	励起光波長	検出波長	フィルター	測定温度	プレヒート
DAYBREAK 社製1150 TL/OSL	880 ± 20nm	350~600nm	BG39+HA15	60℃	160℃、60sec

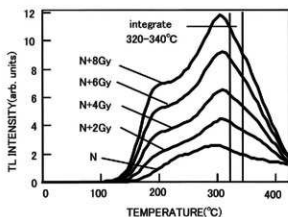


図1. 対照試料瓦の等価線量測定結果

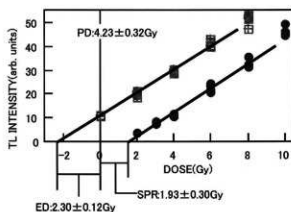


図2. 対照試料瓦の蓄積線量測定結果

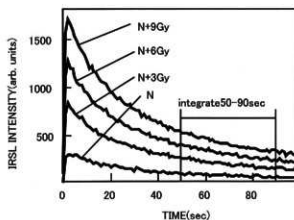


図3. 被災災層の等価線量測定結果

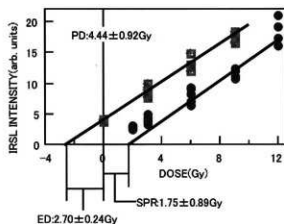


図4. 被災災層の蓄積線量測定結果

表3 TL年代測定結果

試料名	年間線量 (mGy/y)	検出波長 (350~470nm)		検出波長 (380~580nm)	
		蓄積線量 (Gy)	TL年代 (西暦年)	蓄積線量 (Gy)	TL年代 (西暦年)
被災瓦①	3.51±0.09	3.72±0.23	940±70	3.73±0.29	940±70
被災瓦②	3.72±0.11	3.89±0.51	950±140	3.86±0.50	960±140
被災瓦③	3.64±0.09	3.76±0.33	970±90	3.61±0.36	1010±100
被災層	3.32±0.13	3.66±0.60	900±190	3.76±0.42	870±130
対照試料瓦①	3.68±0.10	4.23±0.32	850±90	4.11±0.31	880±90
対照試料瓦②	3.47±0.10	4.15±0.33	800±100	3.50±0.61	990±180
対照試料瓦③	3.55±0.09	4.26±0.28	800±80	3.96±0.41	880±120
整地层瓦①	3.47±0.08	4.81±0.27	610±80		
整地层瓦②	3.58±0.07	4.57±0.25	720±80	4.63±0.60	710±170
整地层瓦③	3.70±0.07	4.48±0.63	790±170	4.49±0.38	790±110

表4 IRSL年代測定結果

試料	年間線量 (mGy/y)	蓄積線量 (Gy)	IRSL年代 (西暦年)
被災層	4.84±0.14	4.44±0.92	A.D. 1080±190
整地层	4.60±0.10	21.71±2.75	B.C. 2720±610

に対し、IRSLは時間経過に対する発光強度で示される。IRSLが安定的に発光している50-90秒の測定時間を積算して強度とした。その後の解析は上記TLの場合と同様である(図4)。

表3にTL法における年間線量と蓄積線量及びTL年代(西暦年)を示す。蓄積線量とTL年代は2つの検出波長別(350~470nm及び380~580nm)に示した。整地层瓦①は、他の試料とくらべてCG試料が極微量しか抽出できなかったため、検出波長350~470nmのみで測定した。また、表4にIRSL法における年間線量と蓄積線量及びIRSL年代(西暦年)を示す。IRSL測定ではスーパーリニアリティ補正測定におけるゼロリングを加熱ではなく太陽光による光ブリーチで行った。

整地层のIRSL年代が異常に古いのは整地层のゼロリングが不完全であったためであって、年代値としては意味がないが、ゼロリングが不完全であるということは堆積時の太陽光露光が短時間であったことを示唆するものであり、人為的に整地された層であることの傍証となる。

6. 考察

表5に表3、4の年代値から整地层を除外した年代値の平均を示す。被災瓦の年代と被災層の年代はほぼ同じであり、西塔の火災の年代を示していると考えられ

る。整地层瓦の年代は、一点の瓦(表4参照)が他と比べ古く出ている。この値を除いて平均するとA.D.750±60年となるが、この値を除外することが正しいかどうかは判断できない。

以上より、今回測定したルミネッセンス年代は以下のように結論づけられる。

- ① 西塔が火災にあった年代は、西暦950年または960年頃である。
- ② 被災層から出土した変色していない瓦(対照試料瓦)が焼成された年代は、西暦870年頃である。
- ③ 整地层から出した瓦(整地层瓦)が焼成された年代は、西暦720年頃か、西暦750年頃である。
- ④ 整地层が整地された年代は、西暦720年(あるいは西暦750年)以降である。

(奈良教育大学 長友恒人・西村誠治)

5. 史跡大安寺旧境内・西塔地区の調査 第100・102・105次 出土金属製品の鉛同位体比分析

1. はじめに

大安寺はかつて「南大寺」とも称され、東大寺が建立されるまでは国家最大規模の寺として平城京にその威風を放っていた。縁起やその他の資料によると、聖徳太子が麻蕪料に建てた精舎が、百済大寺、高市大寺と名称および寺地を変えながら規模を拡大し、そして藤原京において大宮大寺という国家第一の寺院となり、平城京遷都(710年)に伴って現在の場所に移建された後に、大安寺と改名されたといわれる。

大安寺は度重なる火災や震災のために平安時代以降は急速に衰退していった。『日本紀略』によると、天曆3年(949年)に雷火で西塔が焼失たと記録されており、1017年にも大安寺は焼失たと記録が残っている。保延6年(1140年)の状態で記されている『七大寺巡礼私記』によれば、西塔はその時すでに礎石を残すのみであったとされている。

2. 分析対象

史跡大安寺旧境内・西塔地区の調査¹⁾より出土した遺物6点を分析した。

- No. 1: 風鐸① (DA第100次調査で出土)
- No. 2: 風鐸② (DA第102次調査で出土)
- No. 3: 風鐸③ (DA第102次調査で出土)
- No. 4: 風招 (DA第100次調査で出土)
- No. 5: 水煙 (DA第100次調査で出土)
- No. 6: 大型銅製品 (DA第105次調査で出土)

風鐸とは仏堂の屋根の軒先や塔の相輪などにつけて建物を装飾する装飾品であり、平成13年・14年度出土の風鐸①、②と平成17年度出土の風鐸③の破片である。各地で用いられている例を参考に風鐸3点の大きさや文様の比較をすると、前述2点の風鐸は相輪に、風鐸③の破片は軒階に吊り下げられたと考えられている。風招は舌によって風鐸の下に吊り下げたといわれており、水煙、大型銅製品は相輪に関連した遺物であると考えられる。

風鐸①、②はそれぞれ断面形が円形とレンズ状に近い菱形であり、両者は全く異なる鋳型から作られたと考えられ、風鐸③の破片も出土しているため、西塔には少なくとも3種類以上の違った形の風鐸が吊り下げられていたことがわかった。

発掘調査によって見つかった基壇外周に堆積した土を観察すると、大量の瓦が堆積、それぞれ時期の異なる2つの層が確認されている。古い時期にあたる下の瓦堆積層は、粘質の土によって固く埋められている。この層は

基壇外周の全体に平坦に覆っており、人為的な堆積層である。このことから崩落した塔の瓦礫などの処理を兼ねて整地したと考えられる。さらにこの層には火災の痕跡(炭・焼土など)が認められないため、火災以外で塔が損壊した可能性を示唆する。少し間をおいて新しい時期にあたる上の瓦堆積層は焼け土や炭に混じって瓦が大量に堆積している。これらのことから西塔が2度損壊しており、最初の崩落は火災以外の原因、2度目は火災が原因による崩落であることが発掘調査によって明らかとなった。

本資料は少なくとも949年もしくは1017年以前の奈良時代～平安時代の資料と考えられる。

3. 分析内容

まず、含まれる成分の調査及び鉛同位体比測定に必要な鉛の有無の確認のため、遺物本体および採取した試料の蛍光X線分析装置による表面からの非破壊分析を行い、採取した試料を鉛同位体比測定用試料とした。

次いで、青銅器片全量を用いて鉛同位体比を測定し、鉛材料の産地に関する調査を行った。

* 掘置型エネルギー分散型蛍光X線分析装置による採取試料の成分分析

掘置型エネルギー分散型蛍光X線分析装置(以下、掘置型XRF)(セイコーインスツルメンツ SEA5230)を用いた。試料の微小領域にX線を照射し、その際に試料から放出される各元素に固有の蛍光X線を検出することにより元素を同定する。

測定は大気圧下で行い、45kVの管電圧で300秒間測定した。なお、X線管球はモリブデン(Mo)である。

* 可搬型エネルギー分散型蛍光X線分析装置による遺物本体の成分分析

当該遺物は比較的形が複雑で大きなものであったため、上記XRF装置の試料室に入れて分析することができなかった。そこで、可搬型エネルギー分散型蛍光X線分析装置(以下、可搬型XRF)(アワーズテック100FA)を用いて遺物本体の成分分析を行った。

測定は大気圧下で行い、15kVの管電圧で100秒間測定した。なお、X線管球はパラジウム(Pd)である。

* 鉛同位体比分析

鉛の同位体比が鉱床生成の時期と地域の違いによって変動することを利用して、鉛を含む遺物の産地分類を行う方法である。原理の説明は他の文献に譲る^{2,3)}。

鉛同位体比測定の概略は次のようである。あらかじめ

め測定用に採取された試料を石英製のピーカーに入れ、硝酸を加えて溶解した。この溶液を白金電極を用いて直流2V（ボルト）で電気分解し、鉛を二酸化鉛として陽極に集めた。析出した鉛を硝酸と過酸化水素水で溶解し、試料溶液とした。この溶液の中から0.2μg（マイクログラム）の鉛をとり出し、リン酸とシリカゲルと共にレニウムフィラメント上に載せ、サーモエレクトロン社製表面電離型質量分析計 MAT262 に装着した。分析計の諸条件を整え、フィラメント温度を1200°Cに設定して鉛同位体比を測定した。同一条件で測定した標準鉛 NBS-SRM-981 で規格化し、測定値とした。

4. 分析結果

可搬型 XRF で分析により、上記史跡大安寺旧境内出土遺物 6 点は何れも銅（Cu）・スズ（Sn）・鉛（Pb）・ヒ素（As）を含む青銅製品で、他に検出した鉄（Fe）は周辺外部環境を起源とするものであると考えられる（図3、8、12、17、22、26）。

採取した試料を据置型 XRF にて分析すると、資料 No.1、No.2 の鉛の検出強度が弱く、鉛同位体比測定のための試料採取量を増やす必要があった（図4、9、13、18、23、27）。

なお、本資料の化学組成は独立行政法人奈良文化財研究所によっても測定されている⁴⁾

測定された鉛同位体比値を表1で示し、表の値を理解

するひとつの方法として鉛同位体比を図で示した。

横軸が²⁰⁶Pb/²⁰⁴Pb、縦軸が²⁰⁷Pb/²⁰⁴Pb の値とした図と横軸が²⁰⁷Pb/²⁰⁶Pb、縦軸が²⁰⁸Pb/²⁰⁶Pb の値とした図を図28～33に作成した。これらの図で鉛同位体比に関して今までに得られている結果を概念的に表し、今回の結果を図の中に加えた。これらの図の中で日本の弥生時代に相当する頃の東アジア地域において、主として中国前漢鏡が分布する領域を後の他資料との比較から華北領域と仮定した。中および三国時代の銅鏡が分布する領域を後の他資料との比較から華南領域と仮定した。現代の日本産の主要鉛鉱石が入る領域を日本領域とした。多鈕細文鏡が分布する領域の中央線を朝鮮半島領域と仮定した。

これらの領域は弥生時代の資料を測定した上で設定されており、今回の8世紀後半から9世紀代（奈良・平安時代）の遺構から出土した本資料にも応用できるかどうか疑問は残るが、ひとつの比較として利用した。

今回測定した飾り金具の鉛同位体比値を図28～33の中に●の印で示した。比較資料として、奈良時代および平安時代青銅製品、東大寺八角灯籠（一部抜粋）、葉師寺葉師如来両脇土像（一部抜粋）、長登銅山勝から得られた金属塊の鉛同位体比をそれぞれ図に加えた。比較に用いた資料の鉛同位体比値を表3～7に示し、図の中に△・□などで示した。比較資料の詳しい情報はそれぞれの文献に依存する^{5・6・7・8・9・10・11)}。

表1 大安寺西塔跡から出土した遺物の鉛同位体比値

資料名	²⁰⁶ Pb/ ²⁰⁴ Pb	²⁰⁷ Pb/ ²⁰⁴ Pb	²⁰⁸ Pb/ ²⁰⁴ Pb	²⁰⁷ Pb/ ²⁰⁶ Pb	²⁰⁸ Pb/ ²⁰⁶ Pb	測定番号
1 風鐸①	18.417	15.599	38.508	0.8470	2.0909	BP2060
2 風鐸②	18.495	15.655	38.778	0.8464	2.0966	BP2061
3 風鐸③	18.422	15.617	38.563	0.8477	2.0933	BP2062
4 風招	18.416	15.594	38.490	0.8467	2.0900	BP2063
5 水煙	18.417	15.603	38.520	0.8472	2.0916	BP2064
6 大形銅製品	18.414	15.599	38.508	0.8471	2.0913	BP2065
測定誤差	±0.010	±0.010	±0.030	±0.0003	±0.0006	

表2 奈良時代前期遺物が示す鉛同位体比

資料名	²⁰⁶ Pb/ ²⁰⁴ Pb	²⁰⁷ Pb/ ²⁰⁴ Pb	²⁰⁸ Pb/ ²⁰⁴ Pb	²⁰⁷ Pb/ ²⁰⁶ Pb	²⁰⁸ Pb/ ²⁰⁶ Pb
太安萬侶基誌銅板	18.402	15.588	38.442	0.8471	2.0890
武蔵国分寺跡付近出土銅造仏	18.438	15.634	38.634	0.8479	2.0953
測定誤差	±0.010	±0.010	±0.030	±0.0003	±0.0006

表3 平安時代陶磁遺物が示す鉛同位体地比

資料名	出土地	$^{206}\text{Pb}/^{204}\text{Pb}$	$^{207}\text{Pb}/^{204}\text{Pb}$	$^{208}\text{Pb}/^{204}\text{Pb}$	$^{207}\text{Pb}/^{206}\text{Pb}$	$^{208}\text{Pb}/^{206}\text{Pb}$
火災斗	川原田遺跡 (長野県)	18.436	15.630	38.570	0.8478	2.0921
火災斗	和手遺跡 (長野県)	18.420	15.608	38.524	0.8473	2.0914
火災斗	落川遺跡 (東京都)	18.436	15.610	38.535	0.8467	2.0902
朝虎	下り松遺跡 (茨城県)	18.416	15.607	38.519	0.8475	2.0916
地蔵菩薩	下り松遺跡 (茨城県)	18.426	15.622	38.571	0.8478	2.0933
聖観音菩薩	下り松遺跡 (茨城県)	18.425	15.621	38.563	0.8478	2.0930
天部立像	熊の山遺跡 (茨城県)	18.422	15.616	38.553	0.8477	2.0928
和鏡	下高井向原 I 遺跡 (茨城県)	18.410	15.602	38.517	0.8475	2.0922
和鏡	寺内遺跡 (埼玉県)	18.414	15.611	38.533	0.8478	2.0926
測定誤差		±0.010	±0.010	±0.030	±0.0003	±0.0006

表4 大東寺 八角灯籠の資料採取箇所および鉛同位体地比 (一部抜粋)

名称	試料採取箇所	$^{206}\text{Pb}/^{204}\text{Pb}$	$^{207}\text{Pb}/^{204}\text{Pb}$	$^{208}\text{Pb}/^{204}\text{Pb}$	$^{207}\text{Pb}/^{206}\text{Pb}$	$^{208}\text{Pb}/^{206}\text{Pb}$
笠	降棟鬆孔	18.388	15.630	38.545	0.8500	2.0962
笠	型持鬆孔	18.367	15.577	38.389	0.8481	2.0901
笠	軒先鬆孔	18.373	15.604	38.449	0.8493	2.0927
笠	葎手納孔内部	18.428	15.625	38.585	0.8479	2.0938
中台	天板納孔内部	17.640	15.532	37.905	0.8805	2.1488
中台	側面填金上の鬆孔	18.385	15.607	38.502	0.8489	2.0942
中台	八稜形座 (小) の内面バリ	18.366	15.593	38.492	0.8490	2.0958
中台	底部中央の十字型角材	18.003	15.556	38.021	0.8641	2.1119
竿	上端納孔内部バリ	18.434	15.638	38.623	0.8483	2.0952
竿	環状座上面	17.887	15.581	38.149	0.8711	2.1328
基台下框	底面バリ	18.403	15.608	38.523	0.8481	2.0933
基台蓮華座	円筒型納	18.440	15.622	38.577	0.8472	2.0920
測定誤差		±0.010	±0.010	±0.030	±0.0003	±0.0006

表5 薬師寺講堂銅造薬師如来両脇土像が示す鉛同位体比値 (一部抜粋)

番号	No.	試料採取箇所	$^{206}\text{Pb}/^{204}\text{Pb}$	$^{207}\text{Pb}/^{204}\text{Pb}$	$^{208}\text{Pb}/^{204}\text{Pb}$	$^{207}\text{Pb}/^{206}\text{Pb}$	$^{208}\text{Pb}/^{206}\text{Pb}$
CP802	薬師像 1	像内頭右下方	18.483	15.630	38.649	0.8456	2.0910
CP803	薬師像 2	像内背中左方	18.471	15.615	38.601	0.8454	2.0899
CP791	(東) 11	像内背中左方	18.466	15.615	38.594	0.8456	2.0900
CP795	薬師像 3	像内右脇腹	18.494	15.644	38.682	0.8459	2.0916
CP796	薬師像 4	像内両足部中央	18.462	15.615	38.590	0.8458	2.0903
CP805	薬師像 9	像内頭中央	18.470	15.616	38.622	0.8455	2.0911
CP806	薬師像 10	像内右肩	18.474	15.623	38.616	0.8457	2.0903
CP792	(東) 12	像内右脇腹	18.488	15.637	38.663	0.8458	2.0912
CP953	(東) 21	右大腿部地付	18.460	15.608	38.581	0.8455	2.0900
CP955	(東) 23	像内頭部左方	18.488	15.635	38.668	0.8457	2.0915
CP956	(東) 24	像内後頭部中央	18.448	15.601	38.586	0.8457	2.0916
CP957	(東) 25	像内左肩	18.471	15.626	38.630	0.8460	2.0914
測定誤差			±0.010	±0.010	±0.030	±0.0003	±0.0006

表6 鉱石が示す鉛同位体比値

遺跡名	資料	$^{206}\text{Pb}/^{204}\text{Pb}$	$^{207}\text{Pb}/^{204}\text{Pb}$	$^{206}\text{Pb}/^{204}\text{Pb}$	$^{207}\text{Pb}/^{206}\text{Pb}$	$^{208}\text{Pb}/^{206}\text{Pb}$
長登銅山	金風鉛塊	18.408	15.601	38.485	0.8477	2.0906
	粗銅塊	18.438	15.626	38.561	0.8476	2.0917
		18.421	15.617	38.545	0.8478	2.0924
測定誤差		±0.010	±0.010	±0.030	±0.0003	±0.0006

5. 考察

大安寺発掘調査で出土した飾り金具の鉛同位体比は図28、29から判断すると全資料が日本領域に含まれた。日本領域の設定には日本産の鉛鉱石が主として用いられている。故にこの領域は奈良時代や平安時代でもそれ程変わらないと考えられる。よって、本測定資料である風鐸3点、風招、水煙、大形銅製品には日本産の材料が用いられていると判断できる。その中でも風鐸①、③、風招、水煙、大形銅製品はほぼ似たような値を示し、風鐸② (No. 2) は日本領域に含まれるが、これらとは異なった鉛同位体比を示した。

No. 2試料以外は図28、29から類似した鉛同位体比を示した。同一材料ではないにしても、関連した鉛材料、すなわち似たような鉱山から採取された銅材料を利用している、もしくは似たような鉛材料を混合して用いた可能性があることを示唆している。

本測定資料の鉛同位体比値をさらに理解するための比較資料として、これまでに測定された奈良時代および平安時代古銅製品の鉛同位体比を本測定の鉛同位体比と共に図30、31で示した。図30、31からNo. 2試料以外の本測定資料と平安時代の比較資料の鉛同位体比がほぼ類似した値を示した。No. 2試料は比較資料の鉛同位体比とは異なっており、これまでに測定された試料に用いられていた鉛材料とは異なった日本産鉱山から採鉱された鉛材料が用いられていた可能性を示唆する。

7世紀後半の製作と推定される武蔵国分寺の銅造仏と723年銘のある太安萬侶誌誌銅板は、ともに日本産銅鉱石を用いて冶金・精錬された銅を原料としていると推定されている⁷⁾。これら資料が示す鉛同位体比は本測定資料と系統は類似しているとも考えられるが、同一材料とは判断しにくい。

図32、33では薬師寺講堂にある銅像薬師如來兩脇土像の薬師如來像と月光像の台座と東大寺八角灯籠と長登銅山の同位体比を比較資料として鉛同位体比を図に示した。

薬師寺講堂の薬師如來像の鉛同位体比は図32、33の中でまとまって分布する。同じく、兩脇土の日光、月光

像の鉛同位体比も薬師如來像と同様の分布である¹⁰⁾。これら資料の分布と今回測定した大安寺の銅製飾り金具の鉛同位体比の分布とは明らかに異なっている。今回比較した薬師如來および兩脇土像には当初材が用いられたと考えられているため、大安寺の銅製飾り金具に用いられた材料は薬師如來像とは明らかに異なった鉱山であると推定される。しかし、図32、33から月光像の台座の鉛同位体比はNo. 2試料以外の本試料の鉛同位体比と類似した値を示した。月光像の台座は像本体と鉛同位体比が異なっている¹⁰⁾。なぜ像本体と台座に異なった材料を用いるのかこれ以上議論は進められないが、今回測定した飾り金具の鉛同位体比と類似した値を示すことは当時、2つ以上の鉱山の鉛材料が用いられた可能性を示唆している。

東大寺八角灯籠の鉛同位体比は図32、33の中で多少のばらつきはあるが、ある程度まとまって分布している。本測定資料である飾り金具は薬師寺の薬師如來像の鉛同位体比値よりも東大寺八角灯籠と類似した値を示している。

東大寺、薬師寺、大安寺は南都七大寺に含まれており、それぞれ天皇の発願により造営された寺で全てが官給のため、国の監督を受けた官寺(官寺)である。それぞれの寺院は宗派が異なり、東大寺と大安寺は華嚴宗、薬師寺は法相宗である。鉛同位体比の結果から華嚴宗派と法相宗派それぞれの寺院に関連する資料の鉛同位体比が異なり、宗派が同じ寺院に関連した文化財が示す同位体比は類似している。同じ官寺であっても、宗派の違いによって青銅製品を作る際には用いられた材料、鉱山が異なっていることが今回の鉛同位体比の測定によって示唆される。これは当時の寺院勢力の拡がりを考える一つの考え方となるかもしれない。

本測定資料と長登銅山の鉛同位体比を比較すると同位体比は類似しているが、今回の結果からだけでは長登銅山産の材料であると断定できない。

Brill、山崎らは正倉院のガラス玉(鉛ガラス)および鉛丹の鉛同位体比が日本産方鉛鉱と一致することを確かめ¹²⁾、これより「奈良時代には日本産の鉛鉱石を用いて

ガラス玉および仏像が造られたと判断して差し支えない」と述べている¹³⁾。このことから少なくとも8世紀初頭には日本で銅の採鉱があったと推定されているが、今回の結果からは奈良時代に関連する比較資料の鉛同位体比値(表3、図30、31で示される)よりも平安時代資料に類似していると判断できる。

これまでの測定から平安時代初期～中期にかけての青銅製品には日本産の材料が用いられている傾向が高い。今回の鉛同位体比測定から本資料もその一つと理解できる。ただし、No. 2試料のみが同じ日本領域の中でもこれまでに測定された平安時代遺物とされる鉛同位体比の傾向と異なった値を示した。このことはNo. 2試料が他試料とは製作時期が異なることを一つの意味として示唆しているとも考えられる。

本資料が他の平安時代青銅製品の同位体比と似たような値を示すことは、これらの資料が材料段階でなんらかの関連性を示しているかもしれない。今後、さらに数多くの遺物の分析が行われるならば、奈良時代もしくは平安時代の青銅製品の製造や流通関係がさらに解明されると思われる。

- 1) 奈良市教育委員会「史跡大安寺旧境内(西塔跡)の調査 第100次」『奈良市埋蔵文化財調査概要報告書平成14年度』(2006)、同「史跡大安寺旧境内(西塔跡)の調査 第102次」『奈良市埋蔵文化財調査概要報告書平成15年度』(2006)、同「史跡大安寺旧境内(西塔跡)の調査 第105次」『奈良市埋蔵文化財調査概要報告書平成16年度』(2007)
- 2) 平尾良光・山岸良二編「鉛同位体比法」『青銅・銅・鉄を調べる』、『文化財を調べる科学の叢書』、国土社(東京)、pp55、(1998)
- 3) 平尾良光編「古代青銅の流通と製造」鶴山堂(東京)、p348、(1999)
- 4) 井上和人・森嶋昭子「平城宮大極殿・大極殿院復原研究 飾り金具などの復原研究」独立行政法人文化財研究所 奈良文化財研究所 平城宮跡発掘調査部・埋蔵文化財センター、(2004)

である。鉛(Pb)は約1.4%～2.1%含まれている。これは鋳造時に意図的に鉛を混ぜたと考えることもできるが、一方では銅を精錬した際に元々含まれていた鉛がうまく除去できなかったため、含まれている可能性も考えられる。もし、後述の状況で含まれている鉛であるならば、大安寺から出土した銅製飾り金具の鉛同位体比を測定することによって、資料の材料に用いられた銅鉱山の産地を考える一つの可能性を示唆する。

- 5) 早川泰弘・榎本淳子・平尾良光：下り松遺跡から出土した銅製品、一般国道50号葛城バイパス改築工事地内埋蔵文化財調査報告書、下り松遺跡・船内遺跡(下巻)、建設省・茨城教育財団編、茨城県教育財団文化財調査報告書 第145集、p435-445、(1999)
- 6) 早川泰弘・榎本淳子・平尾良光：藤の山遺跡出土の天部立像および耳環に関する自然科学的調査、(仮称) 島名・稲田川地区特定土地区域埋蔵事業地内埋蔵文化財調査報告書、藤の山遺跡(下巻)、茨城県教育財団文化財調査報告書 第149集、p589-598、(1999)
- 7) 平尾良光・榎本淳子・早川泰弘・埼玉県寺内遺跡出土の金属資料に関する自然科学的調査、埼玉県大塚市江刺町教育委員会、(1998)
- 8) 馬淵久夫・江本義理：鉛同位体比法による大宮高松基盤銅板および武蔵国四分寺附近出土銅造仏の原料産地推定、古文化財の科学 第28号、p65-69
- 9) 文化庁文化財保護部美術工芸課・奈良県教育委員会事務局文化財保存課編：東大寺金銅八角燈籠修理報告書、東大寺、p47-83、(1999)
- 10) 平尾良光：6、鉛同位体比、『薬師寺講堂重要文化財彫造坐佛如来阿彌陀佛修理報告書』(調査編)、薬師寺編纂、p52-75、(1997)
- 11) 斎藤秀・高橋昭彦・西川裕一：古代銭貨に関する理化学的研究 - 『泉貨』上巻の鉛同位体比分析および金銀組成分析 -、日本銀行金融研究所、p1-p45、(2002)
- 12) Brill, R.H., Yamasaki, K., Barnes, L.J., Rosman, K.J.R., and Diaz, M.: Lead Isotopes in some Japanese and Chinese Glasses, *Ars Orientalis* 11, pp87-109, (1979)
- 13) 山崎一雄・室伴正世・江本義理・馬淵久夫・平尾良光・増田彰正：鉛同位体測定による日本および中国出土の古遺物の産地の研究、『考古学、美術学の自然科学的研究』、日本学術振興会、pp.383-394 (1980)

表 大安寺出土資料の化学組成結果 (wt%)

試料名	銅 (Cu)	スズ (Sn)	鉛 (Pb)
風鐸①	93.24	1.15	0.002
風鐸②	92.83	0.15	1.48
風鐸③	測定データなし		
風招	測定データなし		
水燈	92.58	0.87	1.4
大形銅製品	91.83	0.6	2.13

※ 表から試料4点は銅 (Cu) が91.8%～93.2%であり、ほとんどが純銅

(財団法人 元興寺文化財研究所 川本耕三)

【XRF分析データ】

No. 1 風録①



図1. 試料採取箇所 [→] と分析箇所 [○]

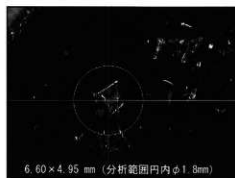


図2. 採取試料

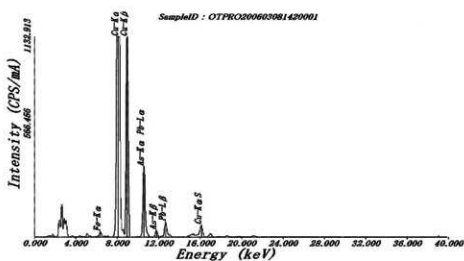


図3. 遺物本体 [○] のXRFスペクトル

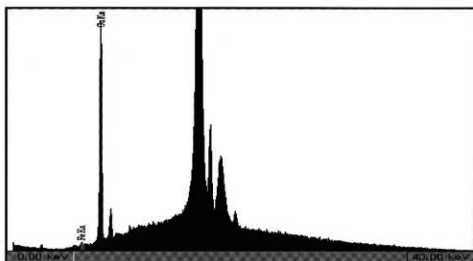


図4. 採取試料 (図2) のXRFスペクトル

No. 2 風鐸②



図5. 試料採取箇所 [->]



図6. 分析箇所 [O]

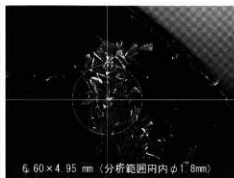


図7. 採取試料

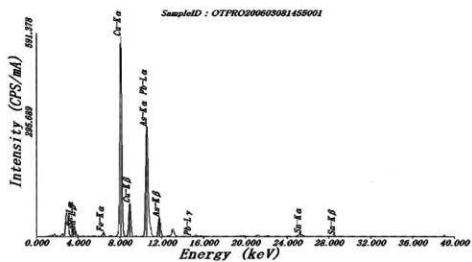


図8. 遺物本体 [O] のXRFスペクトル

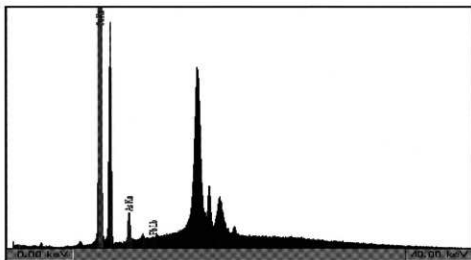


図9. 採取試料 (図7) のXRFスペクトル

No. 3 風鐸③

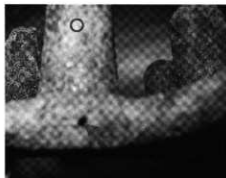


図 10. 試料採取箇所 [→] と分析箇所 [○]

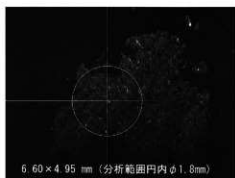


図 11. 採取試料

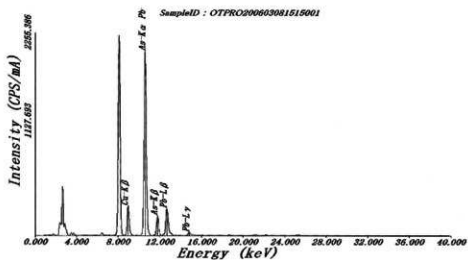


図 12. 遺物本体 [○] の XRF スペクトル

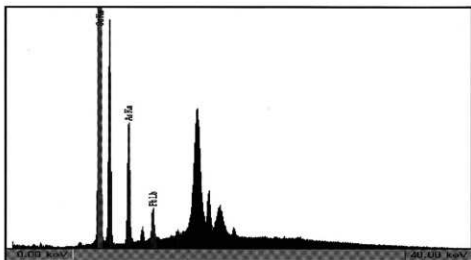


図 13. 採取試料 (図 11) の XRF スペクトル

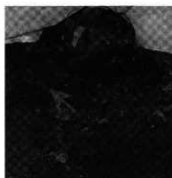


図 14. 試料採取箇所 [→]

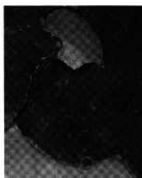


図 15. 分析箇所 [○]

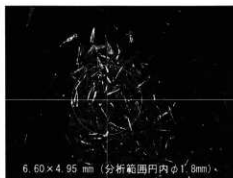


図 16. 採取試料

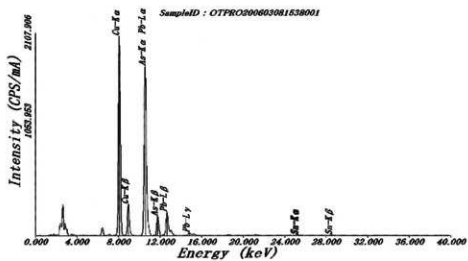


図 17. 遺物本体 [○] の XRF スペクトル

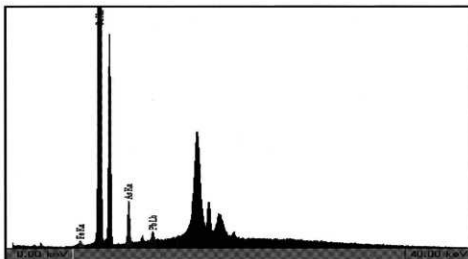


図 18. 採取試料 (図 16) の XRF スペクトル

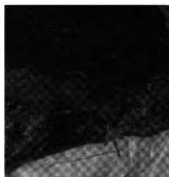


図 19. 試料採取箇所 [一]

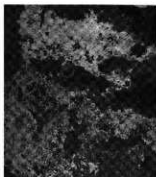


図 20. 分析箇所 [O]

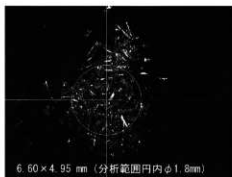


図 21. 採取試料

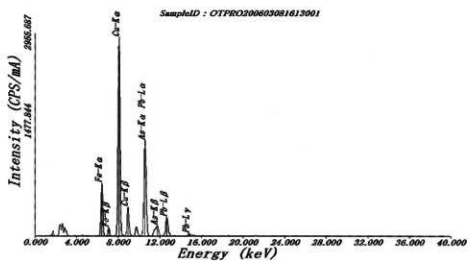


図 22. 遺物本体 [O] の XRF スペクトル

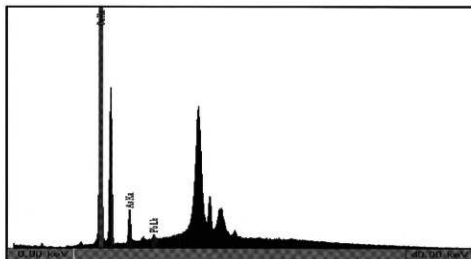


図 23. 採取試料 (図 21) の XRF スペクトル

No. 6 大型銅製品

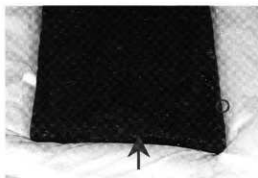


図 24. 試料採取箇所 [→] と分析箇所 [○]

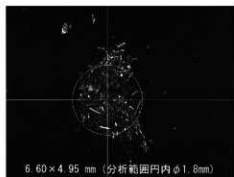


図 25. 採取試料

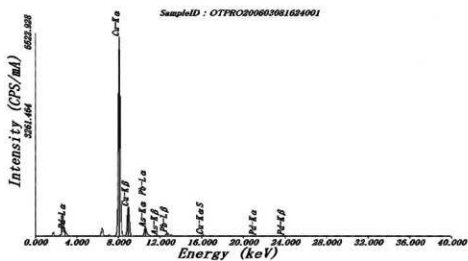


図 26. 遺物本体 [○] の XRF スペクトル

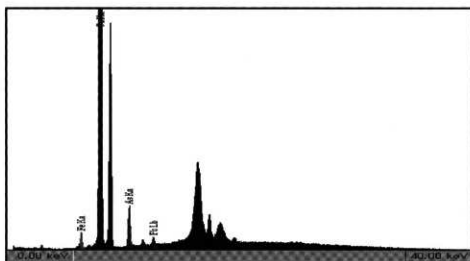


図 27. 採取試料 (図 16) の XRF スペクトル

【鉛同位体比分布図】

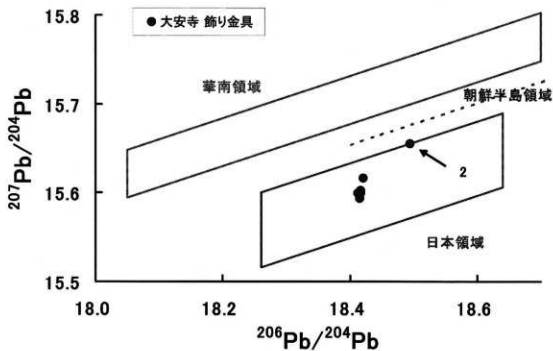


図 28. 大安寺西塔跡から出土した飾り金具が示す鉛同位体比分布

($^{207}\text{Pb}/^{204}\text{Pb}$ — $^{206}\text{Pb}/^{204}\text{Pb}$)

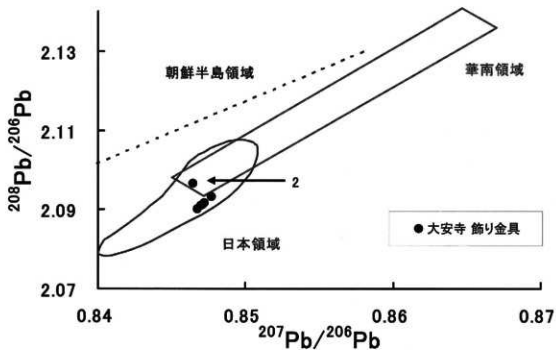


図 29. 大安寺西塔跡から出土した飾り金具が示す鉛同位体比分布

($^{208}\text{Pb}/^{206}\text{Pb}$ — $^{207}\text{Pb}/^{206}\text{Pb}$)

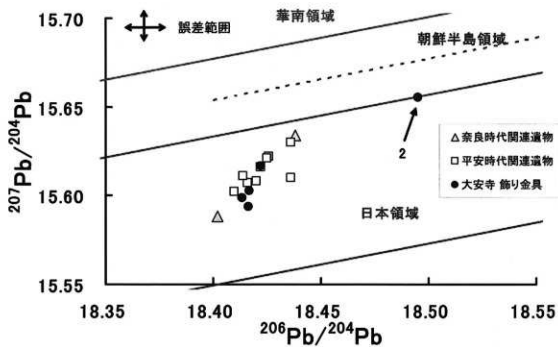


図 30. 大安寺西塔跡から出土した飾り金具と奈良・平安時代資料が示す鉛同位体比分布

($^{206}\text{Pb}/^{204}\text{Pb}$ - $^{207}\text{Pb}/^{204}\text{Pb}$)

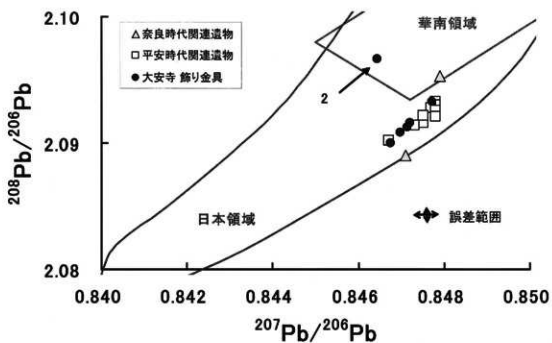


図 31. 大安寺西塔跡から出土した飾り金具と奈良・平安時代資料が示す鉛同位体比分布

($^{207}\text{Pb}/^{206}\text{Pb}$ - $^{208}\text{Pb}/^{206}\text{Pb}$)

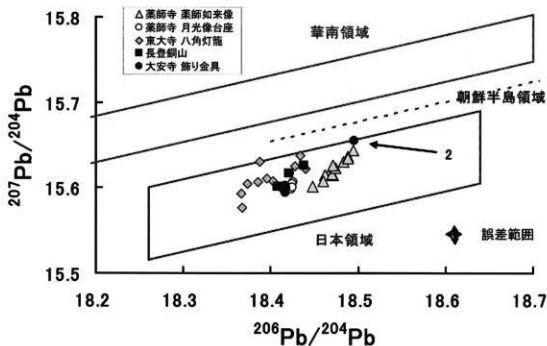


図 32. 大安寺西塔跡から出土した飾り金具と比較資料が示す鉛同位体比分布

($^{206}\text{Pb}/^{204}\text{Pb}$ - $^{207}\text{Pb}/^{204}\text{Pb}$)

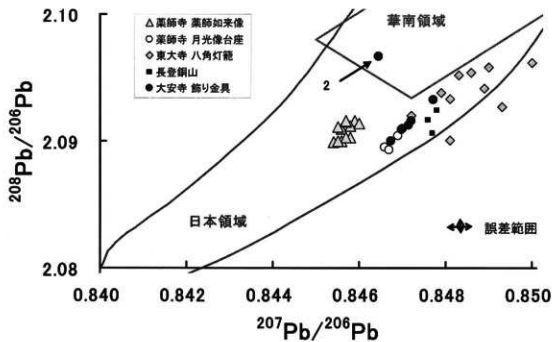


図 33. 大安寺西塔跡から出土した飾り金具と比較資料が示す鉛同位体比分布

($^{207}\text{Pb}/^{206}\text{Pb}$ - $^{208}\text{Pb}/^{206}\text{Pb}$)

6. 史跡大安寺旧境内・西塔地区の調査 第105次 出土木材の樹種同定

1. はじめに

木材は、セルロースを骨格とする木部細胞の集合体であり、解剖学的形質から、概ね属レベルの同定が可能である。木材は、花粉などの微化石と比較して移動性が少ないことから、比較的近隣の森林植生の推定が可能であり、遺跡から出土したものについては、木材の利用状況や流通を探る手がかりとなる。

2. 試料

試料は、大安寺第105次調査（『奈良市埋蔵文化財調査概要報告書平成16年度』にて報告）において西塔跡基壇外周堆積土層より出土した塔の部材2点である。時期は、奈良時代末～平安時代と考えられる。

3. 方法

カミソリを用いて試料の新鮮な横断面（木口と同義）、放射断面（柾目と同義）、接線断面（板目と同義）の基本三断面の切片を作製し、生物顕微鏡によって40～1000倍で観察した。同定は、解剖学的形質および現生標本との対比によって行った。

4. 結果

結果を表に示し、各断面の顕微鏡写真を図版に示す。以下に同定の根拠となった特徴を記す。

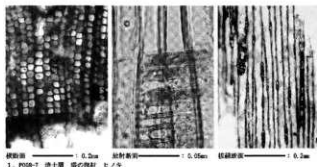
ヒノキ *Chamaecyparis obtusa* Endl. ヒノキ科 図版
仮道管、樹脂細胞および放射柔細胞から構成される針葉樹材である。

横断面：早材から晩材への移行はゆるやかで、晩材部の幅はきわめて狭い。樹脂細胞が見られる。

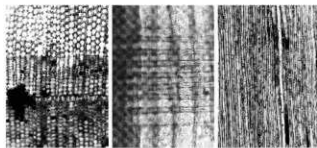
放射断面：放射柔細胞の分野壁孔は、ヒノキ型で1分野に2個存在するものがほとんどである。

接線断面：放射組織は単列の同性放射組織型で、1～15細胞高である。

以上の形質よりヒノキに同定される。ヒノキは福島県以南の本州、四国、九州、屋久島に分布する。日本特産の常緑高木で、通常高さ40m、径1.5mに達する。材は木理通直、肌目緻密で強靱であり、耐朽性、耐湿性とも高い。良材であり、建築など広く用いられる。



1. PO68-7 焼土層 塔の部材 ヒノキ



2. PO70-9 焼土層 塔の部材 ヒノキ

図 大安寺西塔跡出土木材の顕微鏡写真

5. 所見

同定の結果、史跡大安寺旧境内西塔跡の木材は、ヒノキ2点であった。ヒノキは、温帯を中心に分布する常緑針葉樹である。大きな材がとれる良材であり、当時は瀬戸内から東海地方では多く流通しており、最もよく用いられる材である。

(参考文献)

- 佐伯浩・原田浩(1985) 針葉樹材の細胞、木材の構造、文永堂出版、p.20-48。
佐伯浩・原田浩(1985) 広葉樹材の細胞、木材の構造、文永堂出版、p.49-100。
島地謙・伊東隆夫(1988) 日本の遺跡出土木製品総覧、雄山閣、p.296
山田昌久(1993) 日本列島における木質遺物出土遺跡文庫集成、植生史研究特別第1号、植生史研究会、p.242

(株式会社 古環境研究所)

表 史跡大安寺旧境内西塔跡における樹種同定結果

地区	検出層位		結果(学名/和名)	
PO68-7	焼土層	塔の部材	<i>Chamaecyparis obtusa</i> Endl.	ヒノキ
PO70-9	焼土層	塔の部材	<i>Chamaecyparis obtusa</i> Endl.	ヒノキ

第 3 章 平成17年度保存活用事業報告

平成17(2005)年度埋蔵文化財調査保存活用事業報告

1. 展示

A 常設展示

対象：一般
会期：平成17年4月1日(火)～10月31日(月)。平成18年1月4日(火)～3月31日(金) (206日間)
場所：埋蔵文化財調査センター展示室
趣旨：奈良市の歴史を埋蔵文化財の展示をみてもらうことによって知ってもらう。
内容：弥生時代～江戸時代の各時代の埋蔵文化財を遺跡ごとに展示。

観覧者数：755名

B 奈良市指定文化財の展示

対象：一般
会期：平成17年4月1日(火)～7月8日(金)。平成17年9月1日(火)～10月31日(月)。平成18年1月4日(火)～3月3日(金) (149日間)
場所：埋蔵文化財調査センター展示室ロビー
趣旨：奈良市が重要であると考え、指定した文化財について知ってもらう。

内容：考古資料「杉山古墳出土家形埴輪」、考古資料「銅製壺形分銅」

観覧者数：376名

C 第23回平城京展「発掘調査からみた奈良市東部の考古学-奈良市・月ヶ瀬村・都祁村の合併を記念して-」の開催

対象：一般
会期：平成17年11月1日(火)～12月27日(火) (47日間)
場所：埋蔵文化財調査センター展示室及びロビー
趣旨：奈良市東部で実施した発掘調査の成果について、旧都祁村、旧月ヶ瀬村を含めて、出土品、パネルを展示することによって知ってもらう。

観覧者数：464名

その他：○案内を市民日より11月号に掲載。
○宣伝用ポスター・チラシを配布。
○展示解説用パンフレットの作成。
○事前に報道機関に資料を配布。
○職員による展示解説を実施(11月19日 11:00～、参加者4名)。
○職員による埋蔵文化財講演会を実施(11月19日13:00～16:20、参加者27名、会場：埋蔵文化財調査センター講座室

・大窪浮司「水間遺跡・別所遺跡群・袖ノ川遺跡群の調査」

・植松宏益「都祁ゼニヤクボ遺跡とその周辺」

○展示の追加12月1日～27日(別所下ノ前遺跡の縄文早期の石硯付)

D 発掘調査速報展示(2回)の開催

対象：一般
場所：埋蔵文化財調査センター展示室ロビー
趣旨：平成16・17年度にどのような発掘調査を行ない、どのような成果があったかを展示によって知ってもらう。

①夏季速報展示

会期：平成17年7月11日(火)～8月31日(火) (37日間)
内容：○(仮称)法華寺境内古墳(平城京跡第520次)の発掘調査。主な展示遺物-埴輪(古墳時代)

○(仮称)西大寺東遺跡(西隆寺跡下層、西隆寺跡第8次)の調査。主な展示遺物-断面長方形の角柱(古墳時代)

観覧者数：191名

その他：○案内を市民日より7月号に掲載。
○展示解説用リーフレットを作成。
○事前に報道機関に資料を配布。

②春季速報展示

会期：平成18年3月6日(月)～3月31日(金) (20日間)
内容：○平城京跡・奈良町遺跡(平城京跡第531次)の調査。主な展示遺物-六稜鏡(平安時代)

○西大寺旧境内第19次の調査。主な展示遺物-鷹尾(奈良時代)

○歌姫赤井谷横穴墓群第3次の調査。主な展示遺物-須恵器、耳環等副葬品、人骨(古墳時代)

その他：○案内を市民日より3月号に掲載。
○展示解説用リーフレットを作成。
○事前に報道機関に資料を配布。

観覧者数：188名

E 年間観覧者数 1219名(282日間)。累計：9682名。月平均：101.6名。月別、男女別、居住地別、年齢別は、表1の通り。

表1

月別：

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
132	19	45	86	111	95	27	275	189	19	31	190

居住地別：

奈良市内	奈良県内	近畿圏内	近畿圏外
409	179	96	41

男女別：

男	女
713	226

学生：

学生
220

年齢別：

～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～
10	171	48	40	76	117	180	107

2. 発掘調査現地説明会等の開催

A 平城京跡第537次（左京五条六坊二坪・東五坊大路）の調査

- 現地見学の受け入れ

対象：済美小学校児童

期日：平成17年10月24日(日)

会場：調査地現地

- 現地説明会の開催

対象：一般

期日：平成17年12月4日(日)

会場：調査地現地

参加者数：100名

その他：事前に記者発表（平成17年12月2日(金)）

B 古市城跡第5次の調査

- 地元説明会の開催

対象：古市町内の住民

期日：平成17年10月29日(土)・11月1日(火)

会場：調査地現地

E 史跡大安寺旧境内第110次（西塔跡）の調査

- 地元説明会の開催

対象：大安寺地区住民

期日：平成17年12月6日(火)・8日(休)

会場：調査地現地

- 現地説明会の開催

対象：一般

期日：平成17年12月11日(日)

会場：調査地現地

参加者数：約500名

その他：事前に記者発表（平成17年12月8日(木)）

C 歌姫赤井谷横穴墓群第3次（3号横穴墓）の調査

- 現地公開

対象：歌姫町内の住民

期日：平成17年10月6日(休)

会場：調査地現地

参加者数：17名

その他：事後に記者発表（平成17年10月7日(金)）

- 現地見学の受け入れ

対象：大安寺小学校児童

期日：平成17年12月13日(火)

会場：調査地現地

D 平城京跡第538次（左京九条三坊十一・十二坪）の調査



地元説明会風景（古市城跡の調査）



現地説明会風景（史跡大安寺旧境内の調査）

3. 講演会・教室の開催

A 「埋蔵文化財発掘調査報告会」の開催

- 対象：一般
期日：平成18年3月18日(土)
会場：埋蔵文化財調査センター講座室
内容：平成16・17年度の主な発掘調査の報告を行なう。
・池田裕英「歌姫赤井谷横穴墓群第3次の調査」
・中島和彦「平城京跡・奈良町遺跡（平城京跡第531次）の調査」
・久保邦江「平城京跡第538次の調査」
・宮崎正裕「西大寺旧境内第19次の調査」
- 趣旨：平成16・17年度の発掘調査を職員がスライドを使用しながら、説明をすることによって、どのような発掘調査を行ない、どのような成果があったかを知ってもらう。
- その他：市民日より3月号に掲載して募集。
参加者数：27名

B 「夏休み親子拓本教室」の開催

- 対象：小学生の児童とその親
期日：平成17年8月23日(火)・24日(水)、各1回、午後1:00～3:00

会場：埋蔵文化財調査センター講座室

内容：瓦についての説明を行ない、瓦の拓本をとってもらう。

趣旨：古代の瓦について知ってもらい、発掘調査の遺物整理作業の一部である拓本を体験してもらうことによって、瓦の紋様などから奈良の歴史に触れてもらう。

参加者数：31名

その他：市民日より8月号に掲載して募集。



拓本教室（於講座室）

4. 体験学習・実習の受け入れ

A 博物館実習の受け入れ

- 対象：追手門大学学生3名
期日：平成17年10月24日(月)～10月28日(金)5日間
場所：埋蔵文化財調査センター展示室
内容：第23回平城京展の展示設営

B 高校体験学習の受け入れ

- (1)
対象：一条高校生徒2年生40名
期日：平成17年9月27日(火)
場所：埋蔵文化財調査センター
内容：遺物の洗浄、マーキング、拓本
- (2)
対象：一条高校生徒3年生40名
期日：平成17年9月22日(木)
場所：大安寺旧境内西塔跡発掘現場
内容：発掘現場作業体験

C 中学校職場体験の受け入れ

- (1)
対象：伏見中学校生徒2年生4名
期日：平成17年8月1日(月)～8月3日(水)3日間
場所：埋蔵文化財調査センター
内容：遺物の洗浄、マーキング
- (2)
対象：春日中学校生徒2年生5名
期日：平成17年9月7日(火)～9月9日(金)3日間
場所：埋蔵文化財調査センター
内容：遺物の洗浄、マーキング
- (3)
対象：登美丘中学校生徒2年生5名
期日：平成17年11月10日(木)・11日(金)2日間
場所：埋蔵文化財調査センター
内容：遺物の洗浄、マーキング

(4)

対象：二名中学校生徒2年生4名
 期日：平成17年11月15日(火)・16日(水)2日間
 場所：埋蔵文化財調査センター
 内容：遺物の洗浄、マーキング

(5)

対象：三笠中学校生徒2年生1名
 期日：平成17年11月17日(水)・18日(木)2日間
 場所：埋蔵文化財調査センター
 内容：遺物の洗浄、マーキング

5. 職員の講師等派遣

A 奈良文化財同好会（任意団体）総会

期日：平成17年4月19日(火)
 場所：中部公民館（奈良市上二条町）
 派遣人数：1名
 内容：史跡大安寺旧境内（西塔跡）の発掘調査

B 勸奈良市生涯学習財団田原公民館主催事業「老春教室」

期日：平成17年7月28日(木)
 場所：田原公民館（奈良市若荷町）
 派遣人数：1名
 内容：県営圃場整備事業に伴う発掘調査の成果について

C 勸奈良市生涯学習財団西部公民館主催事業「せいぶ古代史講座」

期日：平成18年3月9日(木)・10日(金)2日間
 場所：埋蔵文化財調査センター（奈良市大安寺西2丁目）

派遣人数：各日1名、計2名
 内容：①奈良市の古墳時代
 ②土から読みとる地域の歴史

D 平成17年度奈良県内市町村埋蔵文化財技術担当者連絡協議会「発掘調査報告会」

期日：平成18年3月4日(日)
 場所：奈良県立図書館情報館交流ホール（奈良市大安寺西1丁目）
 派遣人数：2名

内容：①歌姫赤井谷横穴墓群第3次の調査
 ②史跡大安寺旧境内第110次（西塔跡）の調査

6. 埋蔵文化財調査センター保管遺物・写真等の貸出、ほか

埋蔵文化財調査センターで保存・管理している遺物、写真等の貸出・提供・掲載許可を行った。また、学術研究に因りて、資料の閲覧を受け入れた。

- A 遺物等の貸出 10件（表2の通り）
 B 写真等の貸出・提供・掲載許可 6件（表3の通り）
 C 学術研究に関わる資料閲覧 11件（表4の通り）

表2

貸出機関	使用目的	貸出期間	貸出内容
1 東京国立博物館	平成創考古展示室に常設展示	H17.4.1～ H18.3.31	平城京跡出土土器（標遺品）10点（磁土上木器1点、月形鏡中膽木函1点、豹皮分鏡付札1点、洗皮銅田付紋陶器木函1点、北宮封城木函1点、龍形造埴付札1点、緑布付札1点、櫻花進上木函1点、道酒可得1点、瓦進上木函1点）、分銅（標遺品）1点（平城京跡第167次調査出土）
2 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館	2005年度春期特別展「ムラの変遷」に展示	H17.4.6～ H17.6.24	弥生土器14点（杉ヶ町遺跡（平城京跡第388次調査）出土土器5点、三条遺跡（平城京跡第420次調査）出土土器1点、三条遺跡（平城京跡第429-2次調査）出土土器4点、芝辻遺跡（平城京跡第375次調査）出土土器4点）
3 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館	速報展「大和を掘る・23」に展示	H17.7.5～ H17.9.7	平城京跡第506次調査出土品11点（土師器2点、須恵器3点（墨書土器1点）、陶甕（人面付）1点、土甕2点、ミニチュア甕1点、ミニチュア甕1点、金剛製歩掛1点）、パネル（紙焼き）2点
4 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館	特別陳列「いぬ・イヌ・犬」に展示	H17.12.2～ H18.2.2	犬形土製品2点（奈良町（北室町）遺跡（元興寺旧境内第48次）調査出土）
5 枚方市教育委員会	第2回輝きプラザきら文化財展示会「九頭神楽寺ってなに？」に展示	H17.12.2～ H18.3.31	大安寺式新瓦丸1点（大安寺旧境内立会（下水道）出土）、大安寺式軒平瓦1点（大安寺旧境内S1-5次調査出土）、西塔跡発掘区全景写真2点

6	奈良文化財研究所飛鳥資料館	冬期企画展示「うずもれた古文書」に展示	H17.1.26～ H18.3.10	漆紙文書(具注書)1括(平城京跡第513次調査出土)
---	---------------	---------------------	-----------------------	----------------------------

奈良市管内

7	なら奈良館	常設展示	H17.4.1～ H18.3.31	土師器9点(東市跡第4次、東市跡第6次、平城京跡第52次、平城京跡314次調査出土)、須恵器14点(東市跡第4次、平城京跡第52次、平城京跡第157次調査出土)、木製品2点(平城京跡第174次調査出土土物1点、平城京跡第257.3次調査出土へら1点)、パネル(貴族の食卓風景)1点
8	奈良市水道局	常設展示	H17.4.1～ H18.3.31	軒丸瓦2点、軒平瓦1点(平城京跡第28次調査出土)
9	阪市人権文化センター	常設展示	H17.4.1～ H18.3.31	罫1点(平城京跡第14次調査出土)
10	富雄公民館	常設展示	H17.4.1～ H18.3.31	弥生土器2点(古遺跡(平城京跡第134次調査)出土)、古墳時代の須恵器2点・土師器2点(古遺跡(平城京跡第134次調査)出土、八条町(平城京跡第162次調査)出土)、奈良時代の土師器1点・須恵器5点(平城京跡第52次、第92次、第133次、第157次、第222次調査出土)、墨レプリカ1点、鎌倉時代の上層器1点・瓦器1点(奈良町遺跡(平城京跡第252次調査)出土、菅原東遺跡(平城京跡第257次調査)出土)、室町時代出土の土師器(奈良町遺跡(元興寺旧境内第4次、第13次調査)出土)、江戸時代の土師器・陶磁器(奈良町遺跡(平城京跡第252次調査、元興寺旧境内第15次調査)出土、菅原東遺跡(平城京跡第253次調査)出土)、パネル12点

表3

	申請日	申請機関	目的	内容	その他
1	H17.6.1	株式会社整工房	「歴史の学習」(正遊社発行)に掲載	佐紀陵山古墳(日笠野塚古墳)航空写真1	貸出、掲載許可
2	H17.8.9	株式会社ジャパン通信情報センター	「文化財発掘情報」2005年10月号に掲載	大安寺旧境内西塔跡現地説明会資料(2004年11月14日) 大安寺旧境内西塔跡発掘区全景写真2点	提供、掲載許可
3	H17.10.19	山梨県立考古博物館	パネルの作成、チラシ、ホームページに掲載	平城京跡(第180次調査)出土の甲斐燗杯	掲載許可
4	H17.12.7	兵庫県教育委員会埋蔵文化財調査事務所	「地域文化財展餅食団・波路」図録に掲載	平城京跡(第28次調査)出土の木簡(「淡路國津名郡安手郷人夫」・「合一表天平廿年九月」)写真2点	掲載許可
5	H17.12.20	奈良文化財研究所飛鳥資料館	飛鳥資料館カタログ第15冊「うずもれた古文書」に掲載	漆紙文書(具注書)(平城京跡第513次調査出土)	掲載許可
6	H18.3.15	株式会社ジャパン通信情報センター	「文化財発掘情報」2006年5月号に掲載	大安寺旧境内西塔跡現地説明会資料(2005年12月11日)	提供、掲載許可

表4

	調査日	申請者	目的	調査資料名
1	H17.5.16・17・23・25・26	立命館大学大学院生	修士論文作成	菅原東遺跡埴輪窯跡群出土埴輪(平城京跡第200次調査、ほか)
2	H17.6.8・9・13・15・16	立命館大学大学院生	修士論文作成	菅原東遺跡埴輪窯跡群出土埴輪(平城京跡第200次調査、ほか)
3	H17.6.27・28、7.7	立命館大学大学院生	修士論文作成	菅原東遺跡埴輪窯跡群出土埴輪(平城京跡第200次調査、ほか)
4	H17.7.13	高槻市立埋蔵文化財調査センター職員	個人研究	奈良町遺跡出土土師(平城京跡第269次調査)
5	H17.7.13・14	立命館大学大学院生	修士論文作成	菅原東遺跡埴輪窯跡群出土埴輪(平城京跡第200次調査、ほか)
6	H17.8.9～12・30、9.1	立命館大学大学院生	修士論文作成	率川古墳、ヤイ古墳、胎戸古墳出土埴輪
7	H17.8.22	京都府立大学教授	個人研究	図書(平成13年度概要報告書)
8	H17.9.26	奈良大学大学院生	個人研究	多田城跡出土土器
9	H17.11.7	大阪大学大学生	卒業論文作成	奈良市内出土陶器
10	H17.11.16	広島大学大学生	卒業論文作成	大安寺旧境内(第47・65次調査)出土土瓦
11	H17.12.26・27	名古屋市博物館学芸員	名古屋博物館所蔵品との照合	平城京跡出土軒瓦

附 章 ゼニヤクボ遺跡発掘調査概要報告

附 章 ゼニヤクボ遺跡発掘調査概要報告 例言

1. 本章は、都祁村教育委員会が実施したゼニヤクボ遺跡第3～11次調査の概要をまとめたものである。都祁村と奈良市が平成17年4月1日に合併したため、奈良市教育委員会が調査成果の一部を報告する。
2. すべての現地調査は、旧都祁村教育委員会 植松宏益（現在 奈良市教育委員会文化財課職員）が担当した。
3. 出土遺物の整理作業は、奈良市埋蔵文化財調査センターで行った。
4. 本報告で使用した弥生土器に関する記述は、下記の刊行物に準拠した。
奈良県立橿原考古学研究所『奈良県の弥生土器集成』2003
5. 現時点において、復原できない標高や座標データなどがいくつかある。この点については、製図の際に補足できずそのままとした。
6. 調査時の仮番号で既に公表された下記の資料があり、混乱を避けるために各調査の遺構番号は調査時のままとした。
奈良県内市町村埋蔵文化財技術担当者連絡協議会編『奈良県内市町村埋蔵文化財発掘調査報告会資料』平成4・5・6・8・10年度
7. 本章の執筆は、奈良市埋蔵文化財調査センター職員、および平成19年度臨時職員 熊谷博志（奈良大学大学院生）が分担し、文責は各報告文末に記した。
8. この報告に関する調査記録・出土遺物は、奈良市埋蔵文化財調査センターで保管している。

ゼニヤクボ遺跡第3～11次発掘調査概要報告

I. はじめに

市内関生町、都祁小山戸町にかけて位置するゼニヤクボ遺跡の発掘調査は、昭和55・60年に橿原考古学研究所が実施した並松小学校の増改築に伴う第1・2次調査が最初で、これまで11回にわたる調査が行われている（一覧表参照）。第1・2次調査の成果は、平成元年にその調査報告書が都祁村教育委員会から刊行されている。都祁村教育委員会が実施した第3次調査以降の調査成果は、その一部が「奈良県内市町村埋蔵文化財発掘調査報告会資料」や研究誌「みずほ」などへ断片的に報告されているものの、第10・11次調査成果は未公表のまま残されている状況にあった。

そのため、平成17年4月1日に都祁村・月ヶ瀬村と奈良市が合併したのに伴い、奈良市教育委員会では都祁村教育委員会から第3次調査以降の調査記録と出土遺物を引き継ぎ、整理作業を実施してその概要をとりまとめ報告することとした。

II. 位置と環境

昭和30年に旧都介野村と旧針ヶ別所村が合併して誕生したのが旧都祁村である。開拓の進んだ大和高原の中ほどに位置し、山地と山間小盆地が広がる。旧村内における標高の平均は約470mである。

旧都祁村中央には大和高原最大の沖積盆地があり、この中央低地（都介野盆地）の谷部には木津川へと連なる布目川水系の深江川が流れる。この低地周辺を中心として縄文時代以降の遺跡が多く分布している。

代表的な縄文時代の遺跡は、ゼニヤクボ遺跡の西側に谷を隔てて位置する高塚遺跡である。閉塞に伴って、早期から晩期までの多数の縄文土器や石器が採集されている。ただし、住居跡などの遺構は未だ確認されていない。弥生時代から古墳時代前期における都祁地域最大の集落跡がゼニヤクボ遺跡である。中央低地の西端付近にある南北方向の丘陵北半部に位置する（図1）。すぐ南側

にも弥生時代中期の丸尾遺跡が知られているが、一連の遺跡となる可能性がある。弥生時代後期を境にして、竪穴建物の平面形が方形から方形へと変化する。また、遺跡南東側に方形周溝墓が偏在する傾向が認められる。

古墳時代中期になると、中萩遺跡・白石遺跡など広域的に住居跡が確認できるとともに、全長110mの前方後円墳である三院墓東古墳など100基を超える古墳が築造された。

都祁地域は、古代において山辺郡都祁郷に編入された。「続日本紀」霊龟元年（715年）六月に「大倭都祁山之道を開く」とあり、伊勢参宮道として近世までそれが踏襲されるなど人知と東国を結ぶ主要経路上に都祁地域が所在していたことがわかる。また、金銅製の墓誌が出土したことで有名な小治田安万侶墓（729年葬）があり、古代には葬地の一つとしても認識されていたらしい。

その後、11世紀には荘園開発が進み、都祁周辺は興福寺の荘園となった。荘官・名主などから地侍が成長し、室町時代には個別に中世城を築造して勢力を示した。ゼニヤクボ遺跡周辺には関生北城・関生南城・小山戸城・駒田城などが築かれている。

III. 発掘調査の概要

1. 第3次調査の概要（図2、写真1～4）

平成4年度から遺跡の範囲確認調査を実施することになり、並松保育所北側の茶畑に東西約60m×南北4mの発掘区をつつ南北に設定して調査した。なお、遺跡保護の目的から検出した遺構の発掘は行なわず、平面規模の確認だけにとどめた。

北発掘区 東半部では耕作土の直下（深さ0.2～0.3m）、西半部では耕作土の下に茶褐色粘質土が堆積して（深さ0.3～0.4m）遺構面（地山面）となる。遺構面の標高は、東端で476.5m、中央の最も高い位置で477.0m、西端で475.0mを測る。

検出遺構には竪穴建物7棟以上、溝、土坑などがある。

表1 ゼニヤクボ遺跡発掘調査一覧

調査回数	調査目的	調査面積	調査期間	調査機関
第1次	並松小学校増改築の事前発掘調査	1,300㎡	昭和55年5月12日～9月16日	橿原考古学研究所
第2次	並松小学校増改築の事前発掘調査	1,228㎡	昭和60年10月14日～12月25日	橿原考古学研究所
第3次	範囲確認調査	490㎡		旧都祁村教育委員会
第4次	並松小学校改築の事前発掘調査	480㎡	平成4年7月20日～9月16日	旧都祁村教育委員会
第5次	福祉・保養施設建設の事前発掘調査	1,720㎡	平成5年1月18日～3月18日	旧都祁村教育委員会
第6次	範囲確認調査	435㎡	平成5年7月14日～10月13日	旧都祁村教育委員会
第7次	範囲確認調査	270㎡	平成6年8月23日～12月21日	旧都祁村教育委員会
第8次	福祉・保養施設建設の事前発掘調査	5,145㎡	平成8年3月4日～平成9年1月16日	旧都祁村教育委員会
第9次	範囲確認調査	148㎡	平成9年1月31日～3月31日	旧都祁村教育委員会
第10次	範囲確認調査	75㎡	平成10年3月6日～3月26日	旧都祁村教育委員会
第11次	村道拡張の事前発掘調査	160㎡	平成13年5月15日～6月26日	旧都祁村教育委員会



図1 ゼニヤコボ遺跡発掘区位置図 (1/3000)

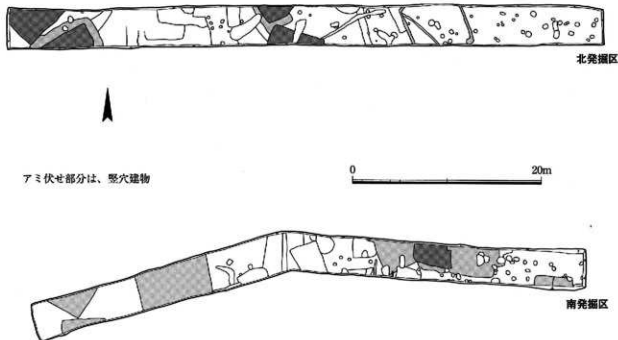


図2 第3次調査 発掘区遺構平面図 (1/400)

堅穴建物は平面方形で、重複しており、弥生時代後期後半から古墳時代前期頃のものとみられる。

南発掘区 東半部では耕作土の直下(深さ0.3~0.5m)、西半部では耕作土の下に茶褐色粘質土あるいは暗褐色粘質土が堆積して(深さ0.4~0.5m)遺構面(地山面)となる。遺構面の標高は、東端で476.7m、中央の最も高い位置で477.5m、西端で475.8mを測る。

検出遺構には堅穴建物5棟以上、溝、土坑などがある。堅穴建物は平面方形で、重複しており、弥生時代後期後半から古墳時代前期頃のものとみられる。

2. 第4次調査の概要(図3~6、写真5~7)

並松小学校のプール改築工事に伴う事前調査として実施した。調査地は、第1・2次発掘区の東側に位置する。当初に設けた発掘区内で方形周溝墓及び堅穴建物とみられる遺構を確認したため、その全容を調査する目的で西側と南側へ発掘区を拡張した。

堆積土層は、既存施設に伴う整地土や攪乱土の下に暗褐色土、黒褐色土・茶褐色土の混合土が堆積して地山となる。現地表から地山までの深さは0.6~0.9mで、北へ向かって緩やかに地山が下がる。発掘区中央には旧施設に伴うものかと思われる東西方向の攪乱がみられた。

検出遺構には、方形周溝墓1基・堅穴建物2棟のほか土坑6基・井戸1基などがある。土坑6基は発掘区北側に集まるが、埋土出土土器からみる限り弥生中期から古墳前期の間に適宜掘削されたものらしい。井戸は近代以降に掘削されたもので、丸太で組まれた内法5.5mの方形枠が遺存した。以下に、方形周溝墓・堅穴建物について概説する。

方形周溝墓 S T01 東西9.7~10.6m、南北13.6mで、南北に長く北側がやや狭まる長方形を呈する。墳丘は大きく削平され、埋葬施設は残っていない。部分的に残る黒褐色土と茶褐色土の混合土は盛土の一部ともみられる。周溝の規模は、東側で幅1.1~1.7m・深さ0.4~0.7m、西側で幅1.4~1.6m・深さ0.65m、南側で幅1.6~2.2m・深さ0.45~0.6m、北側で幅1.6m・深さ0.8m。また、北西隅で幅0.5m・深さ0.1m、南西隅で幅1.0m・深さ0.3mとなり、北東隅・南東隅が確認できないものの周溝の四隅が浅くなり狭まる形態であったと推定できる。周溝内の堆積土層は、上層に黒褐色(黒灰色)粘質土、下層に暗褐色(黒褐色)粘質土が堆積し、下層では底へいくほど地山ブロックが多く含まれている。北側周溝内の北西隅寄りに東西1.0m×南北0.65m・深さ0.4mの土坑があり、弥生中期の土器が出土した。

周溝内の土器出土地点は、南西隅の付近に集まる傾向がある。西側周溝内の土器は、中央から鉢(図24-5)1点、その南側あたりから有段口縁緑口壺(図24-4)1点、南端付近から広口壺(図24-2・3)2点・細頸壺(図24-1)1点が出土した。また、南側周溝内の土器は西半部から偏って出土しており、柳描き簾状文・直線文を施す広口壺1点、柳描き刺突文・簾状文・直線文を施す細頸壺1点などがある。さらに、石包丁2点(図29-1・2)が西側周溝の北半部から出土している。この他に、弥生前期の土器片が西側周溝内埋土から少量出土している。

堅穴建物 S I01 北側が攪乱によって破壊され、東側が発掘区外へと続くので全容は明らかでないが、平面方形で一辺5.7m以上の規模を有したと推測できる。北

西隅と南西隅の柱穴を検出した。柱穴の深さ0.75m、柱痕跡の直径0.15m前後、柱間は南北3.3mである。幅0.15～0.5m、深さ0.1mの周壁溝がめぐる。北西隅柱穴の東側に石が置かれ、南壁に沿った位置から砥石2点(図30-1・3)が点在した。遺物は床面南半部に偏って分布する傾向にあり、壺・甕・高杯・鉢(図27-2)・器台(図27-1・3)や炭が出土した。布留式期の住居跡と考えられる。

竪穴建物S102 S101に北半部を壊されており、東辺部の遺存状態が悪いため全容は明らかでないが、平面方形で一辺5.3m以上の規模を有したと推測できる。幅0.4～1.2m、深さ0.1mの周壁溝がめぐり、その南西隅付近から小型壺1点(図27-4)が出土した。また、南側周壁溝内には、甕・鉢・不明土器(図27-5～7・9)が点在していた。さらに、南側周壁溝の東側に東西1.1m×南北0.6m・深さ0.6mの土坑があり、内部から異形土器1点(図27-8)が出土した。

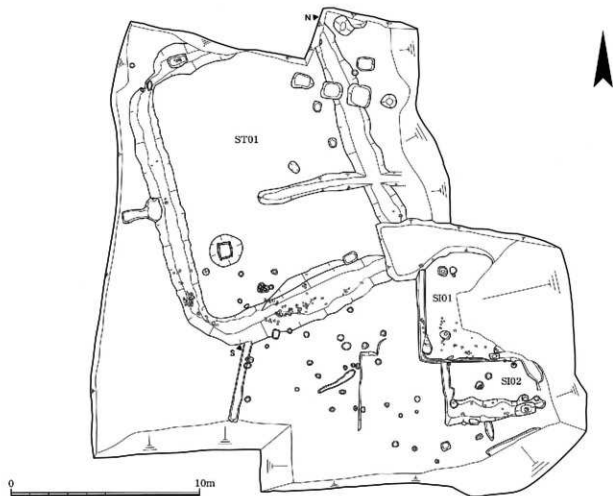
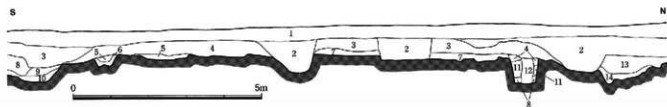


図3 第4次調査 発掘区遺構平面図 (1/200)



1. 礫地上 2. 覆瓦土 3. 暗褐色土 4. 茶褐色土 5. 黒褐色土(地山ブロック・茶褐色土混在) 6. 黒褐色土
7. 黒褐色土・茶褐色土混在土 8. 黒褐色粘質土 9. 暗茶褐色粘質土(地山ブロック少量含む) 10. 暗茶褐色粘質土(地山ブロック多く含む)
11. 黒褐色土(地山ブロック多く含む) 12. 黒灰色粘質土 13. 黒色土 14. 茶褐色土(黄褐色土粒含む)

[8・9・10は南側周壁溝埋土 13・14は東側周壁溝埋土]

図4 第4次調査 N-Sライン土層断面図 (1/100)

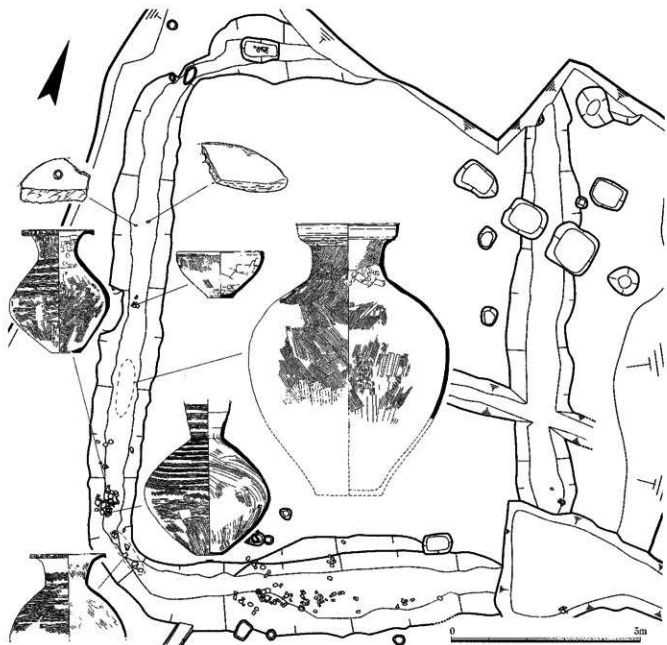


图5 第4次调查 ST 01平面图 (1/100)

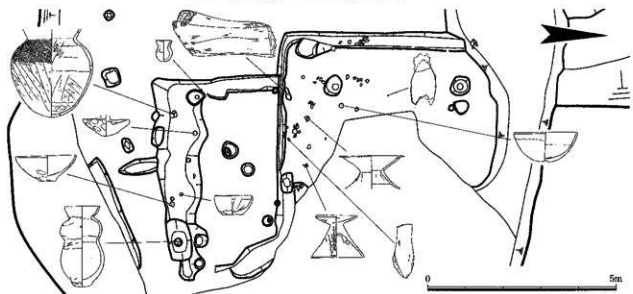


图6 第4次调查 S 1 01 · 02平面图 (1/100)



图7 第5·8·10·11次发掘区位置图 (1/1500)

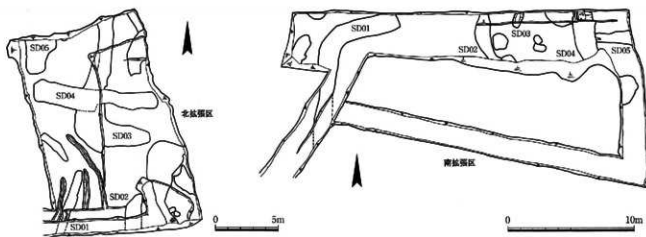


图8 第5次调查 北城壕区(左)·南城壕区(右) 遗構平面图 (1/300)

3. 第5次調査の概要 (図7・8、写真8～10)

並松小学校南方の丘陵地に福祉・保養施設を建設する計画があり、事業予定地内の遺跡範囲確認のために実施した試掘調査である。尾根上及び尾根斜面地では幾つかの土坑を検出しただけで顕著な遺構が認められなかったのに対して、尾根裾部近くの緩傾斜地からは遺物包含層とともに多くの遺構が検出された。そのため、北・南尾根の裾部に設けた発掘区を一部拡張し、遺構の確認作業のみを行なった。それぞれ北拡張区、南拡張区と呼んで、以下にその概要を記述する。

北拡張区 基本層序は、耕土の下に暗褐色粘質土が堆積して遺構面の地山となる。現地表からの深さはおよそ

0.4～0.6mである。弥生時代と思われる溝6条以上を検出した。L形に屈曲する溝S D03、S D03と重複するS D04、S D04西端で直交する方向に伸びるS D05などは方形周溝墓の一部となる可能性がある。

南拡張区 基本層序は、耕土の下に黒褐色粘質土あるいは茶褐色粘質土が堆積して遺構面の地山となる。現地表からの深さはおよそ0.6～0.8mである。北側で弥生時代の溝5条・土坑、南側で竈跡の一部を確認した。竈跡内埋土には多量の椀瓦片が包含されており、江戸時代以降の瓦窯である可能性が考えられた。北壁に沿って一部の遺構を部分的に発掘し、構築時期の確認を行った。

溝S D01 北端が東へ屈曲する溝で、長さ13m以上・



図9 第3・6・7次調査 発掘区位置図 (1/1000)

幅1.55～1.7m・深さ0.3m以上ある。

溝S D02 南北方向の溝で、南端が東へ向かって屈曲していくようにみえる。長さ3.5m以上・幅0.7～1.2m・深さ0.45mを測る。上に暗茶褐色土、下に黒褐色土・黄褐色土の混合土が堆積する。弥生中期(Ⅲ様式)の高杯1点(写真32左)が出土した。

溝S D04 南北方向の溝で、長さ3.7m以上・幅1.4～1.9m・深さ0.7mを測る。上に暗茶褐色土、下に茶褐色土が堆積する。弥生中期(Ⅲ様式)の壺1点(写真32右)が出土した。

S D01・02・04は溝の形態などからみて、方形周溝墓の周溝の一部となる可能性がある。

4. 第6次調査の概要(図9～11、写真11～13)

並松保育所の北西に位置する南北方向の微高地とその東側の浅い谷部において実施した遺跡の範囲確認調査である。第3次調査地のすぐ西側の場所に相当し、第1～12発掘区を設定して調査を行った。

微高地上では、耕土の下に暗褐色粘質土が堆積して遺構面の地山となる。現地地表からの深さは0.3～0.4mである。一方、谷部では耕土の下に茶褐色粘質土、黒褐色粘質土が堆積して遺構面の地山となる。現地地表からの深さは0.8～1.1mである。主な検出遺構には、微高地上の竪穴建物5棟(第3・6・10・11発掘区)、微高地西斜面の土坑1基(第6・7発掘区)・溝1条(第6・7・12発掘区)、谷部南奥の竪穴建物1棟(第1・2発掘区)がある。このうち、一部を発掘して概要がある程度判明した遺構について以下に記す。

竪穴建物S I 01 ほぼ南側半分を調査し、かつて平面門形の竪穴建物と考えていた遺構である。しかし今回、その形態からみてS I 02と同様に一辺3.5～4.0m前後の平面五角形に復元できる可能性が高いと判断した。規模は、全長6.1m・深さ0.3mである。幅0.3m前後・深さ0.2m前後の周壁溝がめぐり、埋土は黒色粘質土で、周壁溝から広口壺や台付甕(図26・1・2)など弥生時代後期後半(大和VI・3様式)の土器が出土した。なお、S I 01の内外に多くの小柱穴が認められ、等間隔に並ぶものも認められるので、掘立柱建物と重複していた可能性が指摘できる。

竪穴建物S I 02 第7次調査時に周囲を掘り広げて平面形態を確認し、一辺6.0～7.5mの平面五角形に復元できることが明らかになった。規模は、全長9.0m・深さ0.4mである。幅0.25m・深さ0.1mの周壁溝がめぐり、床面の2箇所焼土の分布を確認した。埋土は上に暗褐色粘質土、下に茶褐色粘質土が堆積する。一部を掘り下げたところ、壺・長頸壺・手焙り形土器・小型鉢・

高杯(図26・3～9)など弥生時代後期後半(大和VI・3様式)の土器が多く出土した。

竪穴建物S I 03 S I 02の東半部を壊して構築されており、重複関係からS I 02よりも新しい。一辺6.5mの平面方形に復元でき、深さ0.65mでS I 02よりも深い。埋土は黒褐色粘質土である。一部を掘削したに過ぎないが、弥生時代後期末頃の土器が少量出土した。

土坑S K 04 調査前から凹地として残っていた。直径約7.5m・深さ2.0mの円形土坑で、断面が壟鉢状を呈する。底面は平坦で、直径は約3.5m。東側において方形竪穴建物の一部を壊している。埋土は、上から暗茶褐色粘質土、黒褐色粘質土、茶褐色粘質土、暗褐色粘質土が堆積する。茶褐色粘質土から奈良時代の土師器杯Aが出土しており、奈良から平安期の水室跡の可能性もある。

溝S D05 幅1.85m、深さ1.3～2.0mの断面V字形となる溝である。第6発掘区東端から第12発掘区北東を

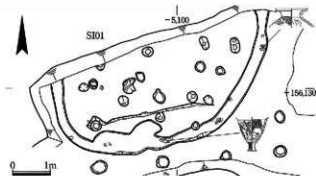


図10 第6次調査 第1・2発掘区 S I 01 (1/100)

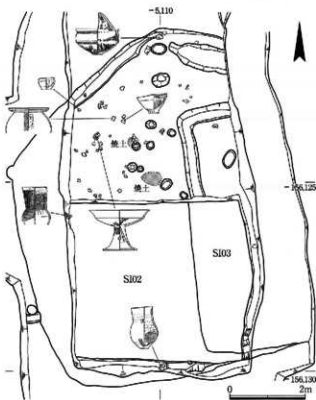


図11 第6次調査 第3発掘区 S I 02・03 (1/100)

経て第7発掘区北端へ続くこととみられる。SX04の東半部を取り巻くように掘削されており、水室の周囲に掘削された排水溝と考えられる。溝底は標高の高い東側が深く、南北へ向かって浅くなる。出土土器は、須恵器片1点を除くほかは弥生時代後期後半～古墳時代前期の土器片である。

5. 第7次調査の概要 (図12、写真15・16)

並松池の周辺で実施した遺跡の範囲確認調査である。遺跡北端の桜根把握を目的とし、池南側に南北方向の第1発掘区と東西方向の第2発掘区を直交させてL形に設け、池東側に第3発掘区を設定して調査を行った。また同時に、第6次調査第3発掘区の一部を拡張してSX02の規模や形態を確認した。

調査地は微高地先端部にあたり、第1・2発掘区では北・西側が大きく下がる傾斜地となっている。基本層序は、耕土の下に黒褐色粘質土が堆積して遺構面の地山となる。最も高い南東端が標高475.2m、最も低い北端が標高470.6mで、南北方向の比高差は4.6m。北斜面は後世の改変により凹凸が著しい。第3発掘区では地山がすでに大きく削平されており、包含層・遺構ともに遺存していなかった。

第1・2発掘区の主眼検出遺構には竪穴建物1棟、土坑3基、溝1条がある。

竪穴建物SX03 第1発掘区の南東部に周壁溝の一部を確認したのみで、規模などの詳細は不明である。周壁溝が直線的であるので、平面形は方形あるいは多角形と推測される。北側がSX01で壊される。埋土から弥生時代後期後半の土器と磁石小片1点が出土した。

土坑SX01 南北約8m・東西6.5m・深さ1.15mで平面楕円形を呈する。東側半分のみを完掘し、その法面に小柱穴が幾つか並ぶことを確認した。土坑の覆屋に伴う遺構と思われる。出土遺物は、12世紀中頃の瓦器碗小片1点を除く他は弥生時代後期後半の土器である。

土坑SX02 南北3.2m以上・東西6.9～7.5m・深さ0.8～0.9mで、平面形状は不明である。西側半分を掘削したところ、土坑底を斜めに横断する溝1条を検出した。溝底は、南東から北西へ向かい低くなる。法面に

は小柱穴が幾つか並ぶことを確認した。土坑の覆屋に伴う遺構と思われる。出土遺物のほとんどが弥生時代後期後半の土器であるが、奈良時代の土師器杯、須恵器杯C・壺・甕、平安時代黒色土器A類碗など古代の遺物が少量混在している。

土坑SX04 南北2.5m以上・東西3.1m以上・深さ1.7mで、北東側の一部分を調査したに過ぎないため平面形状は不明である。法面には小柱穴が幾つか認められる。出土遺物は、弥生時代後期後半の土器が少量出土したにとどまる。

溝SD01 SX02から東へ3～4mの位置にある南北方向の溝で、長さ3.0m以上・幅1.0～1.2m・深さ0.7～0.8m。断面V字形を呈し、SX01の周囲に掘削された排水溝となる可能性が高い。出土遺物は、12世紀中頃

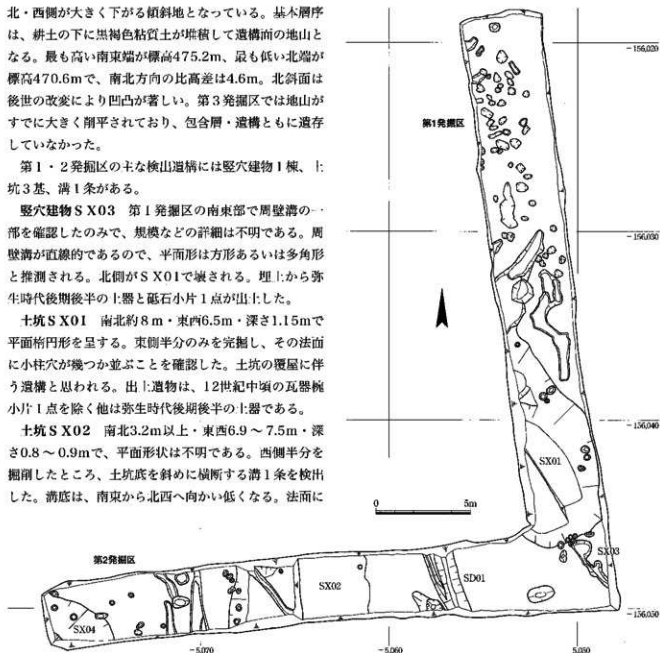


図12 第7次調査 発掘区遺構平面図 (1/200)

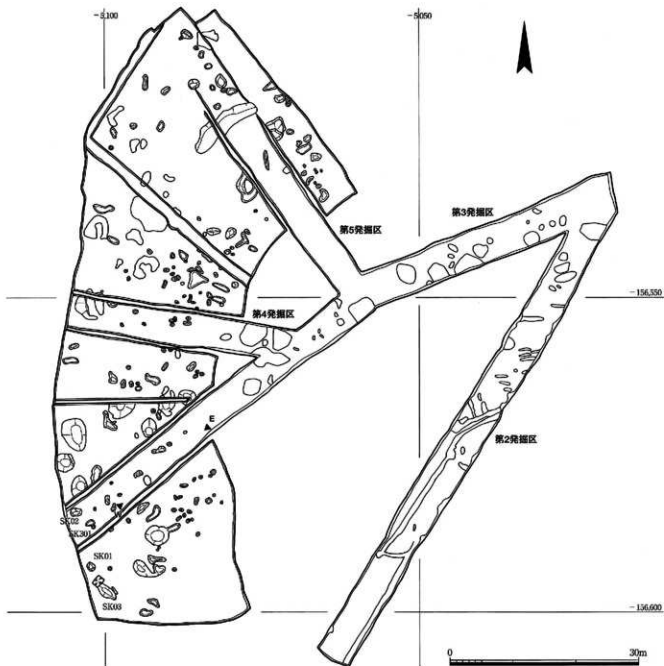
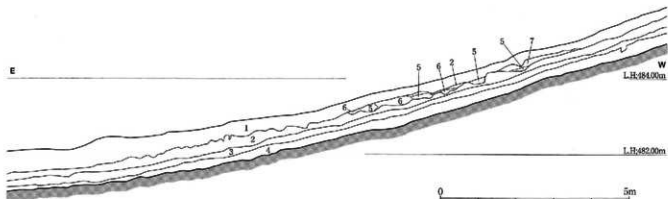


图13 第8次調査 1地区発掘区遺構平面図 (1/600)



1. 表土 2. 暗褐色粘質土 3. 黒褐色粘質土 4. 黒色粘質土 (縄文土器包含層) 5. 暗褐色粘質土
6. 赤褐色粘質土・黒褐色粘質土混合土 7. 黒褐色粘質土 (円礫含む)

图14 第8次調査 1地区第3発掘区W-Eライン南壁堆積土層図 (1/100)